

2021 年度
東京藝術大学大学院音楽研究科
博士学位論文

第二次世界大戦前後における薩摩琵琶の変動
——演奏会・ラジオ・レコード調査と音楽分析を通して——

附録

曾村みずき

平成 30 年度入学
学籍番号 2318908

附録 目次

第2章

【表1】榎本芝水の新作発表状況.....	1
【表2】山口錦堂の新作発表状況.....	1
凡例.....	2
【表3】各流合同琵琶土曜会 慰問演奏記録.....	2
凡例.....	10
【表4】琵琶新聞社主催演奏会記録.....	10

第3章

凡例.....	32
【表5】琵琶放送番組目録.....	32

第4章

凡例.....	67
【表6】国立国会図書館における月報・総目録所蔵状況一覧.....	67
凡例.....	68
【表7】コロムビア邦楽レコード種目別一覧.....	68

近代琵琶楽の戦前 SP レコード発売目録.....70

凡例.....	70
【表8】コロムビア.....	70
【表9】リーガル.....	72
【表10】ビクター.....	75
【表11】ジュニア・ビクター大衆盤・スター・Z盤.....	77
【表12】ポリドール.....	78
【表13】キング.....	80
【表14】テイチク.....	81

近代琵琶楽の戦後 LP レコード発売目録.....86

凡例.....	86
---------	----

【表 15】 コロムビア	86
【表 16】 ビクター	90
【表 17】 ポリドール	90
【表 18】 キング	92
【表 19】 テイチク	93

第 5 章

詞章比較表	94
凡例	94
【表 20】 水藤錦穰 《白虎隊》	95
【表 21】 水藤錦穰 《本能寺》	100
【表 22】 榎本芝水 《川中島》	104
【表 23】 榎本芝水 《本能寺》	109
採譜	115
凡例	115
【譜例 1】 水藤錦穰 《白虎隊》 (ビクター1930年)	117
【譜例 2】 水藤錦穰 《白虎隊》 (キング 1963年)	121
【譜例 3】 水藤錦穰 《本能寺》 (ビクター1931年)	127
【譜例 4】 水藤錦穰 《本能寺》 (ラジオ 1965年か)	134
【譜例 5】 榎本芝水 《川中島》 (ヒコーキ)	138
【譜例 6】 榎本芝水 《川中島》 (ビクター1928年)	142
【譜例 7】 榎本芝水 《川中島》 (コロムビア 1970年)	146
【譜例 8】 榎本芝水 《本能寺》 (コロムビア 1932年)	154
【譜例 9】 榎本芝水 《本能寺》 (コロムビア 1969年)	158

第 6 章

凡例	164
【表 24】 『琵琶新聞』 紙上にみる新作発表楽曲一覧	164
詞章一覧	168
凡例	168
【表 25】 榎本芝水 《満洲事変》	169

【表 26】 水藤錦穰 《古賀連隊長》	172
【表 27】 榎本芝水 《少年航空兵》	175
【表 28】 水藤錦穰 《戦艦大和》	177
採譜	179
凡例	179
【譜例 10】 榎本芝水 《満洲事変》（コロムビア 1932 年）	181
【譜例 11】 水藤錦穰 《古賀連隊長》（ビクター1932 年）	183
【譜例 12】 榎本芝水 《少年航空兵》（ビクターZ 盤 1940 年）	188
【譜例 13】 水藤錦穰 《戦艦大和》（戦後テープ）	192

【表1】榎本芝水の新作発表状況

(『水声』第61～66号(1930)、『琵琶新聞』第67～81、275～293/294号(1930～31、34～44)の記事を対象に筆者作表)

号:頁	演奏会名	演奏会日時	演奏会場	演奏曲目	備考
285:11	錦心流琵琶第310回春季大演奏会 昼の部	1935年5月5日	飛行会館講堂	北満の志士	
287:7	第311回錦心流琵琶演奏会	1935年6月2日午後4時半	電気倶楽部	楠木正成	直木三十五作詞、榎本芝水作曲
291:9	錦心流琵琶聚星会一の組大演奏会	1935年10月15日午前11時	白木屋	秀吉と勝家	
298:3	芝水流琵琶春季大演奏会 (芝水流琵琶宗家披露)	1936年5月17日昼夜	日比谷市政講堂	五丈原の嵐	時雨音羽作詞、榎本芝水作曲
302:10	芝水流琵琶第323回榎本芝水新曲発表秋季大演奏会	1936年10月4日午後1時	飛行会館講堂	恩讐追分節	伊藤松雄作詞、榎本芝水作曲
302:10	芝水流琵琶第323回榎本芝水新曲発表秋季大演奏会	1936年10月4日午後1時	飛行会館講堂	柳生二蓋笠	野村無名庵作詞、榎本芝水作曲
307:8	芝水流琵琶第327回榎本芝水発表春季大演奏会	1937年3月21日午後1時	日比谷公園市政講堂	酒井の太鼓	野村無名庵作詞、榎本芝水作曲
321:18	芝水流琵琶第337回榎本芝水春季大演奏会	1938年5月1日午後2時	日比谷公園市政講堂	山内出世鑑	大沢逸足作詞、榎本芝水作曲
322:11	芝水流琵琶第338回演奏会	1938年6月5日午後4時半	飛行館星の間	新田義貞旗挙げ	中村孝也作詞、榎本芝水作曲
326:11	芝水流琵琶第342回演奏会	1938年10月9日夜	飛行館星の間	声なき万歳飯塚部隊長	林柳波作詞、榎本芝水作曲
333:10	芝水流琵琶第345回演奏会	1939年3月26日午後4時半	木村屋ホール	空軍の華	
381:8	芝水流琵琶第374回春季演奏会	1943年5月22日午後3時	電気協会新講堂	海国兵団＝海防の先覚者 林子平＝	伊藤松雄作詞、榎本芝水作曲

【表2】山口錦堂の新作発表状況

(『水声』第61～66号(1930)、『琵琶新聞』第67～81、275～293/294号(1930～31、34～44)の記事を対象に筆者作表)

号:頁	演奏会名	演奏会日時	演奏会場	演奏曲目	備考
75:38	錦堂琵琶大演奏会昇伝披露	1931年3月1日	日比谷公園市政講堂	新曲 道成寺	山口錦堂作歌
275:10	大日本錦心流琵琶会	1934年4月29日	御園会館	義民甚兵衛	
275:10	大日本錦心流全国大会	1934年5月20日	芝公園協定会館	大森彦七	
306:12	大日本錦心流琵琶新年会	1937年1月6日午後4時	電気倶楽部大講堂	後の俊寛	山口錦堂作詞・作曲
322:12	銃後の慰安演奏大会	1938年4月29日夜	千葉県木更津「実家別館」	南京城一番乗	
346:6	山口錦堂新作発表大演奏会	1940年6月8日午後5時	電気倶楽部大講堂	孤城落月	眞田五郎作詞、山口錦堂作曲
354:11	第7回錦心会新曲公演の会	1941年1月11日午後5時半	電気倶楽部新講堂	潞安の吹雪	
356:8	山口錦堂春季演奏大会	1941年4月12日午後5時	電気倶楽部大講堂	興福寺の一夜	鈴木比呂志作詞、山口錦堂作曲
369:8	大日本錦心流春季大演奏会	1942年5月5日夜	蚕糸会館	小島の春	
376:8	大日本錦心流秋季演奏会	1942年11月21日夜	電気倶楽部大講堂	軍神加藤少将	
387:8	山口錦堂秋季新作発表大演奏会	1943年10月23日午後5時	蚕糸会館	巡礼の歌	

〈凡例〉

- ・『琵琶新聞』第275～293/294号（1930～31、34～44）を対象に、各流合同琵琶土曜会の慰問演奏記録を抽出し、筆者が作表した。
- ・同時代の戦争を題材にした新作曲は、色を付けた。

【表3】各流合同琵琶土曜会 慰問演奏記録

回数	演奏会日時	演奏会場	演奏曲目	演奏者
第1回	1938年8月18日	甲府陸軍病院		
第2回	1939年3月19日	横須賀海軍病院		
第3回	1939年4月15日	横須賀陸軍病院		
第4回	1939年5月7日	臨時東京第三陸軍病院		
第5回	1939年5月28日	熱海東京陸軍病院分院		
第6回	1939年6月20日	東京第二病院		
第7回	1939年7月15日	横須賀海軍病院	詩吟	竹之内甲峰
第7回	1939年7月15日	横須賀海軍病院	川中島	丸山互水
第7回	1939年7月15日	横須賀海軍病院	剣舞	川島緋水
第7回	1939年7月15日	横須賀海軍病院	詩吟	丸山甲源
第7回	1939年7月15日	横須賀海軍病院	舞踊	花柳寿寿輔社中
第7回	1939年7月15日	横須賀海軍病院	嗚呼町田隊	丸山互水
第8回	1939年7月27日	東京第一陸軍病院	詩吟	伊藤静城、竹内甲峰、丸山甲源
第8回	1939年7月27日	東京第一陸軍病院	旅順口	丸山互水
第8回	1939年7月27日	東京第一陸軍病院	大楠公連奏	大津旭紅、福岡旭紅、椎橋旭代
第8回	1939年7月27日	東京第一陸軍病院	剣舞	川島緋水
第8回	1939年7月27日	東京第一陸軍病院	嗚呼壮烈町田隊	丸山互水
第8回	1939年7月27日	東京第一陸軍病院	舞踊	花柳寿寿輔社中
第8回	1939年7月27日	東京第一陸軍病院	新講談	波田野岳堂
第9回	1939年8月2日	右月島分院		
第10回	1939年8月29日	甲府第49連隊		
第11回	1939年8月30日	甲府陸軍病院		
第12回	1939年9月13日	東京軍医学校	詩吟	竹之内甲峰
第12回	1939年9月13日	東京軍医学校	女流剣舞	川島女史
第12回	1939年9月13日	東京軍医学校	舞踊	花柳寿寿輔社中
第12回	1939年9月13日	東京軍医学校	詩吟	丸山甲源
第12回	1939年9月13日	東京軍医学校	嗚呼壮烈町田隊	丸山互水
第13回	1939年10月5日	東京市第二陸軍病院大蔵臨時分院	慰問挨拶	丸山互水
第13回	1939年10月5日	東京市第二陸軍病院大蔵臨時分院	詩吟	竹之内甲峰
第13回	1939年10月5日	東京市第二陸軍病院大蔵臨時分院	舞踊	花柳寿寿輔社中
第13回	1939年10月5日	東京市第二陸軍病院大蔵臨時分院	女流剣舞術	川島女史一門
第13回	1939年10月5日	東京市第二陸軍病院大蔵臨時分院	吹雪の敵	伊藤紫水
第13回	1939年10月5日	東京市第二陸軍病院大蔵臨時分院	詩吟	丸山甲源
第13回	1939年10月5日	東京市第二陸軍病院大蔵臨時分院	嗚呼壮烈町田隊	丸山互水

第14回	1939年11月12日	国府台陸軍病院		
第15回	1939年12月9日	東京第二陸軍病院		
第16回	1940年1月18日午後1時	横須賀海軍病院	挨拶	丸山互水
第16回	1940年1月18日午後1時	横須賀海軍病院	詩吟	竹之内甲峯
第16回	1940年1月18日午後1時	横須賀海軍病院	舞踊	花柳壽々輔社中
第16回	1940年1月18日午後1時	横須賀海軍病院	大楠公	山田旭扇
第16回	1940年1月18日午後1時	横須賀海軍病院	詩吟	茂木甲山
第16回	1940年1月18日午後1時	横須賀海軍病院	伊豆の御灘	丸山互水
第16回	1940年1月18日午後1時	横須賀海軍病院	舞踊	花柳壽々輔
第16回	1940年1月18日午後1時	横須賀海軍病院	詩吟	丸山甲源
第16回	1940年1月18日午後1時	横須賀海軍病院	浪花節	木村正行
第17回	1940年2月22日	東京第一陸軍病院	慰問挨拶	丸山互水
第17回	1940年2月22日	東京第一陸軍病院	詩吟	竹之内甲峯
第17回	1940年2月22日	東京第一陸軍病院	白虎隊	早川緑水
第17回	1940年2月22日	東京第一陸軍病院	詩吟	茂木甲山
第17回	1940年2月22日	東京第一陸軍病院	父・乃木将軍	丸山互水
第17回	1940年2月22日	東京第一陸軍病院	詩吟	丸山甲源
第17回	1940年2月22日	東京第一陸軍病院	舞踊	不明
第17回	1940年2月22日	東京第一陸軍病院	ヴァイオリン	不明
第17回	1940年2月22日	東京第一陸軍病院	浪曲	木村正行
第19回	1940年4月18日午後1時	所沢陸軍病院（東京府下）	慰問挨拶	丸山互水
第19回	1940年4月18日午後1時	所沢陸軍病院（東京府下）	詩吟	竹内甲峯
第19回	1940年4月18日午後1時	所沢陸軍病院（東京府下）	嗚呼壮烈町田隊	丸山互水
第19回	1940年4月18日午後1時	所沢陸軍病院（東京府下）	剣舞	川嶋硬水
第19回	1940年4月18日午後1時	所沢陸軍病院（東京府下）	詩吟	茂木甲山
第19回	1940年4月18日午後1時	所沢陸軍病院（東京府下）	国体篇合吟	竹内甲峯、丸山互水
第19回	1940年4月18日午後1時	所沢陸軍病院（東京府下）	浪花節	木村友行
第19回	1940年4月18日午後1時	所沢陸軍病院（東京府下）	剣舞	不明
第22回	1940年7月18日	横須賀海軍病院	慰問挨拶	丸山互水
第22回	1940年7月18日	横須賀海軍病院	詩吟	竹ノ内甲峯
第22回	1940年7月18日	横須賀海軍病院	琵琶	山田旭扇
第22回	1940年7月18日	横須賀海軍病院	詩吟	茂木甲山
第22回	1940年7月18日	横須賀海軍病院	龍の口	丸山互水
第22回	1940年7月18日	横須賀海軍病院	詩吟 国体編	竹ノ内甲峯
第22回	1940年7月18日	横須賀海軍病院	新舞踊	不明
第22回	1940年7月18日	横須賀海軍病院	浪曲	不明
第23回	1940年8月12日	臨時第一陸軍病院熱海分院	挨拶	丸山互水
第23回	1940年8月12日	臨時第一陸軍病院熱海分院	詩吟	竹之内甲峯、茂木甲山、丸山甲源
第23回	1940年8月12日	臨時第一陸軍病院熱海分院	台湾入	丸山互水

第23回	1940年8月12日	臨時第一陸軍病院熱海分院	五條橋	山田旭扇
第23回	1940年8月12日	臨時第一陸軍病院熱海分院	舞踊	不明
第23回	1940年8月12日	臨時第一陸軍病院熱海分院	劍舞	不明
第25回	1940年10月10日	陸軍医学校	慰問挨拶	丸山互水
第25回	1940年10月10日	陸軍医学校	詩吟	竹ノ内甲峰
第25回	1940年10月10日	陸軍医学校	舞踊	花柳壽々輔社中
第25回	1940年10月10日	陸軍医学校	石田三成	山田旭扇
第25回	1940年10月10日	陸軍医学校	詩吟	茂木甲山
第25回	1940年10月10日	陸軍医学校	浪花節	木村節子
第25回	1940年10月10日	陸軍医学校	城山	丸山互水
第25回	1940年10月10日	陸軍医学校	劍舞	眞庭念流
第25回	1940年10月10日	陸軍医学校	詩吟	丸山甲源
第25回	1940年10月10日	陸軍医学校	浪花節	木村行友
第26回	1940年11月18日	佐倉陸軍病院	慰問挨拶	丸山互水
第26回	1940年11月18日	佐倉陸軍病院	詩吟	竹内甲峰
第26回	1940年11月18日	佐倉陸軍病院	舞踊	花柳壽々輔社中
第26回	1940年11月18日	佐倉陸軍病院	堅田落	山田旭扇
第26回	1940年11月18日	佐倉陸軍病院	詩吟	丸山甲源
第26回	1940年11月18日	佐倉陸軍病院	父・乃木将軍	丸山互水
第26回	1940年11月18日	佐倉陸軍病院	舞踊	不明
第26回	1940年11月18日	佐倉陸軍病院	詩吟	不明
第29回	1941年4月18日	東京第二陸軍病院臨時大倉分院	慰問挨拶	丸山互水
第29回	1941年4月18日	東京第二陸軍病院臨時大倉分院	詩吟	竹ノ内甲峰、的場潔、秦野甲城、茂木甲山、井原甲玉、大井町支部員、甲源流会長丸山甲源
第29回	1941年4月18日	東京第二陸軍病院臨時大倉分院	常陸丸	丸山互水
第29回	1941年4月18日	東京第二陸軍病院臨時大倉分院	父・乃木将軍	小林日水
第29回	1941年4月18日	東京第二陸軍病院臨時大倉分院	秋色桜	島海窈水
第29回	1941年4月18日	東京第二陸軍病院臨時大倉分院	劍舞	櫻井直枝
第29回	1941年4月18日	東京第二陸軍病院臨時大倉分院	舞踊	花柳壽々輔社中
第29回	1941年4月18日	東京第二陸軍病院臨時大倉分院	浪曲	木村行友
第29回	1941年4月18日	東京第二陸軍病院臨時大倉分院	歌謡曲	江川美智子、陳玉櫻
第29回	1941年4月18日	東京第二陸軍病院臨時大倉分院	漫才	不明
第29回	1941年4月18日	東京第二陸軍病院臨時大倉分院	国民進軍歌	全出演

第30回	1941年6月7日	臨時東京第一陸軍病院 月島分院	慰問挨拶	丸山互水
第30回	1941年6月7日	臨時東京第一陸軍病院 月島分院	詩吟	竹ノ内甲峰、的場 潔、秦野甲城、茂 木甲山、井原甲 玉、大井町支部 員、甲源流会長 丸山甲源
第30回	1941年6月7日	臨時東京第一陸軍病院 月島分院	常陸丸	丸山互水
第30回	1941年6月7日	臨時東京第一陸軍病院 月島分院	父・乃木将軍	小林日水
第30回	1941年6月7日	臨時東京第一陸軍病院 月島分院	秋色桜	島海窃水
第30回	1941年6月7日	臨時東京第一陸軍病院 月島分院	劍舞	櫻井直枝
第30回	1941年6月7日	臨時東京第一陸軍病院 月島分院	舞踊	花柳寿々輔社中
第30回	1941年6月7日	臨時東京第一陸軍病院 月島分院	浪曲	木村行友
第30回	1941年6月7日	臨時東京第一陸軍病院 月島分院	歌謡曲	江川美智子、陳玉 櫻
第30回	1941年6月7日	臨時東京第一陸軍病院 月島分院	漫才	不明
第30回	1941年6月7日	臨時東京第一陸軍病院 月島分院	国民進軍歌	全出演
第31回	1941年6月18日	第二陸軍病院	慰問挨拶	丸山互水
第31回	1941年6月18日	第二陸軍病院	詩吟	竹ノ内甲峰、的場 潔、秦野甲城、茂 木甲山、井原甲 玉、大井町支部 員、甲源流会長 丸山甲源
第31回	1941年6月18日	第二陸軍病院	常陸丸	丸山互水
第31回	1941年6月18日	第二陸軍病院	父・乃木将軍	小林日水
第31回	1941年6月18日	第二陸軍病院	秋色桜	島海窃水
第31回	1941年6月18日	第二陸軍病院	劍舞	櫻井直枝
第31回	1941年6月18日	第二陸軍病院	舞踊	花柳寿々輔社中
第31回	1941年6月18日	第二陸軍病院	浪曲	木村行友
第31回	1941年6月18日	第二陸軍病院	歌謡曲	江川美智子、陳玉 櫻
第31回	1941年6月18日	第二陸軍病院	漫才	不明
第31回	1941年6月18日	第二陸軍病院	国民進軍歌	全出演
第32回	1941年7月12日	横須賀陸軍病院	慰問挨拶	丸山互水
第32回	1941年7月12日	横須賀陸軍病院	詩吟	竹ノ内甲峰、的場 潔、秦野甲城、茂 木甲山、井原甲 玉、大井町支部 員、甲源流会長 丸山甲源

第32回	1941年7月12日	横須賀陸軍病院	常陸丸	丸山互水
第32回	1941年7月12日	横須賀陸軍病院	父・乃木将軍	小林日水
第32回	1941年7月12日	横須賀陸軍病院	秋色桜	島海窈水
第32回	1941年7月12日	横須賀陸軍病院	劍舞	櫻井直枝
第32回	1941年7月12日	横須賀陸軍病院	舞踊	花柳寿々輔社中
第32回	1941年7月12日	横須賀陸軍病院	浪曲	木村行友
第32回	1941年7月12日	横須賀陸軍病院	歌謡曲	江川美智子、陳玉櫻
第32回	1941年7月12日	横須賀陸軍病院	漫才	不明
第32回	1941年7月12日	横須賀陸軍病院	国民進軍歌	全出演
第33回	1941年7月19日	横須賀陸軍病院	慰問挨拶	丸山互水
第33回	1941年7月19日	横須賀陸軍病院	詩吟	竹ノ内甲峰、的場潔、秦野甲城、茂木甲山、井原甲玉、大井町支部員、甲源流会長丸山甲源
第33回	1941年7月19日	横須賀陸軍病院	常陸丸	丸山互水
第33回	1941年7月19日	横須賀陸軍病院	父・乃木将軍	小林日水
第33回	1941年7月19日	横須賀陸軍病院	秋色桜	島海窈水
第33回	1941年7月19日	横須賀陸軍病院	劍舞	櫻井直枝
第33回	1941年7月19日	横須賀陸軍病院	舞踊	花柳寿々輔社中
第33回	1941年7月19日	横須賀陸軍病院	浪曲	木村行友
第33回	1941年7月19日	横須賀陸軍病院	歌謡曲	江川美智子、陳玉櫻
第33回	1941年7月19日	横須賀陸軍病院	漫才	不明
第33回	1941年7月19日	横須賀陸軍病院	国民進軍歌	全出演
第34回	1941年8月13日	東京養生所（北多摩郡清瀬村）	慰問挨拶	丸山互水
第34回	1941年8月13日	東京養生所（北多摩郡清瀬村）	詩吟	竹の内甲峯、石渡甲声、丸山甲源
第34回	1941年8月13日	東京養生所（北多摩郡清瀬村）	台湾入	丸山互水
第34回	1941年8月13日	東京養生所（北多摩郡清瀬村）	父・乃木将軍	吉田梗水
第34回	1941年8月13日	東京養生所（北多摩郡清瀬村）	浪曲	壽々木米好
第34回	1941年8月13日	東京養生所（北多摩郡清瀬村）	舞踊	阪東勝之輔
第36回	1941年10月8日	千葉県国府台院軍病院	詩吟	不明
第36回	1941年10月8日	千葉県国府台院軍病院	琵琶	不明
第36回	1941年10月8日	千葉県国府台院軍病院	舞踊	不明
第36回	1941年10月8日	千葉県国府台院軍病院	浪曲	不明
第39回	1942年3月7日	臨時東京陸軍病院大倉分院	慰問挨拶	丸山互水
第39回	1942年3月7日	臨時東京陸軍病院大倉分院	詩吟	石渡甲聲、諸橋源峰、竹内甲峰
第39回	1942年3月7日	臨時東京陸軍病院大倉分院	旅順港	丸山互水

第39回	1942年3月7日	臨時東京陸軍病院大倉分院	劍舞	湯澤唯夫
第39回	1942年3月7日	臨時東京陸軍病院大倉分院	大楠公	山田旭扇
第39回	1942年3月7日	臨時東京陸軍病院大倉分院	詩吟国体篇	竹内甲峰、丸山甲源
第39回	1942年3月7日	臨時東京陸軍病院大倉分院	尺八	
第39回	1942年3月7日	臨時東京陸軍病院大倉分院	浪曲	
第43回	1942年6月10日	習志野陸軍病院	慰問挨拶	丸山互水
第43回	1942年6月10日	習志野陸軍病院	詩吟	竹内甲峰
第43回	1942年6月10日	習志野陸軍病院	琵琶	丸山互水
第43回	1942年6月10日	習志野陸軍病院	尺八漫才	我流齋竹童、堀口榮進
第43回	1942年6月10日	習志野陸軍病院	劍舞術	湯澤正月
第43回	1942年6月10日	習志野陸軍病院	舞踊	花柳壽々輔社中
第43回	1942年6月10日	習志野陸軍病院	詩吟	丸山甲源
第43回	1942年6月10日	習志野陸軍病院	浪曲	木村行友
第47回	1942年10月4日	相模原陸軍病院	舞踊	花柳壽々輔社中
第47回	1942年10月4日	相模原陸軍病院	川中島	丸山互水
第47回	1942年10月4日	相模原陸軍病院	尺八漫才	堀内榮進、我流齋竹童
第47回	1942年10月4日	相模原陸軍病院	詩吟	竹内甲峰、柳瀬甲星、丸山甲源
第47回	1942年10月4日	相模原陸軍病院	舞踊	櫻井義子と一門
第48回	1942年10月4日	東京第三陸軍病院	舞踊	花柳壽々輔社中
第48回	1942年10月4日	東京第三陸軍病院	川中島	丸山互水
第48回	1942年10月4日	東京第三陸軍病院	尺八漫才	堀内榮進、我流齋竹童
第48回	1942年10月4日	東京第三陸軍病院	詩吟	竹内甲峰、柳瀬甲星、丸山甲源
第48回	1942年10月4日	東京第三陸軍病院	舞踊	櫻井義子と一門
第49回	1942年11月20日	傷痍軍人東京療養所	不明	丸山互水
第49回	1942年11月20日	傷痍軍人東京療養所	不明	竹ノ内甲峰
第52回	1943年3月12日	国府台陸軍病院	旅順口	丸山互水
第52回	1943年3月12日	国府台陸軍病院	詩吟	丸山互水
第52回	1943年3月12日	国府台陸軍病院	舞踊	櫻井義子
第53回	1943年5月5日	千葉陸軍病院	不明	丸山互水ほか
第54回	1943年6月11日昼	東京療養所（牛込）	橘大隊長	丸山互水
第54回	1943年6月11日昼	東京療養所（牛込）	詩吟	丸山甲源
第54回	1943年6月11日昼	東京療養所（牛込）	歌澤	不明
第54回	1943年6月11日昼	東京療養所（牛込）	民謡	不明
第54回	1943年6月11日昼	東京療養所（牛込）	尺八	不明
第54回	1943年6月11日昼	東京療養所（牛込）	歌謡曲	不明
第54回	1943年6月11日昼	東京療養所（牛込）	舞踊	櫻井義子
第54回	1943年6月11日昼	東京療養所（牛込）	愛国行進曲大合奏	不明
第55回	1943年7月25日	臨時東京第一陸軍病院箱根転地療養所	慰問挨拶	司会丸山互水

第55回	1943年7月25日	臨時東京第一陸軍病院 箱根転地療養所	本能寺	内田素水
第55回	1943年7月25日	臨時東京第一陸軍病院 箱根転地療養所	詩吟	丸山甲源
第55回	1943年7月25日	臨時東京第一陸軍病院 箱根転地療養所	少年詩吟	清水壯一郎、清水 克二郎
第55回	1943年7月25日	臨時東京第一陸軍病院 箱根転地療養所	舞踊	菊地菊三郎、菊地 静子
第55回	1943年7月25日	臨時東京第一陸軍病院 箱根転地療養所	歌謡曲	永野恵美子
第55回	1943年7月25日	臨時東京第一陸軍病院 箱根転地療養所	尺八民謡	斎喜一声、我流斎 竹童
第55回	1943年7月25日	臨時東京第一陸軍病院 箱根転地療養所	新曲 恩人の碑	丸山互水
第55回	1943年7月25日	臨時東京第一陸軍病院 箱根転地療養所	舞踊	桜井義子
第55回	1943年7月25日	臨時東京第一陸軍病院 箱根転地療養所	愛国行進曲大合唱	一同総動員
第56回	1943年8月21日	横須賀海軍病院	詩吟	竹ノ内甲峯其他
第56回	1943年8月21日	横須賀海軍病院	橘大隊長	丸山互水
第56回	1943年8月21日	横須賀海軍病院	尺八	不明
第56回	1943年8月21日	横須賀海軍病院	舞踊	不明
第56回	1943年8月21日	横須賀海軍病院	珍芸	不明
第56回	1943年8月21日	横須賀海軍病院	歌謡曲	不明
第56回	1943年8月21日	横須賀海軍病院	愛国行進曲大合唱	
第58回	1943年11月25日	傷痍軍人伊東温泉療養 所	慰問挨拶	丸山互水
第58回	1943年11月25日	傷痍軍人伊東温泉療養 所	詩吟	吉田甲松、丸山甲 源
第58回	1943年11月25日	傷痍軍人伊東温泉療養 所	新舞踊	菊地静子
第58回	1943年11月25日	傷痍軍人伊東温泉療養 所	噫アツツ島	丸山互水
第58回	1943年11月25日	傷痍軍人伊東温泉療養 所	尺八	我流斎竹童
第58回	1943年11月25日	傷痍軍人伊東温泉療養 所	剣舞術	川島硬水、同俊 夫、同直枝
第58回	1943年11月25日	傷痍軍人伊東温泉療養 所	コッケイ舞踊	菊地菊三郎
第58回	1943年11月25日	傷痍軍人伊東温泉療養 所	舞踊	桜井義子
第59回	1943年11月25日	臨時第一陸軍病院伊東 転地療養所	慰問挨拶	丸山互水
第59回	1943年11月25日	臨時第一陸軍病院伊東 転地療養所	詩吟	吉田甲松、丸山甲 源
第59回	1943年11月25日	臨時第一陸軍病院伊東 転地療養所	新舞踊	菊地静子
第59回	1943年11月25日	臨時第一陸軍病院伊東 転地療養所	噫アツツ島	丸山互水

第59回	1943年11月25日	臨時第一陸軍病院伊東 転地療養所	尺八	我流斎竹童
第59回	1943年11月25日	臨時第一陸軍病院伊東 転地療養所	剣舞術	川島硬水、同俊 夫、同直枝
第59回	1943年11月25日	臨時第一陸軍病院伊東 転地療養所	コッケイ舞踊	菊地菊三郎
第59回	1943年11月25日	臨時第一陸軍病院伊東 転地療養所	舞踊	桜井義子
第64回 (60?)	1944年1月16日	浦賀機雷学校（横須賀 市）	挨拶	不明
第64回 (60?)	1944年1月16日	浦賀機雷学校（横須賀 市）	詩吟	不明
第64回 (60?)	1944年1月16日	浦賀機雷学校（横須賀 市）	兵士と母	丸山互水
第64回 (60?)	1944年1月16日	浦賀機雷学校（横須賀 市）	義士討入	丸山互水
第64回 (60?)	1944年1月16日	浦賀機雷学校（横須賀 市）	本能寺	内田素水
第64回 (60?)	1944年1月16日	浦賀機雷学校（横須賀 市）	剣舞	不明
第64回 (60?)	1944年1月16日	浦賀機雷学校（横須賀 市）	舞踊	不明
第61回	1944年1月23日	横須賀海軍病院長浜分 院	挨拶	不明
第61回	1944年1月23日	横須賀海軍病院長浜分 院	詩吟	不明
第61回	1944年1月23日	横須賀海軍病院長浜分 院	兵士と母	丸山互水
第61回	1944年1月23日	横須賀海軍病院長浜分 院	義士討入	丸山互水
第61回	1944年1月23日	横須賀海軍病院長浜分 院	本能寺	内田素水
第61回	1944年1月23日	横須賀海軍病院長浜分 院	剣舞	不明
第61回	1944年1月23日	横須賀海軍病院長浜分 院	舞踊	不明
第62回	1944年2月20日	静岡県三島陸軍病院	挨拶	不明
第62回	1944年2月20日	静岡県三島陸軍病院	詩吟	不明
第62回	1944年2月20日	静岡県三島陸軍病院	兵士と母	丸山互水
第62回	1944年2月20日	静岡県三島陸軍病院	義士討入	丸山互水
第62回	1944年2月20日	静岡県三島陸軍病院	本能寺	内田素水
第62回	1944年2月20日	静岡県三島陸軍病院	剣舞	不明
第62回	1944年2月20日	静岡県三島陸軍病院	舞踊	不明

〈凡例〉

- ・『琵琶新聞』第275～393/394号（1934～44）を対象に筆者が作表した。
- ・演奏会の予告記事を参照した場合には、「演奏会名」欄に「（予告）」と記載した。
- ・「種目・流派」欄の「薩筑合同」は、薩摩琵琶・筑前琵琶の異流派合同型演奏会を示す。
- ・同時代の戦争を題材にした新作曲は、色を付けた。

【表4】琵琶新聞社主催演奏会記録

号:頁	演奏会名	種目・流派	演奏会日時	演奏会場	演奏曲目	演奏者	備考
278:7	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1934年9月15日	東京倶楽部	潯陽江	岡野砂山	
278:7	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1934年9月15日	東京倶楽部	城山	林龍山月	
278:7	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1934年9月15日	東京倶楽部	錦の御旗	櫻井鶴泉	
278:7	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1934年9月15日	東京倶楽部	湖水渡	廣川岳穂	
278:7	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1934年9月15日	東京倶楽部	本能寺	田邊錦波	
278:7	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1934年9月15日	東京倶楽部	小松の操	林鶴殿	
278:7	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1934年9月15日	東京倶楽部	九連城	濱田晃養	
278:7	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1934年9月15日	東京倶楽部	威海衛	藤井義次	
278:7	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1934年9月15日	東京倶楽部	大仏供養	西田長祐	
278:7	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1934年9月15日	東京倶楽部	彰義隊	吉水錦翁	
280:8	錦心流琵琶秋季演奏会	薩摩・錦心	1934年11月23日	東京倶楽部	白虎隊	市川鑄水	
280:8	錦心流琵琶秋季演奏会	薩摩・錦心	1934年11月23日	東京倶楽部	吹雪の敵	中谷君水	
280:8	錦心流琵琶秋季演奏会	薩摩・錦心	1934年11月23日	東京倶楽部	其の日の東郷 元帥	野村駿水	
280:8	錦心流琵琶秋季演奏会	薩摩・錦心	1934年11月23日	東京倶楽部	湖水乗切	山名智水	
280:8	錦心流琵琶秋季演奏会	薩摩・錦心	1934年11月23日	東京倶楽部	龍の口	山口速水	
280:8	錦心流琵琶秋季演奏会	薩摩・錦心	1934年11月23日	東京倶楽部	吉野落	古田滲水	
280:8	錦心流琵琶秋季演奏会	薩摩・錦心	1934年11月23日	東京倶楽部	夜の鶴	小峰胴水	
280:8	錦心流琵琶秋季演奏会	薩摩・錦心	1934年11月23日	東京倶楽部	羅生門	阿渡娵水	
280:8	錦心流琵琶秋季演奏会	薩摩・錦心	1934年11月23日	東京倶楽部	本能寺	秋気水	
280:8	錦心流琵琶秋季演奏会	薩摩・錦心	1934年11月23日	東京倶楽部	父、乃木将軍	秋本瓜水	
280:9	筑前琵琶忘年演奏会	筑前	1934年12月1日	東京倶楽部	松の廊下	坂谷子光	
280:9	筑前琵琶忘年演奏会	筑前	1934年12月1日	東京倶楽部	断琴	高永旭鳳	
280:9	筑前琵琶忘年演奏会	筑前	1934年12月1日	東京倶楽部	項羽下	古山旭琉	
280:9	筑前琵琶忘年演奏会	筑前	1934年12月1日	東京倶楽部	大石主税	白山旭珠	
280:9	筑前琵琶忘年演奏会	筑前	1934年12月1日	東京倶楽部	菅公	松本旭鶴	

280:9	筑前琵琶忘年演奏会	筑前	1934年12月1日	東京倶楽部	伽羅の兜	島田旭輝	
280:9	筑前琵琶忘年演奏会	筑前	1934年12月1日	東京倶楽部	鬼界ヶ島	竹■旭祥	
280:9	筑前琵琶忘年演奏会	筑前	1934年12月1日	東京倶楽部	大高源吾	原田旭柳	
280:9	筑前琵琶忘年演奏会	筑前	1934年12月1日	東京倶楽部	青の洞門	野田旭條	
280:9	筑前琵琶忘年演奏会	筑前	1934年12月1日	東京倶楽部	北条時宗	押田旭竊	
282:10	薩摩琵琶新年演奏会	薩摩	1935年1月15日	東京倶楽部	吹雪の敵	古田耕水	
282:10	薩摩琵琶新年演奏会	薩摩	1935年1月15日	東京倶楽部	吉野落	秋気水	
282:10	薩摩琵琶新年演奏会	薩摩	1935年1月15日	東京倶楽部	威海衛	白井晃龍	
282:10	薩摩琵琶新年演奏会	薩摩	1935年1月15日	東京倶楽部	細川血達磨	多田絃美、多田絃麗	
282:10	薩摩琵琶新年演奏会	薩摩	1935年1月15日	東京倶楽部	渚に咽ぶ者	安田希山	
282:10	薩摩琵琶新年演奏会	薩摩	1935年1月15日	東京倶楽部	旅順開城	佐藤岳洋	
282:10	薩摩琵琶新年演奏会	薩摩	1935年1月15日	東京倶楽部	鉢の木	林鶴殿	
282:10	薩摩琵琶新年演奏会	薩摩	1935年1月15日	東京倶楽部	元寇	濱田晃養	
282:10	薩摩琵琶新年演奏会	薩摩	1935年1月15日	東京倶楽部	城山	琵琶：藤井義次、歌：西田長祐	
282:11	筑前琵琶新新春演奏会	筑前	1935年1月26日	東京倶楽部	宇治川下	藻島嶺華	
282:11	筑前琵琶新新春演奏会	筑前	1935年1月26日	東京倶楽部	青の洞門	戸川旭巴	
282:11	筑前琵琶新新春演奏会	筑前	1935年1月26日	東京倶楽部	大石主税	若林旭萌	
282:11	筑前琵琶新新春演奏会	筑前	1935年1月26日	東京倶楽部	浜松城	今井旭文	
282:11	筑前琵琶新新春演奏会	筑前	1935年1月26日	東京倶楽部	安宅関	海田旭英	
282:11	筑前琵琶新新春演奏会	筑前	1935年1月26日	東京倶楽部	五条橋	金森旭静	
282:11	筑前琵琶新新春演奏会	筑前	1935年1月26日	東京倶楽部	錦西の吹雪	宮川旭鳳	
282:11	筑前琵琶新新春演奏会	筑前	1935年1月26日	東京倶楽部	断琴	岡田旭稜子	
282:11	筑前琵琶新新春演奏会	筑前	1935年1月26日	東京倶楽部	大楠公	平田旭延	
282:11	薩摩琵琶会	薩摩・正派	1935年2月2日	東京倶楽部	広瀬中佐	古川秀華	
282:11	薩摩琵琶会	薩摩・正派	1935年2月2日	東京倶楽部	伊豆御難	黒田厳水	
282:11	薩摩琵琶会	薩摩・正派	1935年2月2日	東京倶楽部	常陸丸	仲川秀邦	
282:11	薩摩琵琶会	薩摩・正派	1935年2月2日	東京倶楽部	肉弾三勇士	水越蘆操	
282:11	薩摩琵琶会	薩摩・正派	1935年2月2日	東京倶楽部	武蔵野	辻東舟	
282:11	薩摩琵琶会	薩摩・正派	1935年2月2日	東京倶楽部	足柄山	櫻井鶴泉	
282:11	薩摩琵琶会	薩摩・正派	1935年2月2日	東京倶楽部	吉野落下段	木原鴻城	
282:11	薩摩琵琶会	薩摩・正派	1935年2月2日	東京倶楽部	西郷隆盛	田邊錦波	

282:11	薩摩琵琶会	薩摩・正派	1935年2月2日	東京倶楽部	錦の御旗	西田長祐	
282:11	薩摩琵琶会	薩摩・正派	1935年2月2日	東京倶楽部	旅順口	伊集院鶴城	
282:11	筑前琵琶錦心流琵琶合同演奏会	薩筑合同	1935年2月3日	東京倶楽部	別れの盃	上野季水	錦心流の部
282:11	筑前琵琶錦心流琵琶合同演奏会	薩筑合同	1935年2月3日	東京倶楽部	吉野落	小峰調水	錦心流の部
282:11	筑前琵琶錦心流琵琶合同演奏会	薩筑合同	1935年2月3日	東京倶楽部	龍の口	丸山互水	錦心流の部
282:11	筑前琵琶錦心流琵琶合同演奏会	薩筑合同	1935年2月3日	東京倶楽部	楠木正成	會田峯水	錦心流の部
282:11	筑前琵琶錦心流琵琶合同演奏会	薩筑合同	1935年2月3日	東京倶楽部	舟弁慶	山口速水	錦心流の部
282:11	筑前琵琶錦心流琵琶合同演奏会	薩筑合同	1935年2月3日	東京倶楽部	父、乃木將軍	市川鑄水	錦心流の部
282:11	筑前琵琶錦心流琵琶合同演奏会	薩筑合同	1935年2月3日	東京倶楽部	堅田落	内田旭菅	筑前の部
282:11	筑前琵琶錦心流琵琶合同演奏会	薩筑合同	1935年2月3日	東京倶楽部	石田三成	古山旭琉	筑前の部
282:11	筑前琵琶錦心流琵琶合同演奏会	薩筑合同	1935年2月3日	東京倶楽部	筑後川	原島旭粧	筑前の部
282:11	筑前琵琶錦心流琵琶合同演奏会	薩筑合同	1935年2月3日	東京倶楽部	戻橋	上山旭寿	筑前の部
282:11	筑前琵琶錦心流琵琶合同演奏会	薩筑合同	1935年2月3日	東京倶楽部	銀杏の樹陰	原田旭柳	筑前の部
282:11	筑前琵琶錦心流琵琶合同演奏会	薩筑合同	1935年2月3日	東京倶楽部	加藤清正	平田旭舟	筑前の部
282:11	筑前琵琶錦心流琵琶合同演奏会	薩筑合同	1935年2月3日	東京倶楽部	眞明流剣武術	白井譽	筑前の部
282:12	各流琵琶の夕	薩筑合同	1935年3月2日午後5時	東京倶楽部	吹雪の敵	鈴木倂水	錦心流琵琶
282:12	各流琵琶の夕	薩筑合同	1935年3月2日午後5時	東京倶楽部	小栗栖	内田旭菅	筑前琵琶
282:12	各流琵琶の夕	薩筑合同	1935年3月2日午後5時	東京倶楽部	石童丸	山名智水	錦心流琵琶
282:12	各流琵琶の夕	薩筑合同	1935年3月2日午後5時	東京倶楽部	夜討曾我	美野旭佳	筑前琵琶
282:12	各流琵琶の夕	薩筑合同	1935年3月2日午後5時	東京倶楽部	ハルビンの露	近藤松園	帝国琵琶
282:12	各流琵琶の夕	薩筑合同	1935年3月2日午後5時	東京倶楽部	加藤清正	東旭紅	筑前琵琶
282:12	各流琵琶の夕	薩筑合同	1935年3月2日午後5時	東京倶楽部	橘大隊長	前田錦月	大館派琵琶
282:12	各流琵琶の夕	薩筑合同	1935年3月2日午後5時	東京倶楽部	舟弁慶	藤村旭仙	筑前琵琶
282:12	各流琵琶の夕	薩筑合同	1935年3月2日午後5時	東京倶楽部	落椿(唐人お吉)	安田希山	薩摩琵琶
282:12	各流琵琶の夕	薩筑合同	1935年3月2日午後5時	東京倶楽部	高田の馬場	安藤旭錦	筑前琵琶
282:12	各流琵琶の夕	薩筑合同	1935年3月2日午後5時	東京倶楽部	空閑少佐	福井銀城	銀城流宗家
282:12	各流琵琶の夕	薩筑合同	1935年3月2日午後5時	東京倶楽部	屋島	田口旭隆	筑前琵琶
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京倶楽部	常陸丸	薩摩光江	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京倶楽部	五条橋	薩摩雅江	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京倶楽部	月下の陣	中谷絃娟	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京倶楽部	楠公	小沼絃玲	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京倶楽部	両中尉	里美奥絃	

282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	井伊大老	多田絃美、多田絃麗	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	肉弾三勇士	橋本絃「禾十賽」	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	七卿落	河野理絃	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	桶狭間	薩摩玉絃	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	城山	中谷絃峰	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	三陸生地獄	関畑絃靖	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	日本海大海戦	数馬絃水	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	古賀連隊長	内田絃玩	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	高千穂	杉本絃馬	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	橘大隊長	古家絃櫻	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	送別	林絃洲	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	武蔵野	野澤晃絃	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	菅公	鈴木絃壠	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	軍神	梅原絃光	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	物狂	児玉絃瑞	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	川中島	尾関絃陽	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	蓬萊山	平絃山	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	扇の的	輪田絃海	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	櫻狩	野間絃閑人	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	白虎隊	松井静絃	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	吹雪の敵	高橋絃正	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	台湾入	建部義絃	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	俊寛	阪田絃鳳	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	御夢の跡	藤島字華	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	毒鰻頭	児島絃雨	
282:12	中派薩摩琵琶大会	薩摩・正派	1935年3月3日午後5時	東京俱樂部	非常時日本	宗家薩摩絃風	
284:9-10	薩摩筑前名流演奏会	薩筑合同	1935年4月3日午後6時	淀橋俱樂部	項羽上	竹本旭壤	
284:9-10	薩摩筑前名流演奏会	薩筑合同	1935年4月3日午後6時	淀橋俱樂部	舟弁慶	黒田巖水	
284:9-10	薩摩筑前名流演奏会	薩筑合同	1935年4月3日午後6時	淀橋俱樂部	羅生門	古田耕水	

284:9-10	薩摩筑前名流演奏会	薩筑合同	1935年4月3日午後6時	淀橋俱樂部	加茂の宵月	海田旭英	
284:9-10	薩摩筑前名流演奏会	薩筑合同	1935年4月3日午後6時	淀橋俱樂部	新曲 母	安田希山	
284:9-10	薩摩筑前名流演奏会	薩筑合同	1935年4月3日午後6時	淀橋俱樂部	伊井大老	原島旭粧	
284:9-10	薩摩筑前名流演奏会	薩筑合同	1935年4月3日午後6時	淀橋俱樂部	吹雪の敵	安■照水	
284:9-10	薩摩筑前名流演奏会	薩筑合同	1935年4月3日午後6時	淀橋俱樂部	飯盛山の朝露	福井銀城	
284:9-10	薩摩筑前名流演奏会	薩筑合同	1935年4月3日午後6時	淀橋俱樂部	湖水渡	安藤旭錦	
284:9-10	薩摩筑前名流演奏会	薩筑合同	1935年4月3日午後6時	淀橋俱樂部	川中島	田邊錦波	
289:13	錦心流琵琶会	薩摩・錦心	1935年8月10日夜	東京俱樂部	雪晴	鈴木河水	
289:13	錦心流琵琶会	薩摩・錦心	1935年8月10日夜	東京俱樂部	西郷隆盛	松宮国水	
289:13	錦心流琵琶会	薩摩・錦心	1935年8月10日夜	東京俱樂部	父、乃木将軍	小山田賞水、 代安藤婦水	
289:13	錦心流琵琶会	薩摩・錦心	1935年8月10日夜	東京俱樂部	旅順口	市川鑄水	
289:13	錦心流琵琶会	薩摩・錦心	1935年8月10日夜	東京俱樂部	児島高德	梅原島水	
289:13	錦心流琵琶会	薩摩・錦心	1935年8月10日夜	東京俱樂部	城山	阿曾調水	
289:13	錦心流琵琶会	薩摩・錦心	1935年8月10日夜	東京俱樂部	羅生門	小峰洞水	
289:13	錦心流琵琶会	薩摩・錦心	1935年8月10日夜	東京俱樂部	台湾入	村上鴨水	
289:13	錦心流琵琶会	薩摩・錦心	1935年8月10日夜	東京俱樂部	文福茶釜	秋気水	
289:13	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1935年8月11日夜	東京俱樂部	小督	柏木篁養	到着順に出演
289:13	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1935年8月11日夜	東京俱樂部	錦の御旗	辻東舟	
289:13	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1935年8月11日夜	東京俱樂部	本能寺	櫻井鶴泉	
289:13	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1935年8月11日夜	東京俱樂部	元寇	林鶴殿	
289:13	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1935年8月11日夜	東京俱樂部	不明	濱田晃養	
289:13	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1935年8月11日夜	東京俱樂部	新曲 母	安田希山	
289:13	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1935年8月11日夜	東京俱樂部	王昭君	藤井義次	
289:13	薩摩琵琶演奏会	薩摩・正派	1935年8月11日夜	東京俱樂部	義人の一声	薩摩絃風	
289:11	日本精神発揚家庭教育普及琵琶演奏会	薩筑合同	1935年9月14日午後6時	淀橋俱樂部	誉の水馬	谷脇旭英	

289:11	日本精神発揚家庭教育普及琵琶演奏会	薩筑合同	1935年9月14日午後6時	淀橋俱樂部	小栗栖	岡田旭稜子	
289:11	日本精神発揚家庭教育普及琵琶演奏会	薩筑合同	1935年9月14日午後6時	淀橋俱樂部	輪王寺宮	大坪旭邦	
289:11	日本精神発揚家庭教育普及琵琶演奏会	薩筑合同	1935年9月14日午後6時	淀橋俱樂部	長柄秋風	原島旭粧	
289:11	日本精神発揚家庭教育普及琵琶演奏会	薩筑合同	1935年9月14日午後6時	淀橋俱樂部	日朗坂	鹿島旭美	
289:11	日本精神発揚家庭教育普及琵琶演奏会	薩筑合同	1935年9月14日午後6時	淀橋俱樂部	文福茶釜	鴫田キク子	8歳
289:11	日本精神発揚家庭教育普及琵琶演奏会	薩筑合同	1935年9月14日午後6時	淀橋俱樂部	西郷隆盛	菊池祠水	
289:11	日本精神発揚家庭教育普及琵琶演奏会	薩筑合同	1935年9月14日午後6時	淀橋俱樂部	橋大隊長	古田耕水	
289:11	日本精神発揚家庭教育普及琵琶演奏会	薩筑合同	1935年9月14日午後6時	淀橋俱樂部	錦の御旗	安藤照水	
289:11	日本精神発揚家庭教育普及琵琶演奏会	薩筑合同	1935年9月14日午後6時	淀橋俱樂部	白虎隊	田邊錦波	
294:13	本社主催合同新年琵琶演奏会	薩筑合同	1936年1月14日午後5時	東京俱樂部	元寇	米田聰水	予定の変更あり
294:13	本社主催合同新年琵琶演奏会	薩筑合同	1936年1月14日午後5時	東京俱樂部	父乃木將軍	久下決水	
294:13	本社主催合同新年琵琶演奏会	薩筑合同	1936年1月14日午後5時	東京俱樂部	常陸丸	古川秀華	
294:13	本社主催合同新年琵琶演奏会	薩筑合同	1936年1月14日午後5時	東京俱樂部	西南の役	安藤旭錦	
294:13	本社主催合同新年琵琶演奏会	薩筑合同	1936年1月14日午後5時	東京俱樂部	敦盛	中谷君水	
294:13	本社主催合同新年琵琶演奏会	薩筑合同	1936年1月14日午後5時	東京俱樂部	北満の志士	山口速水	
294:13	本社主催合同新年琵琶演奏会	薩筑合同	1936年1月14日午後5時	東京俱樂部	血染の連隊旗	安田希山	伴つとむ新作歌
294:13	本社主催合同新年琵琶演奏会	薩筑合同	1936年1月14日午後5時	東京俱樂部	茨木	秋気水	
294:13	本社主催合同新年琵琶演奏会	薩筑合同	1936年1月14日午後5時	東京俱樂部	本能寺	會田峯水	
296:12	琵琶宣伝演奏会	薩筑合同	1936年2月22日午後6時	淀橋俱樂部	大石主税	平田延寿	予定と変更あり、筑前琵琶
296:12	琵琶宣伝演奏会	薩筑合同	1936年2月22日午後6時	淀橋俱樂部	城山	鴫田道子	蘇川流琵琶
296:12	琵琶宣伝演奏会	薩筑合同	1936年2月22日午後6時	淀橋俱樂部	別れの盃	出口蘇堂	蘇川流琵琶
296:12	琵琶宣伝演奏会	薩筑合同	1936年2月22日午後6時	淀橋俱樂部	龍の口	岡田旭稜子	筑前琵琶
296:12	琵琶宣伝演奏会	薩筑合同	1936年2月22日午後6時	淀橋俱樂部	川中島	阿渡峽水	錦心流琵琶
296:12	琵琶宣伝演奏会	薩筑合同	1936年2月22日午後6時	淀橋俱樂部	伏見の吹雪	海田旭英	筑前琵琶
296:12	琵琶宣伝演奏会	薩筑合同	1936年2月22日午後6時	淀橋俱樂部	回轉義拳	平田旭延	筑前琵琶

296:12	琵琶宣伝演奏会	薩筑合同	1936年2月22日午後6時	淀橋俱樂部	舟弁慶	古田耕水	錦心流琵琶
296:12	琵琶宣伝演奏会	薩筑合同	1936年2月22日午後6時	淀橋俱樂部	高田の馬場	安藤旭錦	筑前琵琶
296:12	琵琶宣伝演奏会	薩筑合同	1936年2月22日午後6時	淀橋俱樂部	雪晴	田邊錦波	蘇川流琵琶
296:12	琵琶宣伝演奏会	薩筑合同	1936年2月22日午後6時	淀橋俱樂部	詩吟	河渡国容、古田国峰、安藤旭錦	
306:12	各流琵琶新年演奏会	薩筑合同	1937年1月9日午後5時	淀橋俱樂部	將軍乃木希典	井出紅和	筑前琵琶
306:12	各流琵琶新年演奏会	薩筑合同	1937年1月9日午後5時	淀橋俱樂部	桃太郎	田島好華、田島好翠	錦心流、好翠8歳、好華6歳
306:12	各流琵琶新年演奏会	薩筑合同	1937年1月9日午後5時	淀橋俱樂部	大石主税	福岡紅正	筑前琵琶
306:12	各流琵琶新年演奏会	薩筑合同	1937年1月9日午後5時	淀橋俱樂部	河内の宿	田島好翠	
306:12	各流琵琶新年演奏会	薩筑合同	1937年1月9日午後5時	淀橋俱樂部	高山彦九郎	中野竹翁、桜綱声	講談琵琶
306:12	各流琵琶新年演奏会	薩筑合同	1937年1月9日午後5時	淀橋俱樂部	屋島の誉	館野住晃	英流
306:12	各流琵琶新年演奏会	薩筑合同	1937年1月9日午後5時	淀橋俱樂部	旅順口	古川秀華	玉秀流薩摩
306:12	各流琵琶新年演奏会	薩筑合同	1937年1月9日午後5時	淀橋俱樂部	吹雪の敵	池月秋水	錦心流
306:12	各流琵琶新年演奏会	薩筑合同	1937年1月9日午後5時	淀橋俱樂部	竜の口	秋気水	錦心流
306:12	各流琵琶新年演奏会	薩筑合同	1937年1月9日午後5時	淀橋俱樂部	楠木正成	近藤松園	帝国琵琶
306:12	各流琵琶新年演奏会	薩筑合同	1937年1月9日午後5時	淀橋俱樂部	忍路松風	安田希山	薩摩
306:12	各流琵琶新年演奏会	薩筑合同	1937年1月9日午後5時	淀橋俱樂部	兎と亀、国旗	田島好翠	童吟
310:13	松岡旭岡氏歓迎演奏会 名曲鑑賞の夕	筑前	1937年5月15日午後5時	市政講堂	台湾入	関口旭璽	
310:13	松岡旭岡氏歓迎演奏会 名曲鑑賞の夕	筑前	1937年5月15日午後5時	市政講堂	誉の水馬	臼田旭成	
310:13	松岡旭岡氏歓迎演奏会 名曲鑑賞の夕	筑前	1937年5月15日午後5時	市政講堂	石田三成	原島旭粧	
310:13	松岡旭岡氏歓迎演奏会 名曲鑑賞の夕	筑前	1937年5月15日午後5時	市政講堂	那須与市	宮武旭豊	
310:13	松岡旭岡氏歓迎演奏会 名曲鑑賞の夕	筑前	1937年5月15日午後5時	市政講堂	堅田落	原島旭柳	
310:13	松岡旭岡氏歓迎演奏会 名曲鑑賞の夕	筑前	1937年5月15日午後5時	市政講堂	故郷山	橘旭殿	
310:13	松岡旭岡氏歓迎演奏会 名曲鑑賞の夕	筑前	1937年5月15日午後5時	市政講堂	大物の浦	大津旭紅	

310:13	松岡旭岡氏歓迎演奏会 名曲鑑賞の夕	筑前	1937年5月15日午後5時	市政講堂	安宅の関	白田旭成、渡辺旭清	
310:13	松岡旭岡氏歓迎演奏会 名曲鑑賞の夕	筑前	1937年5月15日午後5時	市政講堂	断琴	角田旭笑、竹内旭祥	
310:13	松岡旭岡氏歓迎演奏会 名曲鑑賞の夕	筑前	1937年5月15日午後5時	市政講堂	湖水渡	田中旭嶺	
310:13	松岡旭岡氏歓迎演奏会 名曲鑑賞の夕	筑前	1937年5月15日午後5時	市政講堂	二〇三高地	松岡旭岡	神戸旭会
315:12	国民総動員銃後の女流筑前琵琶大演奏会	筑前	1937年10月31日正午	白木屋ホール	台湾入	椎橋紅美	
315:12	国民総動員銃後の女流筑前琵琶大演奏会	筑前	1937年10月31日正午	白木屋ホール	五條橋 合奏	大津旭紅、河合旭芳、渡辺旭積	
315:12	国民総動員銃後の女流筑前琵琶大演奏会	筑前	1937年10月31日正午	白木屋ホール	斉藤実盛	桜小路旭蓉	
315:12	国民総動員銃後の女流筑前琵琶大演奏会	筑前	1937年10月31日正午	白木屋ホール	常陸丸	村上旭蓮	
315:12	国民総動員銃後の女流筑前琵琶大演奏会	筑前	1937年10月31日正午	白木屋ホール	二〇三高地	渡辺旭積	
315:12	国民総動員銃後の女流筑前琵琶大演奏会	筑前	1937年10月31日正午	白木屋ホール	霊馬漣	河合旭芳	
315:12	国民総動員銃後の女流筑前琵琶大演奏会	筑前	1937年10月31日正午	白木屋ホール	支那事変 空の別れ	大津旭紅	
315:12	国民総動員銃後の女流筑前琵琶大演奏会	筑前	1937年10月31日正午	白木屋ホール	山内一豊	宮武旭豊	
315:12	国民総動員銃後の女流筑前琵琶大演奏会	筑前	1937年10月31日正午	白木屋ホール	支那事変 盲の伝令	角田旭笑	
315:12	国民総動員銃後の女流筑前琵琶大演奏会	筑前	1937年10月31日正午	白木屋ホール	橘中佐	佐藤旭逢	
315:12	国民総動員銃後の女流筑前琵琶大演奏会	筑前	1937年10月31日正午	白木屋ホール	支那事変 母の手紙	高倉旭子	

315:12	国民総動員銃後の女流筑前琵琶大演奏会	筑前	1937年10月31日正午	白木屋ホール	非常時日本合奏	小絃：渡辺旭積、高倉旭子、正絃：桜小路旭蓉、大津旭紅、角田旭笑、河合旭芳、海田旭英	
316:11	忘年琵琶会（予告）	不明	1937年12月15日午後5時	淀橋俱樂部			出演者別記の通りとあるが記事なし
319:6	筑前琵琶名流大演奏会（予告）	筑前	1938年4月12日午後5時（開場）	電気俱樂部大講堂	橘中佐	椎橋旭代	
319:6	筑前琵琶名流大演奏会（予告）	筑前	1938年4月12日午後5時（開場）	電気俱樂部大講堂	西郷隆盛	上堂蘭旭光	
319:6	筑前琵琶名流大演奏会（予告）	筑前	1938年4月12日午後5時（開場）	電気俱樂部大講堂	茶白山	上山旭寿	
319:6	筑前琵琶名流大演奏会（予告）	筑前	1938年4月12日午後5時（開場）	電気俱樂部大講堂	長柄の秋風	美野旭佳	
319:6	筑前琵琶名流大演奏会（予告）	筑前	1938年4月12日午後5時（開場）	電気俱樂部大講堂	二〇三高地	大津旭紅	
319:6	筑前琵琶名流大演奏会（予告）	筑前	1938年4月12日午後5時（開場）	電気俱樂部大講堂	大物の浦	平田旭舟	
319:6	筑前琵琶名流大演奏会（予告）	筑前	1938年4月12日午後5時（開場）	電気俱樂部大講堂	伽羅の兜	押田旭竊	
319:6	筑前琵琶名流大演奏会（予告）	筑前	1938年4月12日午後5時（開場）	電気俱樂部大講堂	大楠公	田中旭嶺	
319:6	筑前琵琶名流大演奏会（予告）	筑前	1938年4月12日午後5時（開場）	電気俱樂部大講堂	石田三成	野田旭条	
319:6	筑前琵琶名流大演奏会（予告）	筑前	1938年4月12日午後5時（開場）	電気俱樂部大講堂	堅田落	三好旭天	
319:6	筑前琵琶名流大演奏会（予告）	筑前	1938年4月12日午後5時（開場）	電気俱樂部大講堂	安宅の関	松岡旭岡	
322:9	筑前琵琶双葉会第1回演奏会（予告）	筑前	1938年6月18日午後6時（開会）	淀橋俱樂部	堅田落	一条旭斎、平田旭舟	特別出演
322:9	筑前琵琶双葉会第1回演奏会（予告）	筑前	1938年6月18日午後6時（開会）	淀橋俱樂部	白虎隊	市川弥■子	

322:9	筑前琵琶双葉会第1回演奏会（予告）	筑前	1938年6月18日午後6時 （開会）	淀橋倶楽部	松の廊下	三森弥重子	
322:9	筑前琵琶双葉会第1回演奏会（予告）	筑前	1938年6月18日午後6時 （開会）	淀橋倶楽部	盲の伝令	花輪司翠	
322:9	筑前琵琶双葉会第1回演奏会（予告）	筑前	1938年6月18日午後6時 （開会）	淀橋倶楽部	扇の的	鹿川弥重子	
322:9	筑前琵琶双葉会第1回演奏会（予告）	筑前	1938年6月18日午後6時 （開会）	淀橋倶楽部	備後三郎	坂井三千枝	
322:9	筑前琵琶双葉会第1回演奏会（予告）	筑前	1938年6月18日午後6時 （開会）	淀橋倶楽部	衣川	井出旭扇	
322:9	筑前琵琶双葉会第1回演奏会（予告）	筑前	1938年6月18日午後6時 （開会）	淀橋倶楽部	旅順の乃木将軍	椎橋旭代	
322:9	筑前琵琶双葉会第1回演奏会（予告）	筑前	1938年6月18日午後6時 （開会）	淀橋倶楽部	■西の吹雪	佐生旭麗	
322:9	筑前琵琶双葉会第1回演奏会（予告）	筑前	1938年6月18日午後6時 （開会）	淀橋倶楽部	名馬「宗泉」	大重旭華	
322:9	筑前琵琶双葉会第1回演奏会（予告）	筑前	1938年6月18日午後6時 （開会）	淀橋倶楽部	大石主税	保谷旭湊	
322:9	筑前琵琶双葉会第1回演奏会（予告）	筑前	1938年6月18日午後6時 （開会）	淀橋倶楽部	二〇三高地	秋沢旭映	
322:9	筑前琵琶双葉会第1回演奏会（予告）	筑前	1938年6月18日午後6時 （開会）	淀橋倶楽部	大物の浦	渡辺旭積、大津旭紅、上山旭寿	特別出演
326:12	筑前琵琶演奏会	筑前	1938年10月23日午後5時半 （開会）	淀橋倶楽部	菅公	青木旭一宗	
326:12	筑前琵琶演奏会	筑前	1938年10月23日午後5時半 （開会）	淀橋倶楽部	倉本少佐	福岡旭紅	
326:12	筑前琵琶演奏会	筑前	1938年10月23日午後5時半 （開会）	淀橋倶楽部	大楠公	桜小路旭蓉	
326:12	筑前琵琶演奏会	筑前	1938年10月23日午後5時半 （開会）	淀橋倶楽部	地震加藤	松原旭城	
326:12	筑前琵琶演奏会	筑前	1938年10月23日午後5時半 （開会）	淀橋倶楽部	大森彦七	上堂蘭旭光	

326:12	筑前琵琶演奏会	筑前	1938年10月23日午後5時半 (開会)	淀橋俱樂部	二〇三高地	渡辺旭積	
326:12	筑前琵琶演奏会	筑前	1938年10月23日午後5時半 (開会)	淀橋俱樂部	堅田落	椎橋旭代	
326:12	筑前琵琶演奏会	筑前	1938年10月23日午後5時半 (開会)	淀橋俱樂部	安宅の関	大津旭紅	
326:12	筑前琵琶演奏会	筑前	1938年10月23日午後5時半 (開会)	淀橋俱樂部	五条橋	地：福岡旭紅、弁慶：渡辺旭積、牛若：椎橋旭代、琵琶：大津旭紅	
326:12	筑前琵琶演奏会	筑前	1938年10月23日午後5時半 (開会)	淀橋俱樂部	大物の浦	斎藤旭芳	
326:12	筑前琵琶演奏会	筑前	1938年10月23日午後5時半 (開会)	淀橋俱樂部	新曲羅生門	村田旭玲	
326:12	筑前琵琶演奏会	筑前	1938年10月23日午後5時半 (開会)	淀橋俱樂部	茶絃録	琵琶：一条一々庵、お点手：大津武子、正客：椎橋美代子、伴人：一条知子	
327:11	芝水流と筑前琵琶各派合同琵琶会	薩筑合同	1938年10月29日午後6時	淀橋俱樂部	台湾入	大山巖水	
327:11	芝水流と筑前琵琶各派合同琵琶会	薩筑合同	1938年10月29日午後6時	淀橋俱樂部	龍の口	加藤斐水	
327:11	芝水流と筑前琵琶各派合同琵琶会	薩筑合同	1938年10月29日午後6時	淀橋俱樂部	藤戸の渡	坂本旭榮	
327:11	芝水流と筑前琵琶各派合同琵琶会	薩筑合同	1938年10月29日午後6時	淀橋俱樂部	橘大隊長	山口速水	
327:11	芝水流と筑前琵琶各派合同琵琶会	薩筑合同	1938年10月29日午後6時	淀橋俱樂部	神崎与五郎	桜田旭雅	
327:11	芝水流と筑前琵琶各派合同琵琶会	薩筑合同	1938年10月29日午後6時	淀橋俱樂部	城山	関上伸水	
327:11	芝水流と筑前琵琶各派合同琵琶会	薩筑合同	1938年10月29日午後6時	淀橋俱樂部	白虎隊	内田素水	
327:11	芝水流と筑前琵琶各派合同琵琶会	薩筑合同	1938年10月29日午後6時	淀橋俱樂部	西郷隆盛	松井旭仙	
327:11	芝水流と筑前琵琶各派合同琵琶会	薩筑合同	1938年10月29日午後6時	淀橋俱樂部	敦盛	中谷君水	
327:11	芝水流と筑前琵琶各派合同琵琶会	薩筑合同	1938年10月29日午後6時	淀橋俱樂部	北の庄	藤巻旭鳳	
327:11	芝水流と筑前琵琶各派合同琵琶会	薩筑合同	1938年10月29日午後6時	淀橋俱樂部	常陸丸	市川東水	

327:11	芝水流と筑前琵琶各派合同琵琶会	薩筑合同	1938年10月29日午後6時	淀橋俱樂部	五条橋	上堂蘭旭光、牛若：椎橋旭代、弁慶：渡辺旭積、琵琶：大津旭紅	
327:11	芝水流と筑前琵琶各派合同琵琶会	薩筑合同	1938年10月29日午後6時	淀橋俱樂部	声なき万歳	久家光水	
327:11	芝水流と筑前琵琶各派合同琵琶会	薩筑合同	1938年10月29日午後6時	淀橋俱樂部	大徳寺	鶴田旭窓	
330:6	筑前琵琶新年演奏会	筑前	1939年1月5日夜	淀橋俱樂部	廣瀬中佐	市川弥誉子	
330:6	筑前琵琶新年演奏会	筑前	1939年1月5日夜	淀橋俱樂部	大石主税	植村旭麗	
330:6	筑前琵琶新年演奏会	筑前	1939年1月5日夜	淀橋俱樂部	安宅の関	椎橋旭代	
330:6	筑前琵琶新年演奏会	筑前	1939年1月5日夜	淀橋俱樂部	松の廊下	三森彌興子	
330:6	筑前琵琶新年演奏会	筑前	1939年1月5日夜	淀橋俱樂部	大森彦七	高畑旭操	
330:6	筑前琵琶新年演奏会	筑前	1939年1月5日夜	淀橋俱樂部	那須与市	橋本旭裳	
330:6	筑前琵琶新年演奏会	筑前	1939年1月5日夜	淀橋俱樂部	義侠の鑑	海田旭英	
330:6	筑前琵琶新年演奏会	筑前	1939年1月5日夜	淀橋俱樂部	二〇三高地	大津旭紅	
330:6	筑前琵琶新年演奏会	筑前	1939年1月5日夜	淀橋俱樂部	秘曲竹生島	宮武旭豊	
330:6	筑前琵琶新年演奏会	筑前	1939年1月5日夜	淀橋俱樂部	斎藤実盛	佐藤旭逢	
330:6	筑前琵琶新年演奏会	筑前	1939年1月5日夜	淀橋俱樂部	朝陽映島	椎橋旭代、高畑旭操、橋本旭裳	
333:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年4月13日夜	電気俱樂部大講堂	大森彦七盛長	絃：戸川旭巴、歌：椎橋旭代、高畑旭操、橋本旭弘	
333:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年4月13日夜	電気俱樂部大講堂	松の廊下	榎本芝水	
333:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年4月13日夜	電気俱樂部大講堂	義侠の鑑	海田旭英	
333:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年4月13日夜	電気俱樂部大講堂	地震加藤	大津旭紅	
333:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年4月13日夜	電気俱樂部大講堂	堅田落	原田旭柳	
333:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年4月13日夜	電気俱樂部大講堂	関ヶ原	大西旭明	
333:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年4月13日夜	電気俱樂部大講堂	勝と西郷	田辺錦波	
333:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年4月13日夜	電気俱樂部大講堂	保定占領	高倉旭子	
333:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年4月13日夜	電気俱樂部大講堂	草鞋長者	水也田呑洲	
333:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年4月13日夜	電気俱樂部大講堂	小松の操二段	藤井義次、藤井和男	和男12歳

333:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年4月13日夜	電気倶楽部大講堂	薩摩の乙女	松岡旭岡	
335:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年6月15日午後5時	電気倶楽部大講堂	羅生門	秋気水	演奏者の変更あり
335:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年6月15日午後5時	電気倶楽部大講堂	城山	白井龍水	
335:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年6月15日午後5時	電気倶楽部大講堂	軍神西住大尉	竹下翠風	
335:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年6月15日午後5時	電気倶楽部大講堂	常陸丸	濱田晃養	
335:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年6月15日午後5時	電気倶楽部大講堂	大楠公	押田旭窃	
335:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年6月15日午後5時	電気倶楽部大講堂	龍の口	輝錦凌	
335:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年6月15日午後5時	電気倶楽部大講堂	詩吟	磯部翠波、丸山甲源、池月篁城、安東蘇洲、鈴木吟亮、竹下翠風	
335:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年6月15日午後5時	電気倶楽部大講堂	衣川	平田旭舟	
335:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年6月15日午後5時	電気倶楽部大講堂	隠岐の島守	吉水錦翁	原作：中村清二博士、作詞作曲：二世吉水錦翁
335:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年6月15日午後5時	電気倶楽部大講堂	堅田落	笈旭晃	
335:11	本社主催名流琵琶の夕	薩筑合同	1939年6月15日午後5時	電気倶楽部大講堂	吉野落二段	鬼塚松寿	
336:10	筑前琵琶演奏会	筑前	1939年7月16日夜	牛込神楽坂倶楽部	白虎隊	井原静子	
336:10	筑前琵琶演奏会	筑前	1939年7月16日夜	牛込神楽坂倶楽部	常陸丸	大津稲子	
336:10	筑前琵琶演奏会	筑前	1939年7月16日夜	牛込神楽坂倶楽部	盲の伝令	柳井旭上	
336:10	筑前琵琶演奏会	筑前	1939年7月16日夜	牛込神楽坂倶楽部	松葉ヶ谷	松尾旭勝	
336:10	筑前琵琶演奏会	筑前	1939年7月16日夜	牛込神楽坂倶楽部	那須与市	椎橋旭代	
336:10	筑前琵琶演奏会	筑前	1939年7月16日夜	牛込神楽坂倶楽部	二〇三高地	福岡旭紅	
336:10	筑前琵琶演奏会	筑前	1939年7月16日夜	牛込神楽坂倶楽部	誉の水馬	渡辺旭積	
336:10	筑前琵琶演奏会	筑前	1939年7月16日夜	牛込神楽坂倶楽部	大森彦七盛長	上堂蘭旭光	
336:10	筑前琵琶演奏会	筑前	1939年7月16日夜	牛込神楽坂倶楽部	大楠公	大津旭紅	
336:10	筑前琵琶演奏会	筑前	1939年7月16日夜	牛込神楽坂倶楽部	肉弾三勇士	佐藤旭逢	
341:11	新年演奏会（予告）	薩筑合同	1940年1月7日午後5時開演	淀橋倶楽部	常陸丸	福田旭菁	342:8、340:10には「皇紀二千六百年記念第一回祝賀本社主催」
341:11	新年演奏会（予告）	薩筑合同	1940年1月7日午後5時開演	淀橋倶楽部	松浦の太鼓	會田峰水	
341:11	新年演奏会（予告）	薩筑合同	1940年1月7日午後5時開演	淀橋倶楽部	旅順の乃木將軍	福岡旭紅	
341:11	新年演奏会（予告）	薩筑合同	1940年1月7日午後5時開演	淀橋倶楽部	伽羅の兜	佐藤旭蓉	
341:11	新年演奏会（予告）	薩筑合同	1940年1月7日午後5時開演	淀橋倶楽部	龍の口	加藤斐水	

341:11	新年演奏会 (予告)	薩筑合同	1940年1月7日午後5時開演	淀橋俱樂部	倉本少佐	海田旭英	
341:11	新年演奏会 (予告)	薩筑合同	1940年1月7日午後5時開演	淀橋俱樂部	舟弁慶	鈴木旭美	
341:11	新年演奏会 (予告)	薩筑合同	1940年1月7日午後5時開演	淀橋俱樂部	敦盛	久下光水	
341:11	新年演奏会 (予告)	薩筑合同	1940年1月7日午後5時開演	淀橋俱樂部	五條橋	大津旭紅	
341:11	新年演奏会 (予告)	薩筑合同	1940年1月7日午後5時開演	淀橋俱樂部	白虎隊	市川東水	
341:11	新年演奏会 (予告)	薩筑合同	1940年1月7日午後5時開演	淀橋俱樂部	誉の水馬	齋藤旭芳	
341:11	新年演奏会 (予告)	薩筑合同	1940年1月7日午後5時開演	淀橋俱樂部	雪晴	田邊錦波	
341:11	新年演奏会 (予告)	薩筑合同	1940年1月7日午後5時開演	淀橋俱樂部	二〇三高地	平田旭舟	
341:11	新年演奏会 (予告)	薩筑合同	1940年1月7日午後5時開演	淀橋俱樂部	彰義隊	藤井義次	
341:11	新年演奏会 (予告)	薩筑合同	1940年1月7日午後5時開演	淀橋俱樂部	勅題合奏		
343:5	皇紀二千六百年 慶祝琵琶の夕 (予告)	薩筑合同	1940年4月11日午後5時 (開場)	電気俱樂部大講堂	奉祝礼拝・黙 禱		
343:5	皇紀二千六百年 慶祝琵琶の夕 (予告)	薩筑合同	1940年4月11日午後5時 (開場)	電気俱樂部大講堂	龍の口	松井旭仙	
343:5	皇紀二千六百年 慶祝琵琶の夕 (予告)	薩筑合同	1940年4月11日午後5時 (開場)	電気俱樂部大講堂	小袖曾我	神田旭仙	
343:5	皇紀二千六百年 慶祝琵琶の夕 (予告)	薩筑合同	1940年4月11日午後5時 (開場)	電気俱樂部大講堂	堅田落	大津旭紅	
343:5	皇紀二千六百年 慶祝琵琶の夕 (予告)	薩筑合同	1940年4月11日午後5時 (開場)	電気俱樂部大講堂	皇紀二千六百年奉祝歌合奏	小絃：海田旭 英、齋藤旭 芳、田中旭 嶺、竹内旭 祥、上堂蘭旭 光	中田比良夫謹作歌、三世橘旭翁謹作曲
343:5	皇紀二千六百年 慶祝琵琶の夕 (予告)	薩筑合同	1940年4月11日午後5時 (開場)	電気俱樂部大講堂	琵琶講談 生 きる悲哀	水也田呑洲	昭和14年度琵琶新聞社賞授与者
343:5	皇紀二千六百年 慶祝琵琶の夕 (予告)	薩筑合同	1940年4月11日午後5時 (開場)	電気俱樂部大講堂	声なき万歳 「噫飯塚部隊 長」	榎本芝水	林柳波作歌、榎本芝水作曲、昭和13 年度琵琶新聞社賞授与者
343:5	皇紀二千六百年 慶祝琵琶の夕 (予告)	薩筑合同	1940年4月11日午後5時 (開場)	電気俱樂部大講堂	別れの盃 合 奏	大坪旭窓、大 坪旭邦	高松春月作歌、橘旭宗作曲
343:5	皇紀二千六百年 慶祝琵琶の夕 (予告)	薩筑合同	1940年4月11日午後5時 (開場)	電気俱樂部大講堂	橘大隊長	田邊錦波	蘇川流琵琶

343:5	皇紀二千六百年 慶祝琵琶の夕 (予告)	薩筑合同	1940年4月11日午後5時 (開場)	電気倶楽部大講堂	田中旭嶺合奏曲 花の夢	田中旭幸、伊東旭華、若林旭洋、星野旭良、村上旭蓮、田中旭嶺	大澤逸足作歌、田中旭嶺作曲、田中旭嶺は昭和14年度琵琶新聞社賞授与者
343:5	皇紀二千六百年 慶祝琵琶の夕 (予告)	薩筑合同	1940年4月11日午後5時 (開場)	電気倶楽部大講堂	大物の浦	一條旭麿	大澤逸足作歌、二世旭翁作曲
343:5	皇紀二千六百年 慶祝琵琶の夕 (予告)	薩筑合同	1940年4月11日午後5時 (開場)	電気倶楽部大講堂	城山 合奏	藤井和男、藤井義次	
343:5	皇紀二千六百年 慶祝琵琶の夕 (予告)	薩筑合同	1940年4月11日午後5時 (開場)	電気倶楽部大講堂	間十次郎の妻	松岡旭岡	長井静泉作歌、松岡旭岡作曲、昭和13年度琵琶新聞社賞授与者
346:10	第1回琵琶詩吟報国会	薩筑合同	1940年6月2日午後6時 (開場)	淀橋倶楽部	桃太郎	竹下美代子	
346:10	第1回琵琶詩吟報国会	薩筑合同	1940年6月2日午後6時 (開場)	淀橋倶楽部	梅林大尉	廣瀬翠紅	翠琵琶
346:10	第1回琵琶詩吟報国会	薩筑合同	1940年6月2日午後6時 (開場)	淀橋倶楽部	湖水乗切	藤田効水	
346:10	第1回琵琶詩吟報国会	薩筑合同	1940年6月2日午後6時 (開場)	淀橋倶楽部	龍の口	富施龍水	錦心流
346:10	第1回琵琶詩吟報国会	薩筑合同	1940年6月2日午後6時 (開場)	淀橋倶楽部	大森彦七	佐藤旭蓉	
346:10	第1回琵琶詩吟報国会	薩筑合同	1940年6月2日午後6時 (開場)	淀橋倶楽部	夜の鶴	岡野嶺水	
346:10	第1回琵琶詩吟報国会	薩筑合同	1940年6月2日午後6時 (開場)	淀橋倶楽部	大石主税	岡田旭稜子	
346:10	第1回琵琶詩吟報国会	薩筑合同	1940年6月2日午後6時 (開場)	淀橋倶楽部	吉野落	白井宏龍	
346:10	第1回琵琶詩吟報国会	薩筑合同	1940年6月2日午後6時 (開場)	淀橋倶楽部	橘大隊長	秋気水	
346:10	第1回琵琶詩吟報国会	薩筑合同	1940年6月2日午後6時 (開場)	淀橋倶楽部	詩吟	数人	
345:(4)	第1回琵琶詩吟報国会 (予告)	薩筑合同	1940年6月2日午後6時 (開場)	淀橋倶楽部	兵士の父	會田峰水	日曜会副会長

354:11	琵琶報国吉例新年演奏会	薩筑合同	1941年1月7日午後5時（開場）	淀橋俱樂部	白虎隊	渡邊宗水	
354:11	琵琶報国吉例新年演奏会	薩筑合同	1941年1月7日午後5時（開場）	淀橋俱樂部	勅題新曲漁村曙	椎橋旭代、植村旭麗、岡田旭稜子、佐藤旭蓉、高畑旭操	
354:11	琵琶報国吉例新年演奏会	薩筑合同	1941年1月7日午後5時（開場）	淀橋俱樂部	五條橋	柳井旭上	
354:11	琵琶報国吉例新年演奏会	薩筑合同	1941年1月7日午後5時（開場）	淀橋俱樂部	大楠公	植村旭麗	
354:11	琵琶報国吉例新年演奏会	薩筑合同	1941年1月7日午後5時（開場）	淀橋俱樂部	旅順の乃木將軍	岡田旭稜子	
354:11	琵琶報国吉例新年演奏会	薩筑合同	1941年1月7日午後5時（開場）	淀橋俱樂部	廟行鎮の肉弾	佐藤旭蓉	
354:11	琵琶報国吉例新年演奏会	薩筑合同	1941年1月7日午後5時（開場）	淀橋俱樂部	湖水乗切	秋気水	
354:11	琵琶報国吉例新年演奏会	薩筑合同	1941年1月7日午後5時（開場）	淀橋俱樂部	西住大尉	佐藤翠葉	
354:11	琵琶報国吉例新年演奏会	薩筑合同	1941年1月7日午後5時（開場）	淀橋俱樂部	国づくし	熊野開堂	
354:11	琵琶報国吉例新年演奏会	薩筑合同	1941年1月7日午後5時（開場）	淀橋俱樂部	羅生門	大津旭紅	
354:11	琵琶報国吉例新年演奏会	薩筑合同	1941年1月7日午後5時（開場）	淀橋俱樂部	二〇三高地	三好旭天	
353:13	本社主催吉例の会（予告）	薩筑合同	1941年1月7日午後5時（開場）	淀橋俱樂部	勝と西郷	田邊錦波	
354:11	琵琶報国吉例新年演奏会	薩筑合同	1941年1月7日午後5時（開場）	淀橋俱樂部	劍武術数番		
356:5	琵琶新聞33周年記念演奏大会	薩摩	1941年4月2日午後5時	産業組合中央会館	西郷隆盛	中澤錦志	臨時出演
356:5	琵琶新聞33周年記念演奏大会	薩摩	1941年4月2日午後5時	産業組合中央会館	龍の口	浅野錦照	飯田胡春作歌、永田錦心作曲
356:5	琵琶新聞33周年記念演奏大会	薩摩	1941年4月2日午後5時	産業組合中央会館	橘大隊長	新谷桂水	吉水経和作歌、永田錦心作曲
356:5	琵琶新聞33周年記念演奏大会	薩摩	1941年4月2日午後5時	産業組合中央会館	威海衛	西田長祐	小田錦蛙作歌、西田長祐作曲
356:5	琵琶新聞33周年記念演奏大会	薩摩	1941年4月2日午後5時	産業組合中央会館	潞安の吹雪	山口錦堂	

356:5	琵琶新聞33周年記念演奏大会	薩摩	1941年4月2日午後5時	産業組合中央会館	鴨川の露	濱田晃養	濱田晃養作詞、濱田晃養作曲
356:5	琵琶新聞33周年記念演奏大会	薩摩	1941年4月2日午後5時	産業組合中央会館	井伊大老	水藤錦穰	石川富士雄作詞、水藤錦穰作曲、舞踊あり
356:5	琵琶新聞33周年記念演奏大会	薩摩	1941年4月2日午後5時	産業組合中央会館	光秀の最期	吉村岳城	吉村岳城作詞、吉村岳城譜付
356:5	琵琶新聞33周年記念演奏大会	薩摩	1941年4月2日午後5時	産業組合中央会館	文福茶釜	中澤錦水	飯田胡春作歌、中澤錦水作曲
356:5	琵琶新聞33周年記念演奏大会	薩摩	1941年4月2日午後5時	産業組合中央会館	水師營	吉水錦翁	福本日南作詞、吉水錦翁作曲
355:6	琵琶新聞33周年記念演奏大会	薩摩	1941年4月2日午後5時	産業組合中央会館	御挨拶	椎橋松亭	
358:4	琵琶新聞三十三周年記念第2回演奏大会	薩摩	1941年6月3日午後5時半	電気協会新講堂	龍の口	秋気水	
358:4	琵琶新聞三十三周年記念第2回演奏大会	薩摩	1941年6月3日午後5時半	電気協会新講堂	常陸丸	仲川秀邦	
358:4	琵琶新聞三十三周年記念第2回演奏大会	薩摩	1941年6月3日午後5時半	電気協会新講堂	召集令	村松影水	
358:4	琵琶新聞三十三周年記念第2回演奏大会	薩摩	1941年6月3日午後5時半	電気協会新講堂	兵士と母	中谷君水	
358:4	琵琶新聞三十三周年記念第2回演奏大会	薩摩	1941年6月3日午後5時半	電気協会新講堂	台湾入	大照秀子	
358:4	琵琶新聞三十三周年記念第2回演奏大会	薩摩	1941年6月3日午後5時半	電気協会新講堂	橘大隊長	中澤錦志	
358:4	琵琶新聞三十三周年記念第2回演奏大会	薩摩	1941年6月3日午後5時半	電気協会新講堂	海軍士官の母	水越蘆操	
358:4	琵琶新聞三十三周年記念第2回演奏大会	薩摩	1941年6月3日午後5時半	電気協会新講堂	錦の御旗	林龍山月	
358:4	琵琶新聞三十三周年記念第2回演奏大会	薩摩	1941年6月3日午後5時半	電気協会新講堂	河中島	田邊錦波	
358:4	琵琶新聞三十三周年記念第2回演奏大会	薩摩	1941年6月3日午後5時半	電気協会新講堂	楠木正成	近藤松園	
360:6	名曲鑑賞の夕(予告)	薩摩	1941年9月22日午後5時	電気倶楽部大講堂	朝倉豊伍長	濱田晃養	会員券1枚1円20銭。抽籤順、7番目
360:6	名曲鑑賞の夕(予告)	薩摩	1941年9月22日午後5時	電気倶楽部大講堂	城山	西田長祐	1番目
360:6	名曲鑑賞の夕(予告)	薩摩	1941年9月22日午後5時	電気倶楽部大講堂	吉野落二段	吉水錦翁	9番目
360:6	名曲鑑賞の夕(予告)	薩摩	1941年9月22日午後5時	電気倶楽部大講堂	別れの盃	武本錦櫻	4か5番目
360:6	名曲鑑賞の夕(予告)	薩摩	1941年9月22日午後5時	電気倶楽部大講堂	桂小五郎	中澤錦水	3番目
360:6	名曲鑑賞の夕(予告)	薩摩	1941年9月22日午後5時	電気倶楽部大講堂	興福寺の一夜	山口錦堂	6番目
360:6	名曲鑑賞の夕(予告)	薩摩	1941年9月22日午後5時	電気倶楽部大講堂	常陸丸	浅野錦照	2番目

360:6	名曲鑑賞の夕 (予告)	薩摩	1941年9月22日午後5時	電気倶楽部大講堂	家康と元忠	新谷桂水	曲目は362:7参照、4か5番目
360:6	名曲鑑賞の夕 (予告)	薩摩	1941年9月22日午後5時	電気倶楽部大講堂	挨拶	椎橋松亭	
360:6	名曲鑑賞の夕 (予告)	薩摩	1941年9月22日午後5時	電気倶楽部大講堂	淀君	水藤錦穰	8番目
366:6	新年琵琶名流の会	薩筑合同	1942年1月11日午後3時 (開場)	電気倶楽部大講堂	不明	秋山錦賜	
366:6	新年琵琶名流の会	薩筑合同	1942年1月11日午後3時 (開場)	電気倶楽部大講堂	羅生門	伊藤旭暢	佐藤菊南作詞、橘旭翁作曲
366:6	新年琵琶名流の会	薩筑合同	1942年1月11日午後3時 (開場)	電気倶楽部大講堂	飯塚部隊長	浅野錦照	
366:6	新年琵琶名流の会	薩筑合同	1942年1月11日午後3時 (開場)	電気倶楽部大講堂	二〇三高地	戸川旭巴	高田恵統作詞、橘旭翁作曲
366:6	新年琵琶名流の会	薩筑合同	1942年1月11日午後3時 (開場)	電気倶楽部大講堂	船弁慶	中谷君水	飯田胡春作歌、永田錦心譜付
366:6	新年琵琶名流の会	薩筑合同	1942年1月11日午後3時 (開場)	電気倶楽部大講堂	大楠公	一條旭麿	飯田胡春作歌、橘旭翁作譜
366:6	新年琵琶名流の会	薩筑合同	1942年1月11日午後3時 (開場)	電気倶楽部大講堂	吉田松陰	武本錦櫻	小田一二作詞、山口錦堂作曲
366:6	新年琵琶名流の会	薩筑合同	1942年1月11日午後3時 (開場)	電気倶楽部大講堂	元寇	吉村岳城	井上剣花坊作歌、吉村岳城譜付
366:6	新年琵琶名流の会	薩筑合同	1942年1月11日午後3時 (開場)	電気倶楽部大講堂	勇士の家	橘旭翁	西條八十作詞、橘旭翁作曲
366:6	新年琵琶名流の会	薩筑合同	1942年1月11日午後3時 (開場)	電気倶楽部大講堂	路安の吹雪	山口錦堂	小田一二作詞、山口錦堂作曲
366:6	新年琵琶名流の会	薩筑合同	1942年1月11日午後3時 (開場)	電気倶楽部大講堂	曲垣平九郎	水藤錦穰	田中濤外作詞、水藤錦穰作曲、鼓・笛入り
366:6	新年琵琶名流の会	薩筑合同	1942年1月11日午後3時 (開場)	電気倶楽部大講堂	新曲 夜討曾我	西田長祐	湯柳紀作作詞、西田長祐作曲
365:14	新年琵琶名流の会	薩筑合同	1942年1月11日午後3時 (開場)	電気倶楽部大講堂	川中島	新谷桂水	吉水経和作歌、永田錦心譜付
365:14	新年琵琶名流の会	薩筑合同	1942年1月11日午後3時 (開場)	電気倶楽部大講堂	御挨拶	椎橋松亭	
368:5	永田錦心十五年祭琵琶名流の夕	薩筑合同	1942年3月20日午後5時 (開会)	産業組合中央会館	手向の曲	西田長祐	

368:5	永田錦心十五年祭琵琶名流の夕	薩筑合同	1942年3月20日午後5時 (開会)	産業組合中央会館	五條橋	大津旭紅	
368:5	永田錦心十五年祭琵琶名流の夕	薩筑合同	1942年3月20日午後5時 (開会)	産業組合中央会館	大楠公	一條旭磨	
368:5	永田錦心十五年祭琵琶名流の夕	薩筑合同	1942年3月20日午後5時 (開会)	産業組合中央会館	ハワイ海戦	武本錦櫻	
368:5	永田錦心十五年祭琵琶名流の夕	薩筑合同	1942年3月20日午後5時 (開会)	産業組合中央会館	川中島	中谷君水	
368:5	永田錦心十五年祭琵琶名流の夕	薩筑合同	1942年3月20日午後5時 (開会)	産業組合中央会館	所感	吉村岳城	
368:5	永田錦心十五年祭琵琶名流の夕	薩筑合同	1942年3月20日午後5時 (開会)	産業組合中央会館	井伊大老	水藤錦穰	鼓、舞踊入り
368:5	永田錦心十五年祭琵琶名流の夕	薩筑合同	1942年3月20日午後5時 (開会)	産業組合中央会館	興福寺の一夜	山口錦堂	祭主
368:5	永田錦心十五年祭琵琶名流の夕	薩筑合同	1942年3月20日午後5時 (開会)	産業組合中央会館	瀧口入道	西田長祐	
368:5	永田錦心十五年祭琵琶名流の夕	薩筑合同	1942年3月20日午後5時 (開会)	産業組合中央会館	羅生門	橘旭翁	
366:11	永田錦心十五年祭有志名流琵琶大会 (予告)	薩筑合同	1942年3月20日午後5時 (開会)	産業組合中央会館	誉の水馬	前田旭操	
367:4	永田錦心十五年祭琵琶会 (予告)	薩筑合同	1942年3月20日午後5時	産業組合中央会館	橘大隊長	山口速水	
379:8	琵琶新聞創刊満35年記念皇軍家族慰安新春の演奏大会	薩筑合同	1943年1月12日午後5時、 午後9時10分 (閉会)	電気倶楽部大講堂	城山	石田錦穂	
379:8	琵琶新聞創刊満35年記念皇軍家族慰安新春の演奏大会	薩筑合同	1943年1月12日午後5時、 午後9時10分 (閉会)	電気倶楽部大講堂	実盛	一條旭磨	
379:8	琵琶新聞創刊満35年記念皇軍家族慰安新春の演奏大会	薩筑合同	1943年1月12日午後5時、 午後9時10分 (閉会)	電気倶楽部大講堂	二〇三高地	大津旭紅	
379:8	琵琶新聞創刊満35年記念皇軍家族慰安新春の演奏大会	薩筑合同	1943年1月12日午後5時、 午後9時10分 (閉会)	電気倶楽部大講堂	台湾入	大照秀子	
379:8	琵琶新聞創刊満35年記念皇軍家族慰安新春の演奏大会	薩筑合同	1943年1月12日午後5時、 午後9時10分 (閉会)	電気倶楽部大講堂	那須与一	高橋櫻泉	
379:8	琵琶新聞創刊満35年記念皇軍家族慰安新春の演奏大会	薩筑合同	1943年1月12日午後5時、 午後9時10分 (閉会)	電気倶楽部大講堂	菅公	高倉旭子	急病欠席

379:8	琵琶新聞創刊満35年記念皇軍家族慰安新春の演奏大会	薩筑合同	1943年1月12日午後5時、午後9時10分（閉会）	電気倶楽部大講堂	小松の操二段	辻東舟	
379:8	琵琶新聞創刊満35年記念皇軍家族慰安新春の演奏大会	薩筑合同	1943年1月12日午後5時、午後9時10分（閉会）	電気倶楽部大講堂	兵士と母	中谷君水	
379:8	琵琶新聞創刊満35年記念皇軍家族慰安新春の演奏大会	薩筑合同	1943年1月12日午後5時、午後9時10分（閉会）	電気倶楽部大講堂	鉢の木	押田旭窃	急遽出演
379:8	琵琶新聞創刊満35年記念皇軍家族慰安新春の演奏大会	薩筑合同	1943年1月12日午後5時、午後9時10分（閉会）	電気倶楽部大講堂	川中島	藤井義次	
381:8	米英撃滅祈願琵琶名流演奏会	薩筑合同	1943年5月3日午後5時（開会）、午後8時半（閉会）	電気協会新講堂	国民儀礼		琵琶歌と詩歌で日本精神の高揚・士気の鼓舞に努めるべく協同、歌詞あり。筑前琵琶宗家後援。第一部
381:8	米英撃滅祈願琵琶名流演奏会	薩筑合同	1943年5月3日午後5時（開会）、午後8時半（閉会）	電気協会新講堂	桜合奏	関口仲子、吉澤美以子	
381:8	米英撃滅祈願琵琶名流演奏会	薩筑合同	1943年5月3日午後5時（開会）、午後8時半（閉会）	電気協会新講堂	本能寺	黒田如水	
381:8	米英撃滅祈願琵琶名流演奏会	薩筑合同	1943年5月3日午後5時（開会）、午後8時半（閉会）	電気協会新講堂	伽羅の兜	古山旭琉	
381:8	米英撃滅祈願琵琶名流演奏会	薩筑合同	1943年5月3日午後5時（開会）、午後8時半（閉会）	電気協会新講堂	特殊潜航艇	山口速水	
381:8	米英撃滅祈願琵琶名流演奏会	薩筑合同	1943年5月3日午後5時（開会）、午後8時半（閉会）	電気協会新講堂	禅寺と正宗	上山旭寿	
381:8	米英撃滅祈願琵琶名流演奏会	薩筑合同	1943年5月3日午後5時（開会）、午後8時半（閉会）	電気協会新講堂	白虎隊	仲川秀邦	
381:8	米英撃滅祈願琵琶名流演奏会	薩筑合同	1943年5月3日午後5時（開会）、午後8時半（閉会）	電気協会新講堂	橘中佐	原田旭柳	
381:8	米英撃滅祈願琵琶名流演奏会	薩筑合同	1943年5月3日午後5時（開会）、午後8時半（閉会）	電気協会新講堂	悼空軍勇士藤林少佐	宮川静江	第二部、江上髯峰作詩
381:8	米英撃滅祈願琵琶名流演奏会	薩筑合同	1943年5月3日午後5時（開会）、午後8時半（閉会）	電気協会新講堂	挽松野大尉珊瑚海戦死	戸川旭巴、洞簫：湯澤天真	湯澤天真作詩
381:8	米英撃滅祈願琵琶名流演奏会	薩筑合同	1943年5月3日午後5時（開会）、午後8時半（閉会）	電気協会新講堂	母の夢見	新谷桂水	藤林紫鳳子詞（藤林保之少佐母堂）
381:8	米英撃滅祈願琵琶名流演奏会	薩筑合同	1943年5月3日午後5時（開会）、午後8時半（閉会）	電気協会新講堂	噫松野大尉（伴奏入）	一條旭磨	

383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開 会）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	国民儀礼		
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開 会）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	挨拶	椎橋松亭	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開 会）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	連吟	古家絃櫻、古 家詩風	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開 会）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	宿生田	古家詩風	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開 会）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	常磐抱孤囀	西原江風	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開 会）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	龍の口	田島絃月	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開 会）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	桶狭間	古家絃櫻	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開 会）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	川中島	橋本絃穰	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開 会）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	月下の陣	川又絃童	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開 会）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	勸進帳	児島絃雨	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開 会）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	武蔵野	辻靖剛	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開 会）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	追悼歌	佐藤翠葉、大 熊翠香、小島 翠江、小島翠 春、廣瀬旭 紅、竹下翠 子、絃：竹下 翠風	荒牧輝鳳作詞、竹下翠風作曲
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開 会）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	広瀬中佐	建部干城	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開 会）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	城山	大照秀子	

383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開會）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	講談	田邊南隣	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開會）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	船弁慶	村松影水	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開會）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	台湾入	黒田如水	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開會）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	本能寺	田邊錦波	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開會）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	潯陽江	吉水錦翁	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開會）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	長唄	杵屋勝之一党	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開會）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	講談	田邊南龍	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開會）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	詩吟	糟谷耕象	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開會）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	劍舞	鈴木凱山	
383:8	薩摩絃風居士追悼演奏大会	薩筑合同	1943年7月10日正午（開會）、午後4時半（終了）	松坂屋講堂	特殊潜航艇	藤井義次	

〈凡例〉

- ・『NHK番組確定表』から琵琶番組を収集し、筆者が作表した。欠号や判読できない文字がある場合には、『読売新聞』や『東京朝日新聞』を参照した。また『NHK番組確定表』以外の資料を典拠とした場合には、『資料名』として備考に記した。
- 略記例：『NHK番組確定表』→『確定表』、『読売新聞』→『読売』、『東京朝日新聞』→『朝日』、『和楽抄録』（1926～29年分）→『和楽』、『邦楽放送記録』（1950～51年分）→『邦楽』
- ・本目録に収載した番組は、日本の琵琶に限った。
- ・資料の表記は新字体・旧字体が混在しているため、演奏者名・曲名は新字体で表した。
- ・「時間」欄は、詳細な放送時間の記載がない場合は、「以降」とした。なお、『読売新聞』のラジオ欄に放送時間が具体的に記されている場合には、そちらを記入した。
- ・「種目」欄は、記載がある場合には『NHK番組確定表』を参照し、ない場合は演奏者から推測して記入した。また種目が判別できない場合には「不明」とした。
「種目」では「琵琶」を省略して記載し、薩摩琵琶のうち正派は「薩摩」と記載した。
例：筑前琵琶→「筑前」、錦心流琵琶→「錦心流」
- ・番組名は、「琵琶」のみ以外のもの（「〇〇の夕」「新人の午後」等）の場合に、備考欄に記入した。
- ・放送種別は第一放送は記入せず、第二放送（都市放送）・海外AK放送・東亜向放送の場合には、備考欄に「第二」「都市」「海外」「東亜」とそれぞれ記入した。
- ・放送分数は、『和楽抄録』や番組確定表に手書きで記載がある場合のみ備考欄に記入した。
- ・中継放送の場合、備考欄に記入した。
- ・「〇〇の午後」は「午後」に統一した。
- ・同時代の新作曲には、色を付けた。

【表5】琵琶放送番組目録

放送年月日	時間	種目	演目	出演者	備考
19250328	不明	薩摩	台湾入	田辺蘇川	蘇川流
19250403	不明	筑前	橘大隊長	筑紫旭一臣	
19250408	午後7:30以降	筑前	壇特山	橘旭紘	花祭
19250420	午後7:15以降	錦心流	川中島	榎本芝水	
19250422	午後7:■以降	筑前	大高源吾	■藤旭■	
19250426	午後7:15以降	錦心流	石童丸	畑秀水	
19250501	午後7:15以降	薩摩	乃木大将	四元義一	
19250505	午後7:15以降	筑前	湖水渡	松本旭鶴	
19250509	午後7:15以降	薩摩	吉野落二段目	平田龍宗	
19250515	午後7:15以降	錦心流	西郷隆盛	榎本芝水	
19250519	午後7:15以降	薩摩	小敦盛下段	敦盛：平田龍宗、 熊谷：中泉千尋	連弾
19250523	午後7:15以降	筑前	項羽と虞美人の別れ	松本旭鶴	
19250527	午後0:00	筑前	日本海々戦	金地旭園	
19250527	午後0:00以降	錦心流	常陸丸	廣井礒水	
19250614	午後0:00	薩摩	本能寺	田辺錦波	
19250623	午後7:15以降	筑前	義士の本懐	富永旭昇	
19250629	午後7:15以降	筑前	菅公	鳥取旭歌	
19250707	午後7:15以降	薩摩	あゝ小野訓導	君塚篁陵	
19250713	午後7:15以降	筑前	佐渡の若竹（阿新丸）	豊田旭	出演者名ママ、「豊田旭穰」か
19250730	午後7:45	錦心流	乃木將軍	榎本芝水	
19250804	午後7:45以降	筑前	常磐御前伏見の吹雪	松本旭鶴	
19250808	午後7:45	高峰	台湾入	高峰筑風	
19250809	午後0:10	高峰	宇治川	高橋筑恵	
19250811	午後3:30	お伽	一寸法師	松田静水	
19250816	午後7:45以降	筑前	仏御前	今林旭葉	
19250817	午後3:30	子供	白虎隊	水藤玉水	
19250825	午後7:45以降	錦心流	橘大隊長	榎本芝水	
19250830	午後7:45以降	高峰	高山彦九郎	高峰筑風	
19250904	午後7:25以降	錦心流	舟弁慶	雨宮薫水・谷暉水・小山内賞水	
19250906	午後1:00以降	不明	桜	遠山霞道	

19250911	午後7:25以降	筑前	四條曙	豊田旭穂	出演者名ママ、「豊田旭穰」か
19250913	午後7:25以降	筑前	乃木大将	橘旭翁	
19250925	午後6:40	お伽	浦島太郎	木田筑高・高橋筑恵	
19250929	午後6:40	お伽	狸と鈴虫	瀧旭豊	
19251001	午後7:25以降	錦心流	本能寺	榎本芝水	
19251006	午後7:20以降	高峰	日蓮上人	高峰筑風	
19251012	午後7:25以降	薩摩	吉野落下段	四元義一	
19251014	午後1:00	錦心流	湖水乗切	谷暉水	
19251017	午後0:10以降	筑前	太田道灌	豊田旭穰	新嘗祭
19251019	午後2:40	筑前	義士の討入	高野旭嵐、箏伴奏：高野旭方	
19251022	午後1:40	筑前	霊馬の漣	金地旭園	
19251024	午後2:40	錦心流	龍の口	松田静水	
19251027	午後1:40	高峰	南部坂	唐沢筑端	
19251030	午後1:40	薩摩	彰義隊	小川岳陵	
19251102	午後1:40	筑前	五條橋	松本旭鶴	
19251104	午後7:25以降	薩摩	旅順開城下段	吉村岳城	
19251109	午後7:25以降	筑前	坂本龍馬	筑紫旭一臣	
19251112	午後0:10	高峰	小督の局	杉山筑枝	
19251115	午後7:25以降	高峰	川中島	高峰筑風	
19251120	午後8:30頃	薩摩	錦の御旗	永江鶴嶺	
19251130	午後0:10	高峰	川中島	唐沢筑端	
19251203	午後7:25以降	薩摩	平忠度	足立蘆光	
19251208	午後9:30頃	薩摩	本能寺	牧野錦光	
19251211	午後8:00頃	薩摩	金剛石	小田原国尊	
19251214	午後8:30頃	高峰	赤垣源蔵	高峰筑風	義士祭
19251218	午後8:40頃	筑前	菅公	三好旭天	
19251221	午後8:30頃	高峰	城山	松本筑鮮・水野筑城	
19251226	午後8:30	錦心流	石童丸	雨宮薫水	
19260104	午後6:30	お伽	五條橋	日野千代子	
19260107	午後8:00頃	高峰	湖水渡	高峰筑風	
19260113	午後8:20頃	錦心流	西郷隆盛	榎本芝水	
19260118	午後8:00頃	筑前	荒乳関	橘旭紘	
19260119	午後8:30	高峰	河水清	木田筑高・杉山筑枝・唐沢筑端・高橋筑恵	
19260124	午後8:00頃	筑前	石田三成	西頭旭総	
19260128	午後8:50頃	錦心流	常陸丸	中澤錦水	
19260131	午後8:50頃	錦心流	常陸丸	中澤錦水	
19260202	午後9:00頃	薩摩	川中島	薩摩絃風	
19260205	午後8:30頃	錦心流	恩讐の彼方へ	坂井申水	
19260214	午後9:00	錦心流	吉野落	水藤玉水	
19260221	午後8:30	高峰	小楠公	高峰筑風	
19260227	午後9:00	薩摩	威海衛	藤井義次	
19260307	午後2:00	薩摩	小敦盛（初段）	伊集院鶴城	
19260310	午後8:30	筑前	橋中佐	豊田旭穰	
19260318	午後9:00頃	薩摩	台湾入り	小田原国尊	
19260321	午後8:30	高峰	村上喜剣	高峰筑風	
19260331	午後8:30	薩摩	橋弁慶	シテ：牧野錦光、 ワキ：牧野錦双、 地方：平錦凌外八氏、 四絃：三浦錦 欧外三氏	掛合

19260403	午後1:00頃	薩摩	別れの盃	田辺蘇川	
19260409	午後8:30	筑前	鶴越	岡部瑞蘭	
19260414	午後8:00	高峰	鳥羽の恋塚	松本筑鮮	
19260419	午後8:30	筑前	小栗栖	中村旭畦	
19260421	午後8:30頃	薩摩	九連城	永江鶴嶺	
19260424	午後8:00	高峰	小敦盛	高峰筑風	
19260501	午後8:00	錦心流	本能寺	雨宮薫水	
19260504	午後8:30	筑前	太田道灌	加藤三千枝	
19260515	午後8:00頃	薩摩	別れの国歌	肥後錦獅	
19260519	午後8:30	筑前	阿新丸	高倉旭子	
19260520	午後8:00頃	高峰	宇治川	高峰筑風	
19260527	午後8:30	薩摩	国船	西幸吉	
19260527	午後8:30	薩摩	国守	西幸吉	
19260602	午後8:30	錦心流	川中島	榎本芝水	
19260606	午後9:00頃	高峰	志士の鑑	唐沢筑瑞	
19260615	午後8:30	筑前	玄海の仇浪	鹿毛旭刀	
19260621	午後8:30	筑前	菅公	寺島旭崇	
19260627	午後8:00頃	高峰	山崎合戦	高峰筑風	
19260703	午後8:00頃	薩摩	雪晴れ	田辺錦波	
19260709	午後8:30	筑前	大高源吾	筑紫旭一臣	
19260718	午後3:00頃	高峰	白虎隊	小林筑峰	
19260721	午後8:40	薩摩	小敦盛	西田岳仙	
19260730	午後1:30	高峰	乃木將軍	高峰筑風	
19260802	午後8:30	薩摩	湖水渡	小田原国尊	山と水の週間第二夜 「水」に囲む薩摩琵琶
19260812	午後8:00頃	筑前	弁の内侍	岡部瑞蘭	
19260816	午後8:30頃	薩摩	台湾入り	中山正良	
19260822	午後2:50	筑前	吉岡大佐	明正寺春子	45分 (『和楽』)
19260824	午後8:30	薩摩	龍の口	小出新泉	36分 (『和楽』)
19260905	午後8:30	高峰	松の下露	高峰筑風	21分 (『和楽』)
19260910	午後8:30頃	筑前	豊太閤	橘旭宗	25分 (『和楽』)
19260916	午後8:30	錦心流	雪晴れ	山口錦堂	39分 (『和楽』)
19260924	午後2:30	薩摩	城山	能勢雅晴	20分 (『和楽』)
19260930	午後0:10	筑前	扇の的	芳野霞園	17分 (『和楽』)
19261006	午後9:00頃	筑前	湖水渡	谷口旭香	30分 (『和楽』)
19261009	午後8:30	錦心流	別れの盃	中澤錦水	31分 (『和楽』)
19261014	午後9:00頃	高峰	血染の雪	高橋筑霞	19分 (『和楽』)
19261021	午後8:30頃	錦心流	松の間	榎本芝水	34分 (『和楽』)
19261031	午後2:10	筑前	乳人政岡	安部旭洲	29分 (『和楽』)
19261102	午後8:30	薩摩	白虎隊	君塚篁陵	21分 (『和楽』)
19261106	午後8:30頃	筑前	安宅の関	松本旭鶴	24分 (『和楽』)
19261108	午後0:10	薩摩	河中島	田辺錦波	30分 (『和楽』)
19261111	午後8:00頃	筑前	五條橋	花田旭霞悠	24分 (『和楽』)
19261116	午後8:00	筑前	靈馬のさゞなみ	豊田旭穰	27分 (『和楽』)
19261121	午後9:10頃	高峰	児島高德	唐沢筑瑞	23分 (『和楽』)
19261126	午後8:30頃	錦心流	橘大隊長	大館州水	30分 (『和楽』)
19261129	午後0:10	薩摩	毒饅頭	松田翠濤	23分 (『和楽』)
19261204	午後8:30頃	高峰	後藤又兵衛	高峰筑風	23分 (『和楽』)
19261207	午後8:30頃	薩摩	元寇の乱	吉村岳城	29分 (『和楽』)
19261214	午後8:00	錦心流	山科の別れ	榎本芝水	義士の夕、37分 (『和楽』)
19270106	午後8:30頃	高峰	笠置の御夢	高峰筑風	19分 (『和楽』)
19270113	午後8:30頃	錦心流	西郷隆盛	雨宮薫水	24分 (『和楽』)
19270116	午後8:00頃	筑前	四條畷	高倉旭子	24分 (『和楽』)
19270119	午後8:30頃	錦心流	舟弁慶	水藤錦穰	26分 (『和楽』)
19270123	午後8:00頃	薩摩	川中島	小田原国尊	20分 (『和楽』)

19270128	午後9:00頃	筑前	本能寺	山田旭海	28分 (『和楽』)
19270201	午後8:30頃	錦心流	龍の口	福澤錦凌	33分 (『和楽』)
19270206	午後8:00頃	高峰	大正天皇奉悼歌	木田筑高・桜井筑香・唐沢筑瑞・高橋筑恵	19分 (『和楽』)
19270210	午後8:00頃	薩摩	弁内侍	足立蘆光	37分 (『和楽』)
19270213	午後7:25以降	高峰	弁内侍	高峰筑風	演芸玉手箱、19分 (『和楽』)
19270216	午後8:00	薩摩	光秀の最後	吉村岳城	43分 (『和楽』)
19270219	午後8:30頃	筑前	屋島	西頭旭華	33分 (『和楽』)
19270222	午後8:30頃	錦心流	石童丸	榎本芝水	38分 (『和楽』)
19270225	午後8:20頃	薩摩	勸進帳	薩摩絃風	43分 (『和楽』)
19270301	午後8:30頃	筑前	梅田雲浜	秋根旭恵	21分 (『和楽』)
19270307	午後8:30頃	薩摩	乃木将軍	松田翠濤	28分 (『和楽』)
19270314	午後0:10	錦心流	白虎隊	小田糧水	28分 (『和楽』)
19270317	午後8:30頃	高峰	血染の雪	桜井筑香	18分 (『和楽』)
19270318	午後6:00	童謡	野の芽・山の芽	渡辺栄子・前田愛子・前田正子、琵琶及琴伴奏：金地旭園・竹内旭祥・田中旭嶺・豊田旭穰	子供の時間
19270318	午後6:00	童謡	春の風	渡辺栄子・前田愛子・前田正子、琵琶及琴伴奏：金地旭園・竹内旭祥・田中旭嶺・豊田旭穰	子供の時間
19270318	午後6:00	童謡	仔鳥	渡辺栄子・前田愛子・前田正子、琵琶及琴伴奏：金地旭園・竹内旭祥・田中旭嶺・豊田旭穰	子供の時間
19270318	午後6:00	童謡	鳥の手紙	渡辺栄子・前田愛子・前田正子、琵琶及琴伴奏：金地旭園・竹内旭祥・田中旭嶺・豊田旭穰	子供の時間
19270318	午後6:00	童謡	でん／＼虫	渡辺栄子・前田愛子・前田正子、琵琶及琴伴奏：金地旭園・竹内旭祥・田中旭嶺・豊田旭穰	子供の時間
19270318	午後6:00	童謡	こん／＼きつね	渡辺栄子・前田愛子・前田正子、琵琶及琴伴奏：金地旭園・竹内旭祥・田中旭嶺・豊田旭穰	子供の時間

19270318	午後6:00	童謡	こん／＼小山	渡辺栄子・前田愛子・前田正子、琵琶及琴伴奏：金地旭園・竹内旭祥・田中旭嶺・豊田旭穰	子供の時間
19270322	午後8:30頃	筑前	坂本龍馬	近藤旭昂	26分（『和楽』）
19270328	午後8:30頃	高峰	宇治川	唐沢筑瑞	22分（『和楽』）
19270403	午後8:00頃	高峰	広瀬中佐	高峰筑風	神武天皇祭
19270407	午後9:00頃	筑前	檀特山	田中旭嶺	花まつりの夕、38分（『和楽』）
19270413	午後8:20頃	薩摩	桜狩	歌・四絃：牧野錦光、四絃：酒井錦翠・櫛田錦松、マンドリン：中山錦鳳	花の週間第四夜、19分（『和楽』）
19270420	午後8:30頃	筑前	大高源吾	日野千代子	23分（『和楽』）
19270425	午後8:30頃	錦心流	西郷隆盛	新谷桂水	31分（『和楽』）
19270429	午後1:00	その他	千代の寿	新鱸水・小幡鶴桜	天長節、16分（『和楽』）
19270503	午後9:00頃	筑前	鬼界ヶ島	中村旭観	29分（『和楽』）
19270507	午後8:30頃	筑前	孝女の仇討	安部旭栄	36分（『和楽』）
19270515	午後8:30頃	錦心流	雪晴れ	榎本芝水	42分（『和楽』）
19270527	午後8:50頃	薩摩	日本海大海戦	佐藤岳洋	海軍記念日、25分（『和楽』）
19270529	午後1:30頃	高峰	舌切雀	大絃：遠藤筑陽、本絃：唐沢筑瑞・桜井筑香、甲絃：木田筑高・長谷川筑桜、唱歌：高峰三枝子・藤平寿美子外数名	三重奏、15分（『和楽』）
19270529	午後1:30頃	高峰	双六歌	大絃：遠藤筑陽、本絃：唐沢筑瑞・桜井筑香、甲絃：木田筑高・長谷川筑桜、唱歌：高峰三枝子・藤平寿美子外数名	三重奏、15分（『和楽』）
19270603	午後7:25以降	錦心流	本能寺	中澤錦水	34分（『和楽』）
19270606	午後8:00	筑前	名残の桜	松本旭一光	24分（『和楽』）
19270608	午後8:20頃	薩摩	橘大隊長	田辺蘇川	31分（『和楽』）
19270612	午後8:00頃	高峰	川中島	高峰筑風	24分（『和楽』）
19270617	午後8:40	錦心流	屋島の誉	水藤錦穰	24分（『和楽』）
19270622	午後8:20頃	薩摩	彰義隊	吉村岳城	23分（『和楽』）
19270705	午後8:50頃	筑前	大高源吾	押田旭窃	22分（『和楽』）
19270710	午後7:25	筑前	小敦盛	吉原道恵	27分（『和楽』）
19270715	午後9:00頃	高峰	台湾入り	高峰筑風	記念放送第四日、22分（『和楽』）
19270718	午後8:00頃	錦心流	龍の口	榎本芝水	記念放送第七日、36分（『和楽』）
19270721	午後8:20頃	筑前	実盛	豊田旭穰	28分（『和楽』）
19270727	午後8:40	錦心流	羅生門	秋本錦汀	35分（『和楽』）
19270803	午後8:20頃	錦心流	弁内侍	川又畔水	24分（『和楽』）
19270814	午後2:10頃	薩摩	毒饅頭	小田原国尊	33分（『和楽』）
19270823	午後8:30頃	筑前	嫩源氏	岡部瑞蘭	19分（『和楽』）
19270828	午後2:00頃	筑前	川中島	寺島旭崇	24分（『和楽』）
19270828	午後3:00頃	薩摩	白虎隊	田辺錦波	30分（『和楽』）
19270828	午後4:00頃	錦心流	湖水乗切	水藤錦穰	27分（『和楽』）
19270904	午後8:30頃	薩摩	旅順口	阿部吟風	28分（『和楽』）

19270907	午後8:00	筑前	青の洞門	竹内旭祥	30分 (『和楽』)
19270911	午後2:30頃	錦心流	木村重成	谷暉水	28分 (『和楽』)
19270918	午後7:25	筑前	蟬丸	橘旭紘	27分 (『和楽』)
19270923	午後7:25	高峰	小督の局	本絃：高橋筑恵・唐沢筑瑞・桜井筑香・杉山筑枝、甲絃：木田筑高・長谷川筑桜	日比谷公園音楽堂中継放送、21分 (『和楽』)
19270924	午後7:25	薩摩	城山	西幸吉	20分 (『和楽』)
19271001	午後8:20頃	錦心流	別れの盃	松田錦鳳	27分 (『和楽』)
19271004	午後8:30頃	筑前	間重次郎の妻	松岡旭岡	38分 (『和楽』)
19271009	午後2:00頃	筑前	湖水渡	日野千代子	25分 (『和楽』)
19271012	午後8:30頃	薩摩	伊豆の御難	西田岳仙	31分 (『和楽』)
19271017	午後8:00頃	高峰	高山彦九郎	高峰筑風	神嘗祭、22分 (『和楽』)
19271020	午後8:00頃	筑前	舟弁慶	高倉旭子	29分 (『和楽』)
19271023	午後0:50頃	筑前	扇の的	都築春弾	22分 (『和楽』)
19271031	午後8:30頃	高峰	常陸丸	唐沢筑瑞	寄席の夕、18分 (『和楽』)
19271106	午後0:30頃	錦心流	西郷隆盛	藤原純水	25分 (『和楽』)
19271111	午後8:30頃	錦心流	雪晴れ	雨宮錦峰	平和記念日、34分 (『和楽』)
19271115	午後8:10頃	筑前	太田道灌	長瀬旭龍	26分 (『和楽』)
19271118	午後8:00頃	高峰	志士の鑑	桜井筑香	22分 (『和楽』)
19271122	午後9:00頃	薩摩	旅順開城	吉村岳城	32分 (『和楽』)
19271127	午後1:30頃	筑前	五條橋	谷口旭香	30分 (『和楽』)
19271202	午後8:00頃	錦心流	毒饅頭	葛野蘭水	28分 (『和楽』)
19271206	午後8:00	薩摩	鉢の木	田辺蘇川	27分 (『和楽』)
19271209	午後8:00	薩摩	王政復古	西久信	23分 (『和楽』)
19271212	午後7:25以降	筑前	衣川	秋根旭恵	33分 (『和楽』)
19271216	午後8:00	薩摩	川中島	藤井義次	31分 (『和楽』)
19271224	午後8:00頃	高峰	宇治川	金山筑光	20分 (『和楽』)
19280102	午後7:25以降	高峰	富士山	高峰筑風	
19280102	午後7:25以降	高峰	旭日	高峰筑風	
19280109	午後8:30頃	錦心流	乃木将軍	榎本芝水	
19280115	午後7:25	筑前	湖水渡	豊田旭穰	
19280121	午後8:00	錦心流	屋島の誉	水藤錦穰	
19280129	午後3:00頃	高峰	山色新	本絃・歌：唐沢筑瑞・桜井筑香・杉山筑枝、甲絃：木田筑高・長谷川筑桜	
19280131	午後7:25以降	筑前	橋弁慶	金地旭園	寄席の夕
19280202	午後8:20頃	薩摩	鉢の木	林鶴殿	
19280207	午後8:30頃	錦心流	龍の口	小松懸水	
19280210	午後8:00	高峰	扇の的	高峰筑風	琵琶の夕
19280210	午後8:25頃	錦心流	石童丸	榎本芝水	琵琶の夕
19280210	午後8:50頃	筑前	仏御前	豊田旭穰	琵琶の夕
19280210	午後9:15頃	薩摩	光秀の最後	吉村岳城	琵琶の夕
19280211	午後1:00	薩摩	紀元節	西久信	
19280218	午後8:30頃	薩摩	旅順口	小田原国尊	
19280306	午後7:25以降	筑前	山内一豊の妻	日野千代子	婦人の夕
19280309	午後8:30頃	薩摩	本能寺	田辺錦波	
19280311	午後8:10頃	筑前	別れの盃	高倉旭子	
19280314	午後8:30頃	錦心流	龍の口	中澤錦水	
19280318	午後2:30頃	錦心流	台湾入	藤原純水	
19280324	午後8:00頃	高峰	旅順の会合	高峰筑風	記念日放送番組
19280331	午後0:10	錦心流	川中島	榎本芝水	記念日放送番組

19280402	午後8:30頃	筑前	佐渡の若竹	寺尾旭豊	
19280407	午後8:30頃	薩摩	吉野落	薩摩絃風	
19280414	午後8:00	筑前	太田道灌	豊田旭穰	花の週間第六日 琵琶の夕
19280414	午後8:25頃	高峰	桜田血染の雪	唐沢筑瑞	花の週間第六日 琵琶の夕
19280414	午後8:50頃	錦心流	白虎隊	水藤錦穰	花の週間第六日 琵琶の夕
19280414	午後9:20頃	筑前	菅公	今林旭葉	花の週間第六日 琵琶の夕
19280421	午後8:30頃	薩摩	本能寺	牧野錦光	
19280423	午後0:10	筑前	橋中佐	押田旭窈	
19280424	午後8:00頃	薩摩	九連城	阿部吟風	
19280503	午後0:10	筑前	村上喜剣	岡部瑞蘭	
19280510	午後8:20頃	高峰	明治の後	桜井筑香	
19280515	午後8:20頃	筑前	壇の浦	田中旭嶺	
19280518	午後8:30頃	筑前	湖水渡	寺島旭崇	
19280520	午後2:30頃	錦心流	西郷隆盛	榎本芝水	大電力記念放送番組
19280602	午後8:30頃	筑前	日朗坂	秋根旭恵	大電力記念放送番組
19280610	午後1:40頃	薩摩	常陸丸	小田原国尊	大電力記念放送番組
19280613	午後0:10	錦心流	がらくた合戦	斎藤殊水	大電力記念放送番組
19280617	午後1:50頃	筑前	湖水渡	筑紫旭一臣	
19280622	午後9:00頃	錦心流	山科の別れ	福澤錦凌	
19280627	午後8:00頃	筑前	小栗栖	関旭龍	
19280702	午後0:10	筑前	羽衣	木下旭如・高倉旭子・関旭廣	27分（『和楽』）
19280706	午後8:00頃	錦心流	常盤御前	谷暉水	23分（『和楽』）
19280708	午後7:50頃	薩摩	松の廊下	田辺蘇川	31分（『和楽』）
19280713	午後7:25以降	薩摩	城山	須田綱吉	お迎火に故人を偲ぶ 精霊祭の夕、レコード放送
19280713	午後7:25以降	錦心流	石童丸	永田錦心	お迎火に故人を偲ぶ 精霊祭の夕、レコード放送
19280718	午後0:10	筑前	仏御前	松本旭鶴	21分（『和楽』）
19280723	午後8:30頃	筑前	大高源吾	高実旭吟	21分（『和楽』）
19280730	午後0:10	筑前	乃木将軍	寺島旭崇	29分（『和楽』）
19280801	午後8:00頃	錦	舟弁慶	水藤錦穰	38分（『和楽』）
19280808	不明	筑前	湖水渡	高倉旭子	14分（『和楽』）、確定表・読売新聞に記載なし、追加か
19280812	午後2:00頃	薩摩	錦の御旗	西田岳仙	30分（『和楽』）
19280819	午後1:40	筑前	龍の口	金地旭園	琵琶大会、23分（『和楽』）
19280819	午後1:40	筑前	村上義光	岡部瑞蘭	琵琶大会、25分（『和楽』）
19280819	午後1:40	筑前	小栗栖	田中旭嶺	琵琶大会、29分（『和楽』）
19280819	午後1:40	高峰	扇の的	桜井筑香	琵琶大会、17分（『和楽』）
19280819	午後1:40	筑前	斎藤実盛	押田旭窈	琵琶大会、30分（『和楽』）
19280823	午後9:00頃	高峰	新曲 常陸丸	木田筑高	20分（『和楽』）
19280830	午後0:10	筑前	長柄の秋風	三好旭天	35分（『和楽』）
19280902	午後8:00頃	錦心流	西郷隆盛	山口錦堂	27分（『和楽』）
19280905	午後8:00頃	高峰	新曲 本能寺	高峰筑風	二十五万記念放送第一日、25分（『和楽』）
19280909	午後2:30頃	錦心流	山科の別れ	榎本芝水	二十五万記念放送第五日、35分（『和楽』）
19280913	午後8:00頃	薩摩	少年利輔	足立蘆光	31分（『和楽』）
19280917	午後8:00頃	高峰	藤戸	唐沢筑瑞	23分（『和楽』）
19280922	午後0:10	筑前	弁の内侍	日野千代子	29分（『和楽』）
19280927	午後7:25以降	錦心流	三井寺	雨宮薫水	26分（『和楽』）
19281001	午後8:30頃	錦	龍の口	水藤錦穰	28分（『和楽』）
19281008	午後8:00頃	筑前	師長公	大絃：笠旭昇、本絃：西川旭楓、小絃：柴田旭昶	28分（『和楽』）

19281012	午後0:10	筑前	堅田落	藤井旭豊臣	28分 (『和楽』)
19281019	午後8:20頃	筑前	衣川	小柳旭絲	39分 (『和楽』)
19281023	午後9:00頃	筑前	石田三成	古川旭甫	27分 (『和楽』)
19281025	午後8:30頃	高峰	橋弁慶 (二楽奏掛合)	本絃：唐沢筑瑞・桜井筑香・小林筑峰、甲絃：木田筑高・長谷川筑桜・遠藤筑奥	20分 (『和楽』)
19281030	午後7:50頃	薩摩	由井ヶ浜	西田岳仙	曾我兄弟物語 二、苦難の巻、30分 (『和楽』)
19281103	午後8:10頃	筑前	多摩の大御狩	豊田旭穰	明治節、31分 (『和楽』)
19281108	午後9:10	錦心流	屋島の誉	榎本芝水	25分 (『和楽』)
19281112	午後8:00頃	高峰	千代の寿 (奉祝歌二楽奏)	高峰筑風	18分 (『和楽』)
19281119	午後0:05	薩摩	元寇の乱	吉村岳城	31分 (『和楽』)
19281123	午後0:05	筑前	御大礼奉祝歌	橘旭翁・橘旭紘・豊田旭穰・松本旭鶴・寺島旭崇・今林旭葉・高倉旭子	24分 (『和楽』)
19281127	午後8:25頃	錦	御大典奉祝歌 千代の寿	水藤錦穰	14分 (『和楽』)
19281202	午後1:30	薩摩	本能寺	伊牟礼寿長	大阪有線中継、35分 (『和楽』)
19281202	午後7:25	錦心流	白虎隊	中澤錦水	26分 (『和楽』)
19281208	午後0:05	筑前	鉢の木	谷口旭香	30分 (『和楽』)
19281217	午後0:05	筑前	原惣右衛門	松岡旭岡	36分 (『和楽』)
19281218	午後8:00	筑前	伏見の吹雪	鎌原旭剣	28分 (『和楽』)
19290104	午後7:45頃	高峰	児島高德	高峰筑風	20分 (『和楽』)
19290109	午後8:30頃	筑前	扇の的	豊田旭穰	27分 (『和楽』)
19290112	午後0:05	錦心流	毒饅頭	榎本芝水	28分 (『和楽』)
19290119	午後0:05	薩摩	常陸丸	阿部吟風	28分 (『和楽』)
19290123	午後0:05	筑前	屋島	押田旭窃	33分 (『和楽』)
19290201	午後0:05	高峰	勅題 田家朝	本絃歌：唐沢筑瑞・桜井筑香、甲絃：木田筑高・長谷川筑桜	17分 (『和楽』)
19290208	午後8:00	薩摩	吉野落	飯牟礼寿長	東京より継送 (『読売』1929年2月8日朝刊9面)、27分 (『和楽』)
19290211	午後7:25以降	薩摩	元寇の仇浪	吉村岳城	建国祭の夕 (『読売』1929年2月11日朝刊3面)、14分 (『和楽』)
19290217	午後1:30以頃	講談	乃木將軍鹿島詣	水也田呑洲	大阪中継、各局へ継送
19290221	午後0:05	筑前	湖水渡	松本旭芳	27分 (『和楽』)
19290225	午後8:00	筑前	木村長門守	高倉旭子	24分 (『和楽』)
19290228	午後8:40	高峰	小楠公	高峰筑風	22分 (『和楽』)
19290303	午後8:00	筑前	筑後川	田中旭嶺	大演芸玩具函の夕、17分 (『和楽』)
19290307	午後8:00	錦心流	吹雪の敵	大館錦旗	29分 (『和楽』)
19290312	午後8:00	筑前	羅生門	豊田旭穰	東京より継送 (『読売』1929年3月12日朝刊5面)、28分 (『和楽』)
19290316	午後8:30	錦心流	橘大隊長	雨宮錦峰	24分 (『和楽』)
19290323	午後8:35	薩摩	湖水渡	吉村岳城	28分 (『和楽』)
19290331	午後1:30頃	錦	白虎隊	水藤錦穰	22分 (『和楽』)
19290403	午後7:25	薩摩	小敦盛	林鶴殿	27分 (『和楽』)
19290408	午後0:05	錦心流	吉野落下	榎本芝水	29分 (『和楽』)
19290411	午後8:35	薩摩	新曲 熊野	西田岳仙	花の週間第四日 (熊野)、31分 (『和楽』)

19290413	午後8:35	高峰	吉野山	唐沢筑瑞	花の週間第六日(吉野山)、22分(『和楽』)
19290416	午後8:30頃	錦心流	乃木將軍	秋本錦汀	31分(『和楽』)
19290421	午後8:00頃	筑前	本能寺	押田旭窈	新進競演の夕、20分(『和楽』)
19290424	午後0:05	錦心流	橘大隊長	藤原統水	30分(『和楽』)
19290428	午後0:30	筑前	蟬丸	柴田旭昶・大石旭蓮、尺八:上田芳懂	女流琵琶大会、大阪中継、35分(『和楽』)
19290428	午後0:30	筑前	大楠公夫人	東原旭扇	女流琵琶大会、大阪中継、26分(『和楽』)
19290428	午後0:30	筑前	列婦お初	安部旭栄	女流琵琶大会、名古屋中継、23分(『和楽』)
19290428	午後0:30	筑前	由井ヶ浜	高野旭方	女流琵琶大会、熊本中継、27分(『和楽』)
19290428	午後0:30	錦	新曲 敦盛	水藤錦穰	女流琵琶大会、34分(『和楽』)
19290428	午後0:30	筑前	常陸丸	松本旭芳	女流琵琶大会、25分(『和楽』)
19290501	午後8:30	薩摩	勸進帳	田辺錦波	24分(『和楽』)
19290505	午後1:00	高峰	飛行機	高峰バンド (本絃:唐沢筑瑞・桜井筑香、甲絃:木田筑高・長谷川筑桜・原田筑紫、大絃:加藤筑海、唱歌:高峰龍平・高峰三枝子)	三楽奏、2番組で13分(『和楽』)、 『確定表』では原田筑紫は大絃、加藤筑海は甲絃
19290505	午後1:00	高峰	露営の夢	高峰バンド (本絃:唐沢筑瑞・桜井筑香、甲絃:木田筑高・長谷川筑桜・原田筑紫、大絃:加藤筑海、唱歌:高峰龍平・高峰三枝子)	三楽奏、2番組で13分(『和楽』)、 『確定表』では原田筑紫は大絃、加藤筑海は甲絃
19290510	午後8:35	筑前	筑後川	鶴田旭窓	29分(『和楽』)
19290517	午後0:05	錦心流	白虎隊	小山田賞水	24分(『和楽』)
19290519	不明	錦心流	船弁慶	雨宮錦峰	29分(『和楽』)、 『確定表』『読売』に記載なし、追加か
19290525	午後0:05	筑前	那須与一	岡部瑞蘭	27分(『和楽』)
19290527	午後8:35頃	薩摩	広瀬中佐	小田原国尊	23分(『和楽』)
19290602	午後8:35	高峰	志士の鑑	高峰筑風	21分(『和楽』)
19290607	午後0:05	筑前	村上喜剣	吉原道恵	24分(『和楽』)
19290613	午後0:05	薩摩	台湾入	貴島桃源	26分(『和楽』)
19290620	午後8:00	筑前	海の凱歌	都築春弾・中川春局・寺門春堂・鈴木春玉	20分(『和楽』)
19290623	午後6:00	お伽	三羽の小鳥	弾法:寺島旭崇・乳井旭葩・中原旭松、燕:野沢崇雪、鶯:野沢崇花、雀:野沢崇月	子供の時間
19290630	午後2:30	その他	船弁慶	斎藤妹水・小柳旭絲	28分(『和楽』)
19290707	午後2:00	筑前	項羽	寺尾旭豊	29分(『和楽』)
19290710	午後8:30頃	錦心流	羅生門	飴谷六水	25分(『和楽』)
19290718	午後8:00	錦心流	川中島	榎本芝水	山と水の週間第二日、23分(『和楽』)

19290722	午後8:00	筑前	宇治川	高木旭菫	山と水の週間第六日、17分（『和楽』）
19290728	午後1:30	高峰	寺坂吉右衛門	長谷川筑桜	14分（『和楽』）
19290731	午後8:00	錦	台湾入	工藤桜光	29分（『和楽』）
19290812	午後0:05	薩摩	武蔵野	辻東舟	2番組で27分（『和楽』）
19290812	午後0:05	薩摩	桜井の訣別	辻東舟	2番組で27分（『和楽』）
19290818	午後8:30	錦心流	新曲 茨木	畑錦成	28分（『和楽』）
19290825	午後2:00	筑前	関ヶ原	竹下旭翠	28分（『和楽』）
19290830	午後8:30	高峰	乃木將軍	高峰筑風	22分（『和楽』）
19290911	午後8:00	錦	龍の口	水藤錦穰	39分（『和楽』）
19290917	午後7:25以降	薩摩	小督	吉村岳城	名月の夕 四、野辺の月、24分（『和楽』）
19290922	午後8:00	筑前	本能寺	岡部瑞蘭	29分（『和楽』）
19290924	午後0:05	高峰	鎮西八郎	桜井筑香	24分（『和楽』）
19290927	午後8:30	錦心流	西郷隆盛	松村峽水	27分（『和楽』）
19291001	午後8:00	筑前	北條時宗	秋根旭恵	名古屋中継、25分（『和楽』）
19291007	午後7:25以降	筑前	羽衣	豊田旭穰	24分（『和楽』）
19291011	午後0:05	薩摩	台湾入	小川岳陵	29分（『和楽』）
19291018	午後0:05	筑前	鴨川の露	田村旭都	28分（『和楽』）
19291024	午後0:05	筑前	佐渡の若竹	寺島旭崇	33分（『和楽』）
19291031	午後8:00	錦心流	本能寺	中島「王条」水	25分（『和楽』）
19291103	午後1:25	高峰	千代田城	高峰筑風	20分（『和楽』）
19291110	午後0:30	筑前	吉野落	水室旭繁	女流琵琶大会、熊本中継、28分（『和楽』）
19291110	午後1:00	高峰	川中島	唐沢筑瑞	女流琵琶大会、24分（『和楽』）
19291110	午後1:30	筑前	小栗栖	松本旭芳	女流琵琶大会、34分（『和楽』）
19291110	午後2:00	筑前	伽羅の兜（木村重成）	角田旭岑	女流琵琶大会、26分（『和楽』）
19291110	午後2:30	筑前	菊の礎	押田旭窈	女流琵琶大会、28分（『和楽』）
19291110	午後3:00	筑前	高田の馬場	高野旭嵐	女流琵琶大会、31分（『和楽』）
19291118	午後0:05	錦心流	橘大隊長	中澤錦水	27分（『和楽』）
19291124	午前9:30	筑前	扇の的	吉田靖子	子供の時間、17分（『和楽』）
19291124	午後1:35	不明	乃木將軍（爾靈山夜宮の正夢）	原口神洲	
19291201	午後1:40	筑前	安宅の関	鹿島旭美・宮武旭豊	30分（『和楽』）
19291206	午後9:00	薩摩	吉野落下	阿部吟風	35分（『和楽』）
19291211	午後0:05	高峰	城山	金山筑光	17分（『和楽』）
19291218	午後8:30	筑前	広徳寺	鶴田旭窓	23分（『和楽』）
19291221	午後9:00	筑前	湖水渡	田中旭嶺	29分（『和楽』）
19291231	午後7:25以降	錦心流	松の廊下	榎本芝水	大衆演芸の夕、17分（『和楽』）
19300102	午後7:25以降	筑前	菊の礎	高野旭嵐	
19300104	午後8:00	高峰	新曲 瑞宝殿	高峰筑風	
19300109	午後8:00	薩摩	旅順開城（上）	吉村岳城	
19300112	午後8:30	筑前	赤穂の早打	安部旭州	
19300116	午後8:30	錦	新曲 敦盛	水藤錦穰	
19300119	午後1:30	筑前	橘中佐	佐藤旭逢	読売新聞社新人推挙当選者（二等）
19300201	午後8:35	高峰	海辺巖	本絃：桜井筑香、 甲絃：木田筑高・ 長谷川筑桜	
19300205	午後0:05	筑前	多摩の大御狩	豊田旭穰	
19300209	午後8:30	薩摩	乃木將軍	小田原国尊	
19300210	午後7:25	お伽	猿蟹合戦	鳴神君子、大正琴 伴奏：林静子	少年少女の夕
19300217	午後0:05	錦心流	白虎隊	中澤美水	
19300226	午後8:30	筑前	菅公	押田旭窈	

19300228	午後8:00	筑前	須磨の嵐	島田弾月	各局お国名物の夕、熊本中継
19300301	午後8:00	高峰	南部坂	唐沢筑瑞	演奏者名『読売』参照（1930年3月1日朝刊9面）
19300306	午後0:05	薩摩	旅順口	君塚篁陵	
19300310	午後0:05	筑前	霊馬の漣	寺島旭崇	
19300313	午後6:00	筑前	血染の雪	吉田靖子	子供の時間
19300314	午後8:00	薩摩	川中島	田辺蘇川	
19300319	午後0:05	筑前	壇の浦	氷室旭繁	
19300325	午後0:05	筑前	夜討會我	前田旭心	放送開始五周年記念放送第五日、読売新聞に記載なし
19300328	午後8:20	薩摩	本能寺	浜田天南	放送開始五周年記念放送第八日
19300330	午後7:25	高峰	旅順の会合	高峰筑風	
19300403	午後8:00	錦心流	新曲 茨木	山口錦堂	神武天皇祭
19300407	午後0:05	筑前	五條橋	田中旭嶺	
19300414	午後8:30	筑前	名犬一文字	安部旭洲	
19300418	午後7:25以降	筑前	佐渡の若竹	押田旭竊	
19300422	午後8:00	錦心流	船弁慶	福澤錦凌	読売新聞「輝水」
19300429	午後1:05	高峰	爺さん婆さん	高峰バンド (歌：高峰三枝 子・高峰龍平、本絃：唐沢筑瑞、大絃：小林筑峰)	新絃楽、曲名『読売』参照（1930年4月29日朝刊6面）、『読売』の出演者「唄：高峰三枝子・高峰龍平、本絃：唐沢筑瑞・小林筑峰、甲絃：木田筑高・長谷川筑桜、ヴァイオリン：平山紫峰・小泉清、フルリュート：末永國一、三味線：岩谷玉子」
19300429	午後1:05	高峰	波止場の夜	高峰バンド (歌：高峰三枝子・高峰龍平、本絃：唐沢筑瑞、大絃：小林筑峰)	新絃楽、曲名『読売』参照（1930年4月29日朝刊6面）、『読売』の出演者「唄：高峰三枝子・高峰龍平、本絃：唐沢筑瑞・小林筑峰、甲絃：木田筑高・長谷川筑桜、ヴァイオリン：平山紫峰・小泉清、フルリュート：末永國一、三味線：岩谷玉子」
19300503	午後8:30	薩摩	千手の前	吉村岳城	
19300515	午後8:00	薩摩	伊藤公	神谷秀嶺	
19300521	午後0:05	錦心流	台湾入	平山賑水	
19300527	午後0:05	筑前	広瀬中佐	高倉旭子	
19300602	午後6:00	筑前	橋弁慶（掛合合奏）	服部桜好・上田桜京・安藤桜豊	子供の時間
19300608	午後2:00	筑前	加藤清正	岡部瑞蘭	
19300612	午後9:00	錦	本能寺	水藤錦穰	
19300619	午後0:05	筑前	北條時宗	筑紫旭一臣	
19300622	午後1:00	筑前	橋中佐	益満旭錦	放送玉手箱、熊本中継
19300625	午後8:00	薩摩	台湾入	浜田天南	熊本中継
19300701	午後8:30	筑前	船弁慶	荒牧旭光	
19300706	午後8:00	錦心流	城山	大館錦棋	
19300716	午後8:30	薩摩	湖水渡	西田長祐	
19300720	午後1:00	高峰	乃木將軍	桜井筑香	
19300723	午後0:05	筑前	新曲 赤坂城	小幡桜勢	
19300729	午後8:00	錦心流	新曲 茨木	谷暉水	
19300803	午後1:30	筑前	龍ノ口	押田旭竊	
19300809	午後0:05	高峰	白虎隊	太田筑高	
19300815	午後8:30	錦心流	常盤御前	秋本錦汀	
19300829	午後8:40	錦心流	舟弁慶	松田静水	
19300903	午後8:30	高峰	七騎落	高峰筑風	
19300910	午後0:05	薩摩	新曲 井伊大老	薩摩絃風	
19300914	午後0:30	筑前	北條時宗	福田旭婉	琵琶大会、熊本中継

19300914	午後1:00	筑前	苦忠の一発 近藤久馬	安部旭栄	琵琶大会、名古屋中継
19300914	午後1:30	高峰	小督局	唐沢筑瑞	琵琶大会
19300914	午後2:00	筑前	那須与市	角田旭岑	琵琶大会
19300914	午後2:30	筑前	乃木大将	田中旭嶺	琵琶大会
19300919	午後8:20	錦心流	石童丸	榎本芝水	
19300924	午後7:25	薩摩	吉野落(下段)	鬼塚松寿	熊本中継
19301002	午後8:00	筑前	衣川	竹下旭翠	
19301006	午後6:00	筑前	那須与一	小久保旭房	子供の時間、熊本中継
19301006	午後6:00	お伽	浦島太郎	鳴神君子	子供の時間、熊本中継、大正琴・鼓・笛助奏
19301009	午後0:05	高峰	日蓮上人	長谷川筑桜	
19301020	午後8:00	錦心流	西郷隆盛	雨宮錦峰	
19301027	午後8:30	薩摩	台湾入	大照秀子	
19301030	午後8:30	薩摩	威海衛	吉村岳城	
19301102	午後2:15	筑前	項羽(上)	高野旭芳	熊本中継
19301106	午後8:30	高峰	村上喜剣	高峰筑風	
19301110	午後8:00	錦心流	城山	中島錦蘆	
19301116	午後1:00	錦心流	木村重成	小山田賞水	
19301125	午後8:00	筑前	菊の礎	三好旭天	
19301130	午後0:40	薩摩	六号潜水艇	斉藤岳峰	
19301206	午後9:00	筑前	大徳寺	鶴田旭窓	
19301212	午後0:05	筑前	加藤清正	田村旭都	熊本中継
19301219	午後8:20	筑前	安宅	琵琶：荒牧輝鳳、 地：高田旭邦、弁慶：田口旭隆、冨樫：角田旭田、義経地：合原旭天臣	
19301225	午後1:10	筑前	大高源吾	寺尾旭豊	
19301229	午後8:30	錦心流	龍の口	山口錦堂	
19310102	午後0:40	高峰	高山彦九郎	高峰筑風	
19310106	午後6:00	筑前	勅題 社頭雪	大絃：高橋桜春・山田桜仙、小絃：上田桜京・安藤桜豊・服部桜琬	子供の時間
19310108	午後6:00	薩摩	鉢の木	吉村岳城	第二
19310112	午後0:05	筑前	夜討曾我	田中旭嶺	
19310113	午後2:00	錦心流	石童丸	武本錦桜	第二
19310117	午後8:00	錦心流	祇園町	琵琶：中澤錦華・中澤錦芳、尺八：新藤虚洞	新琵琶
19310117	午後8:00	錦心流	君がこころは	琵琶：中澤錦華・中澤錦芳、尺八：新藤虚洞	新琵琶
19310117	午後8:00	錦心流	傘のうち	琵琶：中澤錦華・中澤錦芳、尺八：新藤虚洞	新琵琶
19310117	午後6:00	錦	橘大隊長	中村桜統	第二
19310119	午後8:00	薩摩	旅順懐古	浜田晃養	
19310124	午後0:05	不明	琵琶其他	記載なし	第二、レコード放送
19310130	午後6:00	不明	川中島	上杉謙信：小川錦映、武田信玄：岸錦正、琵琶：宮島錦州	第二、掛合
19310201	午後0:40	錦心流	雪晴れ	伊藤鐮水	

19310211	午後8:30	筑前	建国祭の歌	歌：田中旭嶺・大 路旭路・田中旭 香、正絃：押田旭 竊・鈴木旭富士・ 大津旭紅、大絃： 橘旭殿・坂井旭 水・三好旭天、小 絃：松本旭鶴・清 水旭声・竹下旭 ■、指揮：橘旭翁	紀元節
19310211	午後8:30	筑前	扇の的	大路旭路	紀元節
19310216	午後8:30	高峰	勅題 社頭雪	甲絃：高峰三枝 子・長谷川筑桜、 本絃歌：木田筑高	
19310216	午後8:30	高峰	宇治川	本絃歌：桜井筑 香、甲絃：木田筑 高・長谷川筑桜	
19310301	午後2:10	錦心流	常陸丸	白須錦瑠	演奏者『読売』参照（1931年3月1日朝刊5面）
19310307	午後8:30	薩摩	元寇	林鶴殿	
19310311	午後8:30	筑前	川中島	高野旭嵐	福岡中継
19310315	午後2:00	錦心流	羽衣	榎本芝水	
19310316	午後8:50	筑前	文福茶釜	鳴神君子、伴奏： 林静江	各局腕くらべ奉祝全日本子供大会、熊本中継
19310323	午後0:05	筑前	橘中佐	押田旭竊	
19310328	午後0:05	薩摩	彰義隊	深見岳南	
19310403	午後1:10	薩摩	城山	斎藤岳峰	神武天皇祭
19310406	午後8:30	錦心流	本能寺	大館錦棋	
19310414	午後0:05	筑前	鴨川の露	田口旭隆	
19310419	午後1:05	薩摩	白虎隊	田辺錦波	『読売』参照（1931年4月19日朝刊5面）
19310504	午後0:05	筑前	関ヶ原	楠旭崇	大阪中継
19310510	午後0:40	筑前	衣川	竹内旭祥	女流琵琶大会
19310510	午後1:05	高峰	血染の雪	桜井筑香	女流琵琶大会
19310510	午後1:25	筑前	那須与市	竹下旭翠	女流琵琶大会
19310510	午後2:00	筑前	北の荘	角田旭岑	女流琵琶大会
19310510	午後2:30	筑前	堅田落	田中旭嶺	女流琵琶大会
19310510	午後3:00	筑前	花吹雪	合奏：日野千代 子・吉原道恵・山 下筆子	女流琵琶大会
19310518	午後9:00	高峰	湖水渡	高峰筑風	
19310524	午後1:25	錦心流	龍ノ口	畑錦成	
19310527	午後0:05	薩摩	その日の東郷大将	吉村岳城	
19310607	午後1:10	錦心流	毒饅頭	榎本芝水	
19310611	午後8:30	高峰	江戸城	松島筑声	
19310617	午後8:00	筑前	台湾入	豊田旭穰	
19310622	午後0:05	筑前	若江の露	益満旭錦	熊本中継
19310630	午後0:05	薩摩	本能寺	大田良一	大阪中継
19310701	午後8:00	薩摩	元寇	吉水錦翁	
19310706	午後0:05	錦心流	橘大隊長	雨宮錦絃	
19310715	午後0:05	筑前	石田三成	浜口旭尊	大阪中継
19310726	午後0:40	筑前	小栗栖	宮下旭嶽	琵琶大会 第一部（弾奏）
19310726	午後1:05	高峰	小楠公	吉田筑靖	琵琶大会 第一部（弾奏）
19310726	午後1:25	筑前	関ヶ原	大妻旭紫	琵琶大会 第一部（弾奏）
19310726	午後1:50	筑前	赤垣源蔵	寺尾旭豊	琵琶大会 第一部（弾奏）

19310726	午後2:15	筑前	伽羅の兜	木下旭如	琵琶大会 第一部 (弾奏)
19310726	午後2:40	錦心流	水漬く屍	琵琶：秋本錦江、 桑島艦長：小林孝明、海兵A：寺田静夫、信号兵：清水健治、海兵B：島津五朗、海兵C：多胡吉夫、小川大尉：池谷宅朗、海兵D：伊藤精一郎、海兵E：二階堂太郎、穴見兵曹：原正男、市村中尉：荒川啓二郎、久富機関兵：夢路愛太郎、村上兵曹：林正夫	琵琶大会 第二部 (琵琶物語)
19310803	午後8:30	錦心流	龍の口	榎本芝水	
19310813	午後0:05	筑前	菊の礎	市岡旭景	
19310819	午後8:00	薩摩	台湾入	浜田晃養	熊本中継
19310825	午後0:05	筑前	藤戸の渡	田中旭嶺	
19310909	午後8:30	高峰	吉田松陰	高峰筑風	
19310917	午後0:05	錦心流	屋島の誉	萩谷錦川	
19310921	午後8:00	筑前	新曲 隅田川	高杉旭灑	
19310926	午後0:05	薩摩	旅順開城	吉村岳城	
19311004	午後0:40	筑前	仏御前	大石旭蓮・柴田旭昶、琴：菊文須磨子	女流琵琶大会 第一部、大阪中継
19311004	午後1:10	筑前	西郷隆盛	田村旭都	女流琵琶大会 第一部
19311004	午後1:40	筑前	義士の本懐	押田旭窃	女流琵琶大会 第一部
19311004	午後2:10	錦心流	龍の口	瓜生玳水	女流琵琶大会 第二部
19311004	午後2:35	錦心流	白虎隊	紺谷泣水	女流琵琶大会 第二部
19311004	午後3:00	錦心流	本能寺	松村峽水	女流琵琶大会 第二部
19311013	午後0:05	筑前	伊賀の曙	高野旭嵐	
19311108	午後2:00	薩摩	石童丸	田辺錦波	
19311113	午後0:05	筑前	北條時宗	鶴田旭窓	
19311123	午後1:10	錦心流	雪晴れ	雨宮錦峰	
19311129	午後8:00	筑前	満洲事変	寺島旭崇	第一回在満同胞慰安の夕
19311202	午後8:00	薩摩	常陸丸	斉藤岳峰	
19311206	午後0:40	筑前	菊の朝露	福田旭婉	
19311212	午後8:00	錦	新曲 扇の的	水藤錦穰	
19311219	午後9:00	錦心流	山田一等兵	中澤錦水	
19311220	午後8:20	筑前	一太郎やーい	安部旭栄	
19311214	午後0:05	高峰	広瀬中佐	唐沢筑瑞	
19320103	午後0:40	高峰	勅題 曉鷄声	富士伴奏：高峰三枝子・長谷川筑桜、本絃及歌：松島筑声・桜井筑香	琵琶の午後
19320103	午後1:05	筑前	鉢の木	押田旭窃	琵琶の午後
19320103	午後1:30	筑前	鶴越	吉原道恵	琵琶の午後
19320103	午後2:00	筑前	西郷隆盛	角田旭岑	琵琶の午後
19320103	午後2:25?	筑前	北條時宗	田中旭嶺	琵琶の午後
19320103	午後7:30	薩摩	別れの国歌	浜田天南	第六回在満同胞慰安の夕、熊本中継
19320107	午後6:00	筑前	五條橋	岡田旭稜子	子供の時間
19320115	午後0:05	薩摩	旅順開城 上の巻	吉水錦翁	

19320120	午後0:05	筑前	安宅の関	片山旭都	
19320124	午後8:00	筑前	古賀連隊長	琵琶：高野旭嵐、 箏：高野旭方	第九回在満同胞慰安の夕、福岡中継
19320128	午後0:05	錦心流	羅生門	山口錦堂	
19320203	午後8:30	筑前	北満嵐	豊田旭穰	
19320211	午後1:35	錦心流	新曲 中村大尉	榎本芝水	紀元節
19320214	午後2:20	薩摩	吹雪の敵	君塚篁陵	
19320218	午後0:05	筑前	湖水渡	泉旭春	
19320221	午後0:50	筑前	平野の最後	光田旭蟬	各局編輯の午後、大阪中継
19320222	午後8:55	錦心流	石童丸	福澤錦凌	
19320229	午後8:30	高峰	軍神古賀連隊長	高峰筑風	報知新聞社主催 軍神古賀連隊長の夕、 報知講堂中継
19320304	午後0:05	筑前	菊の礎	竹内旭祥	
19320307	午後8:00	錦心流	吉岡大佐	榎本芝水	
19320312	午後8:30	錦心流	川中島	大館錦棋	
19320316	午後8:15	筑前	噫肉弾三勇士	荒牧旭弘	三勇士の夕、福岡中継
19320327	午後1:20	筑前	中野の長者	花田旭霞悠	
19320402	午後0:05	錦心流	嗚呼中村大尉	松田静水	
19320407	午後9:00	高峰	児島高德	高峰筑風	花七夜-第七夜-
19320416	午後8:00	筑前	勿来	歌：三好旭天・筑 紫旭一臣・佐藤旭 暉、琵琶：清水旭 晃、笙：鈴木萬佐 男	
19320417	午後1:30	不明	物狂	肥後節	各局の午後、熊本中継
19320424	午後9:00	薩摩	広瀬中佐	吉村岳城	
19320430	午後0:05	筑前	袖付橋	美野旭佳	
19320504	午後8:20	筑前	地震加藤	平田旭舟	百万突破記念、熊本中継
19320508	午後0:50	筑前	曲垣平九郎	鶴田旭窓	
19320514	午後0:05	錦心流	杉山検校	浅野晴水	
19320519	午後8:00	錦	新曲 空閑少佐の最後	水藤錦穰	
19320525	午後0:05	高峰	新曲 本能寺	長谷川筑桜	
19320527	午後0:05	錦心流	旅順口	榎本芝水	海軍記念日
19320603	午後8:30	錦心流	石童丸	秋本錦汀	
19320613	午後8:30	筑前	城山	崎山旭蘭	熊本中継
19320617	午後7:30以降	筑前	台湾入り	田中旭嶺	
19320622	午後9:00	薩摩	須磨の嵐	斉藤岳峰	
19320628	午後7:30	錦心流	白虎隊	畑錦成	
19320710	午後0:50	筑前	常陸丸	琵琶：楠旭崇、尺 八：村治虚憧	大阪中継
19320717	午後0:50以降	薩摩	城山	長浜南城	諸国の午後、熊本中継
19320719	午後0:05	筑前	小栗栖	押田旭窃	
19320724	午後1:30	筑前	石田三成	大妻旭紫	
19320726	午後7:30	筑前	白さつき	岡田旭稜子	子供の夕
19320806	午後8:25	高峰	湖水渡	唐沢筑瑞	
19320824	午後9:00	錦	龍の口	水藤錦穰	
19320825	午後0:05	筑前	忠勇小澤伍長 蛤蚧 河の渡し	中村旭綜	名古屋中継
19320907	午後8:50	錦心流	吉野落	山口錦堂	
19320913	午後9:05	高峰	九月十三日	高峰筑風	乃木將軍二十年記念の夕
19320916	午後8:30	錦心流	満洲国の春	榎本芝水	満洲国承認の夕
19320918	午後2:05	筑前	北満嵐	田中旭嶺	満洲事変記念放送 満洲事変一週年記念 軍人遺族慰安会（九段能楽堂）中継
19321005	午後0:05	錦心流	太田道灌	大館錦棋	

19321015	午後0:05	薩摩	西郷隆盛	田辺錦波	
19321103	午後1:20	錦心流	川中島	榎本芝水	明治節
19321105	午後6:00	筑前	湖水渡り	宮川旭風	子供の時間
19321106	午後7:30	錦心流	五條橋	弁慶：中澤錦華、 牛若丸：中澤錦芳	
19321115	午後0:05	錦心流	月照と西郷	高橋是水	
19321127	午後1:10	薩摩	七卿落	吉水錦翁	
19321204	午後8:00	筑前	紅葉狩	平維茂：田中旭 嶺、戸隠の鬼女： 安部旭栄	
19321207	午後9:00	筑前	大高源吾	高倉旭子	忠臣蔵花暦第七夜
19321217	午後0:05	錦心流	龍の口	久下決水	
19321218	午後0:50	筑前	橋中佐	豊島旭奈	新人紹介の午後
19321218	午後3:10	錦	扇の的	鶴田桜玉	新人紹介の午後
19321225	午後1:10	筑前	関ヶ原	福井旭花	大正天皇祭、新人紹介の午後
19321225	午後2:43	錦心流	乃木大将	田辺隈水	大正天皇祭、新人紹介の午後
19330106	午後8:10	高峰	新曲 東郷大将	高峰筑風	
19330108	午前9:30	筑前	勅題「朝海」	大澤花梅・小泉花 江・服部桜珖・高 崎桜琴・鈴木桜香	子供の時間
19330118	午後8:00	筑前	潰滅	豊田しづえ	
19330121	午後8:30	錦心流	楠正成	榎本芝水	
19330129	午後2:30	筑前	新曲 幡隨長兵衛	鶴田旭窓	
19330202	午後8:00	錦心流	桂小五郎	中澤錦水	
19330205	午後1:45	不明	川中島	山本親憲	各局の午後、熊本中継
19330212	午後1:45	錦心流	新曲 壮烈田澤分隊長	雨宮薫水	
19330219	午後2:40	筑前	大森彦七盛長	田中旭嶺	女流演芸の午後
19330308	午後8:30	薩摩	畠山重忠	吉村岳城	
19330317	午後8:00	筑前	勤王左文字	高野旭嵐	
19330325	午後8:00	筑前	天目山	宮下旭枝	
19330331	午後0:05	錦心流	噫荒木大尉	小林了水	
19330404	午後7:30以降	高峰	志士の鑑	高峰筑風	花と愛国の夕 第四夜
19330409	午後2:20	錦心流	新曲 村上喜剣	谷暉水	
19330414	午後8:30	錦心流	噫花澤飛行少佐	榎本芝水	航空の夕、東京市芝飛行館中継
19330423	午後1:50	高峰	桜田血染の雪	唐沢筑瑞	
19330430	午後1:20	筑前	熱河の華	橘旭桜	
19330508	午後8:25	錦心流	新曲 稲村ヶ崎	榎本芝水	新田義貞公の夕
19330510	午後6:00	筑前	錦西の吹雪	横山旭晴	子供の時間
19330512	午後0:05	薩摩	忠烈肉弾三勇士	薩摩絃風	
19330527	午後7:30以降	高峰	東郷大将	高峰筑風	海軍協会主催海軍記念日の夕実況、日比谷公会堂中継
19330529	午後0:05	錦	新曲 曲垣平九郎	鶴田桜洲	演奏者名『読売』参照（1933年5月29日朝刊10面）
19330606	午後8:50	錦心流	西行	福澤錦凌	演奏者名『読売』参照（1933年6月6日朝刊10面）
19330613	午後0:05	筑前	小栗栖	竹内旭祥	
19330616	午後8:00	薩摩	旅順口	浜田晃養	熊本中継
19330617	午後7:30以降	筑前	台湾入	田中旭嶺	台湾文化普及会主催台湾始政記念日の夕実況、朝日講堂中継
19330620	午後8:20	錦	新曲 後鳥羽の院	水藤錦穰	
19330629	午後8:40	高峰	宇治川	松島筑声	
19330703	午後0:05	筑前	丸橋忠弥	安部旭栄	名古屋中継
19330715	午後0:05	筑前	道成寺	上山旭寿	
19330723	午後6:00	筑前	北條時宗	岡田旭稜子	子供の時間

19330731	午後0:05	筑前	横川勘平	高橋旭鶴	
19330807	午後8:20	錦心流	新曲 満洲事変	谷暉水	
19330811	午後8:30	薩摩	旅順口	斎藤岳峰	
19330824	午後0:05	高峰	扇の的	木田筑高	
19330901	午後8:30	高峰	新曲 本能寺	高峰筑風	
19330908	午後8:00	錦心流	新曲 道成寺(下)	山口錦堂	
19330916	午後0:05	筑前	台湾入	矢野鶴秀	
19330925	午後9:00	筑前	橋中佐	寺島旭崇	
19330926	午後7:30以降	薩摩	潯陽江(下)	林盛之助	各局の夕、熊本中継
19331001	午後1:20	筑前	瀧善三郎	松岡旭岡	大阪中継
19331009	午後0:05	薩摩	湖水渡	佐藤岳洋	
19331013	午後0:05	筑前	衣川	柴田旭堂	
19331028	午後8:00	錦心流	新曲 滝口入道	松田静水	
19331101	午後8:30	筑前	隅田川乗切り	鶴田旭窓	
19331105	午後8:20	錦心流	唐人お吉	中澤錦華・中澤錦芳	琵琶小唄
19331105	午後8:20	錦心流	静御前	中澤錦華・中澤錦芳	琵琶小唄
19331110	午後0:05	筑前	大徳寺	村田旭玲	
19331117	午後8:00	筑前	長柄の秋風	押田旭窃	
19331125	午後8:00	錦心流	新曲 父・乃木將軍 柳樹房の夜	榎本芝水	
19331202	午後0:05	錦心流	羽衣	清水瓊水	
19331208	午後0:05	筑前	茶臼山	世古旭祥	大阪中継
19331211	午後8:20	薩摩	城山	糟谷篁籟	
19331218	午後0:05	筑前	新曲 辰橋	田中旭千栄	演奏者名『読売』参照(1933年12月18日朝刊10面)
19331225	午後1:20	薩摩	伊藤博文	吉水錦翁	大正天皇祭、琵琶の午後 明治大正昭和功臣録
19331225	午後1:20	筑前	広瀬中佐	田中旭嶺	大正天皇祭、琵琶の午後 明治大正昭和功臣録
19331225	午後1:20	薩摩	乃木大将	田辺錦波	大正天皇祭、琵琶の午後 明治大正昭和功臣録
19331225	午後1:20	筑前	犬養毅	美野旭佳	大正天皇祭、琵琶の午後 明治大正昭和功臣録
19331225	午後1:20	錦心流	武藤元帥	大館錦棋	大正天皇祭、琵琶の午後 明治大正昭和功臣録
19340103	午後1:35	高峰	建国の神	高峰筑風	元始祭、皇太子殿下御誕生奉祝記念第六日
19340106	午後8:00	錦心流	鉢の木	榎本芝水	
19340112	午後0:05	錦心流	新曲 茨木	中澤錦水	
19340201	午後0:05	筑前	板倉少佐と三忠犬	竹下旭翠	
19340208	午後0:05	錦心流	雪晴れ	雨宮薫水	
19340217	午後8:20	筑前	賀茂の宵月	原旭潮	
19340224	午後9:00	薩摩	新曲 大仏供養	西田長祐	
19340302	午後8:00	錦	満洲帝国	水藤錦穰・水谷錦舟	満洲国帝制奉祝記念の夕
19340310	午後8:30	高峰	旅順の会見	高峰筑風	曲名『読売』参照(1934年3月10日朝刊10面)
19340316	午後0:05	筑前	四條畷	押田旭窃	
19340321	午後2:21	筑前	堅田落	梅村旭馨	春季皇霊祭、新人の午後
19340325	午後2:50	筑前	大高源吾	福井旭花	放送記念週間第四日、新人の午後
19340326	午後0:05	錦心流	川中島	山口錦堂	放送記念週間第五日
19340330	午後8:00	筑前	青の洞門	島田旭輝	
19340403	午後1:10	錦	敦盛	関桜豊	神武天皇祭、新人の午後

19340403	午後6:00	高峰	白虎隊	高峰真利子	子供の時間
19340403	午後6:00	高峰	六段	替手：高峰三枝子、本手：高峰真利子・吉田筑靖	子供の時間、新絃楽、新楽器「富士琵琶」による演奏
19340407	午後0:05	高峰	鎮西八郎	桜井筑香	
19340413	午後8:00	錦心流	新曲 関白秀次	榎本芝水	
19340416	午後8:30	筑前	西郷と月照	田村旭都	
19340423	午後0:05	筑前	菅公	鳥取旭歌	
19340501	午後8:00	錦	新曲 曲垣平九郎	水藤錦穰	「靖国神社大祭奉納演芸九段能楽堂中継(中村)」(『読売』1934年5月1日朝刊10面)
19340510	午後8:10	錦心流	龍の口	輝錦凌	
19340515	午後0:05	筑前	泉の三郎	寺島旭崇	
19340516	午後8:40	筑前	扇の的	高野旭嵐	福岡中継
19340526	午後8:30	錦心流	横笛	漆山錦瑟	
19340604	午後8:10	錦心流	新曲 噫東郷元帥	榎本芝水	東郷元帥を偲ぶ
19340611	午後8:30	筑前	湖水渡	田中旭嶺	
19340620	午後0:05	錦心流	肉弾三勇士	秋本錦汀	
19340624	午後1:50	筑前	恨みの軍旗	安部旭栄	
19340628	午後0:05	筑前	大西郷	志摩紅洋	
19340701	午後1:50	高峰	日蓮聖人	唐沢筑瑞	
19340701	午後1:50以降	錦心流	白虎隊	山口錦堂	
19340713	午後8:00	高峰	護良親王	高峰筑風	
19340715	午後7:30	筑前	勇敢な三少年	竹下旭翠	日曜特輯ニュース演芸
19340718	午後8:30	錦心流	船弁慶	雨宮薫水	
19340722	午後2:50	筑前	龍の口	菅野旭愛	新人の午後
19340723	午後0:05	講談	時頼と馬子	水也田呑洲	ローカル
19340729	午後8:00	筑前	常陸丸	高倉旭子	
19340805	午後2:25	高峰	桜狩	若松霞城	新人の午後
19340812	午後8:40	高峰	吉田松陰	桜井筑香	
19340818	午後8:00	錦心流	城山	中澤錦水	
19340819	午後1:05	錦心流	本能寺	石井徳次郎	新人の午後
19340819	午後2:45	筑前	鉢の木	渋谷はなゑ	新人の午後
19340826	午後1:30	筑前	湖水渡	原田旭柳	昼間十分間演芸 第一部
19340826	午後7:30	錦心流	誉れの二兵曹	大館錦棋	日曜特輯ニュース演芸
19340830	午後8:30	錦心流	松の廊下	榎本芝水	
19340906	午後0:05	筑前	栗津の露	鶴田旭窓	
19340909	午後0:50以降	錦	淀君	水藤錦穰	女流演芸の午後
19340920	午後8:00	筑前	空閑少佐	筑紫旭一臣	
19340922	午後7:30	筑前	関ヶ原	竹内旭祥	演奏者名『読売』参照(1934年9月22日朝刊15面)
19340929	午後8:30	薩摩	川中島	西田長祐	
19341001	午後6:00	筑前	北條時宗	宮川旭鳳	子供の時間
19341004	午後8:45	高峰	松の下露	高峰筑風	
19341016	午後0:05	薩摩	新曲 白虎隊	弾法：君塚篁陵、吟法：君塚篁嶺	
19341021	午後1:20以降	高峰	月下の陣	若松土岐太郎	新人の午後 第一部
19341022	午後0:05	筑前	橋弁慶	弁慶：清水旭晃、牛若丸：宮下旭枝、地：原旭湖	
19341023	午後8:30以降	筑前	浜松城	山下旭幸	東海道演芸道中第八夜 大井川より浜松まで 浜松市歌舞伎座中継、解説：徳川夢声
19341028	午後1:40	筑前	坂本龍馬	須釜妙子	新人の午後
19341028	午後8:10	薩摩	城山	飯牟礼寿長	熊本中継

19341104	午後2:40	筑前	桃太郎	高木忠利	新人の午後
19341110	午後8:10	筑前	戸隠山	豊田静芭	
19341113	午後0:05	筑前	御東征	高野旭嵐	
19341121	午後0:05	錦心流	忠臣清正	小山田賞水	
19341130	午後0:05	錦心流	橘大隊長	大館錦棋	
19341210	午後9:05	薩摩	九連城	吉水錦翁	農村青年の夕
19341214	午後0:05	錦心流	大高源吾	中澤玉穰・中澤玉光・中澤錦水	
19341214	午後0:05	錦心流	雪の曙	中澤玉穰・中澤玉光・中澤錦水	
19341214	午後0:05	錦心流	想夫恋	中澤玉穰・中澤玉光・中澤錦水	
19341214	午後0:05	錦心流	祇園町	中澤玉穰・中澤玉光・中澤錦水	
19341221	午後8:00	筑前	壇の浦	田中旭嶺	
19341225	午後1:20	錦心流	橘大隊長	榎本芝水	
19350103	午後3:10	薩摩	旅順口	萩原秋彦	元始祭、熊本中継
19350108	午後8:00	筑前	金剛石	高倉旭仔・大路旭路・佐藤旭逢・木下旭如	ローカル
19350108	午後8:00	筑前	寿猿	琵琶：高倉旭仔・大路旭路・佐藤旭逢・木下旭如、ピアノ：刀根研二	ローカル
19350108	午後8:00	筑前	清水一角	高倉旭仔・荒牧旭光	ローカル
19350114	午後8:40	高峰	小楠公	高峰筑風	
19350124	午後0:05	その他	那須与市	竹下翠風	
19350201	午後0:05	錦	新曲 須磨の敦盛	水藤錦穰	
19350205	午後6:00	筑前	林連隊長	岡田旭稜子	子供の時間
19350213	午後8:30	薩摩	川中島	飯牟礼寿長	熊本中継
19350216	午後7:30	錦心流	満洲皇帝（新曲）	榎本芝水	満洲国萬寿節奉祝
19350219	午後0:05	筑前	坂本龍馬	押田旭窃	
19350301	午後8:00	錦心流	元寇	雨宮薫水	
19350309	午後7:30	筑前	四條暁	寺島旭崇	
19350310	午後1:20以降	筑前	長柄の秋風	須釜妙	新人の午後
19350310	午後1:20以降	錦	棄児	関庄次郎	新人の午後
19350317	午後8:25	薩摩	元寇	林鶴殿	
19350327	午後0:05	筑前	勤皇烈士伝 回転義挙	鶴田旭窓	
19350403	午後1:20	錦心流	舟弁慶	輝錦凌	
19350403	午後1:45	筑前	嗚呼忠臣湊川	安部旭洲	名古屋中継
19350403	午後2:00	筑前	雪の曙	楠旭崇	大阪中継
19350407	午後2:10	錦心流	西郷隆盛	山口義雄	新人の午後
19350407	午後2:55	高峰	城山	若松霞城	新人の午後
19350414	午後8:00	筑前	忠犬ハチ公	高倉旭仔	
19350421	午後2:30	不明	広瀬中佐	白岩一	新人の午後
19350422	午後8:30	薩摩	小松の操	浜田晃養	
19350503	午後9:05	筑前	清正守護	田中旭嶺	曲名・時間『朝日』参照（1935年5月3日朝刊7面）
19350505	午後2:35	錦心流	西郷隆盛	石井徳次郎	新人の午後、時間は『朝日』参照（1935年5月5日朝刊8面）
19350508	午後8:15	錦心流	噫東郷元帥	小山田賞水	
19350515	午後0:05	筑前	湖水渡	豊田静芭	
19350520	午後0:05	筑前	衣川	渡辺旭清	

19350522	午後8:30	筑前	大楠公	山元旭錦	楠公記念、大阪中継
19350527	午後0:05	薩摩	広瀬中佐	伊集院鶴城	海軍記念日
19350601	午後7:30	錦心流	舟弁慶	大館錦棋	
19350607	午後8:00	薩摩	彰義隊	吉村岳城	
19350610	午後0:05	錦心流	羅生門	萩谷姪水	
19350615	午後6:00	筑前	常陸丸	田中旭嶺	
19350627	午後8:00	高峰	龍の口	唐沢筑瑞	
19350702	午後0:05	錦心流	枚方堤	松田静水	
19350712	午後0:05	錦心流	北満の志士	松岡遊水	
19350723	午後0:05	薩摩	台湾入	林龍山月	
19350731	午後0:05	薩摩	川中島	藤井義次	
19350808	午後0:05	筑前	小栗栖	山崎旭翠	
19350810	午後6:00	筑前	想夫恋	太田旭照	子供の時間
19350818	午後1:20	高峰	護良親王	高峰筑風	
19350823	午後0:05	薩摩	錦の御旗	西田長祐	
19350831	午後7:55	筑前	橋中佐	秋根旭恵	福岡中継
19350902	午後0:05	薩摩	勝と西郷	田辺錦波	
19350911	午後8:40	錦心流	潯陽江	漆山錦瑟	
19350915	午後1:20	筑前	菊の礎	高田旭邦	名古屋中継
19350921	午後2:15	筑前	村上喜剣	高野旭嵐	海外、レコード
19350926	午後0:05	筑前	俱利伽羅谷	宮下旭枝	
19351003	午後2:15	錦心流	西郷隆盛	新谷桂水	海外
19351007	午後8:00	筑前	堅田落	高野旭嵐	福岡中継
19351013	午後0:50	筑前	高松城	松本旭鶴	
19351016	午後2:15	錦心流	石童丸	大館錦棋	海外、レコード
19351017	午後8:15	筑前	裾野の雨	竹内旭祥	神嘗祭
19351026	午後8:50	薩摩	城山	飯牟礼寿長	鹿児島中継
19351027	午後2:30	筑前	湖水渡	松本旭園	
19351027	午後2:30	筑前	湖水渡	松本旭園	海外
19351101	午後1:10	薩摩	台湾入	安田希山	
19351108	午後8:30	錦心流	石童丸	榎本芝水	
19351117	午後1:20	筑前	扇の的	原田旭柳	全国琵琶予選大会
19351117	午後1:20	錦心流	西郷隆盛	森森蔵	全国琵琶予選大会
19351117	午後1:20	薩摩	川中島	若松干城	全国琵琶予選大会
19351117	午後1:20	薩摩	彰義隊	木原鴻城	全国琵琶予選大会
19351117	午後1:20	筑前	加藤清正	原島旭粧	全国琵琶予選大会
19351117	午後1:20	錦心流	橋大隊長	斎藤錦鳳	全国琵琶予選大会
19351117	午後1:20	筑前	船弁慶	大坪旭邦	全国琵琶予選大会
19351117	午後1:20	錦心流	松の廊下	土田凍水	全国琵琶予選大会
19351117	午後1:20	薩摩	水師營の会見	西郷天風	全国琵琶予選大会
19351117	午後2:20	筑前	加藤清正	原島旭粧	海外、第一放送と同内容
19351117	午後2:20	錦心流	橋大隊長	斎藤錦鳳	海外、第一放送と同内容
19351201	午後0:50	錦心流	船弁慶	宮腰諒水	全国琵琶大会、札幌中継
19351201	午後1:04	薩摩	鉢の木	水越蘆操	全国琵琶大会、仙台中継
19351201	午後1:18	筑前	扇の的	原田旭柳	全国琵琶大会
19351201	午後1:18以降	薩摩	彰義隊	木原鴻城	全国琵琶大会
19351201	午後1:18以降	筑前	船弁慶	大坪旭邦	全国琵琶大会
19351201	午後1:18以降	薩摩	水師營の会見	西郷天風	全国琵琶大会
19351201	午後2:28	錦心流	橋大隊長	三輪柁水	全国琵琶大会、名古屋中継
19351201	午後2:42	錦心流	乃木大将	中山檜水	全国琵琶大会、大阪中継
19351201	午後2:42以降	筑前	那須与市	橘旭崇	全国琵琶大会、大阪中継
19351201	午後3:10	筑前	西郷隆盛	藤井旭豊臣	全国琵琶大会、広島中継
19351201	午後3:24	筑前	井伊大老	池川旭蓉	全国琵琶大会、長崎中継
19351206	午後2:15	錦	曲垣平九郎	水藤錦穰	海外
19351225	午後7:50	薩摩	吉野落(下)	吉水錦翁	大正天皇祭

19360104	午後8:10	錦心流	桐一葉	榎本芝水	
19360109	午後2:15	高峰	扇の的	高峰筑風	海外
19360112	午後2:40	筑前	加藤清正	池川旭蓉	長崎中継
19360123	午後8:25	高峰	露営の夢	高峰筑風	国境警備慰問の夕
19360123	午後8:25	高峰	二見が浦	高峰筑風、富士伴奏：高峰三枝子・吉田筑靖・桜井筑香	国境警備慰問の夕
19360129	午後9:00	薩摩	元寇	浜田晃養	
19360204	午後0:05	筑前	二〇三高地	松岡旭岡	大阪中継
19360211	午後8:00	錦心流	吹けよ神風	大館錦棋	建国の夕、京都中継
19360214	午後2:15	筑前	大楠公	押田旭窃	海外
19360216	午後2:45	筑前	大楠公	押田旭窃	
19360223	午後1:20	筑前	北の庄	鶴田旭窓	
19360301	午後1:10	筑前	雪の別れ	田中旭嶺	
19360310	午後0:05	錦心流	九連城	輝錦凌	
19360321	午後1:10	筑前	桜狩烈女山辺采女	安部旭洲・安部旭桃・高田旭芳	名古屋中継
19360321	午後9:05	錦心流	台湾入	榎本芝水	放送予定変更で故北白川宮大妃殿下奉悼放送
19360324	午後0:05	筑前	勸進帳	高倉旭仔・渡辺旭清・木下旭如	
19360403	午後8:20	筑前	羅生門	豊田静芭	
19360415	午後8:20	錦	曲垣平九郎	水藤錦穰	水戸市茨城会館中継
19360417	午後8:25	錦心流	児島高德	雨宮薫水	
19360501	午後8:50	薩摩	旅順口	吉水錦翁	九段靖国神社能楽堂中継
19360504	午後2:15	筑前	端午	大絃：橘旭殿・三好旭天、小絃：松本旭鶴・高倉旭子・花田旭霞悠、正絃：竹内旭祥・白田旭成・海田旭英・吉田旭昭	海外
19360508	午後0:05	筑前	五條橋	竹内旭祥・白田旭成	二種
19360508	午後0:05	筑前	端午	大絃：橘旭殿・三好旭天、小絃：松本旭鶴・高倉旭仔・花田旭霞悠、正絃・唄：竹内旭祥・白田旭成・海田旭英・吉田旭昭	二種
19360517	午後0:50	筑前	那須与市	高野旭嵐	女流演芸の午後
19360527	午後0:05	薩摩	常陸丸	萩原秋彦	鹿児島中継
19360604	午後0:05	錦心流	五丈原の嵐	榎本芝水	
19360618	午後8:00	薩摩	彰義隊	藤井義次	
19360620	午後7:30以降	筑前	木下藤吉郎	山元旭錦	子供と家庭の夕、大阪中継
19360628	午後3:10	薩摩	川中島	林龍山月	
19360702	午後8:20	筑前	花の夢	正絃：田中旭嶺・今井旭文・村上旭蓮・吉田旭昭・星野旭良・斉藤旭令・若林旭蘭、大絃：藤村旭仙	
19360712	午後2:50	筑前	小督	寺島旭崇	

19360727	午後8:30	錦心流	台湾入	大館錦棋	
19360802	午後7:55	薩摩	白虎隊	田辺錦波	
19360810	午後8:30	筑前	関ヶ原	田中旭千栄	
19360817	午後8:40	薩摩	桜井の駅	吉村岳城	
19360831	午後8:20	筑前	橋中佐	池川旭蓉	長崎中継
19360903	午後8:30	筑前	江戸の暁鐘	鶴田旭窓	
19360904	午後2:15	錦心流	鉢の木	漆山錦瑟	海外
19360916	午後8:30	筑前	能州行	田村旭都	
19360920	午後0:50	錦心流	畠山重忠	松田静水	
19360924	午後0:05	薩摩	城山	肱岡武次	鹿児島中継
19361011	午後1:50	薩摩	小敦盛	西田長祐	
19361015	午後8:12	錦	扇の的	水藤錦穰	大衆演芸週間第四夜
19361023	午後8:00	筑前	陣中の月	大絃：橘旭殿、小絃：高倉旭仔・押田旭窃、唄・正絃：宮武旭豊・戸川旭巴・竹内旭祥	二種
19361023	午後8:00	筑前	菅公	大絃：橘旭殿、小絃：高倉旭仔・押田旭窃、唄・正絃：宮武旭豊・戸川旭巴・竹内旭祥	二種
19361023	午後8:00	筑前	残りの女桜	宮武旭豊・戸川旭巴・竹内旭祥	二種
19361026	午後0:05	筑前	此一戦（対陣の巻）	松岡旭岡	大阪中継
19361104	午後8:40	錦心流	桐一葉	小山田賞水	
19361108	午後1:20	その他	堀部安兵衛	竹下翠風	
19361118	午後0:05	筑前	北條時宗	楠旭崇	大阪中継
19361119	午後8:20	筑前	ある日の一茶	田中旭嶺	一茶を偲びて
19361130	午後0:05	薩摩	本能寺	安田希山	二種
19361204	午後8:30	筑前	名和長年	田口旭隆	
19361208	午後8:35	錦心流	茨木	輝錦凌	
19361218	午後0:05	筑前	曲垣平九郎	山崎旭翠	大阪中継
19361223	午後0:05	筑前	大森彦七盛長	渡辺旭清	
19361227	午後1:20	薩摩	別れの盃	薩摩絃風	
19361229	午後7:30以降	筑前	記載なし	下八川圭祐	余技の夕、演奏者は声楽家、田中旭嶺に指導を受けた
19370112	午後8:00	錦心流	恩人碑	榎本芝水	ローカル、1937年1月5日放送予定が延期したか
19370114	午後6:00	筑前	松の廊下	桜田貴代美・杉田遜、弾法：上野たか	子供の時間、ローカル
19370118	午後0:05	錦心流	鉢の木	中山槍水	大阪中継
19370128	午後8:30	筑前	笠置の御夢	豊田静芭	上海事変記念の夕
19370131	午後1:30	筑前	伽羅兜	光田旭扇	大阪中継
19370207	午後1:30	筑前	浜松城	池川旭蓉	
19370207	午後1:30	薩摩	城山	林龍山月	
19370207	午後1:30	錦心流	本能寺	大館錦棋	
19370221	午後8:40	薩摩	小敦盛	浜田晃養	
19370308	午後8:00	錦	肉弾三勇士	水藤錦穰	
19370316	午後0:05	筑前	菊水	松本旭鶴	
19370322	午後0:05	薩摩	元寇	吉村岳城	放送開始記念第一日
19370329	午後8:35	筑前	陶工柿右衛門	高野旭嵐	福岡中継
19370403	午後8:10	錦心流	羅生門	雨宮薫水	神武天皇祭
19370417	午後0:05	筑前	西郷隆盛	山元旭錦	大阪中継

19370428	午後0:05以降	筑前	湖水渡	原島旭粧	ローカル
19370505	午後0:05	錦心流	舟弁慶	中谷君水	ローカル
19370510	午後0:05	錦心流	楠木正成	廣瀬緻水	大阪中継
19370523	午後1:45以降	筑前	衣川	竹内旭祥	女流演芸の午後
19370527	午後7:30以降	薩摩	大海戦	萩原秋彦	海軍の夕、鹿児島中継
19370607	午後0:05	薩摩	常陸丸	林龍山月	
19370611	午後0:05	錦心流	羅生門	新谷桂水	ローカル
19370613	午後1:10	筑前	大楠公	原田旭柳	
19370618	午後7:30	薩摩	川中島	吉水錦翁	
19370629	午後0:05	錦心流	龍の口	輝錦凌	二種
19370702	午後0:05	薩摩	錦の御旗	大田良一	大阪中継
19370708	午後8:00	筑前	扇の的	寺島旭崇	
19370711	午後0:50	筑前	村上喜剣	増田信子	
19370726	午後0:05	薩摩	九連城	安田希山	
19370801	午後1:30以降	不明	旅順開城	木原多喜三郎	新人の午後
19370802	午後0:05	錦心流	白虎隊	小山田賞水	
19370807	午後7:30	筑前	伽羅の兜	田口旭隆	
19370812	午後7:30	薩摩	新曲 安宅の関	西田長祐	
19370814	午後8:00以降	筑前	野面を渡る軍歌	光田旭扇	銃後の夕、大阪中継
19370823	午後6:30	筑前	川中島	宮川旭風	子供の時間
19370829	午後1:45	筑前	玉の御声	押田旭窃	女流演芸の午後
19370831	午後0:05	薩摩	橘大隊長	田辺錦波	
19370905	午後7:36	錦心流	北満の志士	田辺錦波	
19370912	午後1:20	錦心流	新曲 空襲恐るゝ勿れ	大館錦棋	
19370913	午後7:40以降	薩摩	旅順開城	吉村岳城	乃木将軍の夕
19370918	午後7:30以降	筑前	噫倉本少佐	高倉旭子	満洲事変の夕、『読売』『朝日』に記載なし
19370921	午後8:00	錦心流	西郷隆盛	山口速水	演奏者名『読売』参照（1937年9月21日朝刊10面）
19370924	午後0:05	筑前	蛤蜊河の渡	松岡旭岡	大阪中継
19370928	午後8:30	筑前	関ヶ原	田中旭嶺	
19371003	午後7:40	筑前	北條時宗	豊田静芭	
19371010	午後3:10	錦心流	別れの盃	中澤錦水	
19371014	午後8:03	薩摩	国の護り	吉水錦翁	
19371026	午後8:30	薩摩	錦の御旗	飯牟礼寿長	鹿児島中継
19371102	午後8:20	錦	噫梅林中尉	水藤錦篋	
19371107	午後8:35	薩摩	汀の華	薩摩絃風	
19371113	午後8:05	筑前	銃後の街頭 戦線へ送るルポルタージュ	甥：西村小楽天、 伯父さん：福地悟朗、漫談（戦利品 展覧会見物記）： 柳家金語楼、琵琶： 渡辺旭清、伴奏： AKアンサンブル・ ヴォーカル フォア合唱団	皇軍慰問の夕、演奏者名『読売』参照（1937年11月13日朝刊10面）、琵琶は「太原陥落」（山野五郎作詞、橘旭翁作曲）を演奏
19371121	午後1:50以降	その他	紅葉狩	竹下翠風	女流演芸の午後
19371128	午後1:35	筑前	伊賀の曙	高野旭嵐	福岡中継
19371202	午後0:05	筑前	大楠公	一條旭麿	
19371208	午後8:10以降	錦心流	河村瑞軒	松田静水	国民精神総動員産業週間第六日、『読売』『朝日』に掲載なし
19371212	午後1:00	錦心流	吹雪の敵	三輪柁水	名古屋中継

19371212	午後9:15	筑前	正義の進軍	松本旭鶴・押田旭 窃・戸川旭巴・竹 内旭祥・海田旭英	
19371219	午前9:30	筑前	湖水渡	桜田旭雅	子供の時間、牛込東京第一陸軍病院中継
19371219	午後2:25以降	錦心流	召集令	中田槍水	新人推薦の午後、大阪中継
19371225	午後2:35	錦心流	河村瑞軒	松田静水	大正天皇祭
19371228	午後0:05	筑前	那須与市	光田旭扇	大阪中継
19380103	午後8:00	薩摩	錦の御旗	吉村岳城	元始祭
19380112	午後0:05	筑前	川中島	山元旭錦	
19380115	午後7:40以降	錦心流	石童丸	榎本芝水	
19380127	午後8:30	錦	神苑朝	歌・琵琶：水藤錦 穰、歌：中村桜 蝶、琵琶：鶴田桜 洲・鶴飼桜國・楯 久雪子	
19380130	午後2:40	不明	一茶	室井基邦	
19380202	午後8:30	錦心流	吹雪の敵	半田錦崇	仙台中継
19380208	午後8:30	筑前	龍の口	村上旭蓮	
19380211	午後8:40以降	薩摩	広瀬中佐	吉水錦翁	
19380213	午後8:20	錦心流	屋島の誉	輝錦凌	
19380215	午後6:00	筑前	ラジオヴァラエティ 国民精神総動員	お話：経博太田正 孝、琵琶：押田旭 窃、斉唱：三日月 子供会、伴奏：東 京放送管弦楽団	子供の時間
19380216	午後8:00	薩摩	鉢の木	西田長祐	
19380223	午後8:00	筑前	四條畷	豊田旭穰	演奏者名『読売』参照（1938年2月23日朝刊9面）
19380227	午後1:30	筑前	袖付橋、井上聞多	吉田旭豊嶺	広島中継、曲名『読売』参照（1938年2月17日朝刊10面）
19380228	午後8:00	筑前	船弁慶	大坪旭邦	第二
19380301	午後0:05	錦心流	木村重成	小山田賞水	
19380305	午後8:30	筑前	実盛	高倉旭仔	
19380310	午後8:00	薩摩	川中島	薩摩絃風	第二
19380315	午後8:00	錦心流	白虎隊	中谷君水	第二
19380316	午後0:05	薩摩	高山彦九郎	安田希山	
19380326	午後8:30	筑前	大楠公	田中旭嶺	
19380329	午後8:00	錦心流	遠干潟	松田静水	
19380401	午後8:00	錦心流	宇治川先陣	新谷桂水	第二
19380403	午後1:20以降	錦心流	桜狩	中澤錦水	
19380409	午後8:00	筑前	小袖曾我	戸川旭巴	第二
19380414	午後0:00	筑前	大徳寺	山崎旭翠	大阪中継
19380417	午後2:40以降	筑前	盲の伝令	原田種子	
19380424	午後7:30	錦心流	あゝ加納部隊長	大館錦棋	
19380426	午後8:00	薩摩	小敦盛	水越蘆操	第二
19380429	午後0:00以降	薩摩	桜狩	堀田錦霞	演奏者名『読売』参照（1938年4月29日朝刊10面）
19380501	午後2:00	薩摩	彰義隊	伊藤長四郎	
19380503	午後8:00	錦心流	五條橋	雨宮薫水	第二
19380515	午後8:15	錦心流	宇治川の先陣	山口錦堂	
19380522	午後2:20以降	錦心流	橋大隊長	山口喜雄	
19380525	午後8:00	筑前	大楠公	松本旭鶴	第二
19380527	午後0:02	筑前	義士の本懐	琵琶：高野旭嵐、 琴：高野旭方	
19380604	午後8:00	筑前	曾我の夜討	田口旭隆	第二

19380610	午後0:00	錦心流	吹雪の敵	山本秋子	
19380612	午後2:00	錦心流	羅生門	宮田愛治	新進の午後（番組名『読売』参照、1938年6月12日朝刊10面）
19380620	午後8:00	薩摩	城山	浜田晃養	第二
19380701	午後0:00	筑前	悲壯無双固鎮の白藤	光田旭扇	大阪中継
19380704	午後8:00	薩摩	小松の操	藤井義次	第二
19380710	午後8:20	薩摩	毒饅頭	吉水錦翁	
19380716	午後8:00	筑前	誉れの水馬	臼田旭成	第二
19380724	午後1:00以降	筑前	大森彦七盛長	原田旭柳・宮田旭豊・角田旭笑	傷病将士慰問の午後、横須賀海軍病院中継
19380730	午後8:00	筑前	回天義挙（高杉晋作）	鶴田旭窓	第二
19380806	午後8:00	高峰	扇の的	唐沢筑瑞	第二
19380807	午後2:20	薩摩	威海衛	林龍山月	
19380818	午後8:00	錦心流	龍の口	中谷君水	第二
19380823	午後0:00	筑前	大物の浦	鈴木基代枝	
19380823	午後0:00以降	錦心流	羅生門	斎藤末吉	
19380827	午後8:00	薩摩	長嶺の嵐	安田希山	第二
19380831	午後0時	筑前	橘中佐	池川旭蓉	鹿児島中継、曲目・演奏者名『読売』参照（1938年8月31日朝刊6面）
19380901	午後8:00	錦心流	別れの盃	輝錦凌	第二
19380905	午後8:30	筑前	二百三高地	一條旭磨	
19380909	午後0:00	筑前	安宅の関	田窪旭敏	大阪中継、演奏者名『読売』参照（1938年9月9日朝刊6面）
19380918	午後8:00	錦心流	中村大尉	榎本芝水	
19380919	午後6:00	筑前	神崎与五郎則休	桜田旭雅	子供の時間、曲目・演奏者名『読売』参照（1938年9月19日朝刊6面）
19380924	午後8:00	薩摩	城山	萩原秋彦	秋季皇霊祭、鹿児島市岩崎谷南洲翁洞窟中継
19380925	午後2:30	筑前	空の誉	豊田静芭	
19380930	午後8:00	錦心流	伊豆の御難	廣瀬緻水	第二、大阪中継
19381001	午後9:10	薩摩	嗚呼吉川独立部隊長	吉村岳城	
19381004	午後8:00	錦心流	須磨の春	松田静水	第二
19381007	午後0:00	筑前	那須与市	世古旭祥	大阪中継、演奏者名『読売』参照（1938年10月7日朝刊6面）
19381009	午後1:35	錦心流	白虎隊	山本秋子	
19381017	午後1:00以降	筑前	大楠公	田中旭嶺	傷病将士慰問の午後、新潟県新発田陸軍病院中継
19381018	午後9:10	錦心流	船弁慶	大館錦棋	
19381029	午後8:00	筑前	霊馬漣	高倉旭仔	第二
19381107	午後0:05	筑前	旅順の乃木将軍	松岡旭岡	大阪中継
19381109	午後8:00	薩摩	吉野落（上）	吉水錦翁	第二
19381115	午後0:05	講談	乃木将軍鹿島詣で	水也田吞洲	
19381118	午後0:05	筑前	江戸の暁鐘	押田旭窃	
19381119	午後8:00	筑前	大高源吾	寺島旭崇	第二
19381123	午後1:40	薩摩	別れの国歌	西田長祐	新嘗祭
19381127	午後1:00	筑前	関ヶ原	原島旭粧	
19381201	午後0:05	薩摩	別れの盃	安田希山	曲目『読売』参照（1938年12月1日朝刊6面）
19381203	午後8:00	錦心流	屋島の誉	中澤錦水	第二
19381214	午後8:00	錦心流	雪晴れ	山口錦堂	第二
19381223	午後8:00	薩摩	四條畷	林龍山月	第二
19390101	午後1:40	錦心流	鉢の木	榎本芝水	四方拝
19390130	午後8:00	筑前	斎藤実盛	豊田静芭	第二
19390203	午後0:05	講談	誉れの伝令	水也田吞洲	特輯番組週間第六日

19390209	午後8:00	筑前	屋島	鶴田旭窓	第二
19390219	午後7:30	錦	須磨の敦盛	水藤錦穰	大衆演芸特輯番組
19390228	午後8:00	錦心流	両中尉	大館錦棋	第二
19390306	午後8:00	錦心流	宇治川先陣	松田静水	第二
19390316	午後8:00	筑前	石田三成	高倉旭子	第二
19390324	午後8:00	筑前	坂本龍馬	押田旭窈	第二
19390326	午後3:05	筑前	筑後川	田中旭嶺	女流演芸の午後
19390402	午後1:50	筑前	栗津ヶ原	山崎旭翠	大阪中継
19390412	午後0:05	薩摩	間重次郎	水越蘆操	
19390423	午後1:55	筑前	壇の浦	高倉旭子	大衆演芸の午後
19390430	午後7:50	錦心流	空軍の華 嗚呼福山機	榎本芝水	靖国神社奉納演芸、九段・軍人会館中継
19390504	午後8:00	薩摩	畠山重忠	吉村岳城	第二
19390516	午後8:00	筑前	南郷少佐	豊田静芭	第二
19390522	午後0:05	筑前	大物の浦	一條旭麿	
19390527	午後8:00	薩摩	威海衛	吉水錦翁	第二
19390602	午後8:50	筑前	千利休	高野旭嵐	福岡中継
19390605	午後8:00	錦心流	桶狭間	新谷桂水	第二、曲目『読売』参照（1939年6月5日朝刊6面）
19390612	午後0:05	錦心流	常陸丸	中澤錦水	
19390620	午後8:00	薩摩	彰義隊	安田希山	第二
19390626	午後8:00	錦心流	川中島	雨宮薫水	第二
19390709	午後8:55	錦心流	忠犬富士号	大館洲楓	
19390713	午後0:05	薩摩	小松の操	鬼塚松寿	
19390719	午後8:00	筑前	小栗栖	松本旭鶴	都市
19390725	午後8:00	筑前	平野国臣	大坪旭邦	都市
19390801	午後0:05	筑前	長柄秋風	田口旭隆	
19390806	午後6:00	お伽	兎と亀	三木芳子	子供の時間、小倉中継
19390810	午後7:40	薩摩	広瀬中佐	吉村岳城	
19390815	午後0:05	筑前	大高源吾	藤村旭仙	
19390817	午後9:10	錦心流	橘大隊長	松田静水	
19390827	午後2:00	筑前	羅生門	光田旭扇	大阪中継
19390910	午後2:35	錦心流	吹雪の敵	小山田賞水	
19390912	午後0:05	錦心流	湖水乗切	古田耕水	
19390916	午後8:40	薩摩	安宅の関	西田長祐	
19390922	午後0:05	薩摩	川中島	吉水錦翁	
19391001	午後1:25	錦	軍神西住大尉	水藤錦穰	傷病将士及遺家族慰問の午後
19391006	午後0:05	錦心流	山科の別	山口錦堂	
19391010	午後10:00	筑前	川中島	竹内旭玲	都市、店員の時間、大阪中継
19391012	午後0:05	薩摩	龍の口	安田希山	
19391017	午後2:30	錦心流	父・乃木將軍	榎本芝水	
19391023	午後0:05	錦心流	白虎隊	室蛟水	
19391027	午後8:00	薩摩	坂本龍馬	浜田晃養	都市
19391105	午後7:40	筑前	辻老中佐	田中旭嶺	
19391109	午後10:00	錦心流	西郷隆盛	中澤錦志	都市、店員の時間、大阪中継
19391113	午後8:40	筑前	吉野静	豊田静芭	
19391120	午後0:05	錦心流	雪晴れ	廣瀬緻水	大阪中継
19391123	午後2:10	薩摩	城山	貴島桃源	新嘗祭
19391201	午後0:06	薩摩	菅公	藤井義次	興亜奉公日
19391203	午後1:00	筑前	義士の本懐	高野旭嵐、高野旭方	傷病将士慰問の午後、小倉陸軍病院中継
19391205	午後9:05	錦心流	雪晴れ	中谷君水	都市
19391219	午後0:05	筑前	村上喜剣	寺島旭崇	
19391226	午後8:40	錦心流	松浦の太鼓	早川緑水	都市
19400103	午後1:40	薩摩	鉢の木	吉村岳城	

19400110	午後0:05	錦心流	羅生門	山口錦堂	
19400126	午後0:05	筑前	横井小楠	秋根旭恵	福岡中継
19400201	午後7:40	錦心流	つるぎ	榎本芝水	
19400207	午後0:05	筑前	白衣の天使	松岡旭岡	大阪中継
19400214	午後0:05	薩摩	旅順開城（上）	吉水錦翁	
19400222	午後10:00	錦心流	常陸丸	小山田賞水	都市、店員の時間
19400301	午後8:00	筑前	筑後川	鶴田旭窓	都市、店員の時間
19400306	午後0:05	筑前	扇の的	田中旭嶺	
19400310	午後8:55	その他	いのち世々に	堀田幸介：三津田健、妻かな子：杉村春子、その子幸一：奥野匡志、琵琶：中澤錦水、合唱：日本放送合唱団、伴奏：東京放送管弦楽団、指揮：福田宗一	ラジオドラマ、作中で琵琶《常陸丸》を演奏
19400317	午後8:50	錦心流	橘大隊長	大館洲楓	
19400319	午後8:40	錦	曲垣平九郎	水藤錦篠	都市
19400401	午後8:40	筑前	別れの盃	大坪旭邦	興亜奉公日
19400403	午後2:30	薩摩	錦の御旗	吉村岳城	
19400416	午後8:00	錦心流	白虎隊	松田静水	都市
19400505	午後8:05以降	薩摩	源義経（奇縁）	浜田晃養	全国・海外、ラジオ連曲 少年二千六百年
19400516	午後10:00	物語	軍国諷の母	雲井龍子・雲井不二子・雲井好子	都市、店員の時間
19400527	午後8:00	薩摩	熊谷勝鬨	西田長祐	都市
19400529	午後0:05	薩摩	彰義隊	水越蘆操	
19400609	午後7:40	筑前	羅生門	押田旭窈	
19400611	午後8:40	筑前	大楠公	原田旭柳	都市
19400804	午後2:30	筑前	高松城	松本旭鶴	
19400810	午後7:40	錦心流	龍の口	山口錦堂	
19400819	午後0:05	筑前	松浦佐用姫	高野旭嵐	福岡中継
19400828	午後0:05	筑前	湖水渡	田中旭嶺	
19400830	午後8:00	薩摩	水師營	吉水錦翁	都市
19400906	午後0:05	錦心流	橘大隊長	針谷錦古	
19400909	午後8:00	錦心流	城山	大館錦棋	
19400913	午後0:05	筑前	北條時宗	山下旭栄	大阪中継
19400915	午後2:00	筑前	別れの盃	大坪旭邦・大坪旭窓	秋田中継
19400920	午後0:05	筑前	屋島	田口旭隆	
19400924	午後0:05	薩摩	城山	萩原秋彦	鹿児島中継
19400926	午後10:00	錦心流	橘大隊長	針谷錦古	都市、店員の時間
19400929	午後7:30	薩摩	新曲 実盛出陣	西田長祐	
19401007	午後0:06	薩摩	あゝ加納部隊長	浜田晃養	
19401015	午後0:05	筑前	霊馬漣	寺島旭崇	
19401022	午後8:35	錦心流	新曲 楠正成	榎本芝水	
19401026	午後0:05	錦心流	嗚呼 南郷少佐	小山田賞水	
19401101	午後8:00	筑前	北條時宗	鶴田旭窓	都市
19401105	午後0:05	錦心流	西郷隆盛	雨宮薫水	
19401114	午後0:05	薩摩	錦の御旗	安田希山	
19401124	午後0:05	薩摩	桜井の駅	吉村岳城	
19401204	午後0:05	薩摩	噫西園寺公	吉水錦翁	
19401206	午後8:40	筑前	大高源吾	押田旭窈	都市
19401212	午後0:05	薩摩	川中島	藤井義次	

19401217	午後8:00	筑前	平清盛	新保恵以子	都市、新進和楽の夕 第一夜
19401219	午後0:05	薩摩	威海衛	西田長祐	
19401227	午後8:30	不明	龍の口	石井錦煌	都市
19401230	午後0:05	講談	陣中の夢	水也田呑洲	
19401231	午後6:25	筑前	勇士の家	歌：三好旭天・一條旭麿・中村旭里、琵琶：橘旭翁	
19401231	午後6:25	筑前	扇の的	琵琶合奏：町田旭紅・海田旭英・高畑旭操・植村旭麗	
19410103	午後3:00	薩摩	漁村曙	吉村岳城	
19410108	午後0:05	薩摩	水師營	林龍山月	
19410114	午後8:10	錦心流	吉田松陰	山口錦堂	都市
19410205	午後7:40	筑前	大楠公	大坪旭邦	
19410212	午後0:05	筑前	江戸の暁鐘	鶴田旭窓	
19410218	午後0:05	薩摩	薩摩義士	萩原秋彦	鹿児島中継
19410225	午後9:20	錦	曲垣平九郎	水藤錦穰	都市
19410302	午後7:30	薩摩	錦の御旗	吉村岳城	大阪中継
19410306	午後0:05	講談	秋色桜	水也田呑洲	
19410313	午後0:05	錦心流	宇治川の先陣	山口錦堂	
19410318	午後8:10	筑前	清正守護	田中旭嶺	都市
19410404	午後8:50	薩摩	足柄山	西田長祐	
19410413	午後0:05	筑前	大楠公	歌：戸川旭巴・竹内旭祥、絃：橘旭翁	
19410413	午後0:05	筑前	寿ぐ御代	歌・正絃：戸川旭巴・竹内旭祥、小絃：押田旭竊、大絃：橘旭翁	
19410419	午後0:05	薩摩	乃木大将	水越蘆操	
19410426	午後0:05	筑前	太田道灌	原田旭柳	
19410508	午後8:50	筑前	高杉晋作	鶴田旭窓	都市
19410516	午後6:30	筑前	湖水渡	絃：一條旭麿、歌：渡辺旭清・町田旭紅・押田旭竊	
19410520	午後0:05	筑前	霊馬の漣	田窪旭敏	大阪中継
19410520	午後8:10	筑前	五條橋	戸川旭巴	都市、女流邦楽の夕
19410527	午後0:05	薩摩	広瀬中佐	西田長祐	
19410601	午後1:30	薩摩	白虎隊	吉村岳城	
19410614	午後7:40	錦心流	石童丸	山口錦堂	都市
19410619	午後0:05	筑前	鴨川の露	山下旭栄	大阪中継
19410702	午後0:05	薩摩	嗚呼南郷少佐	吉村岳城	
19410711	午後0:05	筑前	備前三郎	松岡旭岡	
19410713	午後6:30	薩摩	島津日新斎	吉村岳城他	
19410716	午後0:05	筑前	水馬嘗	鶴田旭窓	
19410728	午後0:05	筑前	筑後川	押田旭竊他	
19410806	午後6:30	錦心流	白虎隊	山口錦堂	
19410812	午後0:05	筑前	安宅の関	絃：橘旭翁・一條旭麿、歌：戸川旭巴・竹内旭祥・宮武旭豊	
19410820	午後6:30	薩摩	旅順口	安田希山	
19410829	午後0:05	筑前	北條時宗	光田旭扇	大阪中継
19410908	午後0:05	筑前	菅公	豊田静芭	
19410910	午後6:30	錦心流	船弁慶	松田静水	

19410913	午後8:00	錦心流	父・乃木將軍	小山田賞水	都市
19410914	午後3:05	筑前	大楠公	田中旭嶺	
19410921	午後3:10	筑前	羅生門	大坪旭邦	
19410925	午後7:40	薩摩	城山	吉村岳城	都市
19411003	午後6:30	薩摩	夜討曾我	西田長祐	
19411007	午後0:05	筑前	二〇三高地	池川旭容	鹿児島中継
19411106	午後7:40	錦心流	雪晴れ	山口錦堂	
19411111	午後0:05	筑前	伽羅の兜	井上旭媛・渡島旭鶯	大阪中継
19411128	午後0:05	筑前	川中島	押田旭竊	
19411205	午後0:05	薩摩	湖水乗切	浜田晃養	
19411213	午後9:10以降	薩摩	元寇	伊藤岳英	
19411217	午後0:10	薩摩	広瀬中佐	西田長祐	
19420110	午後0:10	薩摩	連峯雲	吉村岳城	
19420118	午後0:10以降	錦心流	威海衛	山口錦堂	
19420126	午後0:10	錦心流	成瀬兵曹	三輪柗水	
19420322	午後1:00以降	筑前	南進山田長政	田中旭嶺	
19420419	午後6:30	筑前	北條時宗	三好旭天・押田旭竊・竹内旭祥・中本旭聖・村上旭蓮	
19420517	午後6:30	錦心流	錦の御旗	雨宮薫水	
19420612	午後9:10以降	薩摩	桜井の駅	吉村岳城	
19420628	午後4:00以降	錦心流	雪晴れ	永田錦心	邦楽鑑賞、レコード放送
19420711	午後6:30	錦心流	白虎隊	山口錦堂	
19420809	午後1:00	筑前	湖水渡	高野旭嵐	録音か
19420817	午後6:30	薩摩	小敦盛	西田長祐	
19420817	午後6:30	薩摩	広瀬中佐	西田長祐	
19421004	午後3:30以降	筑前	谷村計介	金子武雄	
19421015	午後6:30	薩摩	城山	浜田晃養	
19421112	午後6:30	筑前	長篠の使者	田中旭嶺	二種
19421205	午後0:30	錦心流	武人の華	大館洲楓	二種
19421227	午後1:00以降	筑前	陣中の月	橘旭翁・押田旭竊・戸川旭巴・竹内旭祥・宮武旭豊	
19421227	午後1:00以降	筑前	五條橋	橘旭翁・押田旭竊・戸川旭巴・竹内旭祥・宮武旭豊	
19430102	午後6:30	薩摩	吉野之奥	吉村岳城	二種
19430131	午後1:00以降	錦心流	加藤少将	山口錦堂	
19430307	午後1:00以降	薩摩	九連城	安田希山	
19430508	午後6:30	薩摩	広瀬中佐	西田長祐	二種
19430531	午後6:30	錦心流	湖水乗切	山口錦堂	
19430706	午後6:30	薩摩	錦の御旗	安田希山	二種
19430724	午後6:30	薩摩	桜井の駅	吉村岳城	二種
19430730	午後6:30	薩摩	錦の御旗	吉水錦翁	二種
19430806	午後6:30	筑前	大高源吾	高倉旭子	
19430819	午後9:10	錦心流	宇治川先陣	山口錦堂	
19430831	午後6:30	錦心流	松の廊下	榎本芝水	二種
19430905	午後1:00	薩摩	龍の口	安田希山	
19430916	午後6:30	錦心流	湖水乗切	小山田賞水	二種
19430926	午後6:30	薩摩	広瀬中佐	吉村岳城	
19431007	午後6:30	錦	須磨の敦盛	水藤錦穰	二種
19431017	午後6:30	錦心流	ハワイ海戦	山口錦堂	
19431019	午後8:00以降	錦心流	アツの誉れ	榎本芝水	
19431029	午後6:30	筑前	噫アツ島神兵部隊	斎藤旭芳	

19431107	午後6:30	錦心流	月花	輝錦陵	二種
19431115	午後6:30	錦	曲垣平九郎	水藤錦穰	二種
19431119	午後6:30	筑前	扇の的	田中旭嶺	二種
19431203	午後6:30	薩摩	別れの盃	安田希山	東亜
19431214	午後6:30	錦心流	雪晴れ	山口錦堂	二種
19431222	午後6:30	筑前	木村長門守血判取り	高倉旭子	二種
19440108	午後7:20	錦	鶴越	水藤錦穰	
19440127	午後9:00	筑前	大徳寺	田中旭嶺	東亜
19440210	午後1:00	高峰	南部坂	高峰筑風	東亜、レコードか
19440210	午後1:00	高峰	湖水渡	高峰筑風	東亜、レコードか
19440213	午後6:30	錦心流	鉢の木	榎本芝水	二種
19440221	午後7:40以降	錦	扇の的	水藤錦穰	
19440225	午後6:30	錦心流	元寇	山口錦堂	二種
19440228	午後7:40	薩摩	広瀬中佐	吉村岳城	
19440302	午後9:00	筑前	宇治川	田中旭嶺	東亜
19440305	午後7:40	薩摩	九連城	安田希山	
19440307	午後1:30	筑前	新曲 桶狭間	田中旭嶺	療養所の時間
19440310	午後9:00	錦心流	橋大隊長	榎本芝水	東亜
19440315	午後9:00	錦心流	龍の口	松田静水	東亜
19440322	午後0:20以降	錦心流	木村重成	榎本芝水	
19440325	午後9:00	錦	羅生門	水藤錦穰	東亜
19440403	午後9:30	錦心流	錦の御旗	新谷桂水	東亜
19440414	午後0:20以降	錦心流	川中島	山口錦堂	
19440417	午後6:30	薩摩	桜狩	吉村岳城	東亜、レコードか
19440420	午後6:30	筑前	嗚呼山本五十六元帥	斎藤旭芳	二種
19440421	午後9:30	錦心流	城山	大館洲楓	
19440423	午後1:00以降	薩摩	六号潜水艇	吉村岳城	
19440423	午後1:00以降	錦心流	嗚呼南郷少佐	松田静水	京都中継
19440423	午後1:00以降	筑前	嗚呼特別攻撃隊	田中旭嶺	大阪中継
19440504	午後0:20以降	錦心流	楠木正成	榎本芝水	
19440505	午後9:30	錦心流	湖水乗切	山口錦堂	東亜
19440509	午後6:30以降	錦心流	城山	榎本芝水	東亜、レコードか
19440518	午後6:25以降	錦心流	広瀬中佐	山口錦堂	
19440525	午後1:30	錦	楠公	水藤錦穰	療養所の時間
19440530	午後7:40	薩摩	その日の東郷元帥	萩原秋彦	鹿児島中継
19440612	午後0:20以降	錦心流	屋島の誉	雨宮薫水	京都中継
19440622	午後7:50以降	錦心流	龍ノ口	山口錦堂	
19440628	午後9:15	錦心流	敦盛	新谷桂水	
19440630	午後0:20以降	薩摩	夜討曾我	西田長祐	
19440702	午後6:30	錦心流	稲村ヶ崎	榎本芝水	
19440711	午後6:30	筑前	大楠公	田中旭嶺	
19440716	午後1:00	錦心流	八幡太郎	榎本芝水	
19440725	午後9:30	薩摩	旅順港	安田希山	東亜
19440730	午後0:15以降	筑前	血風桶狭間	田中旭嶺	
19440807	午後0:15以降	錦	元寇若桜	水藤錦穰	
19440813	午後6:30	錦心流	提督月花の訣別	山口錦堂	
19440816	午後0:15以降	筑前	扇の的	高倉旭子	二種
19440829	午後0:15以降	錦心流	白虎隊	山口錦堂	
19440902	午後0:15以降	錦心流	足柄山	松田静水	
19440910	午後6:30	錦心流	帝国艦長	榎本芝水	
19440916	午後0:15以降	錦心流	川中島	雨宮薫水	
19440925	午後0:15以降	錦心流	木村重成	小山田賞水	
19441023	午後0:15以降	錦心流	楠木正成	榎本芝水	
19441116	午後0:15以降	錦	曲垣平九郎	水藤錦穰	
19441205	午後7:40以降	錦心流	提督月花の訣別	山口錦堂	

19441213	午後0:15	薩摩	別れの盃	西田長祐	二種
19441226	午後0:15以降	薩摩	神風特攻隊	長浜南城	鹿児島中継
19450108	午後0:15以降	錦心流	屋島の誉れ	小山田賞水	大詔奉戴日
19450113	午後6:30	錦心流	鉢の木	榎本芝水	
19450410	午後7:25以降	その他	盃の曲	歌：波岡惣一郎・ ゞ香・日暮千代 子、三味線：片野 定子、箏：楯久柔 陽、琵琶：山口錦 堂、朗詠：竹村■ 子、朗読：加藤玉 枝、八木節：群馬 県玉村町郷土芸術 会、合唱：東京放 送合唱団、伴奏： 東京放送管絃楽 団、指揮：深海善 次	構成：時雨音羽、音楽：深海善次
19450417	午後0:15	薩摩	川中島	藤井義次	
19450422	午後7:25以降	その他	判読不可	独唱：内田栄一・ 渡辺はま子・川田 正子、琵琶：西田 長祐、ピアノ独 奏：鷺見五郎、吹 奏楽：海洋吹奏 隊、指揮：早川彌 左衛門、合唱：東 京放送合唱団、伴 奏：東京放送管絃 楽団、指揮：深海 善次	音楽五十年史（一）、解説構成：堀内敬 三（以上、朝日新聞参照）
19450518	午後0:15	錦心流	龍ノ口	小山田賞水	
19450525	午後0:15	錦心流	楠正成	山口錦堂	
19450630	午後0:15	錦心流	白虎隊	榎本芝水	
19450718	午後0:25	錦	元冠若桜	水藤錦穰	
19451109	午後7:30以降	錦心流	恩讐の彼方へ	山口錦堂	第二
19460214	午前8:30	錦心流	湖水渡	山口錦堂	
19460314	午前8:30	錦	五位鷺	水藤錦穰	
19460404	午前8:30	錦心流	羅生門	小山田賞水	
19460426	午前8:30	不明	石童丸	記載なし	レコードか
19460502	午前8:30	錦心流	橋弁慶	榎本芝水	
19460824	午後9:30	錦心流	小督	榎本芝水	
19460928	午前8:30	錦	隅田川	水藤錦穰	
19460928	午前8:30	錦	静幻想曲	琵琶：水藤錦穰・ 相場桜花、箏：楯 久雪子	
19461102	午後5:00	錦心流	龍の口	小山田賞水	第二、名曲鑑賞
19461116	午前8:30	錦心流	茨木	山口錦堂	
19461120	午後5:00以降	錦心流	隅田川	山口錦堂	第二、名曲鑑賞
19470102	午後6:45	薩摩	宝萊山	萩原秋彦	
19470125	午前8:30	錦心流	羽衣	小山田賞水	
19470329	午前8:30	錦心流	啄木	山口錦堂	
19470504	午後8:30	錦心流	羅生門	小山田賞水	第二、新憲法施行記念第二日
19470601	午後6:45	錦心流	近代の琵琶楽	解説：田辺尚雄、 小山田賞水	邦楽道しるべ

19470601	午後6:45	筑前	近代の琵琶楽	解説：田辺尚雄、 押田旭窈	邦楽道しるべ
19470612	午前8:15以降	筑前	綱館	押田旭窈・渡辺旭 清	邦■楽
19470619	午前8:15	錦心流	勸進帳	榎本芝水・輝錦 稜・大館州楓・松 田静水	
19470902	午前9:30	筑前	大物浦	押田旭窈・渡辺旭 清・原田旭柳・岸 旭秀	
19470921	午前9:30	錦心流	小督	琵琶：榎本芝水、 笛：望月裕之助、 小鼓：望月太意之 助、太鼓：望月吉 三次	現代邦楽の時間 榎本芝水作品
19471001	午後8:00	錦心流	龍の口	小山田賞水	第二、邦楽 秋風日記
19471108	午後9:00	薩摩	鉢の木	吉村岳城	第二
19471203	午前9:30	錦	敦盛	水藤錦穰	
19471203	午前9:30	錦	熊野	水藤錦穰	
19471225	午後7:30	錦心流	琵琶の話	解説：田辺尚雄、 演奏：小山田賞水	第二、邦楽道しるべ
19471225	午後7:30	筑前	琵琶の話	解説：田辺尚雄、 演奏：押田旭窈	第二、邦楽道しるべ
19480103	午前11:00	錦心流	鉢の木	榎本芝水	
19480107	午前9:30	錦心流	船弁慶	大館錦旗	演奏者名表記ママ
19480121	午前9:30	錦心流	石童丸	山口錦堂	
19480204	午後8:30	錦心流	「琵琶の話」	田辺尚雄、演奏： 輝錦凌	第二、邦楽道しるべ 邦楽変遷史（五）
19480204	午後8:30	筑前	「琵琶の話」	尚雄、演奏：三好 旭天	第二、邦楽道しるべ 邦楽変遷史（五）
19480211	午前9:30	薩摩	潯陽江	吉村岳城	
19480318	午前9:30	錦心流	桜狩	大館洲楓	
19480406	午前9:30	錦	静幻想曲	水藤錦穰、箏：楯 久雪子	
19480406	午前9:30	錦	曲垣平九郎	水藤錦穰	
19480511	午前9:30	薩摩	千手の前	吉村岳城	
19480608	午前9:30	錦心流	湖水渡り	榎本芝水	
19480622	午前9:30	筑前	五條橋	押田旭窈	
19480704	午前7:30	錦心流	勸進帳	輝錦凌	第二、先週の邦楽界から、録音
19480713	午後8:00	薩摩	狂女	伊藤岳英	第二、邦楽ヴァリエティ 琵琶の夕
19480713	午後8:00	錦心流	扇の的	小山田賞水	第二、邦楽ヴァリエティ 琵琶の夕
19480713	午後8:00	筑前	隅田川	平田旭舟	第二、邦楽ヴァリエティ 琵琶の夕
19480814	午後0:30以降	錦心流	孤城の落月	武本錦桜	新人の時間
19480831	午前9:30	錦心流	横笛	山口錦堂	
19480903	午後8:30	薩摩	潯陽江	解説：田辺尚雄、 実演：吉村岳城	第二、邦楽鑑賞の手引
19480903	午後8:30	筑前	小督	解説：田辺尚雄、 実演：平田旭舟	第二、邦楽鑑賞の手引
19480916	午後2:30	錦心流	石童丸	大館洲楓	
19481007	午後2:30	薩摩	龍の口	吉村岳城	
19481104	午後2:30	錦心流	川中島	榎本芝水	
19481202	午後2:30	錦	船弁慶	水藤錦穰	
19481223	午後2:30	錦心流	鉢の木	山口錦堂	
19490113	午後2:30	薩摩	湖水渡	吉村岳城	
19490203	午後2:30	錦心流	龍の口	榎本芝水	

19490303	午後2:30	薩摩	扇の的	西田長祐	解説：田辺尚雄（邦楽放送記録）
19490303	午後2:30	筑前	小督	平田旭舟	解説：田辺尚雄（邦楽放送記録）
19490324	午後2:30	筑前	五條橋	橘旭翁・小原旭成	
19490324	午後2:30	筑前	巡礼お鶴	橘旭翁・藤巻旭 鴻・小原旭成・太 田旭俗	
19490407	午後2:30	錦心流	山岡鉄舟	三輪栂水	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19490407	午後2:30	筑前	羅生門	小川旭翠	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19490428	午後2:30	錦	桂 「修禅寺物語」 より	水藤錦穰	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19490512	午後2:30	薩摩	潯陽江	吉村岳城	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19490602	午後2:30	錦心流	恩讐の彼方へ	榎本芝水	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19490623	午後2:30	錦心流	川中島	新谷桂水	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19490623	午後2:30	薩摩	足柄山	小田原国尊	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19490720	午後7:30	筑前	お蝶夫人	唄：小原旭成、琵琶：橘旭翁・筑紫 旭洋	第二、こんにちの邦楽、録音か
19490728	午後2:30	筑前	小督	押田旭窃	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19490728	午後2:30	錦心流	湖水渡り	大館州楓	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19490804	午後2:30	錦心流	龍の口	山口錦堂	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19490901	午後2:30	薩摩	吉野落	吉村岳城	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19490915	午後4:00	不明	扇の的	江刺家恵子	
19491020	午後2:30	錦心流	石童丸	榎本芝水	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19491106	午後4:00	筑前	「扇の的」より	高野旭嵐	「九州演芸風土記」より、放送芸能祭参加、熊本発局
19491106	午後4:00	薩摩	「城山」より	安田幸吉	「九州演芸風土記」より、放送芸能祭参加、熊本発局
19491110	午後4:00	錦心流	永井博士	武本錦桜	私たちの音楽
19491117	午後2:30	錦	曲垣平九郎	水藤錦穰	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19491117	午後2:30	錦	隅田川	水藤錦穰	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19491201	午後2:30	筑前	湖水渡り	豊田旭穰	
19491227	午後7:30	民謡	島の春	俗曲：谷田梅香、 琵琶伴奏：大津旭 紅	三つの鐘、録音か
19491229	午後2:30	錦心流	若山牧水	山口錦堂	
19491229	午後2:30	筑前	若き敦盛	橘旭翁、歌：池川 旭蓉	
19500103	午後10:00	薩摩	鉢の木	吉村岳城	
19500119	午後2:30	錦心流	本能寺	榎本芝水	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19500209	午後2:30	筑前	隅田川	平田旭舟	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19500209	午後2:30	薩摩	桶狭間	伊藤岳英	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19500316	午後2:30	筑前	船弁慶	押田旭窃	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19500316	午後2:30	錦心流	巡礼の歌	山口錦堂	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19500413	午後2:30	筑前	石童丸	豊田旭穰	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19500504	午後2:30	錦心流	桜狩	大館洲楓	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19500504	午後2:30	薩摩	宗吾の直訴	西田長祐	再放送あり（第二、翌日午前8:00）
19500516	午後8:00	薩摩	潯陽江	吉村岳城	第二、邦楽鑑賞の手引 邦楽の発達と変遷 明治時代：琵琶、解説：吉川英士、田辺尚雄、曲名『邦楽』参照
19500516	午後8:00	筑前	隅田川	平田旭舟	第二、邦楽鑑賞の手引 邦楽の発達と変遷 明治時代：琵琶、解説：吉川英士、田辺尚雄、曲名『邦楽』参照
19500608	午後2:30	薩摩	龍の口	吉村岳城	再放送あり（第二、翌日午前8:00）、 『確定表』では再放送演目を「畠山重 忠」と記載

19500706	午後2:30	錦心流	川中島	榎本芝水	再放送あり(第二、翌日午前8:00)
19500706	午後2:30	錦心流	足柄山	松田静水	再放送あり(第二、翌日午前8:00)
19500803	午後2:30	錦	晩春賦	水藤錦穰	再放送あり(第二、翌日午前8:00)
19500803	午後2:30	錦	敦盛	水藤錦穰	再放送あり(第二、翌日午前8:00)
19500817	午後4:45	錦心流	船弁慶	山口速水	私たちの音楽
19500831	午後2:30	筑前	重衡	豊田旭穰・原旭潮・田中旭千恵	再放送あり(第二、翌日午前8:00)
19500928	午後2:30	筑前	禅師と政宗	大坪旭邦	再放送あり(第二、翌日午前8:00)
19500928	午後2:30	錦心流	湖水乗切	小山田賞水	再放送あり(第二、翌日午前8:00)
19501019	午後2:30	薩摩	五條橋	安田希山	再放送あり(第二、翌日午前8:00)
19501019	午後2:30	筑前	綱館	唄:池川旭蓉、琵琶本手:橘旭翁、琵琶小絃:小原旭成	再放送あり(第二、翌日午前8:00)
19501108	午後4:45	錦心流	龍の口	山口祖水	私たちの音楽
19501109	午後2:30	筑前	小栗栖	押田旭窃	再放送あり(第二、翌日午前8:30)
19501109	午後2:30	錦心流	川中島	雨宮薫水	再放送あり(第二、翌日午前8:30)
19501205	午後8:30	その他	琵琶について	解説:田辺尚雄・吉川英士	第二、邦楽鑑賞の手引 邦楽の常識
19501213	午後4:45	錦心流	船弁慶	石坂競水	私たちの音楽
19501221	午後2:30	筑前	長柄の秋風	平田旭舟	再放送あり(第二、翌日午前8:30)
19501221	午後2:30	錦心流	船弁慶	輝錦凌	再放送あり(第二、翌日午前8:30)
19510104	午後2:30	錦心流	恩讐の彼方へ	榎本芝水	再放送あり(第二、翌日午前8:30)
19510117	午後4:45	錦心流	勸進帳	山口祖水	私たちの音楽
19510208	午後4:45	錦心流	龍の口	山口速水	私たちの音楽
19510215	午後2:30	筑前	若き敦盛	唄:池川旭蓉、絃:橘旭翁	再放送あり(第二、翌日午前8:30)
19510215	午後2:30	錦心流	湖水乗切	山口錦堂	再放送あり(第二、翌日午前8:30)
19510308	午後4:45	錦心流	良寛さま	山本錦糸・新部錦操	私たちの音楽
19510315	午後2:30	錦心流	川中島	松田静水	再放送あり(第二、翌日午前8:30)
19510315	午後2:30	錦心流	鍛引(景清の内)	大館洲楓	再放送あり(第二、翌日午前8:30)
19510322	午後4:45	錦心流	羅生門	石坂競水	放送記念日、放送記念日特集第三日、私たちの音楽
19510405	午後2:30	筑前	橘三番叟	うた:竹下翠風・小原旭成、絃:押田旭窃・原田旭柳	再放送あり(第二、翌日午前8:30)
19510405	午後2:30	錦	鏡山(奥庭の場)	うた・絃:水藤錦穰、うた:仲川秀邦	再放送あり(第二、翌日午前8:30)
19510510	午後2:30	筑前	赤穂の早討	安部旭洲	
19510607	午後4:45	錦	扇的	都桜錦	私たちの音楽
19510608	午後4:30	錦心流	湖水乗切	山口祖水	第二、若手芸能家、録音か
19510613	午後4:30	錦心流	湖水乗切	山口祖水	第二、若手芸能家、録音か
19510618	午後4:30	錦心流	船弁慶	石坂競水	第二、若手芸能家、録音か
19510621	午後2:30	錦心流	湖水乗切	雨宮薫水	
19510621	午後2:30	薩摩	鉢の木	吉村岳城	
19510705	午後2:30	筑前	羅生門	大坪旭邦	
19510705	午後2:30	錦心流	本能寺	山口速水	
19510718	午後4:30	錦	本能寺	都桜錦	第二、若手芸能家
19510719	午後4:45	錦心流	曲垣平九郎	岡本錦扇	私たちの音楽
19510731	午後8:30	薩摩	彰義隊	吉村岳城	第二、邦楽鑑賞の手引、解説:吉川英士、実演と対談:吉村岳城
19510809	午後4:45	筑前	安宅の関	古川旭神	私たちの音楽

19510816	午後2:30	錦心流	長柄の秋風 (桐一葉)	榎本芝水	
19510816	午後2:30	薩摩	城山	吉水錦翁	
19510920	午後2:30	薩摩	噫石川啄木	西田長祐	
19510920	午後2:30	筑前	大森彦七	押田旭窈・小原旭成・岸旭秀	
19510927	午後4:45	錦心流	熊谷蓮生坊	宮内掛水	私たちの音楽
19511001	午後4:30	錦心流	敦盛	岡本錦扇	第二、若手芸能家、録音か
19511018	午後2:30	錦心流	龍の口	松田静水	
19511018	午後2:30	錦	屋島	水藤錦穰・仲川秀邦	
19511030	午後4:45	錦心流	湖水乗切	新部錦操	私たちの音楽
19511114	午後4:30	錦	茨木	都桜錦	第二、若手芸能家、録音か
19511115	午後2:30	筑前	青葉の笛	大坪旭邦	
19511115	午後2:30	錦心流	紅葉狩	大館洲楓	
19511128	午後4:30	錦心流	屋島の誉	新部錦操	第二、若手芸能家、録音か
19511129	午後4:45	錦心流	白虎隊	山本錦糸	私たちの音楽
19511204	午後4:45	錦心流	龍の口	柳澤訂水	私たちの音楽
19511204	午後8:30	錦	曲垣平九郎	水藤錦穰	第二、邦楽鑑賞の手引、解説：吉川英士、実演と対談：水藤錦穰
19511204	午後8:30	錦	汐汲	琵琶・唄：水藤錦穰、唄：吉奴、三味線：藤本秀夫	第二、邦楽鑑賞の手引、解説：吉川英士、実演と対談：水藤錦穰
19511205	午後4:30	錦心流	大江山	石坂競水	第二、若手芸能家、録音か
19511213	午後2:30	錦心流	別れの盃	小山田賞水	
19511213	午後2:30	筑前	玉藻の前	うた：池川旭蓉、 弹奏：橘旭翁	
19511218	午後4:45	錦心流	羽衣	高田錦鈴	私たちの音楽
19511227	午後4:45	錦心流	羅生門	針谷錦古	私たちの音楽

〈凡例〉

- ・国立国会図書館所蔵の月報・総目録資料の所蔵状況について、邦楽レコードを対象として筆報が作表した。
- ・各レーベルの左列に月報、右列に総目録を記載した。
- ・所蔵がある場合は「○」、ない場合は「×」で示した。
- ・月報は12ヶ月分すべてが揃っていない場合、所蔵がある月を記載した。
- ・月報・総目録の刊行が確認できなかった年は空欄とした。
- ・ビクター1943年1～3月分は1943年5月発行「番号順総目録」より抜粋した。

【表6】国立国会図書館における月報・総目録所蔵状況一覧（2021年8月23日現在）

	コロムビア (ニッチク)		コロムビア大衆盤 (リーガル)		ビクター		ジュニア/大衆盤/ スター/Z盤		ポリドール		キング		テイチク	
1928	○	○			○									
1929	○	○			○	○								
1930	○	○			○	○			1,2,4,5,7-11	×				
1931	○	○			○	○			3-5,7-9,11,12	○	4,5,7,8,9,11			
1932	○	○			○	○	12		○	○	5-12		10	
1933	○	○	9,12	○	○	○	2,4-12		○	○	○		×	
1934	○	○	1,3-5,9-11	○	○	○	○	○	1-5,7-12	○	1-5,7-12		4	○(抜粋)
1935	○	○	1,5-12	○	○	○	○	○	○	○	1,2,4-12		1-3,7,9,10,12	×
1936	○	○	1,2,8-12	○	○	○	○	○	○	○(追補あり)	1-5,10,12		1-9,11,12	×
1937	○	○	○	○	○	○	1-9,11,12	○	○	○	○		1,3-8,10,11	○(前期、1937年1月新譜まで)
1938	1-5,8,9,11,12	○	1-5,8,9,11,12	○	○	○	○	○	○	○(営業用)	○		1,2,4,6-8,12	○(大衆盤第14回新譜)
1939	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1,6,9-11	○
1940	1,2,4-12	○	1,2,4-12	○	○	○	○(1-3?)	○	○	×	○(6,12発行なし)	○	1-6,8-12 (特報第193号あり、刊行月不明)	
1941	○	○	○	○	○	○	○	○	1-7,9-12	○	○	○	3,6,7,9	
1942	1,3-12	○(抜粋)	1,3-12	○(抜粋)	○	○	○	○	1,8-12		○		2	
1943	1-5,7,8,10-12				1-4,6-12	○		○	2,10		1-8,10	○	1,8,10	
1944	2				1,3				1					

〈凡例〉

『日蓄（コロムビア）三十年史』（1940）を参照し、修正を加え筆者が作表した。

*1 合計すると「42」であるが、出典のまま記載した。

*2 満洲レコードの合計数から上位だと推測されるが、出典のまま記載した。

【表7】昭和5(1930)年1月～昭和14(1939)年11月に発売された
コロムビア邦楽レコード種目別一覧（上位40位）

順位	種目	昭和5-6年 (1930-31)	昭和7-8年 (1932-33)	昭和9-10年 (1934-35)	昭和11-14年11月 (1936-39)	合計
1	流行歌	40	129	155	503	827
2	浪花節	157	173	85	124	539
3	子供もの	75	93	74	141	383
4	新民謡	72	84	135	40	331
5	端唄小唄	63	54	46	75	238
6	俚謡	67	94	48	23	232
7	ジャズソング	22	19	66	112	219
8	独唱	21	76	43	59	199
9	長唄	46	41	26	76	189
10	映画主題歌	68	42	27	51	188
11	軍歌・団歌・校歌・国 民歌・応援歌	20	24	20	74	138
12	琵琶	48	46	21	2	117
13	箏・尺八	15	32	18	31	96
14	歌舞伎・演劇・喜劇	56	21	9	4	90
15	宝塚少女歌劇団	8	8	21	51	88
16	ヴァイオリン	3	10	24	42	79
17	松竹少女歌劇団	1	10	22	44	77
18	落語・漫談・漫劇	24	21	20	10	75
	ダンス音楽	—	18	24	33	75
19	義太夫	52	13	—	6	71
20	詩吟	3	8	17	34	62
21	舞踊小唄	—	—	—	55	55
	演説	6	16	4	29	55
22	清元	16	20	12	6	54
23	映画説明	42	3	—	8	53
24	器楽	16	—	2	34	52
25	オーケストラ	2	1	16	23	46 *1
26	ハーモニカ	4	5	8	26	43
27	雑	5	10	23	—	38

28	ブラスバンド	3	2	8	24	37
29	宗教・讃美歌	13	6	11	3	33
30	謡曲	8	8	10	4	30
31	運動競技	4	2	4	16	26
32	ギター・尺八	—	2	6	17	25
33	和洋合奏	7	9	2	5	23
34	合唱	2	7	4	9	22
35	ドラマ	—	13	5	2	20
36	ピアノ	1	—	4	14	19
	ギター	—	—	1	18	19
37	常磐津	15	—	—	3	18
	マンドリン	—	3	6	9	18
	スケッチ	6	4	—	8	18
38	満洲レコード	—	—	3	25	28 *2
39	映画劇	4	4	4	2	14
40	朗読	—	4	7	1	12

〈凡例〉

- ・各レコード会社の月報を主要資料として筆者が作表した。補足資料として総目録、月報既発売目録、『レコードタイムス』(声の写真社、1935)、日本伝統文化振興財団『日本の基礎音楽資料としてのSP盤の実態に関する調査研究〔報告書〕』(2010)(『日本伝統文化振興財団報告書』と表記)、『東京朝日新聞』広告(『朝日』と表記)を用い、参照した際には備考欄に記入した。
- ・本目録には、月報記載の情報から「新譜年月、レコード番号、種目、曲目、演奏者」を抜粋して掲載した。
- ・旧字体は新字体に改めたが、演奏者名の「澤」「邊」等はそのまま記載した。
- ・戦前SPレコード発売日は新譜年月の前月10日から下旬にかけてが多かったが、本研究では新譜年月に統一して入力した。
- ・新譜年月が不明な場合には、レコード番号順に記載した。
- ・1枚に複数曲が収録されている場合は、曲名を「/」で分けた。
- ・「種目」の項目は基本的に資料内「曲種」記載の通りに記したが、「琵琶」のみ記載、あるいは記載がない場合、判別できる際には種目名を記載し、判別できない場合には「不明」と記載した。
「種目」では「琵琶」を省略して記載し、薩摩琵琶のうち正派は「薩摩」と記載した。
例：筑前琵琶→「筑前」、錦心流琵琶→「錦心流」
- ・時局レコードには色を付けた。
- ・明らかな誤植は修正して記入した。

【表8】コロムビアにおける近代琵琶楽の戦前SPレコード発売目録

新譜年月	レコード番号	種目	曲目	演奏者	備考
1928年11月	25411	童謡	天道虫/からすの手紙	豊田旭穰、童謡琵琶会員	
1928年12月	25416-25417	薩摩	鉢の木	吉村岳城	
1929年1月	25437-25438	筑前	湖水渡り	高野旭嵐	
1929年2月	25452-25453	筑前	義士の討入	高野旭嵐、 琴：高野旭方	
1929年3月	25474-25475	筑前	那須與市	高野旭嵐	
1929年7月	25563-25564	高峰	本能寺	高峰筑風	
1929年7月	25562	筑前	井伊大老	高野旭嵐	
1929年8月	25590-25591	筑前	松の廊下	高野旭方	
1929年11月	25670-25671	筑前	村上喜劔	高野旭方	
1929年11月	25693	高峰	露営の夢	高峰交楽会員	「高峰琵琶三楽」(1930年後期総目録)
1929年12月	25706-25707	筑前	義士の本懐	田中旭嶺	
1930年1月	25726-25727	筑前	高田の馬場	高野旭嵐	『十字屋タイムス正月号』(1930年)にも記載あり
1930年4月	25794-25795	薩摩	光秀の最後	吉村岳城	
1930年5月	25825-25826	筑前	山科の別れ	田中旭嶺	1931年総目録では文部省推薦
1930年7月	25881	筑前	関ヶ原	高野旭嵐	
1930年9月	25943-25944	筑前	乃木大将	高野旭嵐	
1930年10月	25981-25982	高峰	台湾入	高峰筑風	
1930年11月	26008-26009	筑前	四条畷	豊田旭穰	
1930年11月	26010-26011	高峰	湖水渡	高峰筑風	
1930年12月	26033-26034	錦心流	別れの盃	福澤錦凌	
1931年1月	26063	筑前	加藤司書	高野旭嵐	
1931年1月	26064-26065	薩摩	石童丸(前篇)	田邊蘇川	1931年総目録に「前篇」の記載あり
1931年2月	26094-26095	筑前	義士の本懐	豊田旭穰	1940年総目録では26094のみ旧吹込(誤植か)
1931年2月	26096-26097	錦心流	恩讐の彼方へ	雨宮錦峰	

1931年3月	26156-26157	筑前	常陸丸	田中旭嶺	『朝日』参照(1931年2月22日夕刊3面)
1931年3月	26158-26159	薩摩	石童丸(後篇)	田邊蘇川	『朝日』参照(1931年2月22日夕刊3面)
1931年4月	26199-26200	錦心流	龍の口	福澤錦凌	
1931年6月	26297-26298	筑前	小督	田中旭嶺	
1931年7月	26336-26337	筑前	安宅の関	高野旭嵐	
1931年8月	26381-26382	筑前	常陸丸	高野旭嵐	
1931年9月	26430-26431	筑前	赤垣源蔵	高野旭嵐	
1931年9月	26432-26433	錦心流	湖水渡り	雨宮錦峰	
1931年10月	26496-26497	筑前	霊馬漣	田中旭嶺	
1931年11月	26543-26544	錦心流	山科の別れ	福澤錦凌	
1931年11月	26545-26546	筑前	小督	高野旭嵐	
1931年12月	26580-26581	薩摩	白虎隊	吉村岳城	
1932年1月	26630-26631	錦心流	橘大隊長	雨宮錦峰	
1932年1月	26632-26633	筑前	川中島	高野旭嵐	
1932年2月	26690-26691	錦心流	満洲事変	榎本芝水	葛生桂雨作詞、榎本芝水作曲、陸軍省推薦
1932年2月	26692-26693	筑前	石童丸	高野旭嵐	
1932年3月	26743-26744	筑前	本能寺	豊田旭穰	
1932年4月	26785	錦心流	河内の宿	福澤錦凌	
1932年5月	26836-26837	筑前	古賀連隊長	高野旭嵐	村瀬時男作歌、時局レコード
1932年6月	26876-26877	筑前	肉弾三勇士	高野旭嵐	中野紫葉作、臨時発売、1933年総目録では文部省推薦
1932年6月	26895	筑前	吉野静	豊田旭穰	
1932年7月	26945-26946	筑前	伊藤公	高野旭嵐	1933年総目録では文部省推薦
1932年8月	26986-26987	錦心流	本能寺	榎本芝水	1934年総目録では文部省推薦、『街のメロディー八月号』(1932年)にも記載あり
1932年9月	27035-27036	筑前	小野訓導	高野旭嵐	
1932年10月	27075-27076	錦心流	石童丸	榎本芝水	
1932年11月	27116-27117	錦心流	常陸丸	雨宮薫水	1934年総目録では文部省推薦
1932年12月	27152-27153	筑前	大高源吾	高野旭嵐	
1933年1月	27180-27181	筑前	大忠臣蔵(前篇)	益満旭錦	山下良輝作
1933年2月	27239-27240	筑前	大忠臣蔵(中篇)	益満旭錦	山下良輝作
1933年3月	27290-27291	筑前	大忠臣蔵(後篇)	益満旭錦	山下良輝作
1933年4月	27322-27323	筑前	大楠公	益満旭錦	山下良輝作、1934年総目録では文部省推薦
1933年5月	27364-27365	筑前	伊賀の曙	益満旭錦	
1933年6月	27400-27401	筑前	松岡全権の獅子吼	益満旭錦	
1933年7月	27431-27432	筑前	台湾入	益満旭錦	1934年総目録(第2版)では文部省推薦
1933年8月	27465-27466	筑前	近藤勇	山元旭錦	
1933年9月	27511-27512	筑前	楠公河内の宿	山元旭錦	1934年総目録(第2版)では文部省推薦

1933年11月	27577-27578	錦心流	白虎隊	雨宮錦峰	1934年総目録(第2版)では文部省推薦
1933年12月	27611-27612	筑前	新作 阿波の鳴門	山元旭錦	1934年総目録(第2版)では文部省推薦
1934年1月	27643-27644	筑前	南部坂雪の別れ	山元旭錦	
1934年2月	27683-27684	筑前	本能寺	山元旭錦	
1934年2月?	27720-27721	筑前	旗盤山の嵐	山元旭錦	加藤庄一作詞、1934年3月月報既発売参照
1934年3月	27728-27729	筑前	桂小五郎と幾松	山元旭錦	
1934年4月	27764-27765	筑前	月形半平太	山元旭錦	1935年総目録では文部省推薦だが、1936年総目録では27765のみ文部省推薦の記載(誤植か?)
1934年5月	27802-27803	錦心流	石童丸	福澤錦凌	
1934年8月	27955-27956	筑前	嗚呼東郷元帥	山元旭錦	松本紫水作、臨時発売
1934年12月	28099-28100	筑前	尊き一声(日本人は此処にゐる)	山元旭錦	松本紫水作
1935年3月	28236-28237	筑前	乃木将軍(植木坂の戦)	山元旭錦	1936年総目録では文部省推薦
1935年4月	28259-28260	筑前	琉球の楠公護佐丸	鹿倉旭霊	
1935年4月	28261	筑前	吾等の家は五大州	鹿倉旭霊	
1936年1月	28635-28638	錦心流	石童丸=アルバム入=	永田錦心	赤盤、大正13年10月16日吹込、「至宝レコード」として記載
1942年9月	100557-100558	主奏楽	あゝ特別攻撃隊	琵琶：押田旭窃、唄：竹内旭祥、二絃琴：藤舎蘆月、三味線：金子久子、尺八：田中允山	特赤盤、邦楽協会推薦、高橋掬太郎作、押田旭窃作曲

【表9】リーガルにおける近代琵琶楽の戦前SPレコード発売目録

新譜年月	レコード番号	種目	曲目	演奏者	備考
1932年12月まで	65116-65117	錦心流	西郷隆盛	榎本芝水	1933年総目録参照、1933年総目録では文部省推薦
1932年12月まで	65118	錦心流	菅公	大館錦棋	1933年総目録参照
1932年12月まで	65119-65120	錦心流	石童丸	大館錦棋	1933年総目録参照
1932年12月まで	65121-65122	錦心流	続石童丸	大館錦棋	1933年総目録参照
1932年12月まで	65123-65124	錦心流	肉弾三勇士	大館錦棋	大坪草二郎作、1933年総目録参照
1932年12月まで	65125-65126	錦心流	本能寺	大館錦棋	1933年総目録参照
1932年12月まで	65127-65128	錦心流	本能寺	萩谷錦川	1933年総目録参照
1932年12月まで	65129-65130	筑前	白虎隊	高野旭方	1933年総目録参照
1932年12月まで	65131-65132	筑前	石童丸	高野旭方	1933年総目録参照、1933年総目録では文部省推薦

1932年12月まで	65133-65134	筑前	台湾入	高野旭方	1933年総目録参照
1932年12月まで	65135-65136	筑前	佐倉義民伝	高野旭方	1933年総目録参照
1932年12月まで	65137	筑前	大楠公(桜井の駅)	川原旭鳳	1933年総目録参照
1932年12月まで	65138-65139	筑前	常陸丸	川原旭鳳	1933年総目録参照
1932年12月まで	65140-65141	筑前	満蒙事変	益満旭錦	1933年総目録参照
1932年12月まで	65142-65143	筑前	古賀連隊長	益満旭錦	1933年総目録参照
1932年12月まで	65144-65145	筑前	肉弾三勇士	益満旭錦	1933年総目録参照
1933年3月	65785-65786	錦心流	川中島	大館錦棋	『朝日』参照(1933年2月24日夕刊2面)
1933年5月	65861-65862	筑前	橘中佐	豊田旭穰	『朝日』参照(1933年4月22日夕刊2面)
1933年12月まで	65900-65901	筑前	天理教祖伝 霊救	山元旭錦	1934年総目録参照
1933年6月	65906-65907	高峰	宇治川	高峰筑風	『朝日』参照(1933年5月23日夕刊2面)
1933年7月	65949	筑前	乃木将軍	田中旭嶺	『朝日』参照(1933年6月17日夕刊2面)
1933年8月	65999-66000	筑前	川中島	豊田旭穰	『朝日』参照(1933年7月18日夕刊2面)
1933年11月	66144-66145	錦心流	紅葉狩	大館錦棋	『朝日』参照(1933年10月22日夕刊2面)
1934年2月	66267-66268	錦心流	吹雪の敵	大館錦棋	『朝日』参照(1934年1月21日夕刊2面)
1934年5月	66380-66381	錦心流	桜狩	大館錦棋	
1934年6月	66416-66417	筑前	石童丸(前篇)	豊田旭穰	『朝日』参照(1934年5月21日夕刊2面)
1934年9月	66544-66545	筑前	赤垣源蔵	田中旭嶺	
1935年1月	66721-66722	筑前	大高源吾	豊田旭穰	『レコードタイムス一月号』(1935年)参照、月報に記載なし
1935年2月	66776-66777	講談	乃木将軍(陣中の夢)	水也田吞洲	『レコードタイムス二月号』(1935年)参照
1935年3月	66823-66824	筑前	石童丸	豊田旭穰	『レコードタイムス三月号』(1935年)参照、「石童丸(続)」(1935年5月月報既発売)
1935年4月	66878	筑前	井伊大老	高野旭嵐	『レコードタイムス四月号』(1935年)参照
1935年5月	66930-66931	講談	大楠公	水也田吞洲	
1935年7月	67039-67040	薩摩	彰義隊	吉村岳城	池辺義象作詞、「会社推薦の優秀盤」(レコードタイムス)
1935年8月	67100-67101	高峰	白虎隊	高峰筑風	
1935年9月	67171-67172	筑前	那須輿市	高野旭嵐	
1935年10月	67222-67223	筑前	近藤勇	山元旭錦	
1935年11月	67316-67317	筑前	伊賀の曙	高野旭嵐	
1935年12月	67329-67330	筑前	大忠臣蔵	山元旭錦	山下由輝作、1936年総目録には「=中篇=」の記載あり
1936年1月	67384-67385	筑前	大忠臣蔵(前篇)	山元旭錦	1936年2月月報既発売参照
1936年1月	67386-67387	高峰	那須輿市	高峰筑風	1936年2月月報既発売参照
1936年2月	67447-67448	筑前	小督	高野旭嵐	

1936年2月	67449-67450	薩摩	鉢の木	吉村岳城	
1936年3-6月?	67509-67510	筑前	大忠臣蔵(後篇)	山元旭錦	1936年8月月報既発売参照
1936年3-6月?	67511-67512	錦心流	山科の別れ	福澤錦凌	1936年8月月報既発売参照
1936年3-6月?	67620	筑前	橋中佐	山元旭錦	1936年8月月報既発売参照
1936年3-6月?	67621	錦心流	本能寺	雨宮薫水	1936年8月月報既発売参照
1936年3-6月?	67678-67679	筑前	広瀬中佐	山元旭錦	1936年8月月報既発売参照
1936年3-6月?	67680	錦心流	桜井の駅	福澤錦凌	1936年8月月報既発売参照
1936年7月	67737-67738	筑前	高田の馬場	高野旭嵐	『朝日』参照(1936年6月20日夕刊2面)
1936年7月	67739-67740	薩摩	光秀の最後	吉村岳城	『朝日』参照(1936年6月20日夕刊2面)
1936年8月	67798-67799	筑前	扇の的	山元旭錦	
1936年9月	67856-67857	筑前	安宅の関	高野旭嵐	
1936年9月	67858-67859	錦心流	別れの盃	福澤錦凌	
1936年10月	67906-67907	筑前	石童丸	山元旭錦	
1936年11月	67962-67963	筑前	壇の浦	高野旭嵐	
1936年12月	67996-67997	筑前	赤垣源蔵	高野旭嵐	
1937年1月	68053-68054	筑前	義士の討入り	高野旭嵐、 琴：高野旭方	
1937年1月	68055-68056	筑前	伊賀の曙	山元旭錦	
1937年2月	68116-68117	筑前	坂本龍馬	山元旭錦	
1937年3月	68173	筑前	湖水渡り	山元旭錦	
1937年3月	68174-68175	錦心流	松の廊下	大館錦棋	
1937年4月	68228	筑前	常陸丸	山元旭錦	
1937年4月	68229	錦心流	河内の宿	福澤錦凌	
1937年5月	68289-68290	筑前	西郷隆盛	山元旭錦	
1937年6月	68347-68348	筑前	川中島	山元旭錦	
1937年7月	68404-68406	都	明智左馬之介 湖水渡り	高橋春錦	柿木寸鉄作詞・作曲(ママ)、既 発売目録には「錦心流琵琶」の 項目に記載
1937年8月	68470-68471	筑前	高田の馬場	山元旭錦	
1937年8月	68472-68473	錦心流	石童丸	福澤錦凌	
1937年9月	68532-68533	筑前	霊馬の漣	山元旭錦	
1937年9月	68534-68535	都	吉田松陰	高橋春錦	柿木寸鉄作詞・作曲(ママ)、 「薩調改造特許都琵琶」
1937年10月	68582	都	西郷隆盛	高橋春錦	柿木寸鉄作詞・作曲(ママ)、 「薩調改造特許都琵琶」
1937年10月	68583-68584	筑前	林大佐	山元旭錦	山下良輝作詞
1937年11月	68650-68651	筑前	大高源吾	高野旭嵐	
1937年12月	68683-68684	筑前	南苑の華噫酒 井少佐	山元旭錦	高橋掬太郎作
1938年1月	68732-68733	都	支那軍覆滅の 歌	高橋春錦	
1938年2月	68794-68795	筑前	渡洋爆撃行	村上旭蓮	海軍中佐梅崎卯之助作詞、田中 旭嶺作曲
1938年3月	68835-68836	都	那須與市宗高	高橋春錦	柿木寸鉄作詞・作曲(ママ)、 「薩調改造特許都琵琶」
1938年4月	68876	筑前	関ヶ原	山元旭錦	

1938年5月	68928	錦心流	月下の陣—露 菅の夢—	三輪栂水	
1938年5月	68929	筑前	吉野静	豊田旭穰	
1938年6-7月?	68970-68971	筑前	月形半平太	山元旭錦	1938年11月月報昭和13年1-10 月新譜参照
1938年6-7月?	69025	筑前	大高源吾	山元旭錦	1938年11月月報昭和13年1-10 月新譜参照
1938年8月	69078-69079	筑前	夜討曾我	豊田旭穰	
1938年9月	69135-69136	筑前	鉢の木	豊田旭穰	
1938年10月?	69183-69184	筑前	四條暎	豊田旭穰	1938年11月月報昭和13年1-10 月新譜参照
1939年2月	69333-69334	筑前	赤垣源蔵	山元旭錦	
1939年4月	69453-69455	芝水流	脇坂部隊(南 京一番乗)	榎本芝水	中山正男原作、林じゅん脚色、 榎本芝水作曲、「陸軍省推薦 『脇坂部隊』所載」

【表10】ビクターにおける近代琵琶楽の戦前SPレコード発売目録

新譜年月	レコード番号	種目	曲目	演奏者	備考
1928年4月	50253	高峰	童謡双立歌/ 童謡蛍の出盛り	東京交楽団員	高峰三楽奏
1928年4月	50255-50256	高峰	扇の的	唐澤筑瑞	
1928年4月	50265	錦心流	西郷隆盛	雨宮錦峰	
1928年5月	50317	筑前	湖水渡	田中旭嶺	1930年総目録から文部省推薦、 1933年には文部省推薦マークなし
1928年5月	50316	筑前	壇の浦	田中旭嶺	五絃
1928年6月	50248	高峰	台湾入	唐澤筑瑞	
1928年6月	50327	筑前	橘中佐	田中旭嶺	
1928年7月	50194	錦心流	石童丸	永田錦心	旧吹込、曲種は「薩摩」
1928年7月	50195	錦心流	常陸丸	永田錦心	旧吹込、曲種は「薩摩」
1928年7月	50196	錦心流	城山	永田錦心	旧吹込、曲種は「薩摩」
1928年7月	50197	錦心流	本能寺	永田錦心	旧吹込、曲種は「薩摩」
1928年8月	50409-50410	筑前	義士の本懐	田中旭嶺	
1928年9月	50532	筑前	橋弁慶	琵琶：田中旭 嶺、伴奏：ビ クター音楽部	ピアノ伴奏
1928年9月	50533-50534	筑前	宇治川	琵琶：田中旭 嶺、伴奏：ビ クター音楽部	ピアノ伴奏
1928年11月	50432-50433	錦心流	川中島	榎本芝水	
1928年11月	50457	筑前	小栗栖	田中旭嶺	五絃
1928年12月	50482	錦心流	雪晴れ	雨宮錦峰	
1929年2月	50579-50580	錦心流	城山	榎本芝水	
1929年3月	50655	筑前	菅公	秋根旭恵	
1929年3月	50670-50673	錦心流	石童丸	榎本芝水	
1929年4月	50674-50675	薩摩	旅順開城	吉村岳城	1930年総目録から文部省推薦
1929年4月	50688	筑前	南部坂	岡野旭榮	
1929年5月	50712-50713	筑前	小督	金地旭園	

1929年6月	50736-50737	筑前	常陸丸	田中旭嶺	1930年総目録から文部省推薦
1929年7月	50779-50780	錦心流	常陸丸	榎本芝水	
1929年8月	50806-50807	高峰	血染の雪	櫻井筑香	
1929年10月	50874-50875	錦心流	本能寺	榎本芝水	1931年総目録から文部省推薦
1929年11月	50910	高峰	大石内蔵之助	櫻井筑香	
1929年12月	50947-50948	錦心流	台湾入り	榎本芝水	1932年総目録から文部省推薦
1930年1月	50990-50991	筑前	台湾入り	田中旭嶺	
1930年1月	50992-50993	錦心流	橘大隊長	榎本芝水	1-4面
1930年2月	51046-51047	筑前	大高源吾	田中旭嶺	
1930年3月	51066-51067	筑前	四條暁	田中旭嶺	
1930年4月	51097-51098	錦心流	桜狩	榎本芝水	
1930年5月	51138-51139	筑前	乃木将軍	川原旭鳳	
1930年6月	51179-51180	筑前	霊馬「漣」	田中旭嶺	
1930年7月	51247-51248	錦	白虎隊	水藤錦穰	1932年総目録から文部省推薦
1930年8月	51284-51285	筑前	衣川	田中旭嶺	
1930年9月	51323-51324	錦心流	橘大隊長	榎本芝水	5-8面
1930年10月	51360-51361	錦	屋島の誉れ	水藤錦穰	
1930年11月	51412-51413	筑前	夜討曾我	田中旭嶺	1932年総目録から文部省推薦
1930年12月	51484-51485	錦	敦盛	水藤錦穰	
1931年1月	51513-51514	筑前	乃木大将	田中旭嶺	
1931年2月	51538-51539	錦	吉野落ち	水藤錦穰	1933年総目録から文部省推薦
1931年3月	51575-51576	筑前	広瀬中佐	田中旭嶺	1932年総目録から文部省推薦
1931年4月	51611-51612	筑前	坂本龍馬	川原旭鳳	
1931年5月	51681-51683	錦	本能寺	水藤錦穰	田中濤外作詞
1931年6月	51696-51697	筑前	地震加藤	田中旭嶺	1933年総目録から文部省推薦
1931年7月	51770-51771	錦	楠公	水藤錦穰	
1931年8月	51816-51817	高峰	高山彦九郎	高峰筑風	
1931年9月	51829-51830	筑前	高田の馬場	田中旭嶺	
1931年10月	51889-51890	錦	五條橋	水藤錦穰	
1931年11月	51782-51783	高峰	乃木将軍	高峰筑風	「1931年8月発売」(『日本伝統文化振興財団調査報告書』)
1931年12月	51974-51975	筑前	丸橋忠弥	田中旭嶺	
1932年1月	52033-52034	高峰	扇の的	高峰筑風	
1932年2月	52035-52036	錦	義士の討入	水藤錦穰	臨時発売新譜、「1931年12月発売」(『日本伝統文化振興財団報告書』)、1937年総目録から文部省推薦
1932年2月	52076-52077	筑前	坂本龍馬	田中旭嶺	1933年総目録から文部省推薦
1932年3月	52110-52111	高峰	川中島	高峰筑風	
1932年4月	52142-52143	錦	雪の進軍	水藤錦穰	
1932年3月	52170-52171	筑前	北満嵐(噫経理部隊十六士)	豊田旭穰	3月発売追加新譜、臼田少佐作詞、1937年総目録から文部省推薦
1932年5月	52175-52176	筑前	鬼界ヶ島	田中旭嶺	
1932年6月	52237-52238	錦	古賀連隊長	水藤錦穰	
1932年6月	52250-52251	高峰	国の華一爆弾三勇士	高峰筑風	大坪草二郎作詞
1932年7月	52278-52279	高峰	湖水渡	高峰筑風	1937年総目録から文部省推薦
1932年8月	52324-52325	筑前	扇の的	田中旭嶺	1934年総目録から文部省推薦
1932年9月	52365-52366	錦	堅田の落照	水藤錦穰	

1932年10月	52396-52397	高峰	児島高德	高峰筑風	
1932年11月	52424-52425	筑前	本能寺	田中旭嶺	
1932年12月	52468-52469	高峰	小敦盛	高峰筑風	
1933年1月	52507-52508	錦	錦の御旗	水藤錦穰	
1933年2月	52540-52541	筑前	頂羽	田中旭嶺	
1933年3月	52578-52579	高峰	本能寺	高峰筑風	
1933年4月	52606-52607	錦	曲垣平九郎	水藤錦穰	田中濤外作詞、水藤錦穰作曲
1933年5月	52632-52633	筑前	平野の最期	田中旭嶺	葛生桂雨作詞、二世橘旭翁作曲
1933年6月	52671-52672	高峰	台湾入	高峰筑風	
1933年7月	52702-52703	錦	石童丸	水藤錦穰	1937年総目録から文部省推薦
1933年9月	52775-52776	筑前	白虎隊	田中旭嶺	1937年総目録から文部省推薦
1933年10月	52803-52804	高峰	東郷元帥	高峰筑風	長井静泉作詞、高峰筑風作曲
1933年11月	52839-52840	筑前	紅葉狩	田中旭嶺、安部旭榮	神野三巴作詞、安部旭洲作曲
1933年12月	52871-52872	錦	大高原吾	水藤錦穰	
1934年1月	52907-52908	高峰	小楠公(櫻井の別れ 上下、正行の最後 上下)	高峰筑風	
1934年2月	52951-52952	高峰	常陸丸	高峰筑風	池辺義象作詞、1937年総目録から文部省推薦
1934年3月	52979-52980	高峰	志士の鑑(沖禎介・横川省三の最期)	高峰筑風	
1934年5月	53043-53044	高峰	吉田松陰	高峰筑風	
1934年7月	53104-53105	高峰	護良親王	高峰筑風	高峰筑風作曲
1934年9月	53167-53168	高峰	建国の神	高峰筑風	長井静泉作詞、高峰筑風作曲
1934年11月	53236-53237	錦心流	噫、小野訓導	萩谷姪水	「会社推薦の優秀盤」(『レコードタイムス』)
1935年1月	53290-53291	高峰	白虎隊	高峰筑風	
1935年4月	53364-53365	高峰	血染の雪	高峰筑風	
1935年6月	53419-53420	錦心流	乃木將軍(最後の参内)	萩谷姪水	酒井幽泉作詞、萩谷姪水作曲、「会社推薦の優秀盤」(『レコードタイムス』)
1935年8月	53500-53501	高峰	日蓮上人	高峰筑風	
1935年12月	53571-53572	高峰	南部坂	高峰筑風	高峰筑風作詞・作曲、1937年総目録から文部省推薦

【表11】ジュニア・ビクター大衆盤・スター・Z盤における近代琵琶楽の戦前SPレコード発売目録

新譜年月	レコード番号	種目	曲目	演奏者	備考
1933年3月	J10027	筑前	城山の西郷	荒牧旭弘	ジュニア
1934年3月	J10145-J10146	筑前	湖水渡り	大坪旭邦	ジュニア
1934年6月	J10171-J10172	筑前	大徳寺	大坪旭邦	ジュニア
1934年7月	J10181-J10182	筑前	佐渡情話 盃のお玉	荒牧旭弘	ジュニア、河原杏子作詞、荒牧旭弘作曲
1935年8月	J10286	錦心流	西郷隆盛	雨宮錦峰	ジュニア
1935年10月	J10308-J10309	筑前	空閑少佐	高野旭嵐	ジュニア、村瀬時男作詞、1937年総目録から文部省推薦

1936年1月	J10340-10341	筑前	伊賀の曙	高野旭嵐	ジュニア、1937年総目録から文部省推薦
1936年5月	J10369-J10370	錦心流	船弁慶	雨宮薫水	ビクター大衆盤
1936年7月	J10392-J10393	鶴鳴流	川中島	若松干城	ビクター大衆盤、1-3面、南部露庵作詞、詩吟《飛雨蕭々》も収録
1936年9月	J10406-J10407	錦心流	児島高德	雨宮薫水	ビクター大衆盤
1937年7月	S1060	筑前	川中島	田中旭嶺	スター
1937年8月	S1034	筑前	常陸丸	田中旭嶺	スター
1937年10月	S1097	筑前	龍の口	田中旭嶺	『朝日』参照(1937年9月22日夕刊2面)
1937年11月	S1125	筑前	義士の本懐	田中旭嶺	スター
1937年11月	S1148	筑前	空の訣別	押田旭竊	スター、大澤逸足作詞、押田旭竊作曲、事変特集レコード、10月1日臨時発売
1938年1月	S1177	筑前	江戸の暁鐘	押田旭竊	スター、大澤逸足作詞、二世橘旭翁作曲
1938年3月	S1228	筑前	台湾入	田中旭嶺	スター、二世橘旭翁作曲
1938年4月	S1250	筑前	曾我の夜討	田中旭嶺	スター、初代橘旭翁作曲
1938年5月	S1274	筑前	大楠公	田中旭嶺	スター、飯田胡春作詞、橘旭翁作曲
1938年10月	Z-33	芝水流	城山の月—新曲琵琶小品	榎本芝水	Z盤、野村無名庵作詞、榎本芝水作曲
1938年12月	Z-78-Z-79	筑前	空の誉	豊田静芭	Z盤、陸軍航空兵大佐白田寛三作詞、豊田静芭作曲
1939年3月	Z-99	芝水流	凱旋乃木	榎本芝水	Z盤、野村無名庵作詞、榎本芝水作曲
1939年10月	Z-231-Z-232	芝水流	空軍の華—福山航空兵大尉	榎本芝水	Z盤、和田一之作詞、榎本芝水作曲
1940年1-2月	Z-273-Z-274	芝水流	少年航空兵	榎本芝水	Z盤、『日本伝統文化振興財団報告書』参照

【表12】ポリドールにおける近代琵琶楽の戦前SPレコード発売目録

発売年月	レコード番号	種目	曲目	演奏者	備考
1930年1月	131-132	錦心流	常陸丸	大館錦旗	黒盤
1930年1月	133-134	高峰	川中島	唐澤筑瑞	黒盤
1930年2月	181	高峰	白虎隊	唐澤筑瑞	黒盤
1930年3月	225-226	錦心流	城山	大館錦棋	黒盤、『朝日』参照(1930年2月26日夕刊3面)
1930年4月	264	高峰	湖水渡	唐澤筑瑞	黒盤、1939年総目録では文部省認定
1930年5月	298-299	錦心流	本能寺	大館錦棋	黒盤
1930年8月	408	童謡	露営の夢	高峰琵琶バンド、高峰筑風指揮	黒盤
1930年8月	419-420	薩摩	台湾入り	吉村岳城	黒盤、1934年総目録では文部省推薦
1930年9月	462-463	筑前	乃木大将	田中旭嶺	黒盤、1934年総目録では文部省推薦

1930年11月	520-521	筑前	常陸丸	田中旭嶺	黒盤、池辺義象作詞
1930年12月	552-553	筑前	義士の本懐	田中旭嶺	黒盤、『朝日』参照(1930年11月26日夕刊3面)
1931年7月	833-834	錦心流	橘大隊長	榎本芝水	黒盤
1931年8月	859	薩摩	桜井の駅	吉村岳城	黒盤
1931年8月	882-883	錦心流	龍の口	榎本芝水	黒盤、宗祖日蓮聖人六百五十年遠忌記念吹込レコード
1932年3月追加	3543-3544	筑前	北満嵐	豊田旭穰	緑盤、本庄関東軍司令官題名、白田少佐歌、豊田旭穰作曲、1934年総目録では文部省推薦
1932年4月	3554-3555	薩摩	桜狩	吉村岳城	緑盤
1932年5月	3578-3579	筑前	嗚呼花澤飛行少佐	豊田旭穰	緑盤、大坪草二郎作詞、豊田旭穰作曲
1932年5月	3592-3593	錦心流	爆弾三勇士	榎本芝水	緑盤、与謝野寛作詞、榎本芝水作曲
1932年10月	1236-1237	筑前	霊馬「漣」	田中旭嶺	黒盤
1932年12月	1249	筑前	橘流五絃 小栗栖	田中旭嶺	黒盤
1933年1月	1272-1273	筑前	扇の的	田中旭嶺	黒盤、今村外園作、1933年2月月報既発売参照
1933年3月	1315	筑前	吉野静	田中旭嶺	黒盤、1933年4月月報既発売参照
1933年5月	3822-3823	不明	北満の雪華 噫軽機関銃分隊	安保錦償	緑盤、長尾中佐校閲改訂、小里松本市長詩
1933年5月	1348-1349	筑前	夜討曾我	田中旭嶺	黒盤、1933年6月月報既発売参照
1933年7月	1390	筑前	五條橋	田中旭嶺	黒盤
1933年8月	1409	筑前	菅公	田中旭嶺	黒盤
1933年10月	1441-1443	筑前	秘曲 戻り橋	豊田静芭	黒盤、豊田静芭作曲
1934年2月	4060	筑前	別れの国歌	ダニエル旭喜	緑盤
1934年12月	2125-2126	筑前	龍の口	田中旭嶺	黒盤、田中弥生作詞・作曲
1935年1月	2123-2124	筑前	赤城の月	田中旭嶺	黒盤、高橋虎雄作詞、「会社推薦の優秀盤」(『レコードタイムス』)
1935年5月	4261-4262	錦	橘大隊長	水藤錦穰	緑盤、吉水経和作詞、「会社推薦の優秀盤」(『レコードタイムス』)
1935年7月	4295-4296	筑前	広徳寺	田中旭嶺	緑盤
1935年10月	4340-4341	錦	屋島の誉	水藤錦穰	緑盤、吉水経和作詞
1936年2月	8118-8119	錦	井伊大老	水藤錦穰	茶盤、石川富士雄作詞
1936年4月	8269-8270	錦心流	桜狩	榎本芝水	茶盤
1936年5月	8294-8295	錦心流	城山	大館錦棋	茶盤、1937年総目録では文部省推薦
1936年12月	8544-8545	筑前	壇の浦	田中旭嶺	茶盤、1939年総目録では文部省推薦
1937年3月	8612-8613	芝水流	爆弾三勇士	榎本芝水	茶盤、与謝野寛作詞、榎本芝水作曲
1937年5月	8658-8659	浪曲	乃木將軍の鹿島詣	水也田呑洲	茶盤、曲種は「新興琵琶浪曲」

1938年4月	8852-8853	薩摩	桜狩	吉村岳城	茶盤
1938年5月	8872-8873	錦	橘大隊長	水藤錦穰	茶盤、吉水経和作
1938年12月	8983-8984	琵琶	七尾城	榎本芝水	藍盤、林千吉郎作詞、榎本芝水作曲

【表13】キングにおける近代琵琶楽の戦前SPレコード発売目録

新譜年月	レコード番号	種目	曲目	演奏者	備考
1931年2月	K14-K15	薩摩	その日の東郷 元帥—日本海 大海戦	吉村岳城	紫盤、井上剣花坊作詞、『朝日』参照(1931年3月9日朝刊6面、「第二回新譜」)
1931年4月	K38-K39	薩摩	元寇	吉村岳城	紫盤、『朝日』参照(1931年4月27日朝刊4面)、4月月報には記載なし、1931年5月月報既発売には記載あり
1931年5月	K53-K54	錦心流	楠木正成	榎本芝水	紫盤、直木三十五作詞、大楠公戦死六百年記念特別発売
1931年7月	K67-K68	筑前	扇の的	日高旭鶴	紫盤、今村外園作詞、初代橘旭翁作曲
1931年8月	K81-K82	錦心流	新曲九條武子 夫人	榎本芝水	紫盤、山中峯太郎原作(婦人倶楽部連載)、渡辺黙禅作詞
1931年10月	K108-K109	錦心流	乃木大将	松田静水	紫盤、永田錦心作曲、『朝日』参照(1931年9月30日夕刊3面)
1931年11月	K125-K126	筑前	太田道灌	日高旭鶴	紫盤、初代橘旭翁作曲
1931年11月	K127-K128	錦心流	山科の別れ	榎本芝水	紫盤、1-4面、高松春月作詞、永田錦心作曲
1931年12月	K140-K141	錦心流	続山科の別れ	榎本芝水	紫盤、5-8面、『キング』8巻5号参照
1931年12月	K142-K143	錦心流	船弁慶	松田静水	紫盤、『キング』8巻5号参照
1932年11月	K188-K189	筑前	白虎隊	田中旭嶺	紫盤
1933年3月	K220-K221	筑前	城山	田中旭嶺	紫盤、勝安房作詞
1933年6月	K243-K244	錦心流	稲村ヶ崎	榎本芝水	紫盤、中村静陵(孝也)作詞、榎本芝水作曲、新田義貞挙兵六百年記念発売
1933年11月	K285-K286	筑前	湖水渡り	田中旭嶺	紫盤
1933年12月	K299-K300	筑前	義士の本懐	田中旭嶺	紫盤
1934年12月	K416-K417	高峰	川中島	高峰筑風	紫盤
1935年1月	K429-K430	高峰	扇の的	高峰筑風	紫盤
1935年2月	K443-K444	筑前	大高源吾	高野旭嵐	紫盤
1935年3月	K452-K453	高峰	小敦盛	高峰筑風	紫盤、『レコードタイムス三月号』(1935年)参照
1935年4月	K461-K462	筑前	本能寺	高野旭嵐	紫盤
1935年5月	K473-K474	高峰	高山彦九郎	高峰筑風	紫盤
1935年6月	K486-K487	筑前	台湾入	高野旭嵐	紫盤
1935年7月	K502	筑前	坂本龍馬	池川旭蓉	紫盤
1935年8月	K513-K514	高峰	乃木将軍	高峰筑風	紫盤
1935年9月	K525-K526	筑前	村上喜剣	高野旭嵐	紫盤
1935年10月	K534	筑前	旅順の乃木将 軍	池川旭蓉	紫盤
1935年11月	K545-K546	高峰	本能寺	高峰筑風	紫盤

1936年1月	K568	筑前	菅公	池川旭蓉	紫盤、初代橘旭翁作曲
1936年10月	11001-11002	錦	曲垣平九郎	水藤錦穰	黒盤、田中濤外作詞、水藤錦穰作曲、1943年総目録では文部省推薦
1936年10月	11003-11004	筑前	城山	池川旭蓉	黒盤、1943年総目録では文部省推薦
1937年3月	11035-11036	筑前	井伊大老	池川旭蓉	黒盤
1937年7月	11087-11088	筑前	新曲 旅順白 擲隊	田中旭嶺	黒盤、大澤逸足作詞
1937年8月	11108-11109	筑前	笠置落ち	池川旭蓉	黒盤、飯田胡春作詞
1937年11月	21016-21017	錦	一空の訣別— 噫梅林中尉	水藤錦穰	黒盤、福原峯峰翠作詞、10月1日臨時発売、1943年総目録では文部省推薦
1938年2月	21065-21066	筑前	二〇三高地	池川旭蓉	黒盤
1938年3月	21090-21091	芝水流	常陸丸	榎本芝水	黒盤
1938年4月	21114-21115	錦	石童丸	水藤錦穰	黒盤、四竈訥治作詞、1943年総目録では文部省推薦
1938年7月	21161-21162	筑前	旅順の乃木将 軍	池川旭蓉	黒盤
1938年11月	21212-21213	筑前	橘中佐	池川旭蓉	黒盤、橘旭殿作詞、橘旭翁作譜
1938年12月	21229-21230	芝水流	川中島	榎本芝水	黒盤
1939年2月	31018-31019	筑前	菊水	池川旭蓉	黒盤、早川紫陽作詞、橘旭翁作曲

【表14】 テイチクにおける近代琵琶楽の戦前SPレコード発売目録

発売年月	レコード番号	種目	曲目	演奏者	備考
1932年8月まで	200-201	筑前	噫々古賀連隊 長	川原旭鳳	青盤、1932年10月月報既発売参照
1932年8月まで	202-203	筑前	軍国美鑑 井 上中尉夫人	川原旭鳳	青盤、1932年10月月報既発売参照
1932年8月まで	211	筑前	橘中佐	戸川旭巴	青盤、1932年10月月報既発売参照
1932年8月まで	5067-5068	筑前	石童丸	川原旭鳳	黒盤、1932年10月月報既発売参照、「1936年2月新譜目録」(『日本伝統文化振興財団報告書』)
1932年8月まで	5086-5087	筑前	川中島	川原旭鳳	黒盤、1932年10月月報既発売参照、「1936年2月新譜目録」(『日本伝統文化振興財団報告書』)
1932年9月	290	錦心流	城山	高島榿水	青盤、1932年10月月報9月新譜参照
1934年3月まで	5165-5166	筑前	義士の本懐	光田旭蟬	黒盤、1934年4月月報既発売参照
1934年3月まで	5174	筑前	常陸丸	光田旭蟬	黒盤、1934年4月月報既発売参照
1934年3月まで	5209	筑前	橘中佐	光田旭蟬	黒盤、1934年4月月報既発売参照

1934年3月まで	5339	筑前	湖水渡	光田旭蟬	黒盤、1934年4月月報既発売参照
1934年3月まで	5395-5396	錦心流	桜狩	土田凍水	黒盤、1934年4月月報既発売参照
1934年3月まで	5448-5449	錦心流	本能寺	土田凍水	黒盤、1934年4月月報既発売参照
1934年3月まで	5481-5482	錦心流	石童丸	雨宮薫水	黒盤、1934年4月月報既発売参照
1934年3月まで	5538-5539	錦心流	常陸丸	土田凍水	黒盤、1934年4月月報既発売参照
1934年3月まで	5574	錦心流	大石良雄 大 三郎の別れ	雨宮薫水	黒盤、1934年4月月報既発売参照
1934年3月まで	5616	錦心流	西郷隆盛の最後	雨宮薫水	黒盤、1934年4月月報既発売参照
1934年3月まで	341	錦心流	小楠公河内の宿	高島樫水	青盤、1934年4月月報既発売参照
1934年12月まで	5917	筑前	湖水渡	田中旭嶺	黒盤、1935年1月月報既発売参照
1935年2月	5960-5961	錦心流	石童丸	辻中芸水	黒盤
1935年2月	6066-6067	筑前	常陸丸	高野旭嵐	黒盤、「会社推薦の優秀盤」 (『レコードタイムス』)
1935年3月	6096-6097	筑前	義士の本懐	高野旭嵐	黒盤
1935年3月	6098-6099	筑前	噫々 古賀連 隊長	川原旭鳳	黒盤
1935年4月	6116-6117	筑前	橘中佐	高野旭嵐	黒盤、『レコードタイムス四月号』(1935年)参照
1935年5月	6133-6134	筑前	軍人の妻	川原旭鳳	黒盤、『レコードタイムス五月号』(1935年)参照
1935年5月	6135	錦心流	敦盛	辻中芸水	黒盤、『レコードタイムス五月号』(1935年)参照
1935年6月?	15153-15155	大館派	大楠公の至誠	大館錦棋	緑盤、内田良平作詩、1935年7月月報既発売参照
1935年9月	15216-15217	大館派	橘大隊長	大館錦棋	緑盤
1935年10月	6211-6212	筑前	乃木將軍	川端旭芳	黒盤
1935年11月?	6219-6220	筑前	橘中佐	大坪旭邦	黒盤、1936年1月月報既発売参照
1936年2月	15288	大館派	東海道お笑ひ 道中	大館錦棋	緑盤
1936年2月	15295-15296	大館派	笹川繁蔵 清 瀧の佐吉の巻	大館錦棋	緑盤
1936年3月	15288-15289	大館派	東海道お笑ひ 道中(弥次郎 兵衛・喜多 八)	大館錦棋	緑盤、前月に前半を出し、3月新譜と合わせて2枚組として発売したか
1936年3月	15314-15315	筑前	南部坂	安藤旭錦	緑盤
1936年4月	15331-15332	大館派	元寇の役 吹 けよ神風	大館錦棋	緑盤、山下棋一郎作詞
1936年4月	15333-15334	薩筑	石童丸	福井銀城、安 藤旭錦	緑盤、福井銀城作、曲種は「薩筑琵琶掛合」
1936年5月	15347-15348	大館派	沈黙の凱旋	大館錦棋	緑盤、山下棋一郎作詞

1936年6月	15369-15370	大館派	河内山宗俊	大館錦棋	緑盤、山下麒一郎脚色
1936年6月	391	筑前	橘中佐	川端旭芳	大衆盤
1936年6月	411	錦心流	屋島の誉	辻中芸水	大衆盤
1936年6月	132-133	筑前	義士の本懐	田中旭嶺	大衆盤、1934年3月新譜までに発売された後に期間限定で値下げしていたものを大衆盤第5回新譜として発売(1935年7月月報参照)
1936年6月	180	筑前	広瀬中佐	田中旭嶺	大衆盤、1934年4月新譜で発売された後に期間限定で値下げしていたものを大衆盤第5回新譜として発売(1935年7月月報参照)
1936年7月	15387-15388	大館派	杉野兵曹長の妻	大館錦棋	緑盤、山下麒一郎作
1936年7月	15389-15390	筑前	湖水渡り	高野旭嵐	緑盤
1936年7月	461-462	錦心流	杉野兵曹長の妻	辻中芸水	大衆盤、水谷雅夫作詞
1936年8月	50393-50394	大館派	近藤勇の最後	大館錦棋	赤盤、山下棋一郎作
1936年8月	50395-50396	筑前	石童丸	高野旭嵐	赤盤
1936年8月	504-505	錦心流	あゝ満洲	辻中芸水	大衆盤、第7回新譜
1936年8月	506-507	筑前	石童丸	川端旭芳	大衆盤、第7回新譜
1936年9月	50446-50447	大館派	松王丸の孤忠	大館錦棋	赤盤、山下棋一郎作詞、大館錦棋作曲
1936年9月	50448-50449	筑前	伊賀の曙	高野旭嵐	赤盤
1936年12月まで?	50508-50509	大館派	忠次赤城落ち	大館錦棋	赤盤、1937年前期総目録参照
1936年10月?	50512-50513	筑前	高田の馬場	高野旭嵐	赤盤、1936年11・12月月報既発売参照
1936年11月	50554-50555	大館派	伊賀の水月	大館錦棋	赤盤、山下棋一郎作詞
1936年12月	1014-1015	筑前	赤垣源蔵(別れの盃)	安藤旭錦	特黒盤
1937年1月	1071-1072	大館派	天野屋利兵衛	大館錦棋	特黒盤、山下棋一郎作詞
1937年2月?	1229	筑前	赤垣源蔵	山崎旭翠	特黒盤、1937年3月月報既発売参照
1937年3月	1297-1298	大館派	台湾入	大館錦棋	特黒盤
1937年4月	1379-1380	大館派	本能寺	大館錦棋	特黒盤
1937年5月	1451-1452	大館派	吉野落	大館錦棋	特黒盤
1937年5月	1453-1454	筑前	勤王の志士 坂本龍馬	山元旭錦	特黒盤
1937年6月	1598-1599	大館派	城山	大館錦棋	特黒盤
1937年6月	1600-1601	筑前	須磨の仇浪	山元旭錦	特黒盤
1937年7月	1645-1646	芝水流	常陸丸	榎本芝水	特黒盤
1937年7月	1647-1648	筑前	亜欧連絡記録 完成記念 あゝ神風	山元旭錦	特黒盤
1937年8月	1695-1696	大館派	河中島	大館錦棋	特黒盤、曲種は「薩摩」
1937年8月	1697-1698	筑前	湖水渡り	山元旭錦	特黒盤
1937年?	1795-1796	大館派	乃木將軍	大館錦棋	特黒盤、『日本伝統文化振興財団報告書』参照、発売時期は不明だがレコード番号より推定

1937年?	1797-1798	筑前	本能寺	山元旭錦	特黒盤、『日本伝統文化振興財団報告書』参照、発売時期は不明だがレコード番号より推定
1937年10月	1886-1887	筑前	大阪朝日新聞社従軍記者 壮烈岡部特派員	山元旭錦	特黒盤、小國比沙志作
1937年11月	1905-1906	筑前	宛平城第一弾	山元旭錦	特黒盤
1937年12月?	1948-1949	大館派	雄々しき皇軍	大館錦棋	特黒盤、1938年1月月報既発売参照
1937年12月?	1950-1951	筑前	義士の本懐	山元旭錦	特黒盤、1938年1月月報既発売参照
1938年1月	1984-1985	大館派	山内中尉の母	大館錦棋	特黒盤、鈴木吟亮作
1938年1月	1986-1987	筑前	壮烈 爆弾将校	山元旭錦	特黒盤
1938年2月	2038-2039	筑前	帰らぬ荒鷲	山元旭錦	特黒盤
1938年2月	2075-2076	大館派	南京陥落	大館錦棋	特黒盤、山川棋一郎作曲(誤植か)
1938年3月?	2036-2037	大館派	大場鎮の激戦	大館錦棋	特黒盤、1938年4月月報既発売参照
1938年3月?	2092-2093	筑前	大楠公	山元旭錦	特黒盤、1938年4月月報既発売参照
1938年4月	2135-2136	大館派	壮烈!加納部隊長	大館錦棋	特黒盤、鈴木吟亮作、曲種は「薩摩」
1938年5月?	2168-2169	芝水流	石童丸	榎本芝水	特黒盤、1938年6月月報既発売参照
1938年6月	2215-2216	大館派	威海衛	大館錦棋	特黒盤、曲種は「薩摩」
1938年7月	2240-2241	大館派	海の護り	大館錦棋	特黒盤、海軍中佐松島慶三作、曲種は「薩摩」
1938年7月	2242-2243	筑前	敵国降伏	山崎旭翠	特黒盤
1938年8月	2277-2278	大館派	軍国美談 手向の曲	大館錦棋	特黒盤、鈴木吟亮作詞
1938年9-11月	2329-2330	大館派	空の軍神	大館錦棋	特黒盤、1938年12月月報既発売参照
1938年9-11月	2370-2371	大館派	誉れの一乗り	大館錦棋	特黒盤、1938年12月月報既発売参照
1938年12月	2454-2455	大館派	朝香軍司令官 宮殿下の御武勲を讃へ奉る 輝く南京入城式	大館錦棋	特黒盤、矢坂利助上等兵陣中作
1938年?	763-764	錦心流	佐渡情話	辻中芸水	大衆盤、第14回新譜既発売参照
1938年?	771	不明	輝く日本(与国の巻)	鈴木幸太郎、 辻中芸水	大衆盤、第14回新譜既発売参照、皇紀二千六百年記念レコード、琵琶か不明
1938年?	824-825	筑前	軍人の妻	川原旭鳳	大衆盤、第14回新譜
1939年1月	2473-2474	大館派	聖戦譜	大館錦棋	特黒盤、鈴木吟亮作詞
1939年?	2512-2513	大館派	空の荒鷲	大館錦棋	特黒盤、『日本伝統文化振興財団報告書』参照、発売時期は不明だがレコード番号より推定

1939年2-5月	2537-2538	筑前	噫南郷少佐	山崎旭萃	特黒盤、1939年6月月報既発売参照
1939年2-5月	2575-2576	芝水流	川中島	榎本芝水	特黒盤、1939年6月月報既発売参照
1939年2-5月	2603-2604	大館派	軍神西住大尉	大館錦棋	特黒盤、1939年6月月報既発売参照
1939年7-8月	2694-2695	筑前	西住戦車長	山崎旭翠	特黒盤、1939年9月月報既発売参照、演奏者名ママ
1940年3月	2867	大和	紀元二千六百年 日本刀	大館洲楓	特黒盤、1940年4月月報既発売参照
1940年4月	2880	大和	婦人従軍歌 貞女の舞	大館洲楓、大和音調部	特黒盤、山口俱美衣作詞、大館洲楓作曲、澤村香之祐振付
1941年3月	2940-2941	筑前	義士の本懐	田中旭嶺	特黒盤
1941年4-5月	2954	筑前	湖水渡	田中旭嶺	特黒盤、1941年6月月報既発売参照、大衆盤の再発売の可能性あり
1941年4-5月	2961	筑前	広瀬中佐	田中旭嶺	特黒盤、1941年6月月報既発売参照、大衆盤の再発売の可能性あり

〈凡例〉

- ・各レコード会社の番号順総目録を主要資料として筆者が作表した。
- ・本目録には、総目録記載の情報から「発売年月、レコード番号、レコードタイトル、種目、曲目、演奏者」を抜粋して掲載した。
- ・「発売年月」は、総目録記載にしたがって入力した。
- ・「種目」の項目は基本的に資料内の記載の通りに記したが、「琵琶」のみの記載、あるいは記載がない場合、判別できる際には種目名を記載し、判別できない場合には「不明」と記載した。
- ・「種目」では「琵琶」を省略して記載し、薩摩琵琶のうち正派は「薩摩」と記載した。
例：筑前琵琶→「筑前」、錦心流琵琶→「錦心流」
琵琶以外の種目の場合には、種目名を記載した。
- ・明らかな誤植は修正して記入した。

【表15】コロムビアにおける近代琵琶楽の戦後LPレコード発売目録

発売年月	レコード番号	レコードタイトル	種目	曲目	演奏者	備考
1962年10月	AL-4079	日本琵琶楽全集	錦心流	石童丸	永田錦心	3枚組、監修・解説：日本琵琶楽協会名誉会長・田辺尚雄
1962年10月	AL-4079		筑前	湖水渡り	豊田旭穰	
1962年10月	AL-4079		薩摩	川中島	吉村岳城	
1962年10月	AL-4080		高峰	新曲常陸丸	高峰筑風	
1962年10月	AL-4080		筑前	義士の本懐	田中旭嶺	
1962年10月	AL-4080		錦心流	西郷隆盛	榎本芝水	
1962年10月	AL-4080		筑前	南部坂雪の別れ	山元旭錦	
1962年10月	AL-4081		錦心流	本能寺	大館錦棋	
1962年10月	AL-4081		筑前	橘中佐	高野旭嵐	
1962年10月	AL-4081		錦心流	白虎隊	雨宮薫水	
1962年10月	AL-4081		筑前	松の廊下	高野旭方	
1962年10月	AL-4081		平家	弓流し	湯浅半月	
1966年12月	DLS-4011		石童丸 龍の口	錦心流	石童丸	
1966年12月	DLS-4011	錦心流		龍の口	榎本芝水	
1968年4月	DLS-4061	橘旭翁作品集	筑前	大楠公	柴田旭堂	推薦：田辺秀雄、池上作三
1968年4月	DLS-4061		筑前	湖水渡	押田旭窈	
1968年4月	DLS-4061		筑前	羅生門	原島旭粧	
1968年4月	DLS-4061		筑前	天の羽衣	原田旭柳、原旭汐	
1968年4月	DLS-4061		筑前	月に偲ぶ	青山旭光	
1968年4月	DLS-4061		筑前	秋風故郷の山	河野旭保	
1969年4月	DLS-4138	西郷隆盛 本能寺	錦心流	西郷隆盛	榎本芝水	
1969年4月	DLS-4138		錦心流	本能寺	榎本芝水	
1969年7月	DLS-4150	吟詠と琵琶	錦心流	勸進帳	内山裕水	飯田胡春作、吟詠5曲
1970年10月	DLS-4197	川中島 桜狩 白虎隊	錦心流	川中島	榎本芝水	
1970年10月	DLS-4197		錦心流	桜狩	榎本芝水	
1970年10月	DLS-4197		錦心流	白虎隊	榎本芝水	
1970年12月	DLS-4215	吟詠と琵琶	錦心流	白虎隊	土田凍水	小田錦蛙作、吟詠3曲
1974年3月	FW-7012	藍綬褒章受章記念 雨宮国風名吟集	錦心流	西郷隆盛	雨宮国風	葛生桂雨作
1974年6月	FW-7024	土田岳心名吟集	錦心流	川中島	土田凍水	吉水経和作
1975年4月	FW-7068	内山岳俊名吟集	鶴田流	俊寛	吟：内山鶴崇、琵琶：鶴田錦史	鶴田錦史作・作曲
1975年4月	FW-7068		鶴田流	本能寺	吟：内山鶴崇、琵琶：鶴田錦史	大野恵造作、鶴田錦史作曲
1975年5月	FW-7082	琵琶	高峰	本能寺	高峰筑風	2枚組
1975年5月	FW-7082		錦心流	常陸丸	永田錦心	
1975年5月	FW-7082		筑前	川中島	高野旭嵐	

1975年5月	FW-7082		筑前	湖水渡	豊田旭穰	
1975年5月	FW-7083		筑前	松の廊下	高野旭方	
1975年5月	FW-7083		筑前	義士の本懐	田中旭嶺	
1975年5月	FW-7083		錦心流	白虎隊	雨宮薫水	
1975年5月	FW-7083		筑前	南部坂雪の別れ	山元旭錦	
1975年6月	FW-7089	土田岳心名吟集	錦心流	石童丸	土田凍水	四竈訥治作
1975年11月	CLS-5205	琵琶 その音楽の系譜	ウード	サーマヒ ヒューザン	サルマン・ シユーコ	6枚組、昭和50年度文化庁芸術祭参加・優秀賞受賞、田辺尚雄監修
1975年11月	CLS-5205		中国	十面埋伏	陳劍亭	
1975年11月	CLS-5205		雅楽	平調越天楽 (唱歌入り)	小野攝龍	
1975年11月	CLS-5205		催馬楽	更衣	小野攝龍	
1975年11月	CLS-5205		催馬楽	更衣	歌・拍子：小 野功龍、琵琶： 小野攝龍	
1975年11月	CLS-5205		雅楽	上原石上流泉	小野攝龍	
1975年11月	CLS-5205		雅楽	啄木調	小野攝龍	
1975年11月	CLS-5205		雅楽	大常博士楊真 操	小野攝龍	
1975年11月	CLS-5205		明清楽	平板調	唐琵琶：中村 きら	
1975年11月	CLS-5205		明清楽	西皮調	月琴：中村き ら、胡琴：渡 瀬ひろ子	
1975年11月	CLS-5205		明清楽	九連環	歌・月琴：中 村きら、月 琴：松本喜代 子・山本はる や・小曾根ハ ル子、班鼓： 平石ハナ子、 胡琴：渡瀬ひ ろ子	
1975年11月	CLS-5205		明清楽	獅子	歌・月琴：中 村きら、月 琴：松本喜代 子・山本はる や・小曾根ハ ル子、班鼓： 平石ハナ子、 胡琴：渡瀬ひ ろ子	
1975年11月	CLS-5205		明清楽	水仙花	唐琵琶：中村 きら、月琴： 松本喜代子・ 山本はるや・ 小曾根ハル 子、班鼓：平 石ハナ子、胡 琴：渡瀬ひろ 子	

1975年11月	CLS-5206		地神法楽	伽陀・三礼・七仏通戒偈・表白	筑前成就院玄清部(導師 梶谷清隆)	
1975年11月	CLS-5206		地神法楽	開経偈・経題・経・後唄・回向	筑前成就院玄清部(導師 梶谷清隆)	
1975年11月	CLS-5206		妙音十二楽	三礼・前楽・回向神楽・表白・錫杖・般若心経	薩摩常楽院部(導師 柳田耕雲)	
1975年11月	CLS-5206		妙音十二楽	うちまき・年号	薩摩常楽院部(釈文 福貴島順海)	
1975年11月	CLS-5206		妙音十二楽	琵琶の釈	薩摩常楽院部(釈文 福貴島順海)	
1975年11月	CLS-5206		妙音十二楽	回向神楽・地神経・円頓章・回向・三礼	薩摩常楽院部(導師 柳田耕雲)	
1975年11月	CLS-5207		廻壇(筑前)	般若心経	城戸亮賢	
1975年11月	CLS-5207		廻壇(筑前)	荒神経音読	小川行舜	
1975年11月	CLS-5207		廻壇(肥前)	荒神経訓読	吉田法端	
1975年11月	CLS-5207		廻壇(筑前)	三宝荒神和讃	栗須清英	
1975年11月	CLS-5207		廻壇(肥前)	琵琶の釈	光岡正順	
1975年11月	CLS-5207		廻壇(豊後)	荒神経呪経	高木清玄	
1975年11月	CLS-5207		廻壇(豊後)	三宝荒神和讃	高木清玄、中野清信	
1975年11月	CLS-5207		廻壇(豊後)	荒神経訓読	中野清信	
1975年11月	CLS-5207		廻壇(日向)	琵琶の釈	永田法順	
1975年11月	CLS-5208		くずれ(筑前)	酒餅合戦	森田勝浄	
1975年11月	CLS-5208		くずれ(筑前)	心だに	森田勝浄	
1975年11月	CLS-5208		くずれ(肥前)	鯛の婿入り	山鹿良之	
1975年11月	CLS-5208		平家	横笛	井野川幸次	
1975年11月	CLS-5209		薩摩	川中島	吉村岳城	
1975年11月	CLS-5209		薩摩	城山	宇川久信	
1975年11月	CLS-5209		錦心流	石童丸	永田錦心	
1975年11月	CLS-5209		錦	曲垣平九郎	水藤錦穰	
1975年11月	CLS-5210		筑前	義士の本懐	田中旭嶺	
1975年11月	CLS-5210		筑前	衣川	原島旭粧	
1975年11月	CLS-5210		雅楽	雅楽琵琶の調弦	小野攝龍	ナレーション：久保田敏子
1975年11月	CLS-5210		雅楽	雅楽琵琶の奏法	小野攝龍	ナレーション：久保田敏子
1975年11月	CLS-5210		筑前盲僧	筑前盲僧琵琶の調弦と柱音	小川行舜	ナレーション：久保田敏子
1975年11月	CLS-5210		薩摩盲僧	薩摩盲僧琵琶の調弦と柱音	西浄心	ナレーション：久保田敏子
1975年11月	CLS-5210		平家	平家琵琶の調弦と柱音	井野川幸次	ナレーション：久保田敏子
1975年11月	CLS-5210		平家	平家琵琶の手	井野川幸次	ナレーション：久保田敏子

1975年11月	CLS-5210		筑前	筑前五弦琵琶の調弦と柱音	原島旭粧	ナレーション：久保田敏子
1975年11月	CLS-5210		筑前	筑前五弦琵琶の奏法	原島旭粧	ナレーション：久保田敏子
1975年11月	CLS-5210		筑前	筑前五弦琵琶の手	原島旭粧	ナレーション：久保田敏子
1975年11月	CLS-5210		筑前	筑前四弦琵琶の調弦と柱音	原島旭粧	ナレーション：久保田敏子
1975年11月	CLS-5210		筑前	筑前四弦琵琶の手	原島旭粧	ナレーション：久保田敏子
1975年11月	CLS-5210		薩摩	薩摩琵琶の調弦と柱音	普門義則	ナレーション：久保田敏子
1975年11月	CLS-5210		薩摩	薩摩琵琶の奏法	普門義則	ナレーション：久保田敏子
1975年11月	CLS-5210		薩摩	薩摩琵琶の手	普門義則	ナレーション：久保田敏子
1975年11月	CLS-5210		錦	錦琵琶の調弦と柱音	水藤五郎	ナレーション：久保田敏子
1975年11月	CLS-5210		錦	錦琵琶の手	水藤五郎	ナレーション：久保田敏子
1975年11月	CLS-5210		鶴田流	鶴田錦史の琵琶の調弦と柱音	鶴田錦史	ナレーション：久保田敏子
1975年11月	CLS-5210		鶴田流	鶴田錦史の琵琶の奏法	鶴田錦史	ナレーション：久保田敏子
1976年9月	FW-7245	琵琶の真髓 名演集	薩摩	川中島	吉村岳城	2枚組
1976年9月	FW-7245		薩摩	城山	宇川久信	
1976年9月	FW-7245		錦心流	石童丸	永田錦心	
1976年9月	FW-7245		錦	曲垣平九郎	水藤錦穰	
1976年9月	FW-7246		錦心流	龍の口	榎本芝水	
1976年9月	FW-7246		筑前	衣川	原島旭粧	
1976年10月	WZ-7019	邦楽精選19 琵琶	高峰	本能寺	高峰筑風	
1976年10月	WZ-7019		錦心流	常陸丸	永田錦心	
1976年10月	WZ-7019		筑前	川中島	高野旭嵐	
1976年10月	WZ-7019		筑前	義土の本懐	田中旭嶺	
1977年8月	WX-7509	PCM録音による鶴田錦史／ノヴェンバー・ステップス／琵琶	現代	ノヴェンバー・ステップス(十段)	鶴田錦史	
1977年8月	WX-7509		鶴田流	須磨の浦	鶴田錦史	
1979年7月	WZ-7071	榎本芝水傑作選(1)	錦心流	本能寺	榎本芝水	
1979年7月	WZ-7071		錦心流	川中島	榎本芝水	
1979年7月	WZ-7072	榎本芝水傑作選(2)	錦心流	西郷隆盛	榎本芝水	
1979年7月	WZ-7072		錦心流	白虎隊	榎本芝水	
1979年7月	WZ-7072		錦心流	桜狩	榎本芝水	
1979年7月	WZ-7073	榎本芝水傑作選(3)	錦心流	石童丸	榎本芝水	
1979年7月	WZ-7073		錦心流	龍の口	榎本芝水	
1979年7月	WZ-7074	薩摩琵琶名作選	薩摩	川中島	吉村岳城	
1979年7月	WZ-7074		薩摩	城山	宇川久信	
1979年7月	WZ-7074		錦心流	石童丸	永田錦心	
1979年7月	WZ-7074		錦	曲垣平九郎	水藤錦穰	
1979年7月	WZ-7075	筑前琵琶名作選	筑前	衣川	原島旭粧	
1979年7月	WZ-7075		筑前	湖水渡	豊田旭穰	
1979年7月	WZ-7075		筑前	松の廊下	高野旭方	
1979年7月	WZ-7075		筑前	義土の本懐	田中旭嶺	

【表16】ビクターにおける近代琵琶楽の戦後LPレコード発売目録

発売年月	レコード番号	レコードタイトル	種目	曲目	演奏者	備考
1966年7月	JV-193	現代琵琶名流選	筑前	小栗栖	笹川旭風	
1966年7月	JV-193		錦心流	龍の口	松田静水	
1966年7月	JV-193		筑前	粟津ヶ原	山元旭錦	
1966年7月	JV-193		薩摩	桜井の駅	吉水錦翁	
1966年8月	JV-198	笹川鎮江愛吟集 第4集	筑前	白虎隊	吟詠：笹川鎮江、琴：林すみ子、十七絃：大沢よし子、尺八：船川利夫、琵琶：笹川旭風	編曲：船川利夫
1966年8月	JV-198		筑前	姫百合の塔	吟詠：笹川鎮江・飛田風稔・峯風麗、琴：林すみ子・大沢よし子、十七絃：林邦子、琵琶：笹川旭風	編曲：船川利夫、琵琶歌部分は曲の一部
1969年1月	JL-100	薩摩琵琶名曲選	薩摩	迷悟もどき	池田天舟	島津日新公歿後400年記念、監修・解説：吉川英史、島津日新公作
1969年1月	JL-100		薩摩	形見桜	肱岡武二	中村四郎太作
1969年1月	JL-100		薩摩	木崎原合戦	萩原竜洋	作者不詳
1971年9月	SJL-2097	琵琶名曲シリーズ (I) 錦琵琶／水藤錦穰	錦	盛綱先陣	琵琶：水藤錦穰、尺八：戸室清山	監修・解説：吉川英史
1971年9月	SJL-2097		錦	熊野	琵琶：水藤錦穰・水藤五郎、尺八：戸室清山、唄：小島穰舟	
1971年9月	SJL-2097		錦	屋島回顧	琵琶：水藤錦穰・藤波桜華・新部桜水・津谷桜佳	
1971年10月	SJL-2098	琵琶名曲シリーズ (II) 筑前琵琶／ 笹川旭風	筑前	小督	笹川旭風	監修：吉川英史
1971年10月	SJL-2098		筑前	四条暁	笹川旭風	
1971年10月	SJL-2098		筑前	元禄快挙	笹川旭風	
1972年1月	SJL-2099	琵琶名曲シリーズ (III) 薩摩琵琶／ 鶴田錦史	鶴田流	壇の浦	鶴田錦史	監修：吉川英史、水木洋子作詞、鶴田錦史作曲
1972年1月	SJL-2099		鶴田流	本能寺	鶴田錦史	
1974年1月	SJL-2100	琵琶名曲シリーズ (IV) 筑前琵琶／ 山元旭錦	筑前	茨木	山元旭錦	
1974年1月	SJL-2100		筑前	北の庄	山元旭錦	

【表17】ポリドールにおける近代琵琶楽の戦後LPレコード発売目録

発売年月	レコード番号	レコードタイトル	種目	曲目	演奏者	備考
1961年8月	LPJ-37	琵琶	錦	石童丸	水藤錦穰	四竈訥治作詞、永田錦心作曲
1961年8月	LPJ-37		薩摩	城山	吉水錦翁	勝海舟作詞、一世吉水錦翁作曲

1961年8月	LPJ-37		筑前	大楠公	笹川旭風	飯田胡春作詞、二世橘旭翁作曲
1961年8月	LPJ-37		筑前	川中島	田中旭嶺	南部露庵作詞、一世橘旭翁作曲
1963年12月	SLJM-1031	日本琵琶楽大系	雅楽	黄鐘調調絃	小野雅楽会	7枚組、昭和38年度文化庁芸術祭参加・芸術祭奨励賞受賞
1963年12月	SLJM-1031		雅楽	一声	小野雅楽会	
1963年12月	SLJM-1031		雅楽	二声	小野雅楽会	
1963年12月	SLJM-1031		雅楽	三声	小野雅楽会	
1963年12月	SLJM-1031		雅楽	四声	小野雅楽会	
1963年12月	SLJM-1031		雅楽	叩	小野雅楽会	
1963年12月	SLJM-1031		雅楽	弛	小野雅楽会	
1963年12月	SLJM-1031		雅楽	搔洗	小野雅楽会	
1963年12月	SLJM-1031		雅楽	割撥	小野雅楽会	
1963年12月	SLJM-1031		雅楽	西王楽より	小野雅楽会	
1963年12月	SLJM-1031		盲僧	地神経	北田明澄	
1963年12月	SLJM-1031		平家	大原御幸	館山甲午	
1963年12月	SLJM-1032		平家	竹生島	井野川孝治	
1963年12月	SLJM-1032		薩摩	妙寿風	辻靖剛	
1963年12月	SLJM-1032		薩摩	門琵琶	辻靖剛	
1963年12月	SLJM-1032		薩摩	武蔵野	池田天舟	
1963年12月	SLJM-1033		薩摩	小敦盛	脇岡武二	
1963年12月	SLJM-1033		薩摩	城山	萩原竜洋	
1963年12月	SLJM-1034		薩摩	落花の雪	宇川久信	
1963年12月	SLJM-1034		薩摩	潯陽江(上)	吉水錦翁	
1963年12月	SLJM-1034		錦心流	舟弁慶	松田静水	
1963年12月	SLJM-1034		錦心流	山科の別れ	大館州楓	
1963年12月	SLJM-1035		錦心流	竜の口	山口錦堂	
1963年12月	SLJM-1035		筑前	菅公	平田旭舟	
1963年12月	SLJM-1035		筑前	義士の本懐	田中旭嶺	
1963年12月	SLJM-1035		筑前	湖水渡	押田旭竊	
1963年12月	SLJM-1036		筑前	那須の与一	原島旭粧	
1963年12月	SLJM-1036		筑前	西郷隆盛	山元旭錦	
1963年12月	SLJM-1036		筑前	千姫の嘆き	笹川旭風	
1963年12月	SLJM-1036		錦	時雨曾我	水藤錦穰	
1963年12月	SLJM-1037		肥後	牡丹長者	西本常喜	
1963年12月	SLJM-1037		滑稽	餅酒合戦	吉塚旭貫堂	
1963年12月	SLJM-1037			現代	邦楽器による コンポジション の中より ふくろう	山内直春、山 田美喜子
1963年12月	SLJM-1037		現代	映画「切腹」 の主題音楽よ り 切腹	平田旭舟、古 田耕水	
1964年7月	SMN-1002	琵琶 第1集 筑前	筑前	湖水渡	笹川旭風	
1964年7月	SMN-1002		筑前	衣川	笹川旭風	
1964年7月	SMN-1002		筑前	扇的	笹川旭風	
1964年7月	SMN-1002		筑前	伽羅の兜	笹川旭風	
1964年9月	SMN-1004	琵琶 第2集 錦琵琶	錦	靱猿	水藤錦穰	
1964年9月	SMN-1004		錦	曲垣平九郎	水藤錦穰	
1964年11月	SMN-1006	琵琶 第3集 筑前	筑前	義士の本懐	田中旭嶺	
1964年11月	SMN-1006		筑前	壇の浦	田中旭嶺	
1972年4月	MN-9042	日本の音楽	筑前	義士の本懐	田中旭嶺	2枚組

1977年3月	MFA9001	筑前琵琶 笹川旭 鳳 名絃集	筑前	橋弁慶	琵琶：笹川旭 鳳、鳴物：堅 田喜三久社中	5枚組
1977年3月	MFA9001		筑前	千手の前	笹川旭鳳	
1977年3月	MFA9001		筑前	壇の浦	笹川旭鳳	
1977年3月	MFA9002		筑前	大楠公	笹川旭鳳	
1977年3月	MFA9002		筑前	血風桶狭間	笹川旭鳳	
1977年3月	MFA9003		筑前	川中島	笹川旭鳳	
1977年3月	MFA9003		筑前	本能寺	笹川旭鳳	
1977年3月	MFA9003		筑前	湖水渡	笹川旭鳳	
1977年3月	MFA9004		筑前	義士の本懐	笹川旭鳳	
1977年3月	MFA9004		筑前	白虎隊	笹川旭鳳	
1977年3月	MFA9004		筑前	西郷隆盛	笹川旭鳳	
1977年3月	MFA9005		筑前	千姫のなげき	琵琶：笹川旭 鳳、鳴物：堅 田喜三久社中	
1977年3月	MFA9005		筑前	竹生島秘伝	琵琶：笹川旭 鳳、尺八：船 川利夫、箏： 国重歌純・永 井歌寿美、 笙：小野正 道、鳴物：堅 田喜三久社中	

【表18】キングにおける近代琵琶楽の戦後LPレコード発売目録

発売年月	レコード番号	レコードタイトル	種目	曲目	演奏者	備考
1963年6月	LKF-5001	白虎隊 石童丸	錦	白虎隊	水藤錦穰	
1963年6月	LKF-5001		錦	石童丸	水藤錦穰	
1963年12月	LKF-5007	川中島 本能寺	錦心流	川中島	榎本芝水	
1963年12月	LKF-5007		錦心流	本能寺	榎本芝水	
1967年9月	SKK-5029	鉢の木 湖水乗切	錦心流	鉢の木	榎本芝水	小田錦蛙作
1967年9月	SKK-5029		錦心流	湖水乗切	榎本芝水	葛生桂雨作
1968年3月	SKK-5035	大高源吾 春秋賦 青葉の笛	錦	大高源吾	弾奏：水藤錦 穰	田中濤外詩、水藤錦穰曲
1968年3月	SKK-5035		錦	春秋賦	弦・歌：水藤 錦穰・藤波桜 華・新部桜 水・都錦穂、 詩吟：津谷桜 佳、胡弓：木 村雅趣雨、三 味線：藤本琇 丈	舞踊曲、田中濤外「春霞」より／池上作三「小督」より、水藤安久編、水藤錦穰作曲
1968年3月	SKK-5035		錦	青葉の笛	弾奏：水藤錦 穰	牛沢襄二詩、水藤錦穰曲
1969年5月	SKK-5047	山科の別れ 常陸丸	錦心流	山科の別れ	榎本芝水	高松春月作
1969年5月	SKK-5047		錦心流	常陸丸	榎本芝水	池辺義象作
1971年4月	SKK-5061	小栗栖 新曲経正	筑前	小栗栖	田中旭嶺	早川紫陽詩、二世橘旭翁曲
1971年4月	SKK-5061		筑前	新曲経正	田中旭嶺	金田一春彦詩、田中旭嶺曲
1971年11月	SKK-5065	白虎隊 楠木正成	錦心流	白虎隊	榎本芝水	小田錦蛙作
1971年11月	SKK-5065		錦心流	楠木正成	榎本芝水	直木三十五詩、榎本芝水曲
1972年9月	SKK-5085	川中島 本能寺	錦心流	川中島	榎本芝水	

1972年9月	SKK-5085		錦心流	本能寺	榎本芝水	
1976年12月	KHA-82	邦楽入門 日本音楽の手引き	錦心流	川中島	榎本芝水	2枚組

【表19】 テイチクにおける近代琵琶楽の戦後LPレコード発売目録

発売年月	レコード番号	レコードタイトル	種目	曲目	演奏者	備考
1965年8月	NL2143	耳なし芳一 扇の的	錦	耳なし芳一	水藤錦穰	原作：小泉八雲、作詩：白木潮水
1965年8月	NL2143		錦	扇の的	水藤錦穰	
1965年8月	NL2144	石童丸 西郷隆盛	錦心流	石童丸	榎本芝水	
1965年8月	NL2144		錦心流	西郷隆盛	榎本芝水	
1969年4月	NC23	石童丸 白虎隊	錦鳳流	石童丸	入谷錦鳳	薩摩琵琶の系統
1969年4月	NC23		錦鳳流	白虎隊	入谷錦鳳	
1976年10月	GM6001	長唄、義太夫、琵琶の三方掛合による創作邦楽 建礼門院 平徳子	三方掛合	長唄、義太夫、琵琶の三方掛合による創作邦楽 建礼門院 平徳子	長唄：今藤文子他、義太夫：竹本文字大夫他、琵琶：平山万佐子	昭和51年度文化庁芸術祭参加、作：田中澄江、台詞：加藤道子、作曲：今藤長十郎他
1976年10月	PP-6103	錦心流琵琶名曲選	錦心流	西郷隆盛	中谷襄水	
1976年10月	PP-6103		錦心流	川中島	山口速水	
1976年10月	PP-6103		錦心流	本能寺	松岡遊水	
1976年10月	PP-6103		錦心流	白虎隊	飴谷六水	
1977年4月	PP-6109	琵琶 鶴田錦史作品集	鶴田流	義経	唄：友吉鶴心・内山鶴崇・石坂鶴明、絃：半田綾子・田中之雄・三宅博	監修・解説：吉川英史
1977年4月	PP-6109		鶴田流	春の宴	唄：半田鶴炎、絃：半田綾子・田中之雄・三宅博	
1977年10月	PP-6113	中谷襄水琵琶鑑賞会	錦心流	石童丸	中谷襄水	監修・解説：金田一春彦
1977年10月	PP-6113		錦心流	戦艦大和	中谷襄水	
1977年10月	PP-6113		錦心流	茨木	中谷襄水	

詞章比較表【表20】～【表23】（凡例）

- ・各表には、段（前語り・本語り・後語り）、曲節（「」で表記）、小段落（○数字で表記）を記載し、各句には旋律句名を詞章の後に記した。
- ・可能な限り、各音源で詞章が対応するようにそろえて記載した。そのため、詞章内容や音楽内容の区切りに関係なく行を空けた場合がある。
- ・旧字体は、通行の字体に改めた。
- ・漢詩は、収録されている箇所は書き下し文で記し、収録されていない箇所は白文に返り点を付した。なお、水藤錦穰《本能寺》の底本とした『錦琵琶愛吟集 卷之一』には、書き下し文で記載されているため、省略された箇所もそのまま書き下し文で記した。
- ・各楽曲で特記すべき事項がある場合には、楽曲最後に※印で記した。
- ・各楽曲の底本とした資料は、以下の通りである。

水藤錦穰《白虎隊》

- ・戦前・水藤五朗編『歌詞本 錦びわ名曲選』 東京…錦琵琶本部、一九八一年、一八〇～一八二頁。

- ・戦後…水藤五朗編『歌詞本 錦びわ名曲選』 東京…錦琵琶本部、一九八一年、九四～九五頁。

- ・参考…永田錦心編『薩調四絃愛吟集 卷五』 東京…一水会本部、一九一九年、四〇～四六頁。

水藤錦穰《本能寺》

- ・戦前・戦後…錦琵琶宗家編『錦琵琶愛吟集 卷之一』 東京…錦琵琶本部、一九三一年、一二～一七頁。

榎本芝水《川中島》

- ・戦前・戦後…永田錦心編『薩調四絃愛吟集 卷六』 東京…一水会本部、一九三三年、四二～四七頁。

榎本芝水《本能寺》

- ・戦前・戦後…飯田亮編『薩調四絃愛吟集 卷之一』 東京…一水会本部、一九三三年、五六～六四頁。

- ・参考…榎本芝水『西郷隆盛 本能寺』（解説書）、コロムビア…DLS・四一三八（LP）、一九六九年。

【表20】水藤錦穰《白虎隊》詞章比較表 演奏…水藤錦穰、作詞…小田錦蛙、作曲…永田錦心
 底本…『歌詞本 錦びわ名曲選』（一九八一）

戦前SP音源（一九三〇）	戦後LP音源（一九六三）
<p>【二面】前語り「基吟1」</p> <p>①花は桜よ人は武士 謡出シ 散るべき時に散らざれば 謡出シ中干</p> <p>②いかでか人に惜しまれむ 中切り</p> <p>本語り「基吟2」</p> <p>③茲に会津藩士の子弟にて 大干</p> <p>④白虎隊とたゞへしは 中干 日新館の学生を 中干 選抜したる人々にて 中干 年齢僅かに十五、六 中干 十七歳を未だ超えぬ 中干 忠勇義烈の少年なり 中干落トシ</p> <p>⑤学びの窓に筆を捨て 地ノ上 剣を執りて青天を 地ノ下↓中干 睨む姿の健気にも 中干 三十六人団結し 中干 主将の許に駆けつけぬ 中干落トシ</p> <p>早此時は若松の 四方は敵の領となり 城内已に兵はつき 残るは哀れ老若の 最ともかよわき婦女子のみ</p> <p>【二面】</p> <p>⑥主君の安危を己が背に 地ノ上 自ら負うて顧みぬ 地ノ下 少年隊は勇壮なる 地ノ上</p>	<p>前語り「基吟1」</p> <p>①花は桜よ（木）人は武士 謡出シ 散るべき時に散らざれば 謡出シ中干</p> <p>②如何でか人に惜しまれむ 中切り</p> <p>本語り「基吟2」</p> <p>③茲に会津藩士の子弟にて 大干</p> <p>④白虎隊と称へしは 中干 日新館の学生を 中干 選抜したる人々にて 中干 年齢わづかに十五六、 中干 十七才をまだ超えぬ 中干 花も蕾の少年なり 中干落トシ</p> <p>⑤学びの窓に筆を捨て 地ノ上 剣を取りて青天を 地ノ下 睨む姿乃けなげにも 中干 三十六人団結し 中干 主将の許に駆けついたり 中干落トシ</p> <p>⑥はやこの時は若松の 地ノ下 四方は敵の領となり 地ノ下 城内すでに兵は尽き 地ノ上 残るは哀れ老若の 地ノ上 いともかよはき婦女子のみ 中干投ゲ</p> <p>主君の安危を己が背に 自ら負うてかへり見ぬ 少年隊は勇壮なる</p>

<p>【崩レ】</p>	<p>【崩レ】</p>
<p>⑦ 敢死隊の左翼となり 崩レノ地</p>	<p>⑦ 敢死隊の左翼となり 崩レノ地</p>
<p>⑧ 戸の口原に打ち向ひ 崩レノ大干 群がる敵に斬つて入る 崩レノ大干</p>	<p>⑧ 戸の口原に打向ひ 崩レノ地 ⑧ 群がる敵に斬つて入る 崩レノ大干</p>
<p>⑨ 折しも烈しき暴風雨 崩レノ中干 昼なほ暗き修羅乃場 崩レノ大干 雷鳴山嶽を振動し 崩レノ大干</p>	<p>⑨ 折しも激しき暴風雨 崩レノ中干 昼なほ暗き修羅乃場 崩レノ大干 雷鳴山嶽を振動し 崩レノ大干</p>
<p>⑩ 忽ち放つ電光に 崩レノ中干 小兵の早業此処彼処 崩レノ大干 閃めく影は白虎の如く 崩レノ大干</p>	<p>⑩ 忽ち放つ電光に 崩レノ中干 小兵の早業此処彼処 崩レノ大干 閃めく影は白虎の如く 崩レノ大干</p>
<p>⑪ 猛りに猛る少年が 崩レノ地 息をもつかず戦ひしも 崩レノ地</p>	<p>⑪ 猛りに猛ける少年が 崩レノ地 息をもつかず戦ひしも 崩レノ地</p>
<p>⑫ 寄せ来る敵は潮の如く 崩レノ中干 防ぐ味方は九牛の 回シ 一毛だにも足らぬ兵 回シ</p>	<p>⑫ 寄せくる敵は潮の如く 崩レノ中干 防ぐ味方は九牛の 回シ 一毛だにも足らぬ兵 回シ</p>
<p>【基吟3】</p>	<p>【基吟3】</p>
<p>⑬ 僅かに一方を斬り抜けて 中干 生き残る者二十人 大干</p>	<p>⑬ 僅かに一方を斬り抜けて 中干 生き残る者二十人 大干</p>
<p>⑭ 慶応戊辰八月の 中干 後の三日の東雲に 中干 滝沢峠の険を越え 中干落トシ</p>	<p>⑭ 慶応戊辰八月の 中干 後の三日の東雲に 中干 滝沢峠の嶮を越え 中干落トシ</p>
<p>数ヶ所の疵に迸しる 血潮は踵の跡を染め 敗軍なれば兵糧は 一粒だにも続かねば 飢と疵とに勞れ果て</p>	<p>数ヶ所の疵に迸しる 血潮は踵のあとを染め 敗軍なれば兵糧は 一粒だにも続かねば 飢と疵とにつかれ果て</p>
<p>【三面】</p>	
<p>⑮ 折れたる刀を杖として 地ノ上 飯盛山に攀ぢ上り 中干</p>	<p>⑮ 折れたる刀を杖として 地ノ上 飯盛山に攀ぢ上り 中干</p>

鶴ヶ城 中干

〔吟替り〕

①⑥ 遙かに見渡せば 吟替りノ地
 ①⑦ 黒煙天に漲りて 吟替りノ地
 昨日に変わる今日の様子 吟替りノ干
 哀れ頼みも尽き果てぬ 吟替りノ降り

①⑧ 主君を初め奉り 吟替りノ地
 我が父母に今生の 吟替りノ干
 別れを告げむと跪き 吟替りノ降り
 涙乍らに伏し拝む 吟替りノ降り
 心の内は如何ならむ 吟替りノ止メ

此時早く彼の時遅く
 飯沼貞吉懐中より
 とり出したる短冊は
 母の賜ひし和歌一首

此の世の別れと詠み上ぐれば
 篠田義三郎も忽ちに
 文天祥が正気之歌
 声朗らかに吟じたり

手疵になやむ石田和助は
 篠田の声に莞爾と笑み
 我も最期の吟声を
 聞え上げんと高らかに

【四面】〔吟詠（漢詩）〕

①⑨ 人生古へより誰か死無からむ
 丹心を留取して汗青を照さむ

〔基吟 4〕

②⑩ と石田和助が 地ノ下
 吟じ終るを名残りとし 地ノ上

〔吟替り〕

①⑥ 鶴ヶ城遙かに見渡せば 吟替りノ地
 ①⑦ 黒煙天に漲りて 吟替りノ地
 昨日に変わる今日の様 吟替りノ干
 哀れ頼みもつき果てぬ 吟替りノ降り

①⑧ 主君をはじめ奉り 吟替りノ地
 我が父母に今生の 吟替りノ干
 別れを告げむと跪き 吟替りノ降り
 涙乍らに伏し拝む 吟替りノ降り
 心の内は如何ならむ 吟替りノ止メ

と、之も同じく天祥が

零丁洋の一節を

吟じ終るや一刀を

小脇にくつと突立てゝ

ものゝ見事に引き廻す

篠田は之と見るや否

秋水逆手に我喉を

柄も通れと貫きぬ

扱て又林八十治

永瀬雄治の少年は

兼ねて交り深ければ

冥土も共にと抱き合ひ

曳と一声刺違ふ

永瀬の突やにぶかりけん

林は側を見還りて

誰ぞ介錯をと乞ひければ

野村駒四郎飛び掛り

忽ち首を打ち落し

返す刀にいさぎよく

腹搔き切つてぞ果てにける

其他も是と前後して

後語り「基吟5」

㉑ 何れも年は蕾なる 地ノ変調

若木の花を誘ひ来る 地ノ下↓地ノ上

無情の風に打ち任せ 地ノ上

㉒ いと目覚しく自害して 中干

秋の錦と織る山を 中干

染むる血潮となりにけり 止メ切り

少年団結白虎隊

国歩艱難成「要塞」

大軍突如風雨来

殺気慘憺白日晦

<p> 鼙鼓喧闐震二百雷 巨砲連發僵死推 殊死衝陣怒髮豎 縱橫奮擊一面開 時不利兮戰且卻 身裹瘡痍一口啣 腹背皆敵將安之 杖劍間行攀岳嶽 南望鶴城煙焰颯 痛哭吞淚且彷徨 社稷亡矣可止 十有九人屠腹死 俯仰此事十七年 画之文之世間伝 忠烈赫々如前日 厭倒田横麾下賢 万世不朽の白虎隊 名も芳しき足引の 大和桜の花と散る 其真心の紅は 紅葉に恥ぬ若葉ぞと 惜まぬ者こそなかりけれ </p> <p> ※戦前音源の網掛けは、『薩調四絃愛吟集 卷之五』に記載があるが省略されている箇所を示す。 </p>	<p> 〔吟詠（漢詩）〕 ⑱南に鶴ヶ城を望めば煙焰颯る 痛哭涙を吞んで暫し彷徨ふ 社稷亡びぬ以って止む可し 十有九人屠腹して死す（倒る） </p> <p> 後語り「基吟4」 ⑳万世不朽の白虎隊 地ノ上 名も芳しき足引の 大和桜の花と散る 其の真心の紅は 中干 紅葉に恥ぬ若葉ぞと 中干 惜しまぬ者こそなかりけれ 止メ切り </p> <p> ※（ ）内は『歌詞本 錦びわ名曲選』に記載の通り記入した。 </p>
---	--

【表21】水藤錦穰《本能寺》詞章比較表 演奏…水藤錦穰、作詞…田中濤外、作曲…水藤錦穰
 底本…『錦琵琶愛吟集 卷之一』（一九三二）

<p>戦前SP音源（一九三二）</p>	<p>戦後ラジオ音源（一九六五カ）</p>
<p>【一面】前語り「基吟1」</p> <p>①時は今天が下知る五月かな 謡出シ 安土の城を立出でし 謡出シ下 織田右大臣信長は 謡出シ中干 ②嫡子信忠其外の 謡出シ下 近臣わづか百余人 謡出シ上 引従へて京都なる 謡出シ上 本能寺にぞ入りにける 中切り</p> <p>本語り「基吟2」</p> <p>③時こそ来れと光秀は 大干 ④亀山城に諸将を集め 中干 積る怨のかずかずを 中干 数へ立てゝぞ弑虐の 中干 大事をこそは企てけれ 中干落トシ</p>	<p>前語り「基吟1」</p> <p>①時は今天が下知る五月かな 謡出シ 安土の城を立出でし 織田右大臣信長は 「嫡子信忠其外の」 近臣わづか百余人 引従へて京都なる 本能寺にぞ入りにける</p> <p>【吟詠（漢詩）】</p> <p>②本能寺溝の深さ幾尺なるぞ 我大事を就すは今夕に在り 菱粽手に在り菱を併せて食ふ 四簷の梅雨天墨の如し 老坂西に去れば備中の道 鞭を上げて東を指せば天猶早し 我敵は正に本能寺に在り 敵は備中に在り汝能く備へよ</p> <p>本語り「基吟2」</p> <p>③時こそ来れと光秀は 大干 ④亀山城に諸将を集め 中干 積る怨のかずかずを 中干 数へ立てゝぞ弑虐の 中干 大事をこそは企てけれ 中干落トシ</p>

【二面】

⑤されど従子の光俊や 地ノ上
斎藤利三其他の重臣 地ノ下
順逆の大義只管に 地ノ上
思ひ止まり給へやと 地ノ上
諫めつれ共如何にせん 地ノ下
斯と定めし光秀の 地ノ上
心をかへす術もなし 中干投ゲ

⑥各部下を引緊めて 地ノ下
中国勢を援はんと 地ノ下
偽り向ふ大江山 地ノ上
迷ふころろは堅木原 地ノ変調
恨みも深し「長し」桂川 地ノ上
渡らむ駒の足並は 中干
東さしてぞ進みける 中干落トシ

【三面】「吟詠（漢詩）」

⑦本能寺溝の深さ幾尺なるぞ「ぞや」
我大事を就すは今夕に在り
菱粽手に在り菱を併せて食ふ
四簷の梅雨天墨の如し
老坂西に去れば備中の道
鞭を揚げて東を指せば天猶早し
我敵は正に本能寺に在り
敵は備中に在り汝能く備へよ

【四面】「基吟③」

⑧茲に始めて二心 地ノ上
覚るもおそし軍勢は 地ノ上
何日かは消ゆる露の身の 地ノ変調
主に捧ぐる外ぞなき 中干投ゲ

⑨黙々として言葉なく 地ノ下
長蛇の走る様に似て 地ノ上
旗指し物の動くのみ 中干投ゲ

されど従子の光俊や
斎藤利三其他の重臣
順逆の大義只管に
思ひ止まり給へやと
諫めつれ共如何にせん
斯と定めし光秀の
心をかへす術もなし
各部下を引緊めて
中国勢を援はんと
偽り向ふ大江山
迷ふころろは堅木原
恨みも深し桂川
渡らむ駒の足並は
東さしてぞ進みける

茲に始めて二心
覚るもおそし軍勢は
何日かは消ゆる露の身の
主に捧ぐる外ぞなき

「黙々として言葉なく
長蛇の走る様に似て
旗指し物の動くのみ」

<p>【五面】「吟替り」</p> <p>⑩ 斯ることゝは露知らず 吟替りノ地</p> <p>⑪ 一夜をこゝに信長は 吟替りノ地</p> <p>旅寝の夢も短夜の 吟替りノ干</p> <p>明るに早き鐘の声 吟替りノ降り</p>	<p>「吟替り」</p> <p>⑤ 斯ることゝは露知らず 吟替りノ地</p> <p>⑥ 一夜をこゝに信長は 吟替りノ地</p> <p>旅寝の夢も短夜の 吟替りノ干</p> <p>明るに早き鐘の声 吟替りノ降り</p>
<p>【崩レ1】</p> <p>⑫ 夢か現か 崩レノ地↓崩レノ中干</p> <p>微かに聞ゆる人馬の物音 崩レノ中干</p>	<p>【崩レ1】</p> <p>⑦ 夢か現か 崩レノ地</p> <p>微かに聞ゆる人馬の物音 崩レノ中干</p>
<p>⑬ 館に迫ると覚ゆれば 崩レノ大干</p>	<p>⑧ 館に迫ると覚ゆれば 崩レノ大干</p>
<p>【基吟4】</p> <p>⑭ こは訝しと信長は 大干</p>	<p>【基吟3】</p> <p>⑨ こは訝しと信長は 中干</p> <p>「枕を蹴って立ち上がり」 大干</p>
<p>⑮ 疾く見届けよとありければ 中干</p> <p>森蘭丸かしこまり 中干</p> <p>表の方に走り出で 中干</p> <p>見越しの松に片手をかけ 中干</p> <p>右手を翳して見てあれば 中干</p> <p>狭霧の中に翻へる 中干</p> <p>水色桔梗の旗じるし 中干落トシ</p>	<p>⑩ 疾く見届けよとありければ 中干</p> <p>森蘭丸かしこまり 中干</p> <p>表の方に走り出で 中干</p> <p>見越しの松に片手をかけ 中干</p> <p>右手を翳して見てあれば 中干</p> <p>「雲か霞か白旗に」 中干落トシ</p> <p>「染めたる桔梗の紋所」 中干落トシ</p>
<p>【六面】「崩レ2」</p> <p>⑯ 見るより蘭丸引返し 崩レノ地</p> <p>光秀謀叛と対ふるに 崩レノ地</p>	<p>【崩レ2】</p> <p>⑪ 見るより蘭丸引返し 崩レノ地</p> <p>光秀謀叛と対ふるに 崩レノ地</p>
<p>⑰ 赫と怒りし信長は 崩レノ大干</p> <p>者共覚悟と呼はりて 崩レノ大干</p> <p>弓矢追取り立ち向ひ 崩レノ大干</p>	<p>⑫ 赫と怒りし信長は 崩レノ大干</p> <p>者共覚悟と呼はりて 崩レノ大干</p> <p>弓矢追取り立ち向ひ 崩レノ大干</p>
<p>⑱ 寄来る敵を物ともせず 崩レノ中干</p> <p>瞬くひまに数十騎を 崩レノ大干</p> <p>矢継早に射て落し 崩レノ大干</p>	<p>⑬ 寄来る敵を物ともせず 崩レノ中干</p> <p>瞬くひまに数十騎を 崩レノ大干</p> <p>矢継早に射て落し 崩レノ大干</p>

<p>⑲勢鋭どく拒ぎしも 崩レノ中干 ただ一筋と信長が 回シ 頼む弓弦ふつと切れ 回シ</p> <p>⑳得たりと許り敵勢は 崩レノ地 我右大臣の御首賜らんと 崩レノ中干 崩雪の如く打つて入る 崩レノ大干</p> <p>㉑君の大事と蘭丸は 崩レノ大干 飛鳥の如く馳せ来り 崩レノ大干 長柄の槍を揮ひつゝ 崩レノ大干 必死を期して渡り合ふ 崩レノ大干</p> <p>㉒坊丸力丸を始めとし 崩レノ中干 宿直の者も悉く 崩レノ大干 命を的にたゝかへど 崩レノ大干</p> <p>後語り「基吟5」</p> <p>㉓衆寡敵せず信長は 大干 ⑳最早之までとや思ひけむ 中干 自館に火をはなち 中干 煙の中に飛び入りて 中干 刃に伏してぞ果にける 止メ切り</p> <p>※詞章「」は、録音が『錦琵琶愛吟集』の内容と異なる箇所を示す。</p>	<p>⑲勢鋭どく拒ぎしも 崩レノ中干 ただ一筋と信長が 回シ 頼む弓弦ふつと切れ 回シ</p> <p>⑮得たりと許り敵勢は 崩レノ地 我右大臣の御首賜らんと 崩レノ中干 崩雪の如く打つて入る 崩レノ大干</p> <p>君の大事と蘭丸は 飛鳥の如く馳せ来り 長柄の槍を揮ひつゝ 必死を期して渡り合ふ</p> <p>「坊丸力丸を始めとし 宿直の者も悉く 命を的にたゝかへど」</p> <p>後語り「基吟4」</p> <p>衆寡敵せず信長は ⑮最早之までと「信長は」 中干 自館に火をはなち 中干 煙の中に飛び入りて 刃に伏してぞ果にける 止メ切り</p> <p>※詞章「」は、録音が『錦琵琶愛吟集』の内容と異なる箇所を示す。</p> <p>※ラジオ音源の網掛けは、『錦琵琶愛吟集 卷之一』に記載があるが省略されているものを示す。</p> <p>※詞章「」は、藤波氏所蔵の楽譜で『錦琵琶愛吟集』の内容が省略されている箇所を示す。</p>
---	---

【表22】榎本芝水《川中島》詞章比較表 演奏：榎本芝水、作詞：吉水経和
 底本：『薩調四絃愛吟集 卷六』（一九二三）

ヒコーキSP音源	ビクターSP音源（一九二八）	戦後LP音源（一九七〇）
<p>【一面】前語り【基吟1】</p> <p>①天文二十三年 謡出シ 秋のなかばの頃かとよ 謡出シ中干 ②上杉謙信は 謡出シ下 八千余騎を従へて 謡出シ上 川中島に打て出づ 中切り</p>	<p>【一面】前語り【基吟1】</p> <p>①天文二十三年 謡出シ 秋のなかばの頃かとよ 謡出シ中干 ②上杉謙信は 謡出シ下 八千余騎を従へて 謡出シ上 川中島に打て出づ 中切り</p>	<p>前語り【基吟1】</p> <p>①天文二十三年 謡出シ 秋のなかばの頃かとよ 謡出シ中干 ②上杉謙信は 謡出シ下 八千余騎を従へて 謡出シ上 川中島に打て出づ 中切り</p>
<p>本語り【基吟2】</p> <p>③われ此たびの戦ひ「合戦」は大干 ④武田信玄を追つめて 中干 親しく雌雄を決せんと 中干 渦巻かへす犀川を 中干 渡りて陣をぞ取にける 中干落トシ</p>	<p>本語り【基吟2】</p> <p>③われ此たびの戦ひ「合戦」は大干 ④武田信玄を追つめて 中干 親しく雌雄を決せんと 中干 渦巻かへす犀川を 中干 渡りて陣をぞ取にける 中干落トシ</p>	<p>本語り【基吟2】</p> <p>③われ此たびの戦ひは大干 ④武田信玄を追つめて 中干 親しく雌雄を決せんと 中干 渦巻かへす犀川を 中干 渡りて陣をぞ取にける 中干落トシ</p>
<p>【二面】</p> <p>⑤信玄は此事を聞より早く 地ノ下 二万余騎にて打むかひ 地ノ上 砦をかためて戦はず 中干投ゲ</p>	<p>【二面】</p> <p>⑤信玄は此事を聞より早く 地ノ下 二万余騎にて打むかひ 地ノ上 砦をかためて戦はず 中干投ゲ</p>	<p>⑤信玄は此事を聞より早く 地ノ下 二万余騎にて打むかひ 地ノ上 砦をかためて戦はず 中干投ゲ</p>
<p>⑥謙信は気をいらち 地ノ下 村上義清に云ひ含め 地ノ下 月影くらき山々の 地ノ上 草葉の露をわけさせて 地ノ上 彼方此方に兵を伏せ 地ノ下 椎に 地ノ下</p>	<p>⑥謙信は気をいらち 地ノ下 村上義清に云ひ含め 地ノ下ノ下 月影くらき山々の 地ノ上 草葉の露をわけさせて 地ノ変調 彼方此方に兵を伏せ 地ノ下ノ下 椎に 地ノ上</p>	<p>⑥謙信は気をいらち 地ノ上 村上義清に云ひ含め 地ノ下 月影くらき山々の 地ノ下 草葉の露をわけさせて 地ノ下ノ下 彼方此方に兵を伏せ 地ノ上 椎に 地ノ下</p>
<p>【崩し1】</p> <p>⑦擬せし兵ものを 崩レノ地 出して甲斐の兵營に 崩レノ地</p>	<p>【崩し1】</p> <p>⑦擬せし兵ものを 崩レノ地 出して甲斐の兵營に 崩レノ地</p>	<p>【崩し1】</p> <p>⑦擬せし兵ものを 崩レノ地 出して甲斐の兵營に 崩レノ地</p>

<p>⑧近づかしむれば甲斐の兵 崩レノ 中干</p> <p>策とは露しらず 崩レノ大干</p> <p>朝霧のまに追まくる 崩レノ大干</p> <p>⑨待設けたる伏兵は 崩レノ中干</p> <p>時こそ来れと勝鯨波を 崩レノ大 干</p> <p>どつと拳つゝ引包み 崩レノ大干</p> <p>⑩袋に物を取る如く 崩レノ中干</p> <p>一騎も残さず打取たり 崩レノ大 干</p> <p>⑪信玄怒て軍勢を 崩レノ地</p> <p>雲霞の如くに繰出せば 崩レノ地</p> <p>⑫謙信も 崩レノ中干</p> <p>備へをたてゝ打向ふ 崩レノ大干</p> <p>龍躍て雲を起し</p> <p>虎嘯て風を呼ぶ</p> <p>勢ひ破竹の如くにて</p> <p>入り乱れ〃〃〃〃</p> <p>責め戦ふありさまは</p> <p>颯風砂を巻き</p> <p>百雷岩を抜に異ならず</p>	<p>⑧近づかしむれば甲斐の兵 崩レノ 中干</p> <p>策とは露しらず 崩レノ大干</p> <p>朝霧のまに追まくる 崩レノ大干</p> <p>⑨待設けたる伏兵は 崩レノ中干</p> <p>時こそ来れと勝鯨波を 崩レノ大 干</p> <p>どつと拳つゝ引包み 崩レノ大干</p> <p>⑩袋に物を取る如く 崩レノ中干</p> <p>一騎も残さず打取たり 崩レノ大 干</p> <p>信玄怒て軍勢を</p> <p>雲霞の如くに繰出せば</p> <p>謙信も</p> <p>備へをたてゝ打向ふ</p> <p>龍躍て雲を起し</p> <p>虎嘯て風を呼ぶ</p> <p>勢ひ破竹の如くにて</p> <p>入り乱れ〃〃〃〃</p> <p>責め戦ふありさまは</p> <p>颯風砂を巻き</p> <p>百雷岩を抜に異ならず</p>	<p>⑧近づかしむれば甲斐の兵 崩レノ 中干</p> <p>策とは露しらず 崩レノ大干</p> <p>朝霧のまに追まくる 崩レノ大干</p> <p>⑨待設けたる伏兵は 崩レノ中干</p> <p>時こそ来れと勝鯨波を 崩レノ大 干</p> <p>どつと拳つゝ引包み 崩レノ大干</p> <p>⑩袋に物を取る如く 崩レノ中干</p> <p>一騎も残さず打取たり 崩レノ大 干</p> <p>⑪信玄怒て軍勢を 崩レノ地</p> <p>雲霞の如くに繰出せば 崩レノ地</p> <p>⑫謙信も 崩レノ中干</p> <p>備へをたてゝ打向ふ 崩レノ地</p> <p>龍躍て雲を起し</p> <p>虎嘯て風を呼ぶ</p> <p>勢ひ破竹の如くにて</p> <p>入り乱れ〃〃〃〃</p> <p>責め戦ふありさまは</p> <p>颯風砂を巻き</p> <p>百雷岩を抜に異ならず</p>
<p>【三面】</p> <p>⑬越後の勢退けば 崩レノ地</p> <p>甲斐の軍是を追ひ 崩レノ地</p> <p>甲斐の軍退けば 崩レノ地</p> <p>越後の勢是を追ふ 崩レノ地</p>		
<p>越後の勢退けば</p> <p>甲斐の軍是を追ひ</p> <p>甲斐の軍退けば</p> <p>越後の勢是を追ふ</p>		

<p>【基吟3】</p> <p>⑭兵を合すること十七度 大干 ⑮いづれも」を」勝としらま弓 中干 ひくかと見えし信玄が 中干 一と手の勢の幟を伏せ 中干落トシ</p> <p>⑯川を渡りてよしあしの 地ノ下 ひまを潜かに忍ばせて 地ノ上</p>	<p>兵を合すること十七度 いづれも勝としらま弓 ひくかと見えし信玄が 一と手の勢の幟を伏せ</p> <p>川を渡りてよしあしの ひまを潜かに忍ばせて</p>	<p>【基吟3】</p> <p>⑭兵を合すること十七度 大干 ⑮いづれも」を」勝としらま弓 中干 ひくかと見えし信玄が 中干 一と手の勢の幟を伏せ 中干落トシ</p> <p>⑯川を渡りてよしあしの 地ノ下 ひまを潜かに忍ばせて 地ノ上 勇み 地ノ下</p>
<p>【崩レ2】</p> <p>⑰勇み立たる謙信の 崩レノ地 磨本近くすゝみより 崩レノ地</p> <p>⑱面も振ず切て入る 崩レノ大干</p>	<p>勇み立たる謙信の 磨本近くすゝみより</p> <p>面も振ず切て入る</p>	<p>【崩レ2】</p> <p>⑰立たる謙信の 崩レノ地 磨本近くすゝみより 崩レノ地</p> <p>⑱面も振ず切て入る 崩レノ大干</p>
<p>⑲磨本の軍勢は 崩レノ中干 思はぬ兵に敗られて 崩レノ大干</p> <p>⑳走る跡より甲斐の兵 崩レノ中干 鯨波を作て追かくる 崩レノ大干</p>	<p>磨本の軍勢は 思はぬ兵に敗られて</p> <p>走る跡より甲斐の兵 鯨波を作て追かくる</p>	<p>⑲磨本の軍勢は 崩レノ中干 思はぬ兵に敗られて 崩レノ大干</p> <p>⑳走る跡より甲斐の兵 崩レノ中干 鯨波を作て追かくる 崩レノ大干</p>
<p>【四面】</p> <p>㉑宇佐美定行是を見て 崩レノ地 猛虎の如く憤り 崩レノ地</p> <p>㉒憤馬を駆て大音に 崩レノ中干 我が手の勢に下知をなし 崩レノ大干</p> <p>㉓敵の横合より 崩レノ大干 無二無三に突入て 崩レノ大干 淵瀬もいはず追落す 崩レノ地</p>	<p>宇佐美定行是を見て 猛虎の如く憤り</p> <p>憤馬を駆て大音に 我が手の勢に下知をなし</p> <p>敵の横合より 無二無三に突入て 淵瀬もいはず追落す</p>	<p>㉑宇佐美定行是を見て 崩レノ地 猛虎の如く憤り 崩レノ地</p> <p>㉒憤馬を駆て大音に 崩レノ中干 我が手の勢に下知をなし 崩レノ中干</p> <p>㉓敵の横合より 崩レノ中干 無二無三に突入て 回シ 淵瀬もいはず追落す 回シ</p>

<p>②④信玄度を失ひて 崩レノ地 流れを乱して走る所を 崩レノ地 謙信只一騎 崩レノ地</p>	<p>【三面】 ①①信玄度を失ひて 崩レノ地 流れを乱して走る所を 崩レノ地 謙信只一騎 崩レノ地</p>	<p>②④信玄度を失ひて 崩レノ地 流れを乱して走る所を 崩レノ地 謙信只一騎 崩レノ地</p>
<p>【基吟4】 ②⑤黄襖騮の逞しきに鞭をあて 中干 豎子いづく迄逃るぞと 大干 いひも果さず切りつくる 大干 ②⑥信玄刀を抜に暇なく 中干 軍配扇にて受たれど 中干 扇は二ツに折られたり 中干落トシ</p>	<p>【基吟3】 ①②黄襖騮の逞しきに鞭をあて 中干 豎子いづく迄逃るぞと 大干 いひも果さず切りつくる 大干 ①③信玄刀を抜に暇なく 中干 軍配扇にて受たれど 中干 扇は二ツに折られたり 中干落トシ</p>	<p>【基吟4】 ②⑤黄襖騮の逞しきに鞭をあて 中干 豎子いづく迄逃るぞと 大干 いひも果さず切りつくる 大干 ②⑥信玄刀を抜に暇なく 中干 軍配扇にて受たれど 中干 扇は二ツに折られたり 中干落トシ</p>
<p>後語り「吟詠（和歌）」 ②⑦降ると見て 傘とる暇もなかりけり 川中島の夕立の雨</p>	<p>「吟詠（和歌）」 ①④降ると見て 傘とる暇もなかりけり 川中島の夕立の雨</p>	<p>「吟詠（和歌）」 ②⑦降ると見て 傘とる暇もなかりけり 川中島の夕立の雨</p>
<p>と謡ひし如く二の太刀は 早肩先に切り込みぬ</p>	<p>①⑤と謡ひし如く二の太刀は 地ノ下 ↓地ノ上 早肩先に切り込みぬ 中干投ゲ</p>	<p>②⑧と謡ひし如く二の太刀は 地ノ下 ↓地ノ上 早肩先に切り込みぬ 中干投ゲ</p>
<p>あつといふまに信玄の 命は岩にくだかるゝ 泡と消えなむ危きを</p>	<p>①⑥あつといふまに信玄の 地ノ上 命は岩にくだかるゝ 地ノ上 泡と消えなむ危きを 地ノ下 【四面】</p>	<p>②⑨あつといふまに信玄の 地ノ上 命は岩にくだかるゝ 地ノ上 泡と消えなむ危きを 地ノ上</p>
<p>救はんとして軍兵が 心はやたけに勇めども 水駛くしてちかよれず</p>	<p>救はんとして軍兵が 中干 心はやたけに勇めども 中干 水駛くしてちかよれず 中干落トシ</p>	<p>救はんとして軍兵が 地ノ下 心はやたけに勇めども 地ノ上 水駛くしてちかよれず 中干投ゲ</p>
<p>隊将原大隅 鎗をのばして謙信を 突はしたれどあだ突し 斯てはならじと鎗を揚げ 只一と打にと打たりしに 馬にあたりて馬逸す</p>	<p>①⑦隊将原大隅 地ノ下 鎗をのばして謙信を 中干 突はしたれどあだ突し 中干 斯てはならじと鎗を揚げ 中干 只一と打にと打たりしに 中干 馬にあたりて馬逸す 中干落トシ</p>	<p>③⑩隊将原大隅 地ノ下 鎗をのばして謙信を 中干 突はしたれどあだ突し 中干 斯てはならじと鎗を揚げ 中干 只一と打にと打たりしに 中干 馬にあたりて馬逸す 中干落トシ</p>

<p>謙信馬をしづめんと 手綱搔繰る其隙に 信玄は 虎口を遁れ去りにけり</p>	<p>謙信馬をしづめんと 手綱搔繰る其隙に 信玄は 虎口を遁れ去りにけり</p>	<p>③1 謙信馬をしづめんと 地ノ下 手綱搔繰る其隙に 地ノ上 信玄は 地ノ下 虎口を遁れ去りにけり 中干投ゲ</p>
<p>鞭声肅々夜過レ河 暁見千兵擁「大牙」 遺恨十年磨「一劍」 流星光底逸「長蛇」</p>	<p>後語り「吟詠（漢詩）」 ⑩ 鞭声肅々夜河を過る 暁に見る千兵の大牙を擁するを 遺恨十年一劍を磨す 流星光底長蛇を逸す</p>	<p>「吟詠（漢詩）」 ③2 鞭声肅々夜河を過る 暁に見る千兵の大牙を擁するを 遺恨十年一劍を磨く 流星光底長蛇を逸す</p>
<p>斯く信玄を 打もらしたる謙信が 心の中はいかならむ 思ひやるだに哀れなり</p>	<p>斯く信玄を 打もらしたる謙信が 心の中はいかならむ 思ひやるだに哀れなり</p>	<p>③3 斯く信玄を 地ノ下 打もらしたる謙信が 地ノ上 心の中はいかならむ 地ノ上 思ひやるだに哀れなり 下切り</p>
<p>信玄は 肩の痛手に絶かねて 其夜の中に軍勢を 纏めて出る月影に 道を求めてはるぐと わが故郷に帰りけり</p>	<p>信玄は 肩の痛手に絶かねて 其夜の中に軍勢を 纏めて出る月影に 道を求めてはるぐと わが故郷に帰りけり</p>	<p>後語り「基吟7」 ③4 信玄は 地ノ上 肩の痛手に絶かねて 地ノ上 其夜の中に軍勢を 地ノ下 纏めて出る月影に 中干 ③5 道を求めてはるぐと 地ノ下 わが故郷に帰りけり 地ノ上 く 止メ切り</p>
<p>※網掛けは、『薩調四絃愛吟集 卷六』に記載があるが省略されている箇所を示す。</p> <p>※詞章「」は、録音が『薩調四絃愛吟集 卷六』の内容と異なる箇所を示す。</p>	<p>※網掛けは、『薩調四絃愛吟集 卷六』に記載があるが省略されている箇所を示す。</p> <p>※詞章「」は、録音が『薩調四絃愛吟集 卷六』の内容と異なる箇所を示す。</p>	<p>※網掛けは、『薩調四絃愛吟集 卷六』に記載があるが省略されている箇所を示す。</p>

【表 23】榎本芝水《本能寺》詞章比較表 演奏：榎本芝水、作詞：小田錦蛙
 底本：『薩調四絃愛吟集 卷之一』（一九一三）

<p>戦前 SP 音源（一九三二）</p>	<p>戦後 LP 音源（一九六九）</p>
<p>麻と乱るゝ戦国の 人らしいへば誰も彼も 馬を養ひ兵を練り 糧を収めて剣を磨す 比は天正十年夏五月 徳川家康封ぜられ 安土城下に入りしかば 織田右大将信長は いと鄭重に迎へんと 直に日向守光秀に 饗応の役をば命ぜらる 御受致しゝ光秀は 乱れたる世に心得し 都の手振見せばやと さしも目出度く勤めしを 小人輩の言により 善美過分の評を受け 疑心暗鬼は信長の 胸にやどりし時も時 羽柴秀吉中国より 援けの兵をこひしかば 敵命忽ち光秀が 首の上にぞかゝりける 光秀私に思ふやう 人もあらんに此のわれに 羽柴が命に従へとは あな情なのわが君やと 齒がみをなして恨みしは 君に仕ふる人臣の よもあるまじき事なれど 又信長を見る時は 右大将とも仰がるゝ身に</p>	<p>麻と乱るゝ戦国の 人らしいへば誰も彼も 馬を養ひ兵を練り 糧を収めて剣を磨す 比は天正十年夏五月 徳川家康封ぜられ 安土城下に入りしかば 織田右大将信長は いと鄭重に迎へんと 直に日向守光秀に 饗応の役をば命ぜらる 御受致しゝ光秀は 乱れたる世に心得し 都の手振見せばやと さしも目出度く勤めしを 小人輩の言により 善美過分の評を受け 疑心暗鬼は信長の 胸にやどりし時も時 羽柴秀吉中国より 援けの兵をこひしかば 敵命忽ち光秀が 首の上にぞかゝりける 光秀私に思ふやう 人もあらんに此のわれに 羽柴が命に従へとは あな情なのわが君やと 齒がみをなして恨みしは 君に仕ふる人臣の よもあるまじき事なれど 又信長を見る時は 右大将とも仰がるゝ身に</p>

<p>疎暴の振舞いと多く ある時は蘭丸をして 光秀が首に鉄扇を加へさせ 又或時は 好まぬ酒を殊更に 我意を通して勧めしめ 志賀の都の領地さへ 三年のうちには事なくも 奪ひ取られん説をきゝ 今又産を傾けて 新たに來りし家康に 心尽しのもてなしも 琵琶湖の水の泡と消え 抑へしほむらむら／＼と もゆる思ひの光秀が 拳を握りて立上り 動く睫の間より 由々敷大事のほの見えしを 露ほど知らぬ信長は</p> <p>【一面】前語り【基吟1】 ①「去るほどに織田右大将信長は」 謡出シ 諸將を安土にとどめ置き 謡出シ中干 ②親から近臣百余人 謡出シ下 引したがへて京都なる 謡出シ上 本能寺にぞ入りにける 中切り</p> <p>本語り【基吟2】 ③時こそ来れと光秀は 大干 ④田鶴も遊ばぬ龜山に 中干 従子光春等を召し寄せて 中干 積もる恨みの数々を 中干 数ふるうちに光秀が 中干 眼は血汐ほどばしり 中干 逆立つ髪は冠を 中干 衝く勢を見てとりし 中干落トシ</p>	<p>疎暴の振舞いと多く ある時は蘭丸をして 光秀が首に鉄扇を加へさせ 又或時は 好まぬ酒を殊更に 我意を通して勧めしめ 志賀の都の領地さへ 三年のうちには事なくも 奪ひ取られん説をきゝ 今又産を傾けて 新たに來りし家康に 心尽しのもてなしも 琵琶湖の水の泡と消え 抑へしほむらむら／＼と もゆる思ひの光秀が 拳を握りて立上り 動く睫の間より 由々敷大事のほの見えしを 露ほど知らぬ信長は</p> <p>前語り【吟詠（和歌）】 ①「時はいま天が下知る皐月哉」 【基吟1】 ②去る程に織田右大臣信長は」 謡出シ 諸將を安土「の城」にとどめ置き 謡出シ中干 ③親から近臣「僅か」百余人 謡出シ下 引きしたがへて京都なる 謡出シ上 本能寺にぞ入りにける 中切り</p> <p>本語り【基吟2】 ④時こそ来れと光秀は 大干 ⑤田鶴も遊ばぬ龜山「城」に 中干 従子光春等を召し寄せて 中干 積もる恨みの数々を 中干↓地ノ上 数ふるうちに光秀が 中干 眼は血汐ほどばしり 中干 逆立つ髪は冠を 中干 衝く勢を見てとりし 中干落トシ</p>
<p>疎暴の振舞いと多く ある時は蘭丸をして 光秀が首に鉄扇を加へさせ 又或時は 好まぬ酒を殊更に 我意を通して勧めしめ 志賀の都の領地さへ 三年のうちには事なくも 奪ひ取られん説をきゝ 今又産を傾けて 新たに來りし家康に 心尽しのもてなしも 琵琶湖の水の泡と消え 抑へしほむらむら／＼と もゆる思ひの光秀が 拳を握りて立上り 動く睫の間より 由々敷大事のほの見えしを 露ほど知らぬ信長は</p> <p>前語り【吟詠（和歌）】 ①「時はいま天が下知る皐月哉」 【基吟1】 ②去る程に織田右大臣信長は」 謡出シ 諸將を安土「の城」にとどめ置き 謡出シ中干 ③親から近臣「僅か」百余人 謡出シ下 引きしたがへて京都なる 謡出シ上 本能寺にぞ入りにける 中切り</p> <p>本語り【基吟2】 ④時こそ来れと光秀は 大干 ⑤田鶴も遊ばぬ龜山「城」に 中干 従子光春等を召し寄せて 中干 積もる恨みの数々を 中干↓地ノ上 数ふるうちに光秀が 中干 眼は血汐ほどばしり 中干 逆立つ髪は冠を 中干 衝く勢を見てとりし 中干落トシ</p>	<p>疎暴の振舞いと多く ある時は蘭丸をして 光秀が首に鉄扇を加へさせ 又或時は 好まぬ酒を殊更に 我意を通して勧めしめ 志賀の都の領地さへ 三年のうちには事なくも 奪ひ取られん説をきゝ 今又産を傾けて 新たに來りし家康に 心尽しのもてなしも 琵琶湖の水の泡と消え 抑へしほむらむら／＼と もゆる思ひの光秀が 拳を握りて立上り 動く睫の間より 由々敷大事のほの見えしを 露ほど知らぬ信長は</p> <p>前語り【吟詠（和歌）】 ①「時はいま天が下知る皐月哉」 【基吟1】 ②去る程に織田右大臣信長は」 謡出シ 諸將を安土「の城」にとどめ置き 謡出シ中干 ③親から近臣「僅か」百余人 謡出シ下 引きしたがへて京都なる 謡出シ上 本能寺にぞ入りにける 中切り</p> <p>本語り【基吟2】 ④時こそ来れと光秀は 大干 ⑤田鶴も遊ばぬ龜山「城」に 中干 従子光春等を召し寄せて 中干 積もる恨みの数々を 中干↓地ノ上 数ふるうちに光秀が 中干 眼は血汐ほどばしり 中干 逆立つ髪は冠を 中干 衝く勢を見てとりし 中干落トシ</p>

【二面】

⑤ 光春共が百千度 地ノ下
諫むる言葉も聴かばこそ 地ノ上
推して謀叛に加盟させ 地ノ上
暴戻無道の弑虐を 地ノ下
企てしこそ浅ましけれ 中干投ゲ

⑥ 斯て士卒を打揃へ 地ノ下
中国勢を援はんと 地ノ上
偽り向ふ大江山 地ノ上
心の駒も烏羽玉の 地ノ下
闇路を急ぐばかりにて 地ノ上
さしも忠義の光秀が 地ノ下ノ下
追々年も老の坂 中干投ゲ

⑦ 如何なる道に迷ひけん 地ノ下
無念至極の胸の中 地ノ上
乱れて濁る桂川 地ノ下
渡らむ駒の足並は 地ノ上
東さしてぞ進みける 中干投ゲ

【三面】「吟詠（漢詩）」

⑧ 本能寺溝の深さ幾尺ぞや
我大事を就すは今夕に在り
菱粽手に在り菱を併せて喰らふ
四簷の梅雨天墨の如し
老坂西に去れば備中の道
鞭を揚げ東を指させば天猶ほ早し
我敵は正に本能寺に在り
敵は備中に在り汝能く備へよ

【四面】「基吟⁹」

⑨ こゝにはじめて軍勢は 地ノ下
漸く二心と覺りしが 地ノ下
これも我君是非もなし 地ノ下

⑥ 光春共が百千度 地ノ下
諫むる言葉も聴かばこそ 地ノ下
推して謀叛に加盟させ 地ノ上
暴戻無道の弑虐を 地ノ下↓地ノ上
企てしこそ浅ましけれ 中干投ゲ

⑦ 斯くて士卒を打揃へ 地ノ下
中国勢を援はんと 地ノ上
偽り向ふ大江山 地ノ上
心の駒も烏羽玉の 地ノ下
闇路を急ぐばかりにて 地ノ上
さしも忠義の光秀が 地ノ下ノ下
追々年も老の坂 中干投ゲ（地ノ変調）

⑧ 如何なる道に迷ひけん 地ノ下
無念至極の胸の中 地ノ上
乱れて濁る桂川 地ノ下
渡らむ駒の足並は 地ノ上
東さしてぞ進みける 中干投ゲ
8

「吟詠（漢詩）」

⑨ 本能寺溝の深さ幾尺なるぞ
我大事を就すは今夕に在り
菱粽手に在り菱を併せて喰らふ
四簷の梅雨天墨の如し
老坂西に去れば備中の道
鞭を揚げを指させば天猶ほ早し
我敵は正に本能寺に在り
敵は備中に在り汝能く備へよ

「基吟⁹」

⑩ こゝにはじめて軍勢は 地ノ下
漸く二心と覺りしが 地ノ下
これも我君是非もなし 地ノ下

<p>「崩レ1」 ⑩すつる命は一つぞと 崩レノ地 時しも六月二日の朝まだき 崩レノ地</p>	<p>すつる命は一つぞと 地ノ上 時しも「天正十年」 地ノ上 六月二日の朝まだき 地ノ上</p>
<p>⑪露の身軽き軍兵が 崩レノ中干 本能寺をとりかこみ 崩レノ大干</p>	<p>⑪露の身軽き軍兵が 崩レノ地 本能寺をとりかこみ 崩レノ地 関を作つて攻め入りける 崩レノ地</p>
<p>「基吟4」 ⑫関を作つてぞ攻め入りける 大干</p>	<p>「基吟4」 ⑫此の物音に信長は 中干</p>
<p>寢覚の 中干 「崩レ2」</p>	<p>寢覚の 中干 「崩レ2」</p>
<p>⑭耳をそばだつれば 崩レノ地 紛ふかたなき人馬の声 崩レノ地</p>	<p>⑬耳をそばだつれば 崩レノ地 紛ふかたなき人馬の声 崩レノ地</p>
<p>後語り「基吟5」</p>	<p>「基吟5」</p>
<p>⑮館間近く聞ゆるに 中干 枕を蹴て立上り 大干</p>	<p>⑭館間近く聞ゆるに 中干 枕を蹴て立上り 大干</p>
<p>⑯疾く見届けよとありければ 中干 森蘭丸畏り 中干</p>	<p>⑮疾く見届けよとありければ 中干 森蘭丸畏り 中干</p>
<p>表の方に走り出で 中干 見越の松に片手をかけ 中干</p>	<p>表の方に走り出で 中干 見越の松に片手をかけ 中干</p>
<p>右手をかざして見てあれば 中干 雲か霞か白旗に 中干落トシ</p>	<p>右手をかざして見てあれば 中干 雲か霞か白旗に 中干落トシ</p>
<p>染めたる桔梗の紋所 中干落トシ</p>	<p>染めたる桔梗の紋所 中干落トシ</p>
<p>見るより蘭丸引きかへし 光秀謀叛と答ふるに</p>	<p>「崩レ3」 ⑯見るより蘭丸引きかへし 崩レノ地 光秀謀叛と答ふるに 崩レノ地</p>
<p>赫と怒りて信長は 者共覚悟と呼りて</p>	<p>⑰赫と怒りて信長は 崩レノ中干 者共覚悟と呼りて</p>
<p>弓矢おつとり立ち向ひ 寄せ来る敵をものともせず</p>	<p>弓矢おつとり立ち向ひ 崩レノ中干 寄せ来る敵をものともせず 崩レノ中干</p>
<p>瞬くひまに數十騎を 矢継早に射て落し</p>	<p>瞬くひまに數十騎を 崩レノ大干 矢継早に射て落し 崩レノ大干</p>

<p>勢鋭く拒ぎしも 只一筋と信長が 頼む弓弦ふつとときれ</p> <p>得たりとつけ入る豪敵を すかさず弓もて打て伏せ 兎角するうち信長も 左手の腕に痛手を負ひ</p> <p>蘭丸代つて拒ぐうち 宿直の者も悉く 命を的に戦へど</p> <p>衆寡敵せず信長は 最早是迄とや思ひけむ 自ら館に火を放ち 煙の中に飛び入りて 刃に伏してぞ果てにける</p> <p>嗚呼豪邁の信長が 空をも蔽はん大鵬の 凶南の翼中空に 燕雀のために悩まされ 終世の望絶えたるは 獅子身中の虫に倒れたる 譏を受けて人皆の 口に残るぞ痛ましき</p> <p>続いて蘭丸をはじめとし 坊丸力丸の小姓共 いまだ若木の桜花 嵐の山の朝風に いとも床しき香を留めて ちるやちりぐあとやさき</p>	<p>勢鋭く拒ぎしも 只一筋と信長が 頼む弓弦ふつとときれ</p> <p>得たりとつけ入る豪敵を すかさず弓もて打て伏せ ⑩兎角するうち信長も 崩レノ地 左手の腕に痛手を負ひ 崩レノ地</p> <p>⑪蘭丸代つて拒ぐうち 崩レノ中干 宿直の者も悉く 崩レノ大干 命を的に戦へど 崩レノ大干</p> <p>〔吟替り〕 ⑫衆寡敵せず信長は 吟替リノ地 ⑬最早是迄とや思ひけむ 吟替リノ地 自ら館に火を放ち 吟替リノ干 煙の中に飛び入りて 吟替リノ降り 刃に伏してぞ果てにける 吟替リノ止メ</p> <p>嗚呼豪邁の信長が 空をも蔽はん大鵬の 凶南の翼中空に 燕雀のために悩まされ 終世の望絶えたるは 獅子身中の虫に倒れたる 譏を受けて人皆の 口に残るぞ痛ましき</p> <p>〔基吟 6〕 ⑭続いて蘭丸をはじめとし 地ノ下 坊丸力丸の小姓共 地ノ上 いまだ若木の桜花 地ノ上 嵐の山の朝風に 地ノ下 いとも床しき香を留めて 地ノ上 ちるやちりぐあとやさき 中干投ゲ</p>
---	--

<p>百有余人諸共に 哀れ本能寺の 朝の煙と消えにけり</p> <p>とぎ得たる心ゆるすな増鏡 思はぬ塵のかゝる世の中 備々古今を按ずるに 人に君たる王侯の 心すべきは徳にこそ 心すべきは徳にこそ</p> <p>※追加詞章は「」を付し、省略箇所は網掛けをした。</p> <p>※実際の演奏で文言が底本と異なる場合、戦後LP音源のレコード解説書記載の表記を参照した。</p>	<p>後語り「基吟7」 ③百有余人諸共に 地ノ下 哀れ本能寺の 地ノ上 朝の煙と消えにけり 地ノ上 「朝の煙と消えにけり」 止め切り</p> <p>とぎ得たる心ゆるすな増鏡 思はぬ塵のかゝる世の中 備々古今を按ずるに 人に君たる王侯の 心すべきは徳にこそ 心すべきは徳にこそ</p> <p>※追加詞章は「」を付し、省略箇所は網掛けをした。</p>
<p>とぎ得たる心ゆるすな増鏡 思はぬ塵のかゝる世の中 備々古今を按ずるに 人に君たる王侯の 心すべきは徳にこそ 心すべきは徳にこそ</p> <p>※追加詞章は「」を付し、省略箇所は網掛けをした。</p>	<p>とぎ得たる心ゆるすな増鏡 思はぬ塵のかゝる世の中 備々古今を按ずるに 人に君たる王侯の 心すべきは徳にこそ 心すべきは徳にこそ</p> <p>※追加詞章および実際の演奏で文言が異なる場合、レコード解説書記載の表記を参照した。解説書とも異なる場合には、実際の音声に合わせて記載した。</p>

採譜【譜例 1】～【譜例 9】〈凡例〉

■全体

- ・本論文における採譜は、すべて筆者が行った。
- ・比較のために、調子はすべて三本（主音が A）の高さで表記した。また、音源資料の実音は各譜例冒頭に記載した。
- ・譜例には、段（前語り・本語り・後語り）、曲節（〔 〕で表記）および小段落（○数字で表記）を記入した。
- ・SP レコード音源には、盤面数を□数字、盤面の終わり区切りを「//」で示した。
- ・語りと琵琶が同時に演奏される場合には 2 段で表記し、上段を語り、下段を琵琶のパートとした。
- ・直前の琵琶の手、あるいは語りが終わる前に次の語り、あるいは琵琶の手が始まる場合には、「☆」を記した。
- ・音程がやや高めるときは「↑」、低めるときは「↓」を音符の左側に記した。
- ・採譜した音源資料は、以下の通りである。

水藤錦穰《白虎隊》

- ・戦前：歴史的音源、ビクター：51247～51248（SP）、1930 年発売。
- ・戦後：『白虎隊 石童丸』、キング：LKF-5001（LP）、1963 年発売。

水藤錦穰《本能寺》

- ・戦前：歴史的音源、ビクター：51681～51683（SP）、1931 年発売。
- ・戦後：ラジオ放送録音、1965 年放送か。（藤波白林氏所蔵）

榎本芝水《川中島》

- ・戦前：歴史的音源、ヒコーキ：1594～1595（SP）、発売年不明。
- ・戦前：歴史的音源、ビクター：50432～50433（SP）、1928 年発売。
- ・戦後：『川中島 桜狩 白虎隊』、コロムビア：DLS-4197（LP）、1970 年発売。

榎本芝水《本能寺》

- ・戦前：歴史的音源、コロムビア：26986～26987（SP）、1932 年発売。
- ・戦後：『西郷隆盛 本能寺』、コロムビア：DLS-4138（LP）、1969 年発売。

■語りパート

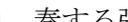
- ・詞章は現代仮名遣いを用いてひらがなで表記し、オ列長音は実際に発音されている通りに記載した。

例：「ゆうそう」→「ゆうそお」、「こひょう」→「こひょお」など

- ・音程が定まらない場合、および促音は符頭を「×」とした。
- ・声を伸ばして音高が変化する場合にはスラーを付し、詞章に音引きを付した。
- ・ユリ（声を伸ばして音を揺らす）は、波線で示した。
- ・下の音域から発声する場合には、符頭の左側に「ノ」を付した。また、声を伸ばした後に音程を下ろす場合には、符頭の右側に「ㇿ」を付した。

- ・声を伸ばして音程をすり上げる、あるいはすり下げる場合には、符頭間を直線でつないで示した。

■琵琶パート

- ・撥を琵琶の腹板に打ちつけて演奏している場合には、「>」を付した。また、弦を弾かずに撥を琵琶の腹板に打ちつける場合には、休符の上に「×」を記した。
- ・全弦をアルペジオで奏する場合には、音符の左側にアルペジオ記号を記した。
- ・音型を繰り返す場合には「・/・」で示し、繰り返す内容は「」で示した。
- ・トレモロ奏法で強弱をつける場合には、奏する弦を増やして次第に強くする場合には「」、奏する弦を減らして次第に弱くする場合には「」を記した。
- ・撥で弦を擦るスリの奏法は「スリ」と記入し、波線で動きを表記した。
- ・語りパートに重ねて琵琶の全弦を弾く際には、音符の上に「↓」で演奏する位置を示した。
- ・単音で奏される第Ⅲ弦の開放弦は、判別できる限り旗を下向きに記した。

■楽曲別事項

水藤錦穰《白虎隊》

- ・戦前 SP 音源では、琵琶のトレモロ奏法とは別に、表現上で音を弱くしている箇所があり、そこでは「」を記した（[基吟 3] 小段落⑩の直前）。

水藤錦穰《本能寺》

- ・ラジオ音源では、語りの間に合の手のように撥で琵琶の表板を打つ奏法があり、その場合は符頭を「×」で示した。

【譜例1】

水藤錦穂 《白虎隊》 ビクター 1930年

作詞 小田錦蛙
実音 八本(主音D)

① 前語り [基吟1] ①

はなは— さく— らよ— ひと— はぶし—

ちる— べき— とし— に— ちら— さ— むば—

②

い— か— ら— ひと— に—

おし— ま— れ— ん

本語り [基吟2] ③

こ— こ— に— あ— い— づ— は— ん— の— し— ら— い— に— 2— ひ— ゃ— こ— た— い— と—

た— た— え— し— は— に— し— れ— ば— の— ぐ— せ— い— と— せ— ん— ば— つ— れ— る— ひ— と— ひ— と— に— 2—

だ— ん— ぬ— い— ら— ず— か— に— ひ— ゃ— ぐ— ろ— < ひ— ゃ— ぐ— ろ— さい— を— ま— た— こ— え— ぬ—

ち— ゃ— う— う— さ— れ— つ— の— は— あ— ね— ん— じ— り—

⑤

ま— り— び— の— ま— じ— ど— に— あ— り— と— せ—

つ— る— ぎ— と— と— り— と— せ— い— と— ん— を— に— ら— む— ず— け— た— の— け— び— げ— に— も—

さ— ん— ひ— ゃ— う— ろ— く— に— ん— だ— ん— づ— つ— し— ひ— は— あ— の— も— と— に— か— け— つ— け— ぬ—

〔基吟3〕(13)

わすかにいっぽふとすりぬけて いきのこるもの にいかにん

(14)

いひおほしん はちか つの のちのみ、ひのしの のめに

たきざのとあけの けん え こえ

(3) (15)

おれ たるかたは エ つえ と し 2 いいむりやまに

〔吟替り〕(16)

まじ の ぼりつる かはち はるかにみわ た せば

(17)

こくえんせんに み な ぎ り 2

まのみにいれる きあ の さま

あわわたの みも つきは 2め

(18)

しゅくをほひめ た 2 ま 2り

わがちちははにこん じ あ の わがれとげんと

ひぶ ま 3 き なみだ 2が 5らに 3 3

【譜例2】

水藤錦様 《白虎隊》 キング 1963年

作詞 小田錦虹
作曲 永田錦心
実音 七本(錯曲)

前語り(基吟1)①

はなは— まくらよ いとはぶし—

ちるバキとキーに— ち—ら—が— れは—

②

いか—ご—めと— に— おし—ま— れ—ん

★

本語り(基吟2)③

ここにありはんしの— してい— にて—

★

④

ひつこたしと— たた—え— しは— にっしんがんのがくせいを

せんぼつしたるめとがとにて ねんわい わ—すかにしゅうじろ—く じゆうしちさいをまだ— こえぬ—

★

はな—もつばけ—の— はが—ねん— なり

⑤

まだはのまどに—はび—を— 3 3 す— 2— 7るぎもとりて— せい—て—んせ—

にらむ— すがたのけな—げ— にも— さんじゅうろくにんたんげっし

★

しれ—おのちとに— かけつけ— た—り—

はーヤこのときはわかまつり
 しほあはてまのりおとなり
 はあな いそでへい はつき
 のころはあわれろおにくの
 いたいたいの
 さよくとたりとくちほらにうーちあかい
 あらがるーときにきーてる
 21

⑨

かりしも はげしきほおぶうう

スリ

ひるたあくらしらのにわ— らいめいさんがかくをしんどうかし

スリ

⑩

たちまちはなつでんこかに—

こはわくはせわぎこ— かし— ちらめくかげはあつこのごとく

⑪

たけりにたけるはあゆ人がいさをもつたたかいたし

⑫

よせ— くるてきはうしのかのごとく

ふせ ぐ つかたは きゅうぎゅうのいちもだににもたらぬい

わすかにいっ (おあきりめけて)

いさのこるもの にじゅうごうにん けいおおほしんはちがつの

のちのあつかりのしりのめーに 下さごめとあけの けんをこえー

しはし ——— さよふあ ——— しゃく ——— ほろが ——— め ———
 もって ——— やあな し ——— じやうやう ——— くらん ———
 とふくして ——— しす
 後語り(基吟4)⑳
 ばんせい ——— ふいさうの ひつこた ——— そのまごころの くれは ——— は
 もみじにはじぬ わかば ——— と ——— おしまぬもの ——— と ———
 なかり ——— け ——— え ——— ん ———

(Empty musical staves)

いか — に — せん — かくとさだめしみつひの —

こころをかえす — すべ — も — なし —

⑥ おの おの おの おの を ひきしめて ちうごくぜいをさくわんと いつわりおこふ

おあ — え — せま — まお — こころはかに — き — ほら —

うら — み — も — なかし — かつらがわ — わた — らん — こまの あし — な — みは —

ひながしとせど — すす — み — ける

|| 3 [吟詠(漢詩)] ① ほんのお — じ — みぞのふか — さ

い — く — せ — さ — せ — わ — れ — だいじをなすは

こんせき — に — あり — こおろお

そ — に — あり — こおろあわ — せ — ち

くろお — し — えん — の — ばい — う

はたーさしものの うごーく のみ

かかーととほつゆーし らおー

ひとよこここのぶーがは

たひねのゆめーも みじーか よの

あくるにーはせーさ がねーの こえ

ゆめーか うつーつかー かすーかにー きーやう じわばのちあおと

やかたに ———— せまるとおほゆれば
 のぶながは ———— とくもとどけふとありければ せう もりらんまるかしにまり
 おもこのかたにほしりいぶ みなしのまつにかたをわけて めをわがしてみれば
 さぎりのなかに ひるがえるみずいろきき—あ の ———— はた—じ———— るし
 みるよりらんまるひきかえし みつひをあはんとこにおるに

★

(17)

か っ と い か り し の ぶ な が は

も の と も か く ご と よ ば わ り と — ゆ み や — お っ と り た り ち む か い

★

(18)

よ せ — く る と き を も の と も せ ず

ま た た く ひ ま に ら じ ャ ッ き を — や つ き ば や に い て お と し

(19)

い き — お い す る と く ぶ せ ぎ し も

た だ — ひ と — す じ と の ぶ な が が た の む け ん づ る ぶ っ つ き れ

(20)

え た — り と ば か り て き ぜ い は わ れ う だ い じ ゃ の お ん し り し た ま わ ら ん と

はだ—れの ————— ごとく う っ て い る

(21) きみの だいじとらんまるは ひなおのごとくはせきたり

ながえのやりをふるいつつ ひっしをこしてわたりお

(22) ほおまるりきまるをはじめとし どのいのものもことごとく

いのちをまことにたたかえど しゅうかきせす のふながは

後語り(基吟) (23)

(24) もは—やこれまことやおも—い—けん みずからやかたにひをはなち

けむりのなかにとびいり？ やいばにふし？

は—に ———— け ———— る —

【譜例4】

水藤 錦襪 << 本能寺 >> 昭和 1965年

作詞 田中 清外
作曲 水藤 錦襪
実音 六本(主音C)

前語り〔基吟1〕①

ときほいまあめかしたしる

〔吟詠(深吟)〕②

さつ—き—かひ—

ほんのおじ

みよの 3 おいさ—

い—せき— なるぞ—

ゆい

だいにと びあは

にせきに— あり

わがときほ—まじに—

ほんのおじに— あり—

ときほ—

ひょう ちゆうにあり—

はんじよく—

そらぞら

本語り〔基吟2〕③

ときこそきたれと—

みつひは

かめやまじふにしほおきあめ

とち—

うらみのかすかす

かきえたそそ—しいげくの

だいにと こそは—

くわいぞ—

けい

〔吟替り〕⑤

かかるとは

つゆし—

らす

⑥

ひとよとここにの—びに—

おは

Handwritten musical notation on a single staff with lyrics:
 みなしのまににわたるまがひ ぬるさかざしてあーる あんば

Handwritten musical notation on a single staff with lyrics:
 くもかひるみ 3 ひらば たに hit. らめたるきまふり

Handwritten musical notation on a single staff with lyrics:
 もんご ころ

Handwritten musical notation on a single staff with lyrics:
 (前レ2) ⑩ みるよりらしまるひさかえし かつひごむほいととあるに

Handwritten musical notation on a single staff with lyrics:
 ⑫ かつとかりしのがながは ものどもかくとよほひりてゆみやあつたりたちわかい

Handwritten musical notation on a single staff with lyrics:
 ち ち ち ち

Handwritten musical notation on a single staff with lyrics:
 ⑬ ませくるときをきのとむせす

Handwritten musical notation on a single staff with lyrics:
 またたくひまにすじまごを せつぎはにいておとし

Handwritten musical notation on a single staff with lyrics:
 いき 14 おいするどくふせきしも

Handwritten musical notation on a single staff with lyrics:
 (continuation of the previous line)

Handwritten musical notation on a single staff with lyrics:
 (continuation of the previous line)

Handwritten musical notation on a single staff with lyrics:
 (continuation of the previous line)

Handwritten musical score with lyrics in Japanese. The score consists of several systems of staves, including vocal lines and piano accompaniment. The lyrics are as follows:

ただ ひと ずい と のぶ なか"り"

たのむゆづる ぶーつときれ ⑮ えたりとーば"り"きせいほ

わーいうだいじんのあんしるしたまゆらんと ためれのーご"とく ううている

後語り〔基吟4〕⑯ もほやこいまことのみがは

みずからせがたにひをほろち せいばにーおし 2 3 3"

ほこにーけーえ

る

【譜例5】

榎本芝水 <<川中島>> トーナ

作詞 吉水経和
 実音 五本(土音B)

① 前語り(基吟1) ①

こんもんにはうさんねん —

あきーのひのげの — ころ — かいとよ — うすきつわしんは —

ほっせん—おきとしに—が—えと — かの—ひのびま — に

らつて — い — ず — むい—のたひの — かつせんは —

④ たいたしんけん — おいつ — め？ — しにしくしゆうをけつせん — と

うすまきひえす — せい—が—わを — わたりと — じんをぞ — とりに — ける

⑤ しんげんはこのことを

さくよりほやく — にま—んよきに — うちむひい —

⑥ ② ⑥

とり—をのためと — たた—が — わあ — けんしんはきをいらち

あらかみおしきよにいい—ひ — く—め — つき—かげ—らき — さま—やまの —

くさばのつやを — わけ—さ — せと — かなたにまたにひいそひせ

⑦ [前語り] ⑦

き—り — ん — ぎせしつわもの—をいだし？ — かいのへいえい —

ちかづかしまいばかいのへい
 ほかりごととほつしらす—あきりのまにふいまくる
 まちもあけたるふくへいは ときこそきた火はちととき
 どつとあつたひきつみ いく—るにものさるとく— い—きも—の—き—す—
 うちとつたり しんけん(か)のせいのうん—がの—ごくとく—にくりいだせば
 けん—しんも— ぜん—えと— たつちむ—お
 えち—の—せい—しりぞけ—ば—かい—の—く—に—あ—さ—い—かい—の—く—しりぞけ—ば—えち—の—せい—に—あ—さ—
 [基吟3] へいとあつること— しろうしちたひ—
 いず—れ—と—ら—と— しら—ま—ゆみ— いく—か—と—み—え—し—しんけん—が—
 ひとのせい—の— はた—と—ふせ

(26)

しむげとあをぬくにいとまなく

くまげいらちぬにうけたれどらちぬはふたつにふらぬてり

後語り[口吟録(和歌)] (27)

ふるともかさとるひまほかにけり

かぬたかじまのゆうだちのあめ

【譜例6】

榎本芝水 <<川中島>> ビクター 1928年

作詞 吉水純和
実音 五本(主音B)

前語り(基吟1)①

あきーの なかばの ころ かとよ うにぎざけんしんは

ほつせんおきて したか えて かのなかじま に

うって い ず

本語り(基吟2)②

ゆいこのたびの かつせんは

たけだわいんと かいつめ したしくしやうとせんと

うざまきかえり さい かい ゆえ したりて じんをき

とり に け

③

④

⑤

⑥

むらひよしきまにいいふくめ つきかげくらき やゆまの

Handwritten musical score with lyrics in Japanese. The score consists of 13 staves of music, each with corresponding lyrics written below. The music is written in a single system with a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The lyrics are:

くさばのつゆを ゆけ—さ—せと

かたにこむたにへいそひせ きこーりに おせしつもの—をうたへてかいのへいへい

ちか—づのしむはがいのへい

はか—りごととは つゆしらす—あさきりのまにおいまくる

まち—もあつたるふくへいほ ときこえきたゆかちどきと—どつと—あつつひきつみ

ふく—ろにものえとるどとく いっきも—の—じ—ぶ—うちとたり

しんげんをぬくにいと—ま—た—く—

くしはいうちかに—らうけたゆど—うち—ゆはひたつ—に—あられ—たり—

Annotations include circled numbers (3, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13), asterisks, and other musical symbols like accents and slurs.

[吟詠(和歌)] ⑭

Musical staff with lyrics: ふる-とみこ かなとる-ひも けり-りけり

Musical staff with lyrics: けり-りけり の やう けり の あめ

[基吟4] ⑮

Musical staff with lyrics: と うた-いじとく にのたはけ はや-かたじきに-きり-こめ

Musical staff with lyrics: あとやうまにしんげん の いのちほ いぬにく けり

// ⑭

Musical staff with lyrics: あわ-ときえひん ぬやうきを すく-あわとしげんひめ

Musical staff with lyrics: こ-ろはやたけにいさめども ぬき-はやくしと ちか-ま

⑰

Musical staff with lyrics: たいしあはらあまみ やりえのはしげんしと つき-はしためとあまがきし

Musical staff with lyrics: かくてはならじとやりをあげ ただひとらちにとうたりしに

Musical staff with lyrics: うまに-あたりし うま-いさる

後語り[吟詠(漢詩)] ⑱

Musical staff with lyrics: はん-せい しく しく

Musical staff with lyrics: よる かし-えと せ あかき-にきる せんべいの

Musical staff with lyrics: たい-げん おおるを い-こん けうけん

Handwritten musical notation on two staves. The first staff contains a melodic line with lyrics: いっけん — と — ます — 160せ い — こあてい. The second staff contains a bass line with lyrics: ちあーだ と — いっけん —. The notation includes various musical symbols such as notes, rests, and dynamic markings.

Ten empty musical staves, each consisting of five lines, arranged vertically for further notation.

【譜例7】

榎本 芝木 《川中島》 コポピ 1970年

作詞 吉水 経和
実音 四年(基吟)
(高め)

前語り (基吟1) ①
らんちんにひらさんのわー あきのらかばの

ころーのーとふー うえーすぎけんし りは

はっせんーまきとー しにーあー えとー かぬーらかばにー

うっさー いーず

本語り (基吟2) ③
われーのたののー たーかいはー

④
たけだしんけんをあいふー めとー したしくーしやうとけっせんーとー

うさーまきかえさー さいーかーわと

わたーりーとー じわーをさー とりー にーける

⑤
しんけんは二のことをきくさりー はやく

にまよきにこうちあかい とりーを のたあ 2
 たたか のす きえいらーち むらみしきまにいいさくめ
 つきかけーくらき やまやまの くさばのつゆを
 のけ させろかなた こなたにへいをふせ
 きーりに ぎせしつちものーをいだしてかいのへいえいに
 ちかーがしあればかいのへい (はかい)どとはつゆしらす
 あさ ぎりのまにーおいまくる

まろーもあけたる ぶくへいはー
 ときこそきたれとからどきをー どっとあけつうひきつーみ
 ぶくーるにものどとるごとくー いーきもー
 のこーさーずーうちとったり
 しんげんいか、そんせいーをうんかのどとくにくりいだせばー
 けんーしんもー そろえをたてうちーむこお
 えちーごのせいしりぞけば かいのくんこれおい
 かいのくんしりぞけばえちごのせいこれおーおあ へいさあまることー
 じゆうしちたびー いるーれをからとしらーまーゆみ

ひくかきみえし しんげわが ひとこのさいの
 はた-え 31せ

⑬ ひわをたりによし あしの ひま-を
 ひそかにしの ぼせ 2 いさ-み

⑭ たつたるけんしんの はたもちちかくすみより
 おも-2もふらさ きつている

はた一もとのぐんぜいは — おもわぬへいにやぶられし
 ほしーるあとよりがいのへい ときをつくらふいかくーる
 うさーみぢなゆきこれとみてもおこのごはくいきどおり
 あがこのせいにげぢをほし てきーのはにあいよりー むにー おさんに
 つきいってふちせもいかーせぢあひあひす

しんげんをうしないうたがれをみだしてはしるところを けんしんをいっき—
 [基吟4] 24
 あかくりげのたくましきにむちをあて じやし いず—くまどにぐ—る—ぞと—
 25
 いもはたさずきりつくる しんげんとあそめくにいとま—なく—
 26
 ぐんばいうちわにて— うけたれど— うちわはふたつ—に—
 おられ—たり—
 [吟詠(和歌)] 27
 ある—とみと—
 かさ—とるひまも— なか—り— けり— かわはのじまの—
 ゆうだらの— あめ—
 [基吟5] 28
 と—うた—いしごとく— にのたち—は— はせかた—さきに— きり—こみ—ぬ
 29
 あ—っ—と—い—う—ま—に—
 しんげんのいのちはいかに—くたがる—る— あわ—と—きえん— あせ—う—きを—

すく〜わんとしてぐんびあひこころはやたりにいさめじーち
 みすーはやくしてちかーよれぞー
 たいはおけらあおすみ
 せりをーのはしてけんしんをつきーはしたれどあだづきしーかくてはならじとやりとあり
 ただひとつらにとーうったりーしにーうまにーあたりまーうまーいっすー
 けんしんうまとしずめんとー
 たぐーはかいぐるそのーひまにーしんげんはこおとーのがーれ
 さりーにーりりーばんーせいーゆーくーゆーくー

ふる かわ—を ————— ふき—る ————— あかつきに—みる —
 せ—ん—べい—の ————— たいが—を ————— よお—する—を —————
 い—こ—ん—じやう—ね—ん ————— いっ—けん—を ————— み—み—く ————— う—や—せ—い —————
 こ—お—の—い ————— ち—あ—い ————— だ—を ————— い—つ—す —————
 〔基吟6〕 ㊸
 か—く—し—ん—げん—を ————— う—ち—も—ら—し—た—る—けん—し—ん ————— せ—い —————
 こ—こ—ろ—の—う—ち—は—い—か—な—ら—ん ————— お—も—い ————— や—る—だ ————— に —————
 あ—わ—れ—な—り ————— し—ん—げん—は —————
 〔後語り〕〔基吟7〕 ㊸
 か—た—の—い—た—で—に—た—え—か—わ—て ————— そ—の—ち—の—う—ち—に—い—ん—ぜ—い—を —————
 ま—と—め—て—い—づ—る ————— つ—き—か ————— け—に ————— み—ち—を—も—と—め—て —————
 ほ—る ————— ほ—る—と ————— わ—か—る—さ—と—に ————— か—え—り ————— け—に —————
 あ—か—ふ—る—さ—と ————— に ————— か—え—り ————— け—に ————— り —————

【譜例8】

榎本芝木 <<本能寺>> コロムビア 1932年

作詞 小田錦旺
実音 六本(主音C)

前語り【基吟1】①

さる一ぼとに — あだうたいはあのがはかほ —

ははあどあづち — びび — あ — あき —

②

みぞーのさきん しんゆくよにん — ひきーしたのえ — きおと — なる —

ほんーのおびに — ぞ — いり — に — ー —

本語り【基吟2】③

ヒキーこそきたーかと

④

みつーひで — は — たづーもあまばぬ — かめ — やまに —

じやうーしーみつほるらさめしよせ — つもるうらみのがすかす —

かきーうらうちにみつひで — は — まなこはちしあはとばしり — さがーたうかみ — は —

かん — む — りを — つくいきあい — ぞ — みと — と — りし —

⑤

みつーはるどもがもたらたひ —

いけーあることばもきり — ばに — る — あしそむほんに — かめ — い — させ —

ほおーいあどあおし いぎやくと — ぐめーたしに —

あさましけん

かくしそつえうらそえ ちうごくせいそくめん と

いつかりいむーおおえ さま こころのこもちはたまの

せみじと いそくばかり にさ しそんげのまつでが

おいおい としもおいのさかい

いかへるみちにおいけん むんしごくのむねのうら

みだれにぞろ かつらがめ わたらんこおとしつみは

ひんがししーぞろ すきみけろ ほんのおし

みぞのふか さ いくせき ぞやうん

だいじとつは こんせきにあり におろ

そにあり におえあせそくろ おれん

ばいーう らんすみのとれし

★

おーいーのー さかにしにさかーはー びっちうー の 5

みちー おちとあけー びがー しとさせばー 2 5 ながー ほせしー

★

わー 2 きはまきー に ほんー のー おー じー に 5 5

ありー 2 きー はー びっちうー にありー ほんー のー じー <

えけー えよー 4 [基033] ④

こー こー にほじけろく せいはー

ふあー やくふたごにろとさとりしー がー 二かー もわがきめー せひー もー せしー

★

あー 3 ー 3 いのちほひとつととときもろくわがふたごのあさまだきー

つやー 3 のみかろきくわのおかー ほんー のー おー じー とりかこー みー

★

⑫ [基034] ⑫

ときとつく 2 ー 3 せめー いらけろ

★

⑬ [前2] ⑭

こー のー ちあおとにちあおー じー はー 4 ねがー めのー みかろきばつればー まごあかたけきじはあにえ

★

後語り〔基吟5〕⑤

やか-たまぢか-くき-ゆる-に まくらさけ-り

⑥

たら-あが-り へ-くみとどけよとありければ ちり-らむるか-しよ-り

おもそのたにはしりいぞ みに-しのつにがたぞもひ ぬ-えのざしそみそ ち-よほ

くも-か-かる-みか-しら-は-たに ち-よほ-たるききよ-あ-の

もんど-ころ-

【譜例9】

榎本芝水 《本能寺》 コロピ。1969年

作詞 小田錦蛙
実音 五本(音B)
(低め)

前語り [吟詠(和歌)] ①

とき—は—いま

②

あめがした—し—る— さつこ— かな— さるほどに—

③

おた—う—たい—じん—の—ぶ—な—が—は— は—は—お—を— あ—う—ち—の—しろ—に—

④

と—ど—め— お—き— きん—しん—わ—ず—か—は—く—し—に—ん— ひ—き—し—た—が—え—て

⑤

き—ち—と—は—る— ほ—ん—の—お—し—に—と— い—り— に— け—る

本語り [基吟] ④

⑤

とき—こ—を—きた—れ—と— み—つ—う—で—は— た—づ—も— あ—を—は—ぬ—か—め—ま—じ—あ—に—

⑥

い—や—し—め—は—ら—を—め—し—お—せ—て— こ—も—る— う—ら—か—わ—か—ず—か—ず— を—

か—ど—う—る—う—ち—に—み—つ—う—で—か— ま—は—は—ち—し—お—ほ—ど— は—し—り— さ—か—だ—つ—か—み—は—

かん—あ—り—を— つ—く—い—き—お—し—を— せ—り—し—

⑥

み—つ—う—で—は—ら—を—め—し—お—せ—て— い—せ—あ—る—と—は—も—さ—か—ば—に—は—

あ—し—て—お—ほ—ん—に—か—め— い—せ—あ—る—と—は—も—さ—か—ば—に—は—

くわだてしにそーあーましーけいー

かいてしをうちをうち

ちうごくぜいをすくわんとー 11フーわりまにあー ちかーえーやまー

こーのこまもー うばーたまーのー やめーじをいそーぐー

ばかーりーにてー さしもちうぎのまつひでがー おいーおいーとしーもー

おいーのーさかー 11かーなるみちにーまよーいーけんー

おねしごくのまねのーうちー 11だーれでにーらー 11らーがわー

わたらんこまのあしははー 11んかしてそーすすーみーける

[吟詠(漢詩)] ⑨
ほんーのかいー

おと"の小かー 11くーせきー 11なるどーわいー

だーじをなすはー 11んせきーにーありー

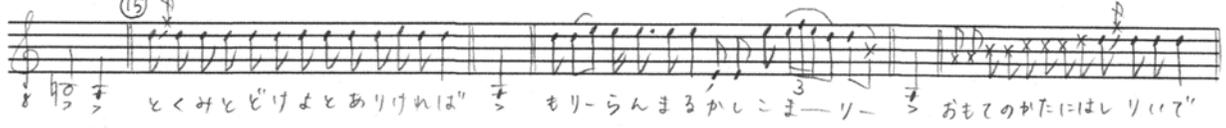
こおとあーてーにーありー 11こおとあわせてくろーおーしえんのー

[基吟5] ⑭

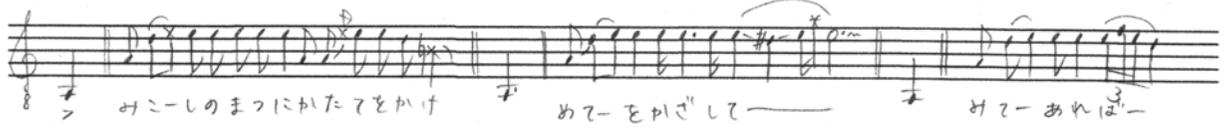


8 やか-たまちかくきこゆる-に- まくらを け っ て - たろ-あが-りー

⑮



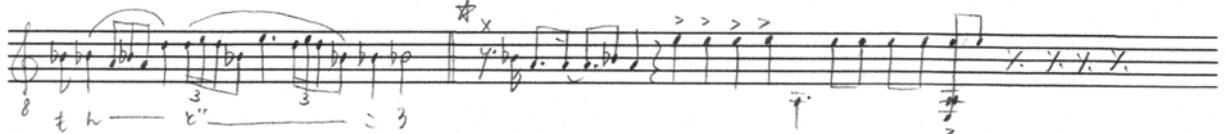
8 とくみとどけまとありければ" モリ-らんまるかしこま-りー おもてのかたにはしりいて"



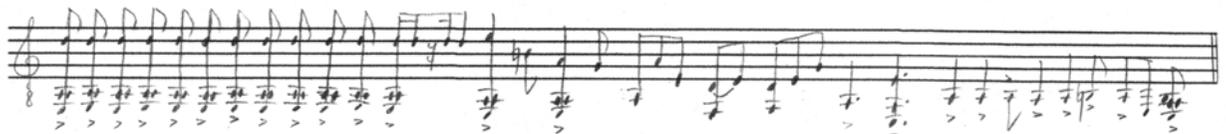
8 みこ-しのまつにかたてをかけ めて-をいざして- めて-あはは-りー



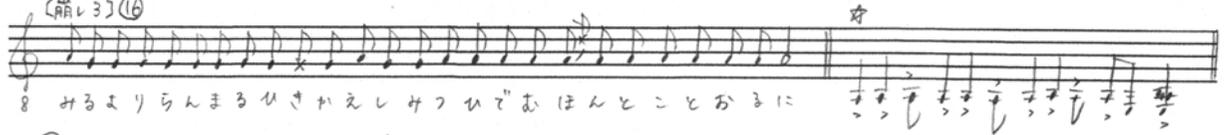
8 くもかかす-みかしらは 3 たに- そめ たろ-きまおの



8 もん-ど" ころ"

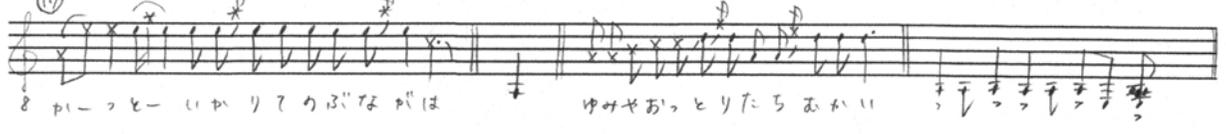


8 (前3) ⑯

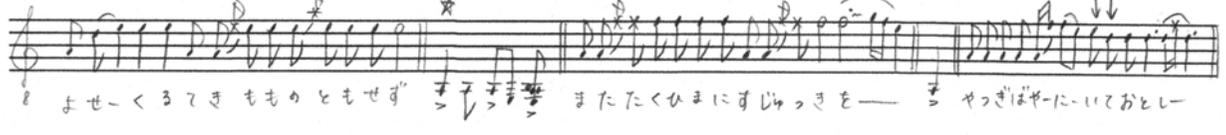


8 みるよりらんまるひさかえしみつみであほんことおるに

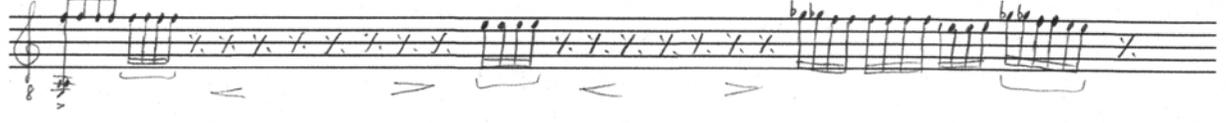
⑰



8 か-つと-いかりのぶ"ながは ゆみやあつとりたろあか"



8 よせ-くるてきももろともせず" またたくひまにすじりつきを- ヤつぎはせ-に-いておとし"





⑱

とこおするうちのぶながもゆんでのかいなにいたでをい

⑲

らんまるかわってふせぐうち— とのいのものもことごとく—

[吟替り] ⑳

いのちをまへにたたかえど— しうがてせすのぶな— がは

㉑

もはやこれまでとやあもい— けん—

みずからやれたに— ひをはな— ち—

けありの— ばら— に— とび— いて—

や— ば— に— ぶしてど— はて— に— ける

[裏吟6] ㉒

うが— いてらんまるを— はじ— めとし— ほおまる— りきまるのこはあども—

いまだわかき— のさく— ら— ばな— あらしのやまの— あさ— かせ— に—

いとゆかしき— かを— とめて— ちる— や—

ちりーちー... リ... あと... ヤ... さき...

後語り【基吟ワ】(23)

いくーゆうよにんもうーとーもにー

あわれほんーのおーじーのー... あしたのー

けあーりとーきえーにー... けーりー... あしたーのけあーりとー

きえー... にー... けー... りー...

〈凡例〉

- ・『琵琶新聞』第275～393/394号(1934～44)を対象に、詞章が掲載された記事を抽出し、筆者が作表した。
- ・紙面上の発表順に掲載した。
- ・同時代(発表された年から5年以内)の出来事・人物を題材にしたものは「同時代」欄に○を記載し、戦争を題材にしたものは色を付けた。勅題についても「同時代」欄に○を記し、備考欄に「勅題」と記載した。
- ・日中戦争および太平洋戦争開戦の境界は太線で示した。

【表24】『琵琶新聞』紙上にみる新作発表楽曲一覧

刊行年月	号:頁	曲名	作詞	作曲	同時代	備考
193407	275:8	御東征	高野梅堂	高野旭嵐	○	神武天皇后東遷2600年記念
193501	281:1	池辺鶴	大澤逸足	二世橘旭翁	○	勅題
193501	281:1	池辺鶴	田中濤外	吉水錦翁	○	勅題
193502	282:5	熊谷と敦盛	椎橋松亭			
193502	282:6	満州美談 日本人ここにあり	皇国精華会 内野環星		○	演奏随意、演奏の際一報の事、歌詞を無断に変更する事を禁ず
193503	283:5	非常時日本	菟道春千代	薩摩絃風	○	荒木大将検閲推薦、筑前薩摩流派不問、作曲演奏随意
193504	284:5	渚に咽ぶ者	伴つとむ	安田希山		
193504	284:7	忠犬八公	大村嘉代子	高倉旭仔	○	作曲随意
193601	293:1	海上雲遠	長井金升	二世旭翁	○	勅題
193601	293:15	七福神	長井金升			
193601	293:16	犬養首相	鷲尾義直		○	何琵琶、何流不問、作曲演奏随意
193604	296:4	八幡太郎	琵琶新聞編集部			各流作曲随意
193605	297:3	神風	琵琶新聞編集部			随意、蒙古襲来
193609	301:3	琵琶行	先崎武久			
193611	303:2	領布振る山(佐用姫)	林柳波			
193701	305:1	田家の雪	林柳波		○	各流随意謹曲、勅題
193701	305:1	田家の雪	大澤逸足	二世橘旭翁	○	勅題
193703	307:4	粟生の里	英雲外			
193704	308:5	恩讐追分節	伊藤松雄	榎本芝水		
193705	309:4	琴坂おろし	内海信之			演奏随意
193707	311:11	王政復古	三浦耕作	足立蘆光		
193707	311:11	日ノ丸(国旗)	大山旭山			
193707	311:11	大和魂	大山旭山			
193707	311:11	亀と兎(油断と努力)	大山旭山			
193707	311:11	嘘と天罰	大山旭山			
193710	314:14	保定陥落	編集部		○	作曲演奏放送随意
193710	314:14	嵐の空襲	大坪草二郎		○	
193711	315:8	梅林大尉	橘外漁翁		○	作曲演奏御随意
193711	315:8	若き荒鷲奇蹟の生還	大坪草二郎		○	
193712	316:7	お七	守田橋外			作曲演奏放送随意
193801	317:1	神苑朝	大澤逸足	二世橘旭翁	○	勅題
193801	317:7	師の神剣	伊藤松雄			神武天皇
193802	318:6	関ヶ原の花	内海信之			演奏随意
193803	319:5	梅林大尉	足立蘆光		○	
193804	320:5	富士見の雲	内海信之		○	演奏自由、犬養毅

193809	325:6	長嶺の嵐	松本清(陣中)	安田希山	○	
193810	326:4	声なき万歳(あゝ飯塚部隊長)	林柳波	榎本芝水	○	
193811	327:4	嗚呼南郷少佐	松島慶三(海軍中佐)	豊田静芭、水越蘆操、小山田賞水	○	各自作曲演奏随意
193812	328:3	朝陽映島	大澤逸足	橘旭翁	○	勅題
193902	330:2	朝陽映島	大槻御園	橘旭宗	○	勅題
193902	330:2	徳富蘇峰先生の喜寿を祝ひて	清水四郎	大坪旭邦		
193902	330:2	軍神の母	林柳波		○	流派不問作曲演奏随意
193902	330:3	児森中佐	松本利吉	福井銀城	○	各流各派作曲、演奏随意
193903	331:5	薩摩の乙女	長井静泉	松岡旭岡		
193904	332:4	隠岐の島守	中村清二(理学博士)	二世吉水錦翁		
193906	334:8	病院船	赤十字社佐賀支部派遣救護班長・柴田圭一		○	
193907	335:7	戦友	周藤二郎	大畠旭豊	○	
193910	338:7	塩	内田胡城			
194001	341:2	迎年祈世	松尾龍溪	橘旭翁	○	勅題
194001	341:2	迎年祈世	中田比良夫		○	勅題、皇紀二千六百年奉祝讃歌
194002	342:1	皇紀二千六百年建国祭奉祝 琵琶斉唱歌	中田比良夫		○	
194004	344:3	明治維新創業の先駆 櫻田の壮挙	英雲外			
194005	345:3	神武御東征	大坪草二郎		○	作曲希望の人は琵琶新聞社の承諾を得られたし
194005	345:5	橘宗家三世継承慶祝の歌	中田比良夫		○	
194006	346:2	満州国皇帝	伊藤松雄	榎本芝水	○	
194007	347:2-3	忠霊讃頌	中井江鱗	松岡旭岡		
194007	347:3	嗚呼大森隊長	前田利済	小林錦逕	○	
194008	348:2	王陽明啾々吟	名崎東国	内田胡城		
194010	350:5	寿ぐ秋	長井金升、西條八	三世橘旭翁		
194010	350:5	勇士の家	西條八十	三世橘旭翁	○	
194010	350:5	国民進軍歌		三世橘旭翁指揮	○	軍事保護院、陸海軍省選定、大毎新聞社、東日新聞社募集
194011	351:2	朝倉豊伍長	荻本清蔵	浜田晃養	○	
194012	352:3	噫西園寺公	伊藤松雄			噫西園寺公
194102	354:3	御夢	吉村岳城			
194104	356:3	吉田松陰	村松翁			
194104	356:3	寿ぐ御代	長井金升	橘旭翁	○	筑前琵琶合奏曲
194105	357:4	鷺の羽ばたき	清水吐月	橘旭翁	○	
194105	357:5	固鎮の白藤	山川柳邨		○	
194107	359:4	聖戦	頭山立助	水藤錦穰	○	

194107	359:5	高山彦九郎正之	椎橋松亭	水藤錦穰		
194108	360:5	光栄の人形	八島柳堂	渡邊旭紅	○	
194109	361:4	家康と元忠	田中濤外	新谷桂水		
194110	362:4	陣中の夢	荒牧輝鳳			流派不問、作曲演奏随意
194111	363:7	さざなみの曲	荒牧輝作詞	さざなみ会		
194111	363:8	平野国臣	大坪草二郎	竹下翠風		
194112	364:7	みづほをどり		中山晋平(作曲)、荒牧輝鳳(編曲)		大阪毎日・東京日日募集、農林省後援
194201	365:2	連峯雲	田中濤外	水藤錦穰	○	勅題
194201	365:3	連峯雲	吉村岳城		○	各流弾奏御随意、勅題
194201	365:4	連峯雲	大澤逸足	三世橘旭翁	○	勅題
194202	366:2	新嘉坡陥落	英雲外		○	流派問わず作曲演奏自由
194202	366:4	興亜戦勝曲	英雲外		○	流派問わず作曲演奏自由
194202	366:5	ハワイ海戦	鈴木比呂志(作詞)、小田一二(作詩)	山口錦堂	○	
194203	367:3	新嘉坡の陥落(校訂改作)	英雲外		○	
194203	367:3	加茂の春雨	荒牧輝鳳			新撰組
194203	367:6	母の夢見			○	
194204	368:2-3	軍神九勇士	大坪草二郎	竹下翠風	○	
194204	368:3	根本分隊長	水越新太郎		○	
194205	369:3	軍神横山少佐	藤原藤門	池川旭蓉	○	海軍省認可
194206	370:3	千代田の言祝	鈴木旭山	山口錦堂	○	
194207	371:2-3	特別攻撃隊	武田正憲	浅野輝水	○	物語琵琶
194209	373:6	嗚呼藤林少佐	佐藤時重		○	
194210	374:4	月照上人	月照上人頌徳会	作曲演奏随意		
194211	375:5	嗚呼加藤部隊長	宮前雪山	錦琵琶本部	○	
194212	376:3	小村壽太郎	黒木勇吉	境晃正		
194301	377:1	農村新年	松尾龍溪	三世橘旭翁	○	勅題
194301	377:3	壮絶五反田戦車中隊長	佐伯泰雄	柿木旭利	○	
194301	377:11	農村新年	田中濤外		○	勅題
194301	377:12	加藤健夫少将(一)	宮前雪山		○	口吟琵琶歌試作五編
194301	377:12	加藤健夫少将(二)	宮前雪山		○	口吟琵琶歌試作五編
194301	377:12-13	特別攻撃隊	宮前雪山		○	口吟琵琶歌試作五編
194301	377:13	金州城外	宮前雪山			口吟琵琶歌試作五編
194301	377:13	白虎隊	宮前雪山			口吟琵琶歌試作五編
194302	378:3	嗚呼 忠烈特別攻撃隊	松島慶三(海軍大佐)		○	
194303	379:2	名和長年	小林榮	杵屋榮蔵(長唄)、田中旭嶺(琵琶)、中田博之(箏)、堅田喜惣治(囃子)		

194304	380:2	特殊潜航艇	宮口紫峯		○	海軍省検閲済
194304	380:2	五臺山下の大爆撃	奥田比露士		○	藤林機捕捉
194304	380:3	小島の春	鈴木比呂志	山口錦堂	○	ハンセン病
194305	381:2	ルンガ沖夜戦	小田一二	山口錦堂	○	
194305	381:3	両提督の最期	牛沢襄二	水藤錦穰	○	大本営内閲済
194306	382:2	薩摩義士	大田忠正(改訂)			
194307	383:4	噫アツ島	佐藤時重		○	
194307	383:7	壮烈翔朔北の礎石	高橋蘇水	高橋蘇水	○	
194307	383:7	大東亜聖戦必勝歌	高橋蘇水		○	
194308	384:3	あゝ両提督	大澤逸足	田中旭嶺	○	
194308	384:4	時雨曾我	牛沢襄二	水藤錦穰		
194308	384:6	蚊遣り	荒巻輝鳳			
194308	384:6	風鈴	荒巻輝鳳			
194308	384:6	獅子	荒巻輝鳳			
194308	384:6	雁	荒巻輝鳳			
194308	384:6	時鳥	荒巻輝鳳			
194309	385:2	噫山本元帥	増田光生		○	
194309	385:2	神鷲加藤建夫少将	増田光生	斎藤旭芳	○	
194309	385:3	噫アツ島神兵部隊	増田光生		○	
194310	386:2	高山彦九郎正之	椎橋松亭			
194310	386:3	両提督の最期	増田光生		○	
194310	386:5	橘式三番叟	細田鶴郎	押田旭竊		藤陰静技振付
194311	387:4	空の御楯	増田光生		○	
194311	387:4	乙女渡守	増田光生		○	
194312	388:3	山崎部隊長	増田光生		○	
194312	388:3	夜襲	隻腕老		○	
194401	389:2	海上日出	鶯亭金升		○	勅題
194401	389:2	海上日出	増田光生		○	勅題
194401	389:5	正行観戦	牛沢襄二	水藤錦穰		
194401	389:6	若き海の三烈士	伊藤七三	高橋蘇水	○	
194402	390:3	神国必勝	増田光生		○	
194402	390:3	南海の荒鷲	増田光生		○	
194404	392:1	壮烈柴崎部隊	松島慶三		○	
194404	392:2	練馬城	荒牧輝鳳			
194406	393/394:7	ト伝と武蔵	増田光生			作曲演奏自由
194406	393/394:7	ガ島の散花	荒牧輝鳳	仲川秀邦	○	各流随意
194406	393/394:8	神国必勝	増田光生		○	
194406	393/394:13	特別攻撃隊	久方豊候	仲川秀邦	○	時雨音羽修閲、各流自由
194406	393/394:13	噫純忠の軍神 中馬兼四中佐	佐伯泰雄	山下旭幸	○	

詞章一覧【表25】～【表28】（凡例）

- ・各表には、段（前語り・本語り・後語り）、曲節（「」で表記）、小段落（○数字で表記）を記載し、各句には旋律句名を詞章の後に記した。
- ・音楽内容の区切りで、行を空けた。
- ・旧字体は、通行の字体に改めた。
- ・収録箇所は、音源内容に基づき適宜ふりがなをふった。
- ・漢詩は、書き下し文で記した。
- ・各楽曲で特記すべき事項がある場合には、楽曲最後に※印で記した。
- ・各楽曲の底本とした資料は、以下の通りである。

榎本芝水《満洲事変》

- ・「薩摩琵琶では初放送 新曲『満洲事変』 谷暉水弾奏」、「読売新聞」朝刊、一九三三年八月七日、一〇頁（谷暉水版）。

- ・参考…「その二 中村少佐虐殺から錦州空襲を唄ふ 士気を鼓舞する新作琵琶」、「読売新聞」朝刊、一九三二年十一月二十九日、五面（寺島旭崇版）。

※寺島旭崇版にのみみられる詞章の記載は、本資料に基づいた。

水藤錦穰《古賀連隊長》

- ・《古賀連隊長》付属歌詞、ビクター…五二三三七～五二三三八（SP）、一九三二年発売。（藤波白林氏所蔵）

榎本芝水《少年航空兵》

- ・音源資料より聴取して記載

水藤錦穰《戦艦大和》

- ・水藤五朗編『歌詞本 錦びわ名曲選』 東京…錦琵琶本部、一九八一年、一三三～一三四頁。

- ・参考…「新作歌詞 戦艦「大和」 池上作三翁詩」、「芸の友」 第八二号、一九五七年、一頁。 ※参照し一部誤植を補った。

【表25】《満洲事変》詞章 演奏…榎本芝水、作詞…葛生桂雨、作曲…榎本芝水
底本…『読売新聞』朝刊（一九三三年八月七日、谷暉水版）、
『読売新聞』朝刊（一九三一年一月二十九日、寺島旭崇版）

【一面】前語り「基吟1」

①断じて行へば 謡出シ

鬼神も之を避くとかや 謡出シ下

百難襲ひ来たるとも 謡出シ

何をか憂ひためらはん 謡出シ中干

②正義を守る国民は 謡出シ下

天祐神助自ら 謡出シ上

之に加はる例あり 中切り

惟へば明治大帝が

日露国交断絶し

互に砲火打交へ

鎗を削るさなかにも

四方の海皆兄弟と思ふ世に

など波風の立ち騒ぐらん

と詠ませ給ひし御仁徳

今上陛下も御心を

為させ給へど如何にせん

支那北方に覇を為せる

本語り「基吟2」

③張学良等軍憲は 大干

④かねて日露の戦役に 中干

南満洲にて受け継ぎし 中干

我が帝国の特権を 中干

奪ひ取らんとたくみける 中干

心の中こそ不敵なれ 中干落トシ

【二面】

両国互に信義をば

⑤結び交しゝ条約も 地ノ下

泥土の中に踏みにしり 地ノ下

我が国人に加へたる 地ノ上

暴戾無道数知れず 地ノ上

⑥殊に大日本帝国軍人たる 大干

⑦中村少佐、井杉曹長一行が 中干

百里の沙漠大密林

猛獸馬賊出没し

屢々せまる危難さへ 中干

駒の蹄に蹴散らして 中干

興安嶺の嶮を越え 中干落トシ

⑧洮南さして行く途中 地ノ下

小銃うちかけ追ひ来つる

三百余騎の支那兵が 地ノ上

おつ取り囲んで二勇士を 中干

捕へて銃殺したりける 中干

我が皇国の威厳をば 中干

汚しゝ罪ぞゆるされず 中干落トシ

我が聖代の雨露の恩

蒙りつゝも満洲に
行きて不毛の地を墾き
瑞穂の稲を又こゝに
勞しみ作る鮮人の
部落々々に支那兵は
乱れ入つてぞ金穀を
奪ひ取りつゝ家をたき
人を殺しつ残虐の
限りを尽す極悪道

〔吟替り〕

⑨天神地祇も覽みそなはせ 吟替りノ地

我が同胞の血の涙 吟替りノ干
抑へ来たりし鬱憤を 吟替りノ降り

晴らす由なき歲月も
積りてこゝに十余年
我れ孔孟の道践めど
彼れ盜跖の業を為す
恰も昭和六年の
しかも九月十八日
夜も更けそめて弓張の
月は果てなき満洲の
広野の原に落ちし頃
我が満鉄の守備隊は
柳条溝に程近き
線路の巡視なす折しも
今来し方に爆弾の
音凄まじく聞えしかば

すはやと急ぎ引き返し
検め見ればこは如何に
線路は爆破せられつゝ
まだ硝煙の臭も失せず
必定排日支那人の
仕業ならんと憤り
しばし四辺を打睨む
折から飛び来る弾丸は
霰たばしる如くにて
夜目にも著き支那兵が
どつと寄せ来る数百人
我が兵少しも驚かず
危機一髪に応戦し
逃ぐるを追うて撃ちかくる
大砲小銃機関銃
音はさながら百雷の
轟き渡る如くなり
獅子奮迅の勢ひに
突貫なして我が兵は
北大営も奉天も
半夜の中に攻め落し
吹きひるがへす旗風や／整備の任に当りしに
万歳の声諸共に／内外人も安堵して
朝日の光仰ぎけり
されど頑冥不靈なる
張学良は卒かにも
錦州城に兵を集め
南京政府と牒しあひ

四百余州に排日の
氣勢を益す煽りつゝ
我が満鉄の守備隊を
挟み撃たんとす謀
しかと聞くより我軍は
直ちに偵察飛行機を
其の上空へ放ちしに
彼より発砲なしければ
爆弾投下の一撃に
張学良が肝魂を
寒からしめしぞ心地よき
三十余万の満洲軍
一万余人の我兵に
其の暴力を封ぜられ
泣いて国際連盟の
袖に縫れる卑怯さよ
風雲正に急にして
八千余万国民の
怒りは燃ゆる火の如し
縦へ如何なる強国を
敵となすとも恐れざる
其の大いなる覚悟もて
彼の暴逝を討ち懲らし
懲らして自覚せしめずば
日支両国親善の
交りなすぞ難からむ
交りなすぞ難からむ

※網掛け…音源に収録なし

※…谷・寺島版で記載あり

※点線…谷版のみ記載あり

※波線…寺島版のみ記載あり

【表26】《古賀連隊長》詞章 演奏…水藤錦穰、作詞…名塚尚生、作曲…水藤錦穰
底本…レコード付属歌詞（一九三二）

【一面】前語り「基吟1」

①風稜々の満洲に 謡出シ

御稜威耀く連隊旗 謡出シ中干

②雄々しく死をもて護りたる 謡出シ下

↓謡出シ上

忠勇義烈の丈夫を 謡出シ上

偲びて誰か哭かざらん 中切り

本語り「基吟2」

③さても満洲事変愈々進み 大干

④我が討伐軍の先鋒となり 中干

錦西城を乗取りしは 中干

羅南師団に名も高き 中干

古賀中佐の率ゐたる 中干

騎兵連隊とこそ知られけれ 中干落トシ

⑤匪賊の群はこの城を 地ノ下

奪り返さむと押寄せて 地ノ下

屢々夜襲をなしければ 地ノ上

勇猛果断の連隊長 中干

籠りて敵を防ぐより 中干

出でて機先を制せむと 中干落トシ

【二面】

⑥時しも昭和七年の 大干

睦月九日の朝まだき 大干

⑦村上中尉その他の 中干

廿余人を止め置き 中干

森下少尉の捧げつる 中干

連隊旗をば護らしめ 中干落トシ

⑧自ら部下の三個小隊と 地ノ下

機関銃隊を引率し 地ノ上

石野歩兵小隊と諸共に 地ノ上↓中干

錦西城を打つて出づ 中干落トシ

⑨忽ち起こる朔風に 大干

⑩吹き捲く砂塵物凄く 中干

闇を過りて何処にか 中干↓中吟（変調）

⑪胡馬の嘶き遙かなる 地ノ下↓中干

龍王廟の高地より 中干

俄に敵の一斉射撃 大干

【三面】「崩レ」

⑫何をか怯まむ我が将士 崩レノ大干
さらば大和魂見よやとて 崩レノ大干

⑬鬼神の勇威奮ひつゝ 崩レノ中干

銃丸潜りて突き入れば 崩レノ大干

彼我の喊声轟きて 崩レノ大干

天地も震はむ許りなり 崩レノ大干

【基吟3】

⑭折しも後方うしろにあがる銃声に 地ノ上↓大干
⑮はツと驚き連隊長 中干
奇あやに尊き連隊旗 中干
護は乏し如何にせん 中干落トシ

⑯猶予ならじと是非もなく 地ノ上
歩兵の救援に部下を割き 地ノ上
錦西指してぞ 中干

【崩レ2】

⑰驀然まっしやく 崩レノ地
⑱心は宙に連隊長 崩レノ大干
汗馬かんばの脚ももどかしく 崩レノ大干

【基吟4】

⑲城門入らむ其の時に 中干
望櫓ぼうろに抛りて撃ちかくる 中干
敵の一弾飛び来たり 中干
連隊長を仆たおしけり 中干落トシ
⑳米井副官走せ寄りて 地ノ上
連隊長殿、連隊長殿と呼ばはりつ 大干↓
中干
涙ながらに抱ゆれば 中干落トシ

【吟替り】

㉑鮮血溢るゝ唇を 吟替りノ地

【四面】

㉒幽かすかに震はし目を剥きて 吟替りノ地
我が 大君の御姿みすがたを 吟替りノ干
写し参らす連隊旗 中干
護れよ匪賊を打掃へ 吟替りノ降り

㉓若し彼が手に汚されなば 吟替りノ地
我が連隊のみならず 吟替りノ干
日本帝国の恥辱なり 吟替りノ干
必ず護れよ頼むぞと 吟替りノ降り

【基吟5】

㉔言はせも果てず又一弾 中干
駈け寄る上原上等兵 中干
三人諸共敵弾に 中干
折れ重つてぞ果てにける 中干落トシ

㉕斯くと見るより 地ノ下

【崩レ3】

㉖山田、星野の両大尉 崩レノ地
㉗丸山、中原、親泊 崩レノ中干
野口中尉等もはせつけて 崩レノ大干

㉘憤怒の形相物凄く 崩レノ中干
機関銃隊を指揮しつゝ 崩レノ大干
阿修羅の如く荒れ廻り 崩レノ大干

後語り「基吟6」

⑳ 敵を残らず打掃ひ 中干

連隊旗は無事なるか 大干

連隊旗はと呼ばはれば 大干↓中干

転まろび出でたる森下少尉 中干

感極りて言葉なく 中干

嬉し涙に咽ぶのみ 止メ切り

【表27】《少年航空兵》詞章 演奏…榎本芝水、作詞…不明、作曲…榎本芝水
詞章は音源資料より聴取して記載

【一面】前語り「基吟1」

①ここは中支飛行場 謡出シ

空に星屑星月夜 謡出シ中干

②暑さにむせる一部屋の 謡出シ下↓謡
出シ上

火影に浮かぶ下士官二人 中切り

本語り「基吟2」

③これぞ川上よしゆき軍曹と 大干

④岸川かずお軍曹にて 中干

歳は同じく二十歳 中干

陸の少年航空兵 中干落トシ

「おい、岸川、まだ手紙は書き終えないのか。」

「うん、まだだ。貴公は先休め。」

「ああ、俺は眠くないよ。いいよ、待っていてやるよ。」

「そうか、すまんなあ。」

⑤されば川上しよんぼりと 地ノ上

窓辺に寄りて遙かなる 地ノ上

東の御空星眺め 中干投ゲ

【二面】

「お母さん、よしゆきはまだ手柄を立てませんが、必ず近いうちに、日露戦争のとき立てられた、お父さんの手柄に負けない、

見事な手柄を立てまして、お母さんのお諭しに沿う覚悟しております。」

⑥母を偲びてひと拌み 地ノ変調

そは晴れの門出のその折に 地ノ下

川上軍曹の母親は 地ノ下

夫の位牌を前にして 地ノ上

涙も見せず厳かに 地ノ上

諭して送る家の門 中干投ゲ

【吟替り】

⑦勇んで出で行く姿をば 吟替りノ地

⑧垣根に身を寄せ背伸びしつ 吟替りノ地

これが今生の別れ見納めかと 吟替りノ干

思えば哀し親子の情 吟替りノ干

すすり泣きつつ手を振りて 吟替りノ降り

送りしゆかしも母なりき 吟替りノ止メ

【三面】「基吟3」

⑨時は昭和十三年 大干

⑩文月二十一日朝ぼらけ 中干

荒鷲松明うんめてぞ 中干

村山部隊長大音声 中干落トシ

「待ちに待った、漢口空襲の一番なり。我が隊へ命が下った、光栄とするところである。諸君は、自重をもってこの重責を果た

してもらいたい。十二分に修練した、技能を發揮する機会が到来したのである。切に、奮闘努力を願う。終わり。」

「崩レ」

⑪訓示を与え堂々と 崩レノ地
襲う銀翼日の丸機 崩レノ地

⑫不意を突かれし敵の陣 崩レノ中干
慌てふためき舞い上がる 崩レノ大干
敵機二機五機十数機 崩レノ大干

⑬まず部隊長機真つ先に 崩レノ中干
続くは岸川軍曹機 崩レノ大干

⑭突き出で不敵の羽ばたきに 崩レノ中干
見事^{たちま}忽ち火だるまの 回シ
イー(M)の十五十六ソ連製 回シ

⑮このとき卑怯の敵一機 崩レノ地
我が部隊長機の背後より 崩レノ地

⑯襲^{きた}い来るを目敏^{めざと}くも 崩レノ中干
見たる川上軍曹機 崩レノ中干
うむと狙い一撃ちに 崩レノ大干
火玉と落ちるノースロップ 崩レノ大干

【四面】「基吟4」

⑰斯くて砲火をかいぐり 中干
次から次へと撃ち落とす 大干

⑱川上、岸川若鷲の 中干
冴えたる腕よ大和魂 中干落トシ

⑲いち早くも故郷^{ふるさと}の 地ノ下
ラジオニュースに新聞に 地ノ下
我が子の功聞^{いさお}き知りし 地ノ上
川上軍曹の母親は 地ノ上
よくぞでかしたでかしたと 中干投ゲ

⑳写真と軍服を取り出だし 地ノ下
しつかと胸に抱^{いだ}きしめ 地ノ上
陰膳^{やみじこう}よ優心 下切り

後語り「基吟5」

㉑この母ありてこの子あり 地ノ上
大和の母と呼ぶ母は 中干
㉒御国の為にあくまでも 地ノ下
優しくゆかしく美しく 地ノ上
武士道花の白菊よ 止メ切り

※セリフは「」で示した。

※人名は、姓は推測して漢字表記、名はひらがな表記とした。

【表28】《戦艦大和》詞章 演奏：水藤錦穰、作詞：池上作三、作曲：水藤錦穰
底本：『歌詞本 錦びわ名曲選』（一九八一）

「新作歌詞 戦艦「大和」 池上作三翁詩『芸の友』第八二号（一九五七）

前語り「吟詠（和歌）」

①語りつぎ

永久とほに伝へむ国のため

捨てし命もたてし勲も

⑦豊後水道はやも過ぎ 地ノ下

矢猛やむらごころも大隈の 地ノ上

半島沖にかかる頃 地ノ下

「基吟1」

②海ゆかば 謡出シ

水漬みづく屍かばね大君の 謡出シ

御楯みたてとなりていざ征かむ 謡出シ中干

「崩レ」

⑧B二十九一機二機 崩レノ地

見えつ隠れつ雲を追ひ 崩レノ地

③顧みはせじ三千の 謡出シ下

勇士の意気や天を衝く 中切り

⑨海には敵の潜水艦 崩レノ地

我を窺ふ許りなり 崩レノ地

本語り「基吟2」

④時しも昭和二十年 大干

四月六日の昼下り 大干

⑤戦艦大和を旗艦とし 中干

続く九隻の艦隊は 中干

舳艫しくろ含みて忍しのかに 中干

三田尻沖を出でてゆく 中干落トシ

⑩翌る七日の真昼時 崩レノ地

坊の岬の南方にて 崩レノ地

十機五十機二百機の 崩レノ中干

飛白かすり模様の敵編隊 崩レノ中干

我を目掛けて来襲す 崩レノ大干

⑥陸に見送る人はなく 地ノ下

唯爛漫のさくら花 地ノ上↓地ノ下

春誇りかに匂へれど 地ノ下

何時か散るらむ我もまた 地ノ上

明日をも待たで消えて行く 地ノ上

特攻出撃勇ましや 中干投ゲ

⑪われは透すかさず応戦し 崩レノ中干

敵寄せくれば我迎へ 崩レノ大干

⑫機銃掃射の雨よ降れ 崩レノ中干

爆弾魚雷何のその 回シ

大和魂我にあり 回シ

「基吟3」

⑬されど一機の味方機なく 中干投ゲ
掩護の艦もほぼ撃たれ 中干
二時ばかりの悪闘に 中干
今は 中干

「吟詠（漢詩）」

⑭海を圧するの朦朧威容厳たり
とき非にして未だ得ず 驕龍を制する事を
痛ましきかな日本の不沈艦
影を没す雲涛深さ万重

「吟替り」

⑮弾丸尽き力尽き 吟替りノ地
⑯変り果てたる艦の相 吟替りノ地
屍の山血潮の河 吟替りノ干
実に浅間しの修羅場や 吟替りノ降り

後語り「基吟5」

⑰折りふし一人の士官あり 吟替りノ地
御真影をば己が背に 吟替りノ地
しつかとばかり結びつけ 吟替りノ干
二位の尼の故事を 吟替りノ降り
思ひ出でしか今まさに 吟替りノ降り
海に飛び入り去なむとす 吟替りノ止メ

⑱嗚呼太平洋よ我が洋よ 地ノ上
汝が名をうつしたひらけく 地ノ下
天長地久は尽くるとも 地ノ上
尽くることなき敷島の 地ノ上
大和島根をことほぎて 中干
寄せては返せいつまでも 中干流シ

「基吟4」

⑲空海よりの猛攻の 大干
愈よはげしく加はれば 大干
⑳艦はしきりに鳴動し 地ノ上(崩レノ地)
つよく左舷に傾きて 地ノ上(崩レノ地)
一瞬高く一叢の 地ノ上(崩レノ地)
爆煙を上げむなくも 中干(崩レノ中干)
南を指して千尋なる 中干
海の底へと沈みゆく 中干落トシ

㉑汝が底深く眠るなる 地ノ下
人と艦とに涙して 地ノ上
無比の忠義を讃へつゝ 地ノ上
無比の忠義を讃へつゝ 中干
寄せては返せいつ迄も 止メ切り

採譜【譜例 10】～【譜例 13】〈凡例〉

■全体

- ・本論文における採譜は、すべて筆者が行った。
- ・比較のために、調子はすべて三本（主音が A）の高さで表記した。また、音源資料の実音は各譜例冒頭に記載した。
- ・譜例には、段（前語り・本語り・後語り）、曲節（[] で表記）および小段落（○数字で表記）を記入した。
- ・SP レコード音源には、盤面数を□数字、盤面の終わり区切りを「//」で示した。
- ・語りと琵琶が同時に演奏される場合には 2 段で表記し、上段を語り、下段を琵琶のパートとした。
- ・直前の琵琶の手、あるいは語りが終わる前に次の語り、あるいは琵琶の手が始まる場合には、「☆」を記した。
- ・音程がやや高めるときは「↑」、低めるときは「↓」を音符の左側に記した。
- ・採譜した音源資料は、以下の通りである。

榎本芝水《満洲事変》 歴史的音源、コロムビア：26690～26691（SP）、1932 年発売。
水藤錦穰《古賀連隊長》 歴史的音源、ビクター：52237～52238（SP）、1932 年発売。
榎本芝水《少年航空兵》 歴史的音源、ビクター Z 盤：Z-273～Z-274（SP）、1940 年発売。
水藤錦穰《戦艦大和》 『錦びわ宗家 水藤錦穰全集』、錦琵琶本部（カセットテープ）、1981 年発行。

■語りパート

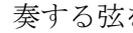
- ・詞章は現代仮名遣いを用いてひらがなで表記し、オ列長音は実際に発音されている通りに記載した。

例：「どうほう」→「どおほお」、「とうばつ」→「とおばつ」など

- ・音程が定まらない場合、および促音は符頭を「×」とした。
- ・声を伸ばして音高が変化する場合にはスラーを付し、詞章に音引きを付した。
- ・ユリ（声を伸ばして音を揺らす）は、波線で示した。
- ・下の音域から発声する場合には、符頭の左側に「ノ」を付した。また、声を伸ばした後に音程を下ろす場合には、符頭の右側に「ㄨ」を付した。
- ・声を伸ばして音程をすり上げる、あるいはすり下げる場合には、符頭間を直線でつないで示した。

■琵琶パート

- ・撥を琵琶の腹板に打ちつけて演奏している場合には、「>」を付した。また、弦を弾かずに撥を琵琶の腹板に打ちつける場合には、休符の上に「×」を記した。
- ・全弦をアルペジオで奏する場合には、音符の左側にアルペジオ記号を記した。
- ・音型を繰り返す場合には「・/・」で示し、繰り返す内容は「┌───┐」で示した。

- ・トレモロ奏法で強弱をつける場合には、奏する弦を増やして次第に強くする場合には「」、奏する弦を減らして次第に弱くする場合には「」を記した。
- ・撥で弦を擦るスリの奏法は「スリ」と記入し、波線で動きを表記した。
- ・語りパートに重ねて琵琶の全弦を弾く際には、音符の上に「↓」で演奏する位置を示した。
- ・単音で奏される第Ⅲ弦の開放弦は、判別できる限り旗を下向きに記した。

■ 楽曲別事項

《少年航空兵》

- ・語り・琵琶と尺八が同時に演奏される場合は 2 段で表記し、上段を語りと琵琶、下段を尺八のパートとした。
- ・セリフは「 」で示し、ひらがなに直さずに記した。
- ・尺八パートは、伸ばす音は音価にかかわらず全音符で示し、語り・琵琶パートの動きに合わせて音符の位置を示した。

《戦艦大和》

- ・語り・琵琶と尺八が同時に演奏される場合は 2 段で表記し、上段を語りと琵琶、下段を尺八のパートとした。語り・琵琶・尺八が同時に演奏される場合には 3 段で表記し、1 段目を語り、2 段目を琵琶、3 段目を尺八のパートとした。
- ・尺八パートは、伸ばす音は音価にかかわらず全音符で示し、語り・琵琶パートの動きに合わせて音符の位置を示した。
- ・録音が聞き取りづらかった箇所は、「※」で示した。
- ・録音に拍手が入っている箇所は、「(拍手)」と記載した。

【譜例10】

榎本芝水 《満洲事変》 コロムビア 1932年

作詞 葛生桂雨
作曲 榎本芝水
実音 六本(録音)

前語り(基吟1) ①

だんじりおこえは

きしんもこ水さくと かや ひくーんおそいたるとも

なにをかうれい たぬら わん

②

せいぎをまもるくにたみは ズンゆうしんじょ おのづから

こゝろにくゆる

ためし

本語り(基吟2) ③

ちおびくーりおら くらけん は

④

かぬにちろの せん えき に たんまんしやうにろうけつぎし

わがこころのとけつを うばいとらんと たく みける

こころのうち こそ ぶと き げん

⑤

むすびのわしれじおせくも

せいどのうちにふみにじり わがくにびとにくめたる

⑥
 ぼおれいむどおー びすー しー むすー ことーにたいにーばんていこくー

⑦
 ぐんじんたるー なかーむらしあきー いりさきあはおいっーこーあがー

しぼしぼーせまるきなんさえー こまーのしづめにーけちーらーしとー

⑧
 こおあんれいー のーけんーえーこえー とおたんじしてゆくちちうー

さんびやくよきのしなへいーがー おっとりかこんぶにゆうれえー

くらえとじゆうさつしたーりけーるー わがーこおこくーのいけーんーとぼー

けろししーつみーさーゆるーさーぬすー

[吟替り]⑨
 じんじんちぎもーみえーなーわけー

わがどおーほーあーのーちのーたまーだー

おさえーきたーりしーうっすわーとー

きかんじやうたいをいんをっし ——— いしのほへいはかたにいとちろ ——— とに ま きんせいほおを ———
 うーって ——— いす ——— たーちまちおこる ———

さく—ふうに スリ

⑩ ふき—まくさじんもの ——— すぐく やま—をよごりて ——— いす 3 こに—

⑪ こぼの ——— いほ—なまきほる—か—なる けうがおひのちのこちより

にわかにてきの ——— いっせいしやげき

[前レ] ⑬ なにをか—ひるまんわが(は)おし

さらば—やまと—だましいおせとて

⑬ きじ—んのゆういふるいつつ じやうがんでぐりてつきいぬば けがのまんせいとどろきて ———

てん—ち—も—ぶ—る—わ—ん—ば—か—り—な—り

[基吟3] (14) おり—し—も うし—う—に—あ—が—る—し—う—せ—い—に (15)* ほ—っ—と—ど—ろ—き—ん—た—い—ち—あ

あ—や—に—と—お—と—き—ん—た—い—き ま—も—り—は—と—ほ—し—い—か—に—せん (16) ゆ—う—よ—ら—と—せ—ん—も—た—く—

ほ—ん—の—き—く—えん—に—が—れ—を—さ—き— (17)* [前V2] ま—っ—し—ら

(18) こ—ろ—は—ち—う—に—れん—た—い—ち—あ—かん—ば—の—あ—し—も—ど—か—し—く

[基吟4] (19) は—あ—もん—い—らん—そ—の—と—き—に—ば—お—う—に—よ—り—う—ち—か—く—る—て—き—の—い—ち—だん—と—が—き—た—り—

れん—た—い—ち—あ—を—た—が—し—ー—ワ—リ (20) よ—ね—い—い—かん—は—せ—よ—り—て—

ん—た—い—ち—あ—の—れん—た—い—ち—あ—の—と—ま—は—わ—り—つ—

[吟替り] (21) な—み—た—な—が—ら—に—か—か—ゆ—ん—は—せん—じ—つ—あ—ら—る—く—ち—ぐ—る—も

Handwritten musical notation on a single staff. Above the staff, there are circled numbers 4 and 22. The lyrics below the staff are: がすかにふるわし のを—あ—きて—

Handwritten musical notation on a single staff. The lyrics below the staff are: わがわがぎみの—あ—す—が—にを—

Handwritten musical notation on a single staff. The lyrics below the staff are: うつしまいらすれんたいき まもれ—あ—ひど—くを—3 3—う—ち—は—3—らえ

Handwritten musical notation on a single staff. Above the staff is circled number 23. The lyrics below the staff are: も—しかぬがてにけが—さ—ぬ—3—なば— わがれんたいのむならす

Handwritten musical notation on a single staff. The lyrics below the staff are: にっほんてりこくのちば—く—なり— わが—らす—まも—れ—は—5—

Handwritten musical notation on a single staff. Above the staff is circled number 24 and the text [基吟5]. The lyrics below the staff are: 一の—あせ—と— いわせもはてす— またいちだん— かけよるうはらばおとがへい

Handwritten musical notation on a single staff. The lyrics below the staff are: さん—にんもろとも—てきたん—に— あぬがせな—ってど— はて—に—ける—

Handwritten musical notation on a single staff. Above the staff are circled numbers 25 and 26, and the text [崩し3]. The lyrics below the staff are: かくとみるより— やまだ—ほしののりかたいい

Handwritten musical notation on a single staff. Above the staff is circled number 27. The lyrics below the staff are: まるやまなかはらあせどまり— のぐちちゅういらもせつて

Handwritten musical notation on a single staff. Above the staff is circled number 28. The lyrics below the staff are: ふんぬのせあをがものす—く— まかんじうたにいをしきつ— あしらのごとくあいまゆり

Handwritten musical notation on a single staff. The lyrics below the staff are: ときとのこらすう—ちほらり— んたにいほふひなるか

Handwritten musical notation on a single staff. Above the staff is circled number 29 and the text 後語り[基吟6]. The lyrics below the staff are: ときとのこらすう—ちほらり— んたにいほふひなるか

んたーいさほー じよぼわいほまろがーいどたるもりしたーいおーい かんきわまりてこーぼー なくー
 うれしなみだー 3 3 5 にー あせーるー 3 のー みー

【譜例12】

榎本芝水 <<少年航空兵>> ビクターレコード 1940年

作曲 榎本芝水
実音 六本(縮)

① 前語り〔基吟1〕①

こーはちゅうしひにおじあ
 そらにほしくず ほーづ きよ
 あつさに あせーる ひとハヤ の
 ほかーげにうか ぶ かしらん みた り

② 本語り〔基吟2〕②

こいぞかめかーみしーゆき ぐんそあ と
 きしかめかずあぐんそあに 2 としーはあひく にじや っさい
 りくのーは おぬん こあーく うハい
 「おい、岸川、まだ手紙は書き終えないのか」「うん、まだ、貴公は笑休め。」「ああ、俺は眠くない。いい、待て、いや、」「どうも、おれは」

③ さんばかわかみはんぼりと まどーハにふり？はる かなる
 ひがーしのみぞら ほしーがめ

④

⑤

②

「お母さん、まだ手紙はまだ手紙を立てませんが、又も近いうちに、日露戦争のときとくらべて、お父さんの手紙に負けない。見事手紙を

⑥

立てまゝお母さんのお諭しにゾウ覚悟しております。 ははをしのびて へへおかみ

そはは此のわびごのそおりに かわかみくそあのははあは

あつこのいはいをまえにし だみだもみせず あごそかに

さとしておく るいへの かび [吟替り] ⑦ いんていゆくが たまは

⑧

こ水がこわぶおのわかれみおさめかど

おもえはかひしあやこのはあ するりはき っ

を いる おくりしゆかしも ははなり き

⑨ [基吟3] ⑩

ときははあ じやうさんねん ぶみきにけういろにち

あさ ほらけ あらわした まっ うんめて

あやまびたいらお だいおん (はあ)

我が隊八十年の間に、栄光と苦闘とがある。 諸君は、自覚をもってこの重責を果たしていただきたい。

十二分に修練して、技能を發揮する機会が到来しにのぞめる。切に奮闘努力を願う。終あり。

くんじをあたえどおどおとのおきおきまよくひのまるき

てきのじーん あわてぶためきまいあがる とききにきじきじゆうりき

まぶたいらおきまつききに

つぎいでぶてきのはばたきに

まぶたいらおきまつききに

つぎいでぶてきのはばたきに

まぶたいらおきまつききに

このときおきおのてきいっさわーがぶたいらおきのはいごまり

(16) おそーいきたるをめぐとくも みたるのわがみくわそあき

うむーとねらいひとうちにー ひだーまとあがるノースロップ

[4] [基吟4] (17) かくーほおかをかいくくーり つぎーからつきへとーうらあとす

(18) がわーかみきしがわわがーわしの さえたるうでーよ

やまーとーだまー いちーはやくもふるさとのー

ラジールコースにしるふにー わがニのいさあきしりーし

かめーかみくわそあまほおやほー よくーでかーしたーでわーしたーとー

(20) しやわとくわくをとりーいーだしー しのかとまねにいたーきーしめー

かげーせわーよー やさーごにーろー

後語り [基吟5] (21) 二のーはほあり？二のーこありー やまとのほはとーふぶーははーはー

(22) みくーにのたためにあくまどもー やさーしくわかしくーうつーくーしー

ぶしーどおはーのー しらーぎくーよ

【譜例13】

水藤錦稜《戦艦大和》

作詞 池上作三
作曲 水藤錦稜
実音 七本(音階C#)

前語り [吟詠(和歌)] ①

かたりつぎ

とわにたえんくにあため

おもしろいのも

たてし いさおも

[基吟1] ②

うみゆかば みづかばお おおきみの みたてとなり 2

いざゆか

③

かえりみはせじ ———— さんせ ———— くの

ゆるしのいきや ———— せを ———— ？ ———— < ————

本語り〔基吟2〕④

ときしもはあにじうねん ———— しがつむいのか ———— びるさばり ————

⑤

せんがわせまをとまの ———— とし

つぐきうせきのかたにい ———— は ———— くらふくみ 2 しのびかに ————

みた ———— じり ———— おき ———— を ———— い ———— 2 ———— 4 < ————

Handwritten musical notation for the first system, featuring a treble clef staff with a key signature of one sharp (F#) and a common time signature (C). The notation includes various rhythmic values and accidentals. A handwritten 'x' is present above the first measure. The bass clef staff is empty.

Handwritten musical notation for the second system, continuing the piece. The treble clef staff contains complex rhythmic patterns, and the bass clef staff has a few notes. A 'rit.' marking is visible at the end of the system.

Handwritten musical notation for the third system, including Japanese lyrics. A circled '6' is written above the first measure. The lyrics are: 11 < に み あ く る ひ と は じ く た だ ら じ ゃ ん さ く ら ぼ じ

Handwritten musical notation for the fourth system, including Japanese lyrics. The lyrics are: は る ほ こ り の に お え う ぐ い つ め ち ら ら じ ゃ ん ね だ

Handwritten musical notation for the fifth system, including Japanese lyrics. The lyrics are: あ り と も せ た に き え の ち く と こ 二 お ー じ ゃ ー き い さ ま し せ

Handwritten musical notation for the sixth system, concluding the piece. The notation includes a 'rit.' marking at the end of the system.

⑦

ぶんごすいどおほせもすき— せたりごころも— おあそび— の—

[崩し]⑧

ほんとおおきにのこ— る— 二 三— せ— にじゅうく— いっしにき— みぞつかくつかくもをあい

⑨

うみには— 二ぎのせむいいかん— われをうが— ぞお— ぼかりたり

⑩

あくる— 日のかのまはるどきほおのみさきのなほほかにて

じっきごじっきにひのきの— けすりもよおの— ときへんたいわれを

めが— け— 二— らいしらす

(拍子)

⑪

⑫

さいどいっきの ——— みかたき ——— なく —
 えいごのぶねも ほほうたれ ぶたときばかりのたたかいに いまほ ———
 [合唱替り] ⑭ たまつき—ちか—ら ——— つき—
 ⑮ かわりはてたる— ぶねの ——— さま ———
 しーばねのせま ちしーあのかわ ———
 ぐにあさ—まし—の ——— しーらじあ ——— や—

R
ハ

(16)

おりふしひとりのしかんあり ごしわえいとほふのか せに

しっかとはかり むすむ つけ にいのあまの

ふる ゴととあわ-いいで-しか いままさ-に

うみに- とびいり いなわ とす

accel. [基吟4] (17)

そ-らうみよりのもみ-おの

いよよはげしく くわわれは-

accel.

(18)

ふねほ- しきりにぬいどおし つ-てくさりんにかたあき?

いっしゅんたかくひとあいの ぼくえんをあげてあなしくも

あなみとさし? ちひさなる うみのまことしづみ ゆく (拍手)

accel.

rit.

[吟詠(漢詩)] ⑱

うみをあつるの もあどみ

いよあ げわたり ときひにし?

いまだえず ————— きりぎりすとせいする こと ————— と —

いたましきかな ————— にっほんのふち ————— ん ————— かん —

かげをほつす ————— うんとお —

ふかさ ————— ばんちお

後語り [基吟5] (20)

あ あ — たいへい — よあよめがなごよ ————— ながけうつしたい — ら — けく —

とんちおちきやうはつくるとも ————— つくる こと なきしきしまの

せまとしまねと ことほぎ? ————— せ — と は — かえせ — いつ — ま — ぶも —

ながそ — ぶか < ————— ねむ — る — なが — 3 —

ひととふねとになみだり
 おひのちやうぎをたてえ

おひのちやうぎをたてえ

おせは—いえ—せ

R 八

い—つ—ま—
 (相手)
 も

accel.

R 八

accel.

R 八